

## 2. 地震動・液状化・土砂災害

### 2.1. 基本方針

前回調査では、既往の地震履歴や活断層調査等を基に、県内に被害をもたらす地震として、5つの想定地震を設定している。

今回調査においては、前回調査と同等の以下に示す選定基準及び最新の国の評価や研究成果を踏まえ、県内に大きな被害をもたらすと考えられる8つの想定地震を設定する。

#### 〔設定基準〕

- ① 地震調査研究推進本部（以下「地震本部」という。）が長期評価を行っている主要活断層帯と海溝で起こる地震
- ② 地震規模及び本県と震源との距離から、発生した際に本県への影響が大きくなる想定震源
- ③ 想定震源の想定ケースが複数になる場合、想定ケースのいずれもが発生し得ることを前提とした防災対策検討が必要であることから、各想定ケースで推計した震度分布等を重ね合わせた最大クラスを設定

## 2.2. 地盤モデルの作成

地震動の予測を行うにあたり、図 2.2-1 のような地盤構造をもつ、地盤モデルを構築する。浅部地盤は、地震動を増幅させる働きをする未固結堆積物（第四紀層）からなる地表付近の地盤であり、ボーリングなどによって調査が行われる。深部地盤は、十分に硬い地盤で、一般的には  $V_s$ （S 波速度）0.3~0.6km/s 程度以上である。構造物の基礎地盤となるような地層として工学的基盤と呼ばれ、浅部地盤の下部にあり、より硬質な地震基盤（ $V_s=3\text{km/s}$  程度以上）から浅部地盤との境界面までの地盤である。

震源から生じた地震動は、地震基盤上面までは地盤の影響を大きく受けないとされることから、今回調査では、浅部地盤と深部地盤モデルを作成し、地盤の影響を考慮した地震動を予測する。

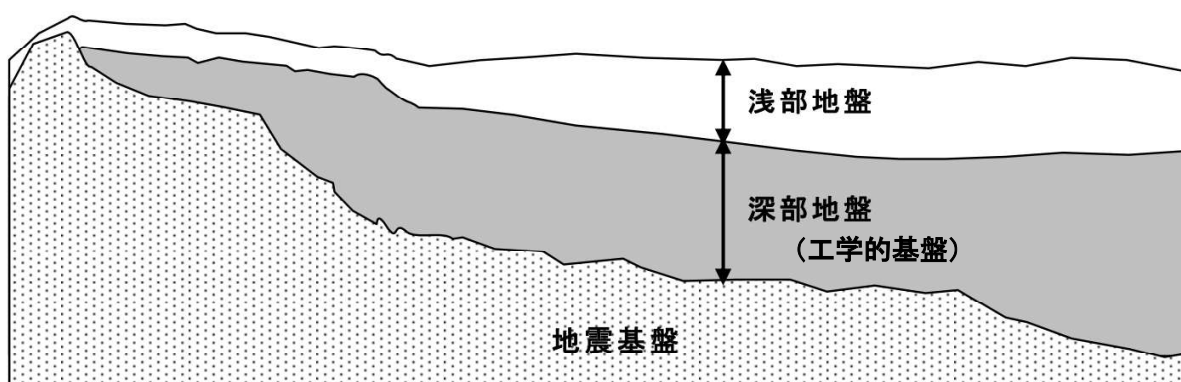


図 2.2-1 地盤構造の模式図

## (1) 浅部地盤モデル

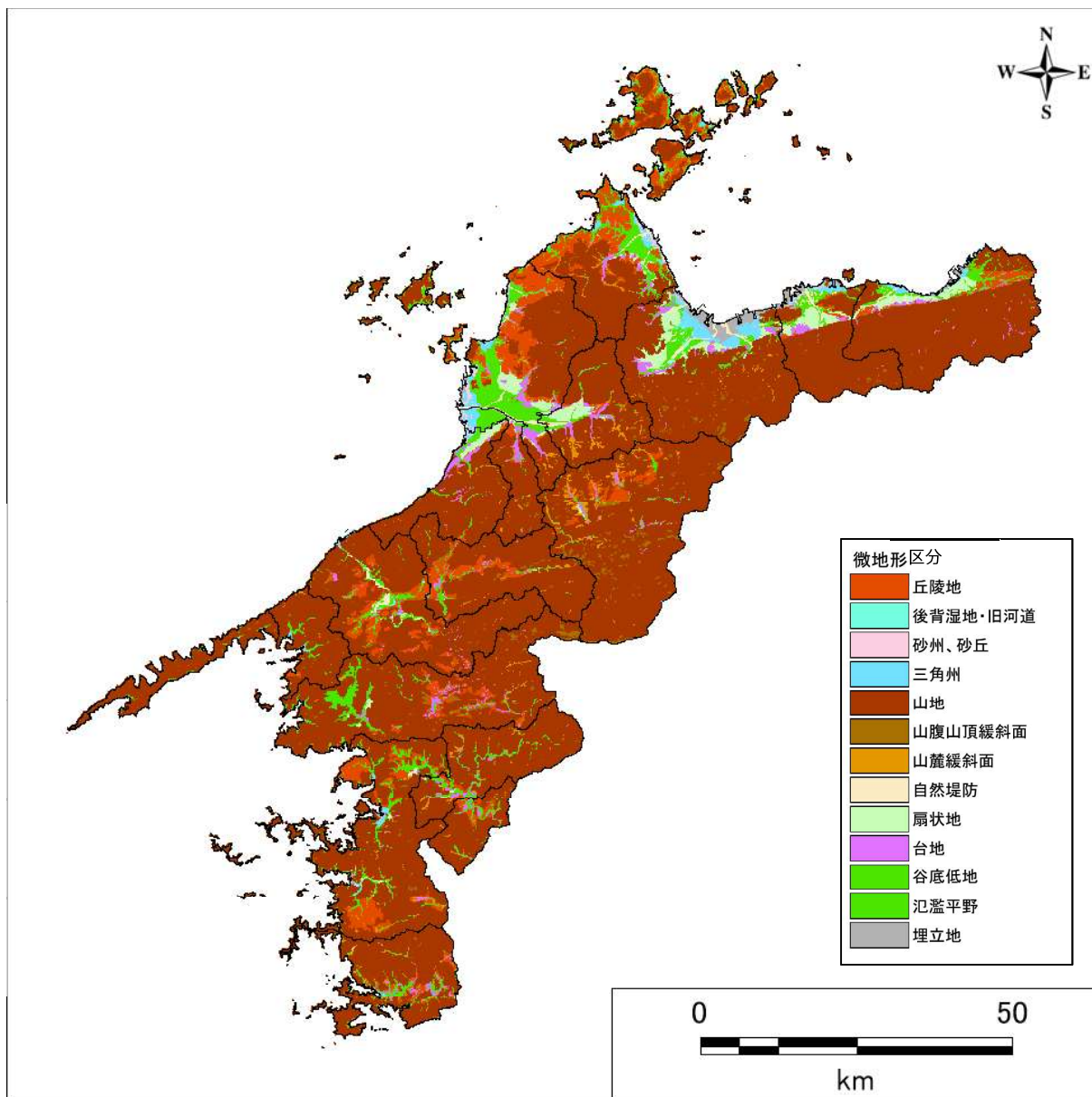
浅部地盤モデルの作成手順を以下に示す。

### ① 微地形区分

微地形区分は、前回調査において「土地分類基本調査(5万分の1) 全県域 1971~1981 愛媛県」を基に作成された125mメッシュ地形区分図を用いた。表 2.2-1 に微地形区分一覧表を、図 2.2-2 に125mメッシュ微地形区分図を示す。

表 2.2-1 微地形区分一覧表

地形区分			
大区分	コード番号①	小区分	コード番号②
山地	10000	山地	11000
		山腹山頂緩斜面	12000
		山麓緩斜面	13000
		扇状地	14000
		谷底低地	15000
丘陵地	20000	丘陵地	20000
台地	30000	台地	30000
低地	40000	氾濫平野	41000
		扇状地	42000
		自然堤防	43000
		砂州、砂丘	44000
		後背湿地・旧河道	45000
		埋立地	47000
		三角州	48000



※「土地分類基本調査(5万分の1) 全県域 1971~1981 愛媛県」を基に作成

図 2.2-2 125m メッシュ微地形区分図

② ボーリング資料の整理

ボーリングデータは、国土地盤情報センター(4,080本)、関西圏地盤情報データベース(5,776本)及びKuniJiban(27本)から収集した。図 2.2-3 に機関別のボーリングデータ位置図を、図 2.2-4 に掘進深度別ボーリング位置図をそれぞれ示す。各平野部でデータが多く分布している。

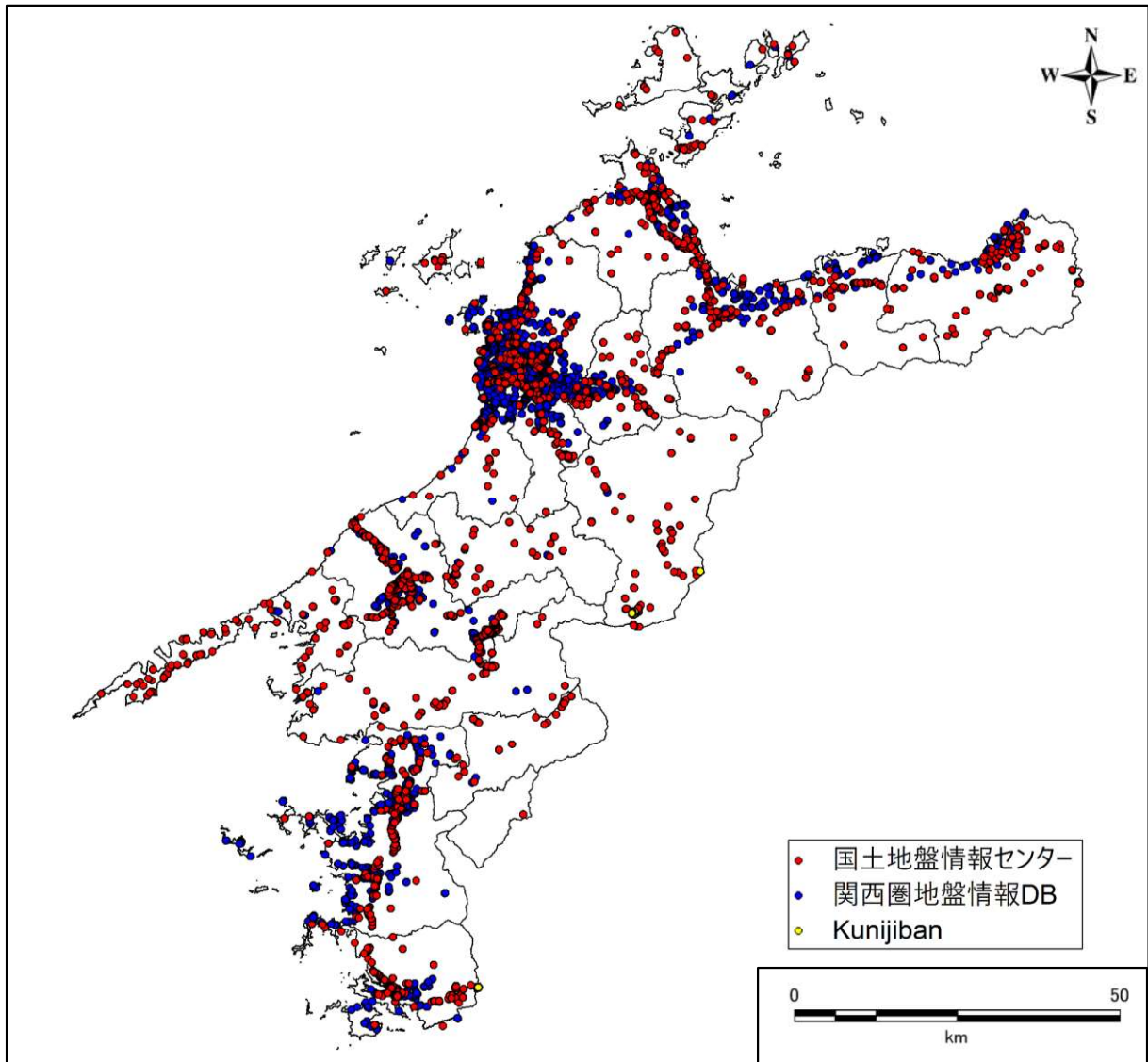


図 2.2-3 収集した機関別ボーリング位置図

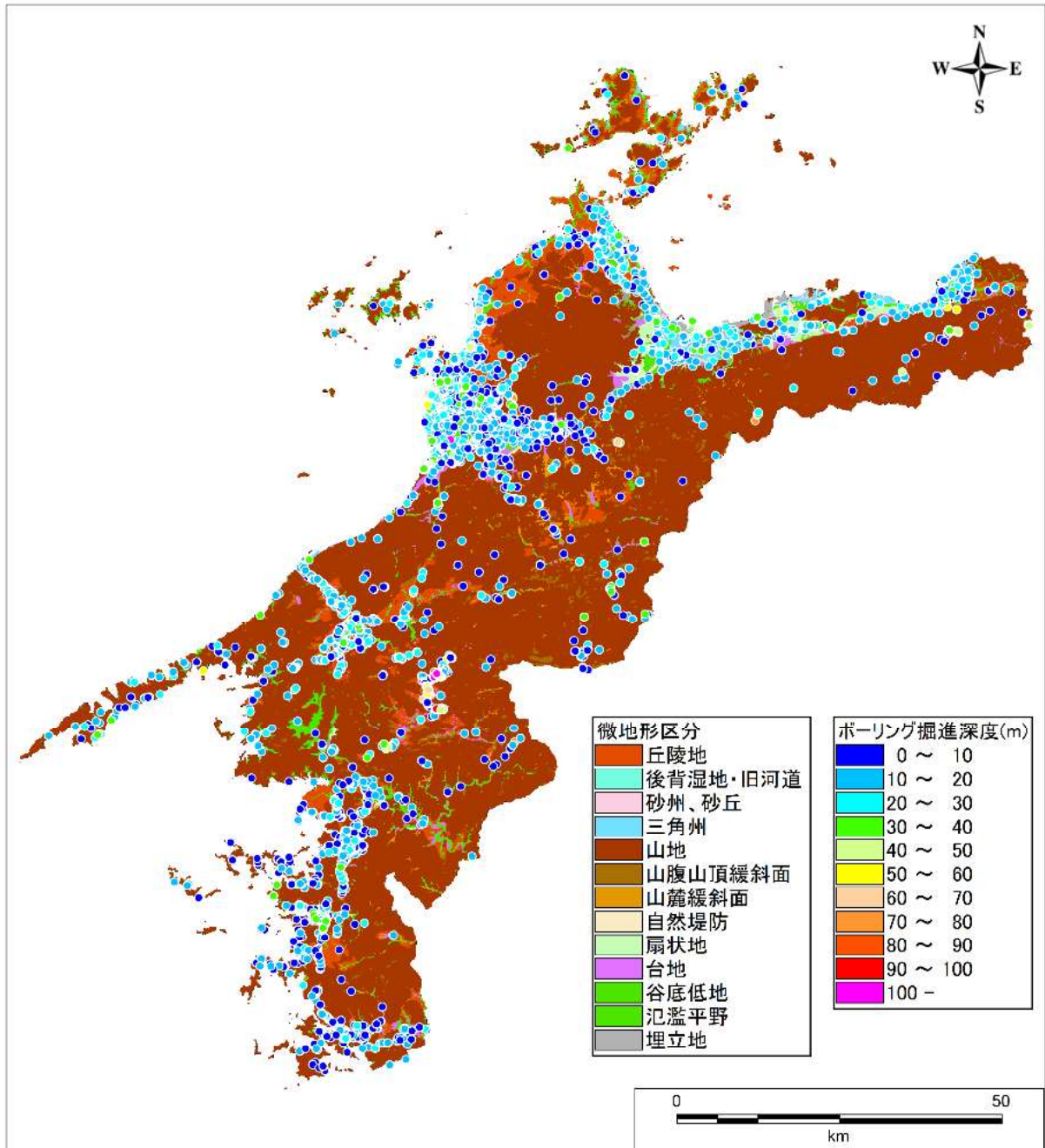


図 2.2-4 浅部地盤モデル作成に用いたボーリング掘進深度と微地形区分図の重ね合わせ

### ③ 浅部地盤モデルの作成

前回調査では、533 パターンの代表地盤モデルを設定し、それらを 125m メッシュに割り当てている。今回調査では、ボーリングデータの増加を踏まえて、地盤モデルを作成する。図 2.2-5、図 2.2-6 に浅部地盤モデルの作成方法を示す。

まず、収集したボーリングデータについて、地質区分および標準貫入試験による N 値を基礎データとして整理した。次に、これらの情報をもとに、ボーリングごとに沖積層および工学的基盤の基底面を設定した。なお、工学的基盤については、ボーリングデータで N 値 50 以上、もしくは県内で実施された防災科学技術研究所による PS 検層で S 波速度 600m/s 以上となる地層とした。

今回調査では 125m メッシュの地盤モデルを構築するため、各メッシュに対してボーリングデータを与える。その際に、メッシュ内に複数のボーリングがある場合には、掘進長の一番長いものを代表ボーリングとして採用した。ボーリングが存在しないメッシュについては、微地形区分が同一である最も距離の近いメッシュのボーリングデータを採用することで地盤構造を補間的に設定した。

また、各層の物性値については、ボーリングに基づく N 値と S 波速度との関係（中央防災会議(2003)）を適用し、層ごとの S 波速度を設定し、解析対象地域全体について浅部地盤構造モデルを構築した。

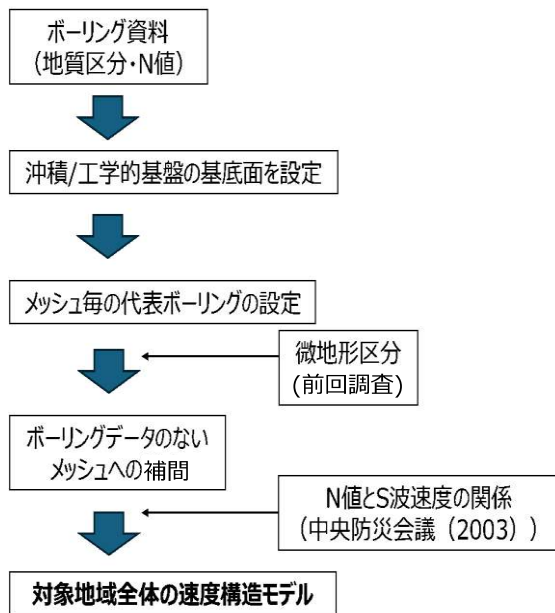


図 2.2-5 浅部地盤モデルの作成フロー

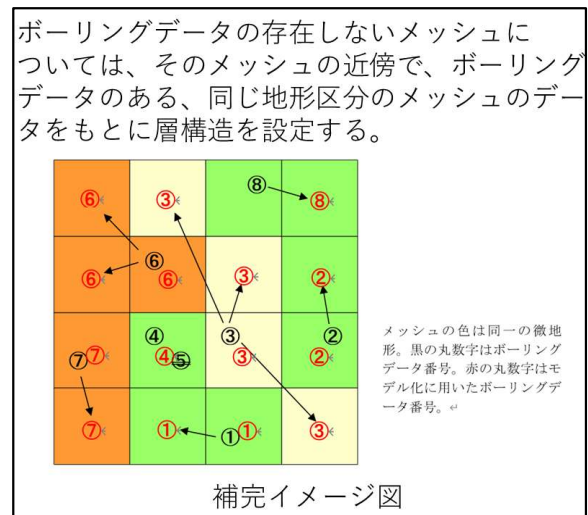


図 2.2-6 浅部地盤モデル作成におけるデータ補間のイメージ図

#### ④ 物性値の設定

表層地盤モデルにより、工学的基盤から地表までの地震動の増幅は地震応答解析によって評価するため、解析に必要な地盤の物性値を設定する。応答解析に必要な物性値は、S波速度 ( $V_s$ )、単位体積重量 ( $\gamma_v$ ) 及び非線形解析を行う際の動的変形特性である。

各物性値の設定については、基本的に前回調査と同一の手法により実施する。

##### a) S波速度 ( $V_s$ )

作成した地盤モデルのN値を基に、中央防災会議（2003）による以下のS波速度とN値の関係式を用いて土質別に設定する。

$$V_s = 112.73 \times N^{0.256} \times E \times F$$

$V_s$  : S波速度(m/s)

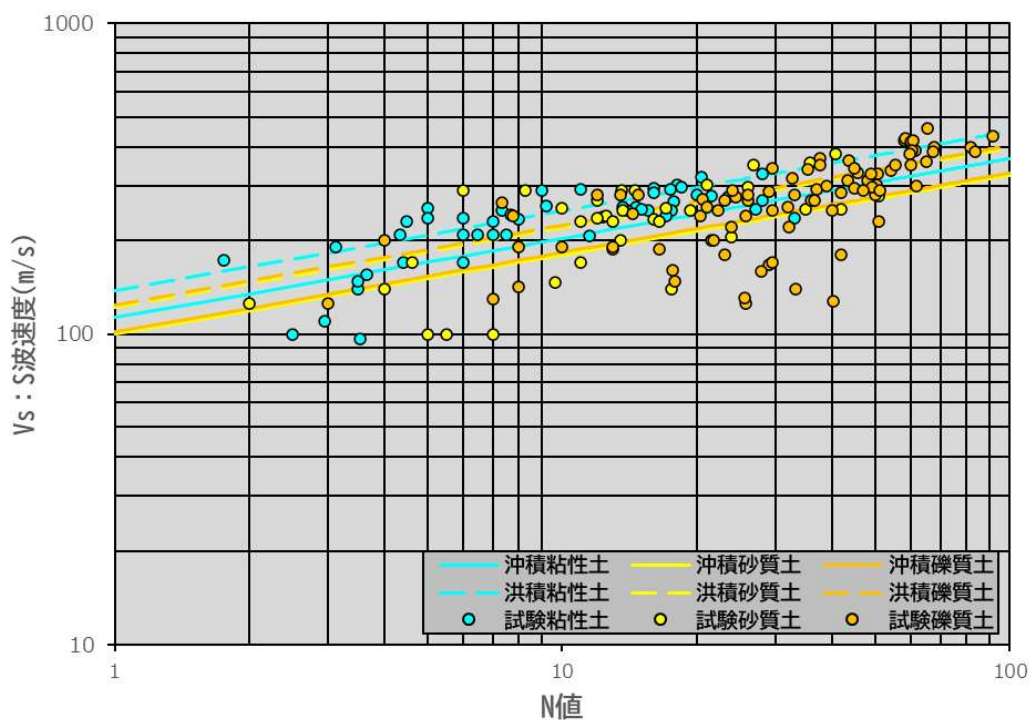
N : N値

E : 年代係数 (沖積 : 1.000, 洪積 : 1.223, 新第三紀 : 1.379)

F : 土質係数 (粘土 : 1.000, 砂 : 0.885, 礫 : 0.900)

(参考：既往データによる検証)

地震動解析を行うために、地層のS波速度が必要であるが、今回、県内の37本のボーリングデータ（いずれも国土地盤情報センター）からS波速度試験結果を得ることができた。上記のN値とVsの関係式と重ねて図2.2-7に示す。ばらつきは見られるが、試験結果は概ね関係式と対応し、適用は妥当と考える。なお、前回調査より増えたものの依然データ数としては少ないため、今後データを蓄積していく必要がある。



実線：中央防災会議（2003）による沖積層の土質に対するN値とVsの関係式  
破線：中央防災会議（2003）による洪積層の土質に対するN値とVsの関係式  
○：今回収集したS波速度試験結果によるN値とVsの関係

図 2.2-7 N値とS波速度 (Vs) の関係

b) 単位体積重量 ( $\gamma_t$ )

今回調査では、土質ごとに代表値が設定できる室内土質試験結果は集まらなかったため、中央防災会議（2003）による表 2.2-2 を用いて設定する。

表 2.2-2 設定した土質区分と単位体積重量（中央防災会議（2003）より引用）

地質区分	地質名	記号	N 値	単位体積重量 (kgf/cm <sup>3</sup> )	
第四紀	埋土	B1	0~4	1.6	
		B2	4~10	1.7	
		B3	10~	2.0	
	腐植土	Ap1	0~1	1.2	
		Ap2	1~	1.3	
	粘性土	Ac1	0~2	1.4	
		Ac2	2~4	1.5	
		Ac3	4~8	1.6	
		Ac4	8~15	1.7	
		Ac5	15~30	1.8	
		Ac6	30~	1.8	
	砂質土	As1	0~4	1.7	
		As2	4~10	1.8	
		As3	10~30	1.9	
		As4	30~50	1.9	
		As5	50~	1.9	
	礫質土	Ag1	~20	1.9	
		Ag2	20~30	2.0	
		Ag3	30~50	2.0	
		Ag4	50~	2.0	
	更新世	ローム・ 凝灰質粘土	Lm1	0~4	1.4
			Lm2	4~	1.5
		粘性土	Dc1	0~2	1.5
			Dc2	2~4	1.6
			Dc3	4~8	1.7
			Dc4	8~15	1.8
			Dc5	15~30	1.8
			Dc6	30~	1.8
砂質土		Ds1	0~4	1.8	
		Ds2	4~10	1.8	
		Ds3	10~30	1.9	
		Ds4	30~50	1.9	
		Ds5	50~	2.0	
礫質土		Dg1	~20	1.9	
		Dg2	20~30	2.0	
		Dg3	30~50	2.0	
	Dg4	50~	2.1		
第三紀		K		2.1	

c) 動的変形特性

浅部地盤に分布する土は、地震動が大きくなって変形（ひずみ）が大きくなると、地震波の伝播程度が小さくなる特性を持つ。これは土の剛性がひずみ量の増加にともない低下（剛性のひずみ依存性）することによるもので、このような動的変形特性は、土質によって異なっている。

今回調査では、土質ごとに代表値が設定できる動的変形特性の室内土質試験結果は集まらなかったため、前回調査同様、古山田他（2003）を参考にして、図 2.2-8 に示す動的変形特性曲線（ひずみ－剛性率、ひずみ－減衰定数）を用いて土の動的変形特性を設定する。

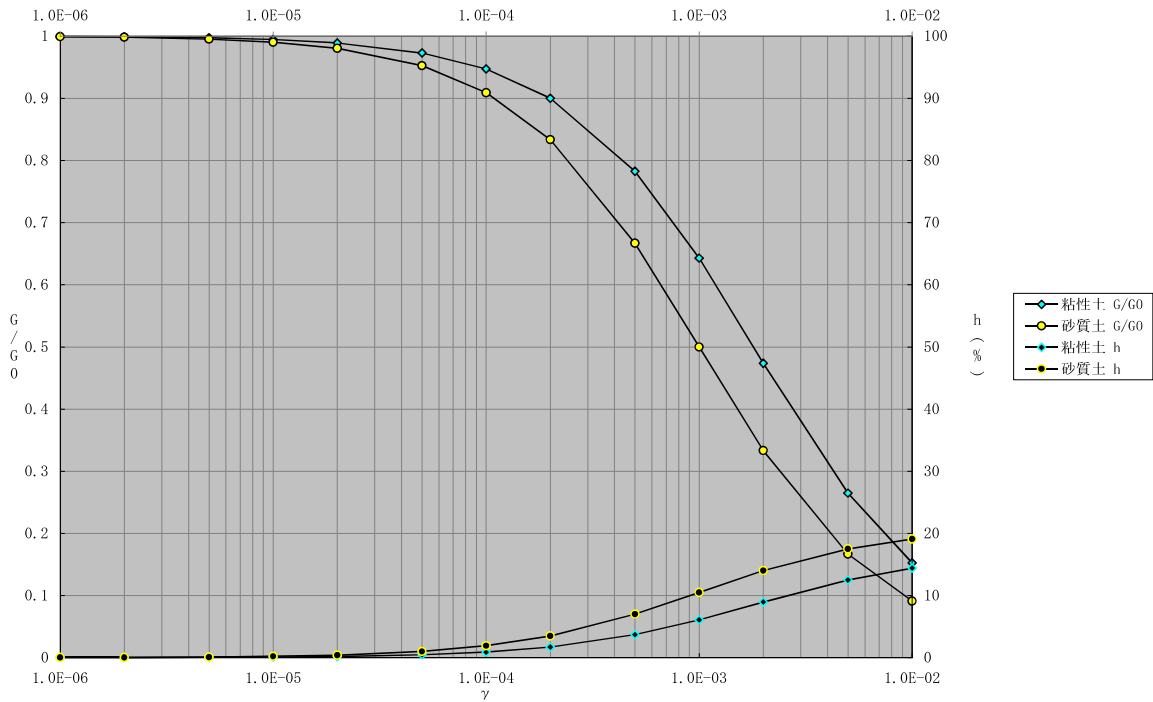


図 2.2-8 土の動的変形特性曲線（前回調査より）  
ひずみ（ $\gamma$ ）－剛性率（ $G/G_0$ ）及びひずみ（ $\gamma$ ）－減衰定数（ $h$ ）の関係

以上によって作成した浅部地盤モデルについて、地表から 30m までの平均 S 波速度である AVS30 を指標として図 2.2-9 に示す。一般に、AVS30 が大きいほど硬質な地盤で、山地などに多く分布が見られる。一方で AVS30 が小さい軟弱な地盤は、低地部や埋立地などで見られることが多い。今回作成した浅部地盤モデルにおいても、氾濫平野などの低地部や沿岸部の埋立地で AVS30 が小さくなっていることが確認できる。

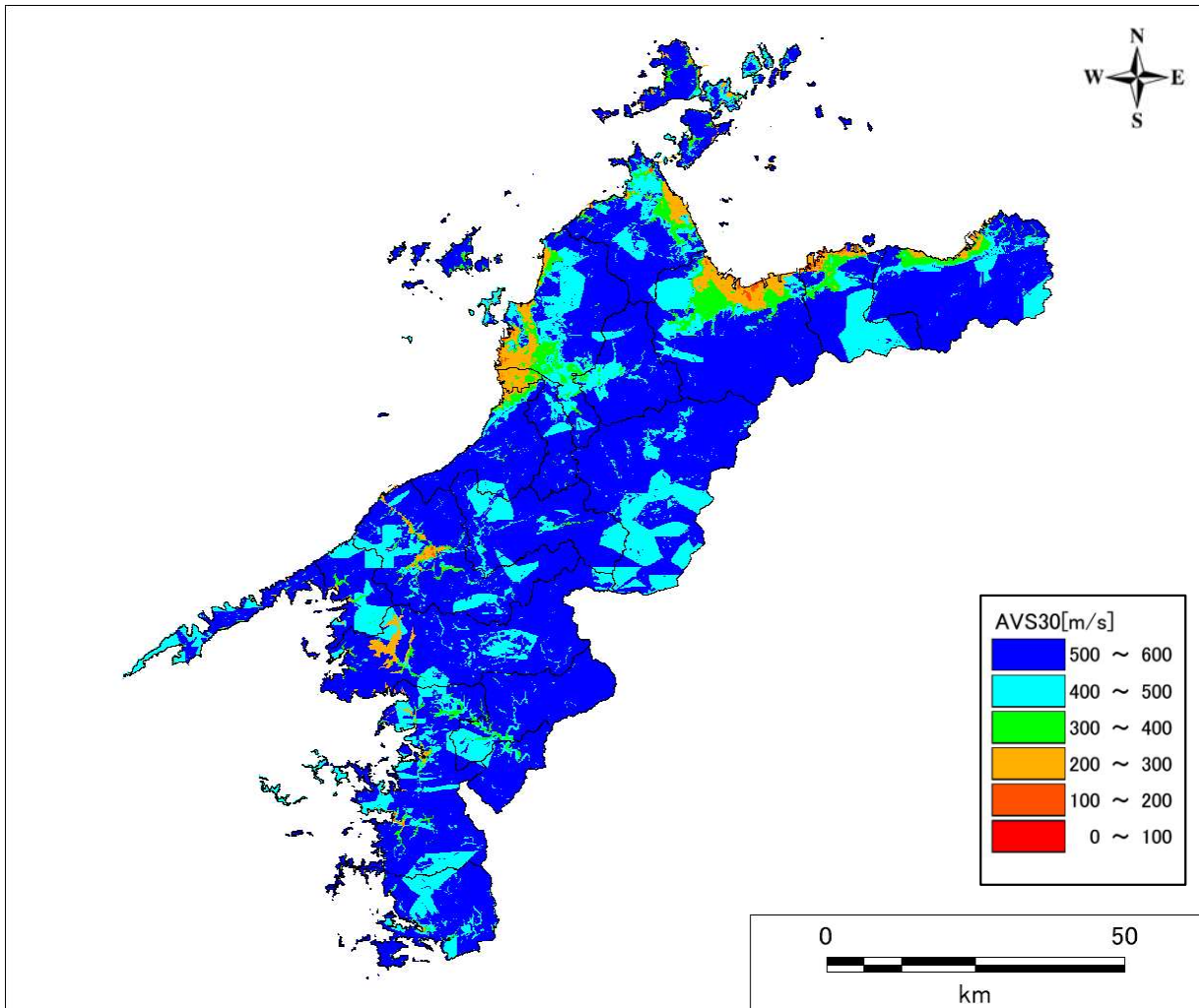


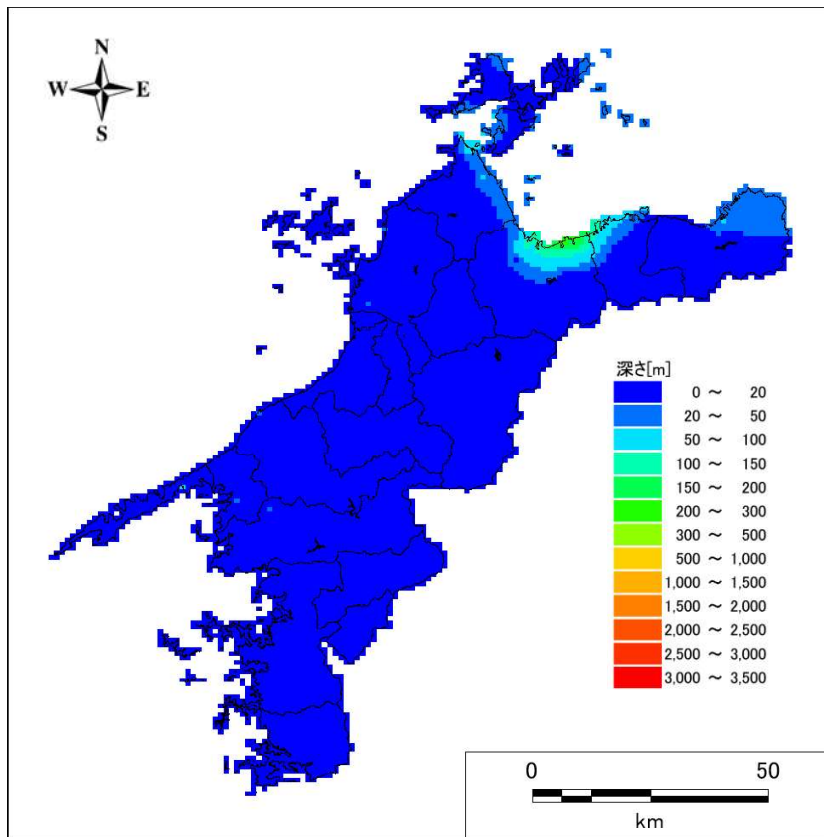
図 2.2-9 浅部地盤モデルの AVS30 分布

## (2) 深部地盤モデル

深部地盤構造については、国が示す深部地盤モデルを用いた。今回調査では、内閣府「南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動に関する報告」(2015年12月)(以下「内閣府(2015)」という。)による深部地盤モデルを採用した。このモデルは、1kmメッシュごとに作成されており、 $V_s=0.35\sim 3.2\text{km/s}$ を17層に分割し、各層厚が与えられている。図 2.2-10 に工学的基盤相当である  $V_s=0.6\text{km/s}$  と地震基盤相当である  $V_s=3.2\text{km/s}$  層の上面深さ分布を示す。

なお、前回調査においては、「全国1次地下構造モデル(暫定版)」を基に、松山平野を対象とした既往研究成果等を考慮した深部地盤モデルを作成している。今回調査では、内閣府(2015)の深部地盤モデルに最新の知見が含まれているとし、かつ、地震動の予測において、空間的な連続性を有する地盤モデルを採用する必要があることから、このモデルを用いる。

( $V_s=0.6\text{km/s}$  : 工学的基盤相当)



( $V_s=3.2\text{km/s}$  : 地震基盤相当)

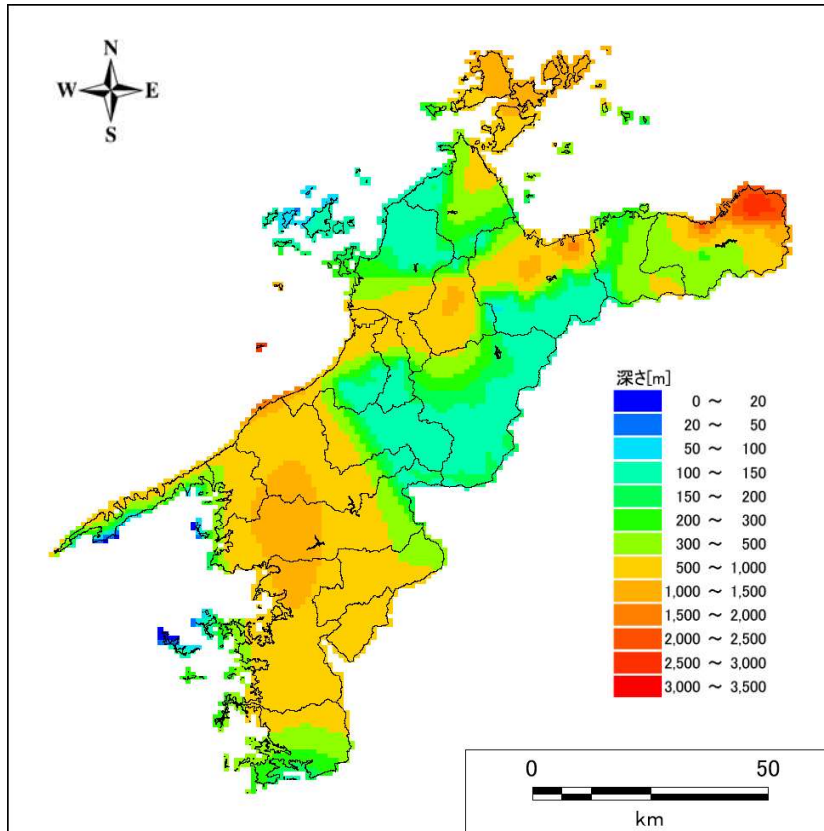


図 2.2-10 深部地盤の速度層深さ分布図

## 2.3. 想定地震の設定

### (1) 愛媛県の地震環境

#### a) 地震の種類

【海溝型地震（プレートの沈み込みに伴う大地震）】

#### ① 南海トラフ沿いで発生する地震

南海トラフは、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界に形成された海底の溝状の地形である。この領域で発生した地震としては、古くは684年天武（白鳳）地震の記録があり、887年仁和地震、1096年永長地震、1099年康和地震、1361年正平（康安）地震、1498年明応地震、1605年慶長地震、1707年宝永地震、1854年安政東海地震・南海地震、1944年昭和東南海地震、1946年昭和南海地震が知られている。

図 2.3-1 に南海トラフ沿いで発生が知られているプレート境界地震を示す。愛媛県では、南海トラフ沿いで発生する地震の中で、四国沖から紀伊半島沖が震源域になった場合に、強い揺れや津波による被害を受ける可能性がある。県に被害をもたらした主なものとして、1707年の宝永地震（M8.4）（死者12名、負傷者24名）、1854年の安政南海地震（M8.4）（死者2名、家屋全半壊1,000棟以上）、1946年の昭和南海地震（M8.0）（死者26名、負傷者288名）がある。

#### ② 瀬戸内海や豊後水道付近のやや深い場所で発生する地震

愛媛県の地下では、日本列島が位置する陸側のプレートの下方に、フィリピン海プレートが南東方向から沈み込んでいる。この沈みこんだフィリピン海プレートの内部が破壊されることによって発生する地震があり、過去には、安芸灘～伊予灘～豊後水道の領域を震源とした地震の被害があったとされる。主なものとして明治時代以前では1649年のM7.0の地震や1686年のM7.2の地震、1854年のM7.4の地震、1857年のM7.3の地震、明治時代以降では1905年の芸予地震（M7.2）や1949年の安芸灘のやや深い場所で発生した地震（M6.2）、1968年の豊後水道のやや深い場所で発生した地震（M6.6）、2001年の芸予地震（M6.7）がある。さらに、2024年の豊後水道の地震（M6.6）についても、この種類の地震であったとされている。

また、日向灘では、九州が載っている陸のプレートの下へ太平洋側からフィリピン海プレートが沈み込むことに伴い発生する地震がある。1968年日向灘地震（M7.5）では愛媛県で地震の揺れと津波による小被害が生じた。さらに、宮崎県西部における深い場所で発生した地震（1909年、M7.6、深さは約150kmと推定）でも、県内で負傷者や家屋倒壊という被害が生じた。

2024年8月8日に日向灘で発生したM7.1の地震では、人的、建物被害は生じていないものの、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表された。これを受けて、約一週間にわたり、県民に対して、地震への備えについて呼びかけが行われた。

※ 南海トラフ臨時情報：南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報

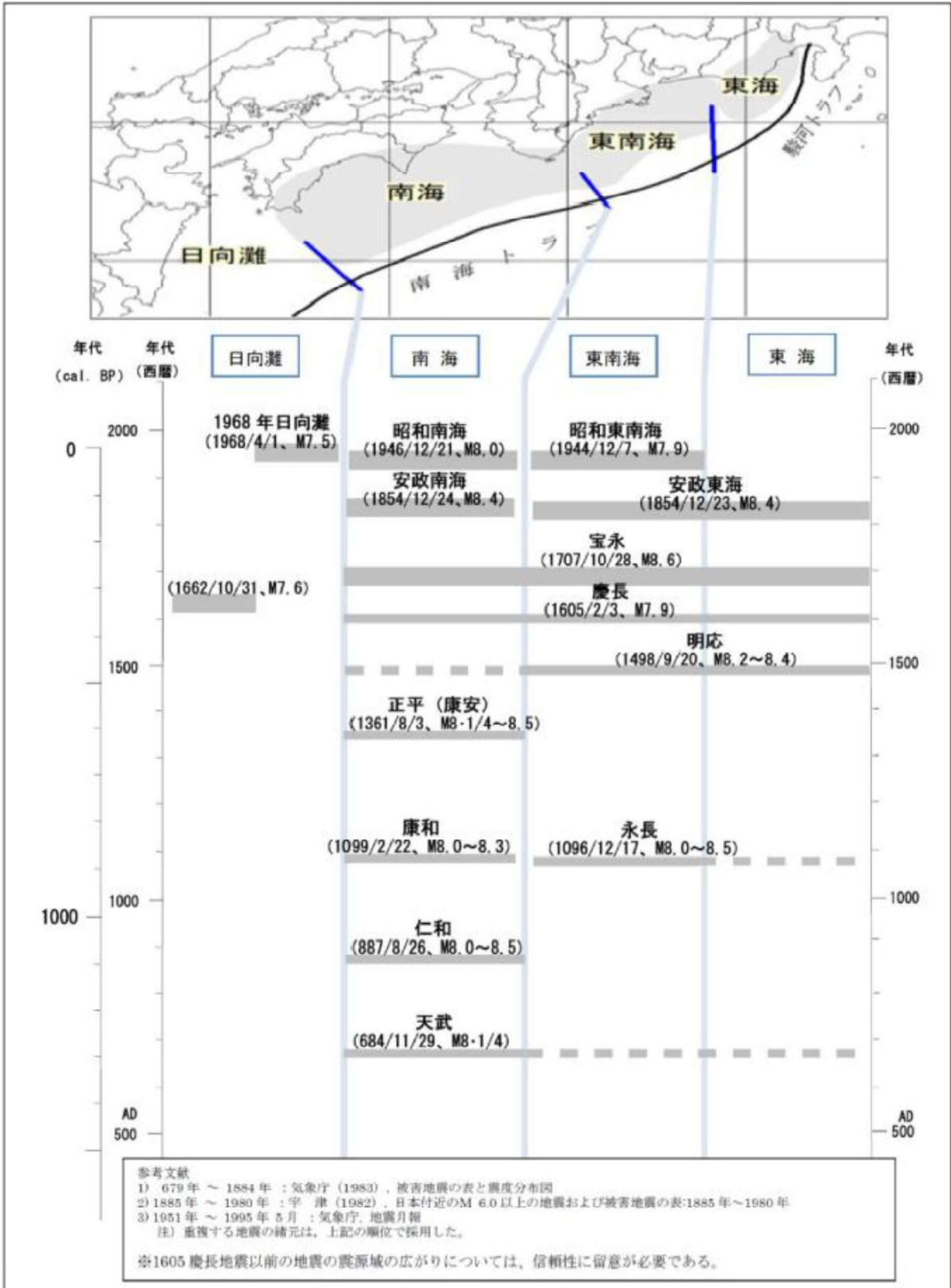


図 2.3-1 南海トラフ沿いで発生が知られているプレート境界地震  
 (出典：南海トラフの巨大地震モデル検討会中間とりまとめ参考資料集  
 平成 23 年 12 月 27 日南海トラフの巨大地震モデル検討会)

## 【内陸型地震】

内陸型地震は「直下型地震」とも呼ばれ、陸側のプレート内部にある活断層や岩盤などで発生する震源がおおむね 30km より浅い地震である。一般に、内陸型地震は海溝型地震に比べて規模が小さいが、生活の場である内陸部で発生するため、大きな被害をもたらすことがある。1995 年兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）や 2004 年新潟中越地震、2016 年熊本地震などがその代表として挙げられる。また、令和 6 年能登半島地震も深さ 15km で発生した内陸型地震であり、建物の倒壊や液状化など、多くの被害をもたらしている。

愛媛県周辺において内陸型地震を生じさせる主要な活断層は、奈良県から和歌山県、淡路島を経て、徳島県から愛媛県まで四国北部をほぼ東西に横断し、伊予灘に達している中央構造線断層帯である。近年の活動履歴としては、堤ら（2000）によると、1596 年 9 月 1 日に中央構造線断層帯の一部である川上断層の活動による地震が最新の可能性があるとしている。以降の活動履歴は記録にないが、ひとたび活動すると大きな被害が生じる可能性がある。

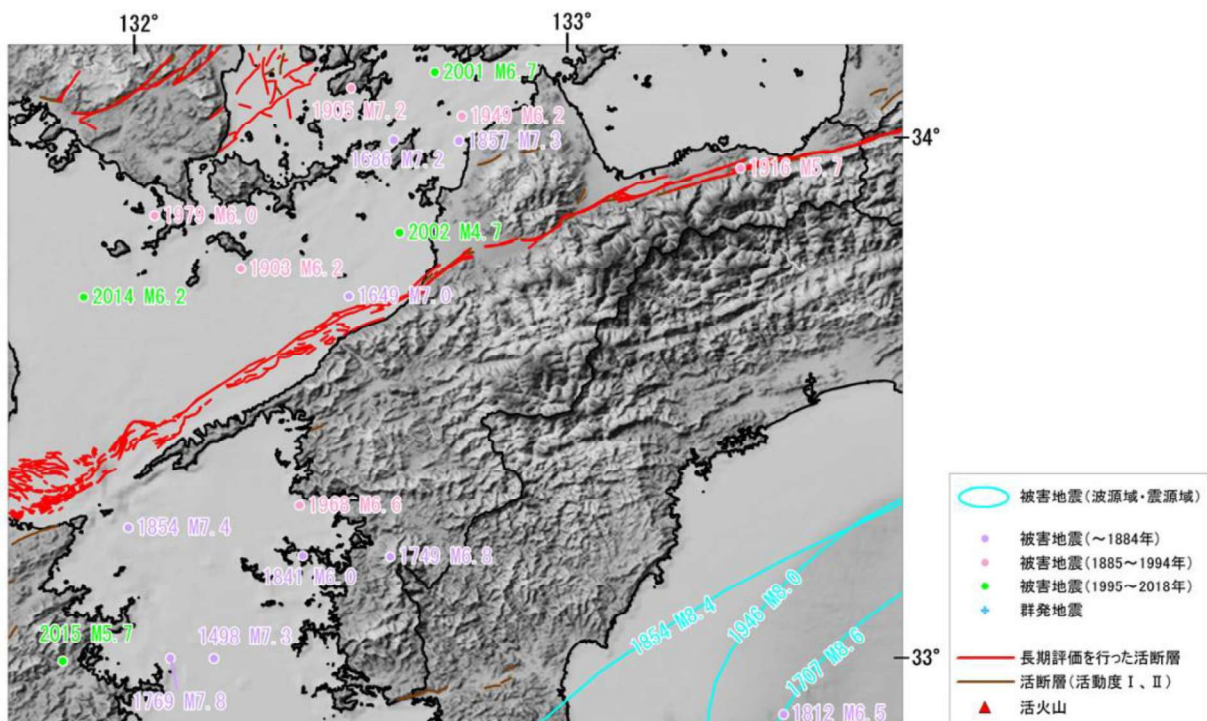


図 2.3-2 愛媛県とその周辺の主な被害地震と活断層

(出典：地震調査研究推進本部ホームページ，愛媛県の地震活動の特徴

[https://www.jishin.go.jp/regional\\_seismicity/rs\\_chugoku-shikoku/p38\\_ehime/](https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_chugoku-shikoku/p38_ehime/), 2025 年 8 月時点)

表 2.3-1 愛媛県に被害を及ぼした主な地震

発生日月日	発生地域 (名称)	M	主な被害	出典
1596年9月4日 (慶長1)	慶長豊後	7.0	死者708名	②③
1614年11月26日 (慶長19)	中部・近畿	7.7	「道後明王院旧記」によると、山崩れのため泉脈が塞がれた。	②③
1649年3月17日 (慶安2)	安芸・伊予	7.0	宇和島、松山の城の石垣が崩れる。	①
1686年1月4日 (貞享2)	安芸・伊予	7.2	安芸では死者あり、家屋全壊多数。伊予でも被害が生じた。	①
1707年10月28日 (宝永4)	(宝永地震)	8.4	死者12人、負傷者24人。御城下の家々破損。	①
1749年5月25日 (寛永2)	瀬戸町三机 周辺部	7.0	宇和島御記録抜書記述、宇和島城桜破損 その他被害多し	②
1812年4月21日 (文化9)	伊予灘東部	6.9	大日本地震史料記述、損害多し	②③
1854年12月24日 (安政1)	(安政南海 地震)	8.4	死者2人、家屋全半壊1,000棟以上。	①
1854年12月26日 (安政1)	伊予西部	7.4	(安政南海地震との被害の区別ができない。)伊予大洲、吉田で家屋倒壊。	①
1857年10月12日 (安政4)	伊予・安芸	7.3	今治で城内破損、郷町で死者1人、家屋全壊3棟、宇和島・松山・広島などでも被害。郡中で死者4人。	①
1905年6月2日 (明治38)	(芸予地震)	7.2	負傷者17人、家屋(含非住家)全壊8棟。	①
1946年12月21日 (昭和21)	(南海地震)	8.0	死者26人、負傷者32人、住家全壊155棟。	①
1968年4月1日 (昭和43)	(日向灘 地震)	7.5	負傷者3人。(高知・愛媛で被害多く、負傷者15人、住家全壊1棟、半壊2棟、道路損壊18ヶ所など。小津波が発生)	①
1968年8月6日 (昭和43)	豊後水道	6.6	負傷者18人、建物損壊11,296棟、被害額は宇和島を中心に910,000千円	②
1987年3月18日 (昭和62)	日向灘南部	6.6	漁港施設被害1箇所被害額13,303千円	②
2001年3月24日 (平成13)	(芸予地震)	6.7	死者1人、負傷者75人、家屋全壊2棟。	①
2024年4月17日 (令和6)	豊後水道	6.6	負傷者9人、家屋一部破損352棟。	④

出典：①地震調査研究推進本部 愛媛県に被害を及ぼした主な地震、②地域防災計画(資料編)愛媛県の地震記録、③四国災害アーカイブス、④消防庁 災害情報一覧

b) 地震調査研究推進本部の長期評価

地震本部では、主要な活断層で発生する地震や海溝型地震を対象に、地震の規模や一定期間内に地震が発生する確率を予測し、長期評価として公表している。この長期評価のうち、本県に影響を及ぼす可能性のあるものについて表 2.3-2 に整理した。

海溝型地震は南海トラフの地震と日向灘及び南西諸島海溝周辺で発生する地震、内陸の活断層で発生する地震は中央構造線断層帯の地震が該当する。

表 2.3-2 愛媛県に関わる長期評価が行われている地震

地震		マグニチュード	30年以内の地震発生確率	最新の長期評価公表年
海溝型地震				
南海トラフ	南海トラフの地震	M8～9 クラス	60～90%程度以上	令和7年
日向灘及び南西諸島海溝周辺	日向灘の巨大地震	M8 程度	不明	令和4年
	日向灘のひとまわり小さい地震	M7.0～7.5 程度	80%程度	
	安芸灘～伊予灘～豊後水道の沈み込んだプレート内のやや深い地震	M6.7～M7.4 程度	40%程度	
内陸の活断層で発生する地震				
中央構造線断層帯	讃岐山脈南縁西部区間	M8.0 程度もしくはそれ以上	ほぼ0～0.4%	平成29年
	石鎚山脈北縁区間	M7.3 程度	0.02%以下	
	石鎚山脈北縁西部区間	M7.5 程度	ほぼ0～12%	
	伊予灘区間	M8.0 程度もしくはそれ以上	ほぼ0%	
	豊予海峡～由布院区間	M7.8 程度	ほぼ0%	
	全体が同時に活動	M8.0 程度もしくはそれ以上	(評価なし)	

※地震発生確率は令和8年1月1日を算定基準日としている。

## (2) 想定地震の設定

基本方針に基づき、今回調査における想定地震は以下のとおりとする。また、表 2.3-3 に選定した想定地震の概要を示す。

表 2.3-3 今調査における地震の種類別の想定地震

地震の種類	想定地震
海溝型地震	①南海トラフ巨大地震 ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震
内陸型地震 (対象とする 活断層)	③中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間） ④中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間） ⑤中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間） ⑥中央構造線断層帯（伊予灘区間） ⑦中央構造線断層帯（豊予海峡－由布院区の地震間） ⑧中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間～石鎚山脈北縁西部区間～伊予灘区間が同時に活動）※

※以下「中央構造線断層帯（3区間連動）」として示す。

### ① 南海トラフ巨大地震

南海トラフでは、M7~8 クラスの地震が概ね 100~150 年間隔で繰り返し発生している。前回の南海トラフ地震（1944 年昭和東南海地震、1946 年昭和南海地震）が発生してから約 80 年が経過しており、次の地震発生の切迫性が高くなっていることから、国では南海トラフ地震の被害想定に基づき、防災・減災対策を進めている。

内閣府は、南海トラフの巨大地震モデル検討会を立ち上げ、2012 年に被害想定の結果を報告している。「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」の「あらゆる可能性を考慮した最大クラスの巨大な地震・津波を検討していくべきである」との考え方にに基づき、南海トラフで発生した過去地震に加えて、世界の海溝型地震の震源断層モデルを調査し、それらの特徴等を整理した上で、「南海トラフ巨大地震（M9.0）」を想定している。

南海トラフ巨大地震のモデルとして想定する震源断層域（地震時に動く断層域）は、プレート境界面において、東側（駿河湾側）は駿河湾における南海トラフのトラフ軸（富士川河口断層帯の領域を含む）から、南西側（日向灘側）は九州・パラオ海嶺の北側付近でフィリピン海プレートが厚くなる領域までとし、深さ方向には、トラフ軸からプレート境界面の深さ約 30km からそれよりもやや深い深部低周波地震が発生している領域まで（日向灘の領域はプレート境界面の深さ約 40km まで）としている。そして、震源断層域の中で、強震断層モデルを検討する強震断層域は、プレート境界面の深さ 10km より深い領域としている。

以上のことから、今回調査では、内閣府による南海トラフ巨大地震を被害地震として設定する。この想定地震は、前回調査でも採用されている。なお、内閣府の地震想定については、2025 年に更新版が示されており、震源モデルについては、2012 年と同等であることを確認している。

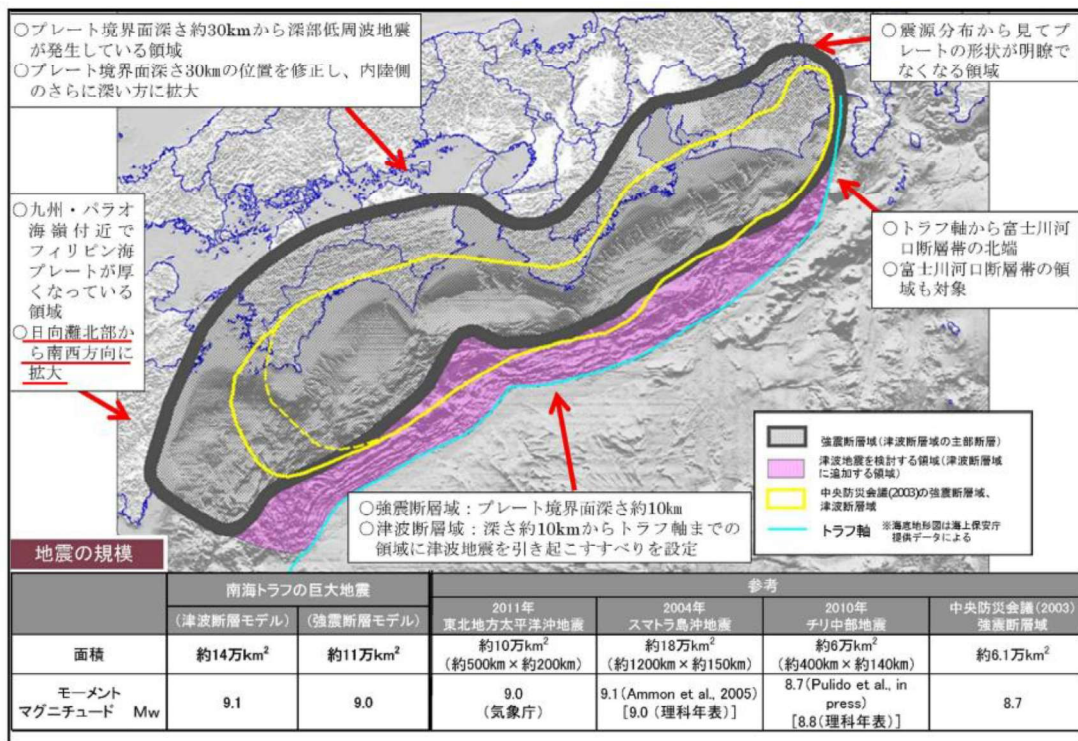


図 2.3-3 南海トラフ巨大地震の想定震源断層域

(出典：「資料1 - 1 南海トラフの巨大地震による津波高・震度分布等」2012年8月, 内閣府)

## ② 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震

地震本部では、「日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価（第二版）」（令和4年）を公表しており、安芸灘～伊予灘～豊後水道で発生する地震について、次のような評価を行っている。

- 過去の地震の余震分布や微小地震の発生分布を踏まえ、図 2.3-4 の境界線 10～13 の範囲を評価対象領域とした。
- この領域内では、過去に M6.7～7.4 の地震が 7 回発生している。代表的なものとして、1905 年の芸予地震（M7.2）や 2001 年芸予地震（M6.7）、2024 年の豊後水道の地震（M6.6）などがある。将来的に、同等の地震が発生する可能性がある。

図 2.3-4 や過去に発生した地震の記録より、この領域で地震が発生した場合には本県への影響が大きくなる可能性がある。よって、「安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震」を想定地震として採用した。本地震については、図 2.3-4 に示す地震の発生領域を踏まえ、本領域において最大クラスの被害が想定される震源を設定する。なお、前回調査では、初版の長期評価に基づき、同等の想定地震を設定している。

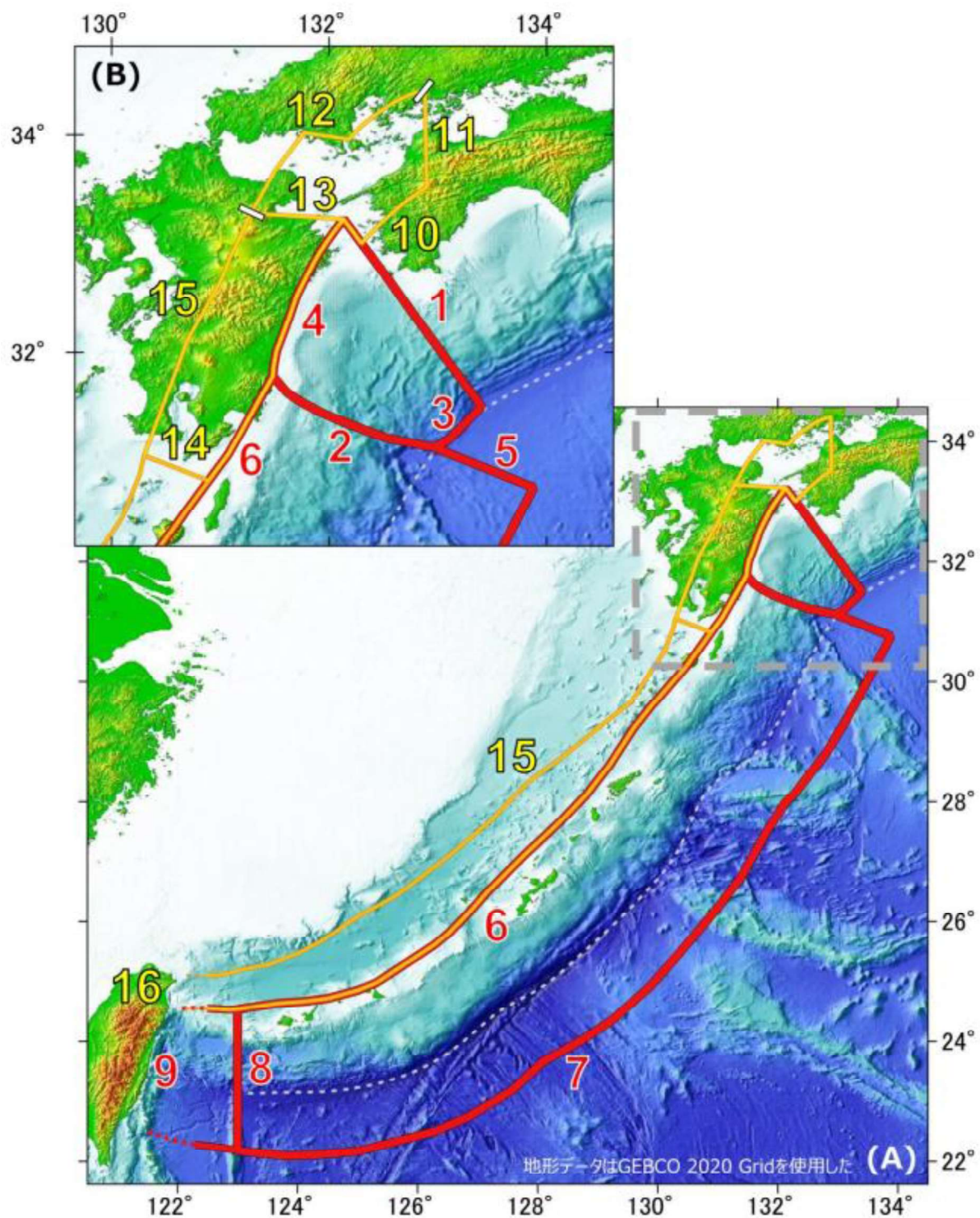


図 2.3-4 地震本部による長期評価対象領域の境界線

【安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震：(B)の10～13で囲まれている領域】  
 (出典：日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価（第二版）（地震本部，令和4年））

### ③～⑧ 中央構造線断層帯

愛媛県周辺の主な活断層として挙げられる中央構造線断層帯については、地震本部による最新の長期評価が2017年に公表されている。長期評価の概略を次に示す。

- 初版である過年度(2011年)の長期評価後に得られた新たな知見に基づき検討を行い、第二版として取りまとめた。
- 過去の活動時期や断層の形状等の違い、平均的なずれの速度などから、中央構造線断層帯全体を10の区間に分けて評価した(過年度の長期評価では6区間)(図 2.3-5、図 2.3-6 参照)。
- 区間ごとに調査データを整理し、想定される将来の地震規模や発生確率についてとりまとめた。
- 複数の区間や全体が同時に活動するケースも否定できないが、その場合の地震発生確率は不明である。ただし、各区間の発生確率を超えないものと思われる

今回調査の設定基準に基づき、地震本部の長期評価による10区間の中から、県内への影響が大きいと考えられる次の5つの区間を今回調査の想定地震とする。また、複数区間が同時に活動する場合について、愛媛県に近く、比較的区間が広い3つの区間「讃岐山脈南縁西部区間」「石鎚山脈北縁西部区間」「伊予灘区間」を対象とする。

#### 【対象区間】

- 讃岐山脈南縁西部区間
- 石鎚山脈北縁
- 石鎚山脈北縁西部区間
- 伊予灘区間
- 豊予海峡-由布院区間

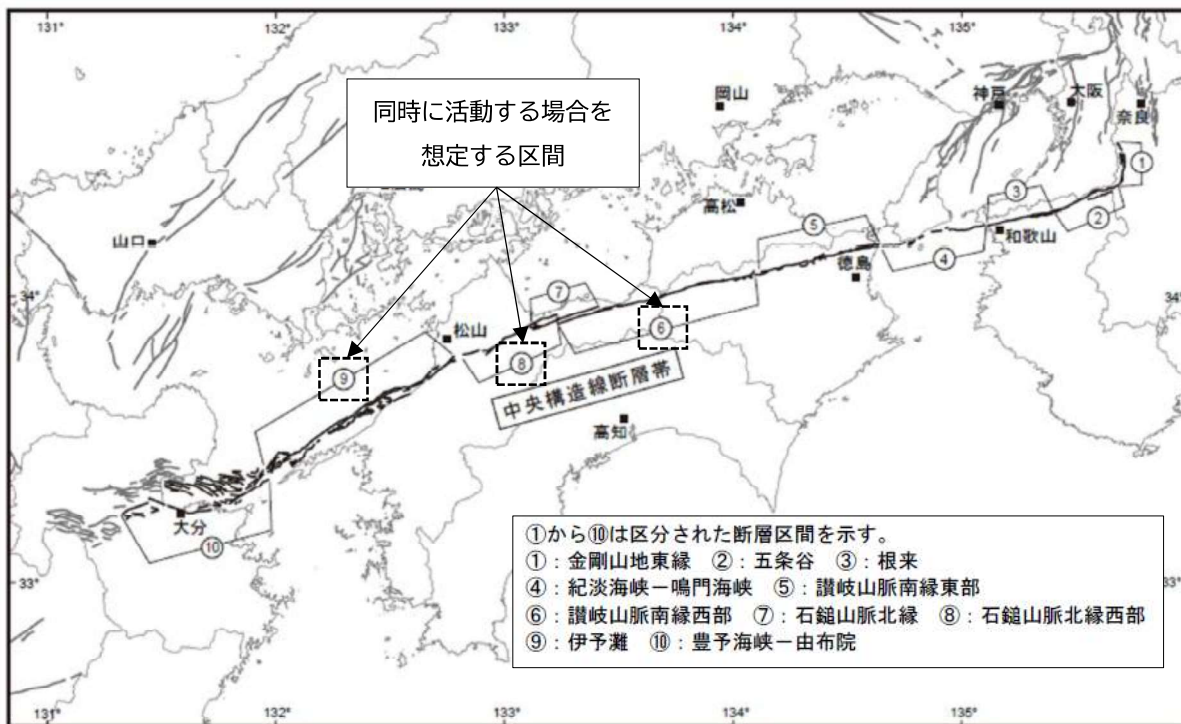


図 2.3-5 中央構造線断層帯の概略位置図  
 (出典：「中央構造線断層帯(金剛山地東縁-由布院)の長期評価(第二版)」。  
 平成29年12月19日，一部編集)

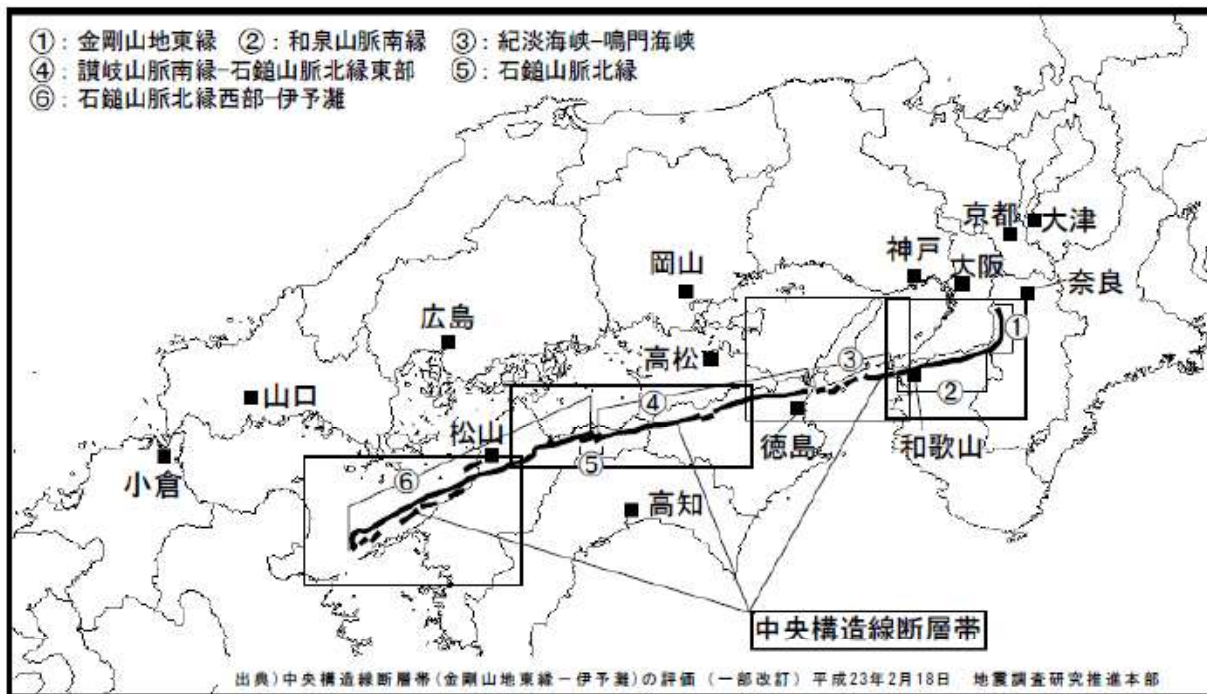


図 2.3-6 参考：中央構造線断層帯概略位置図(全活動6区間) 出典：愛媛県(2013)

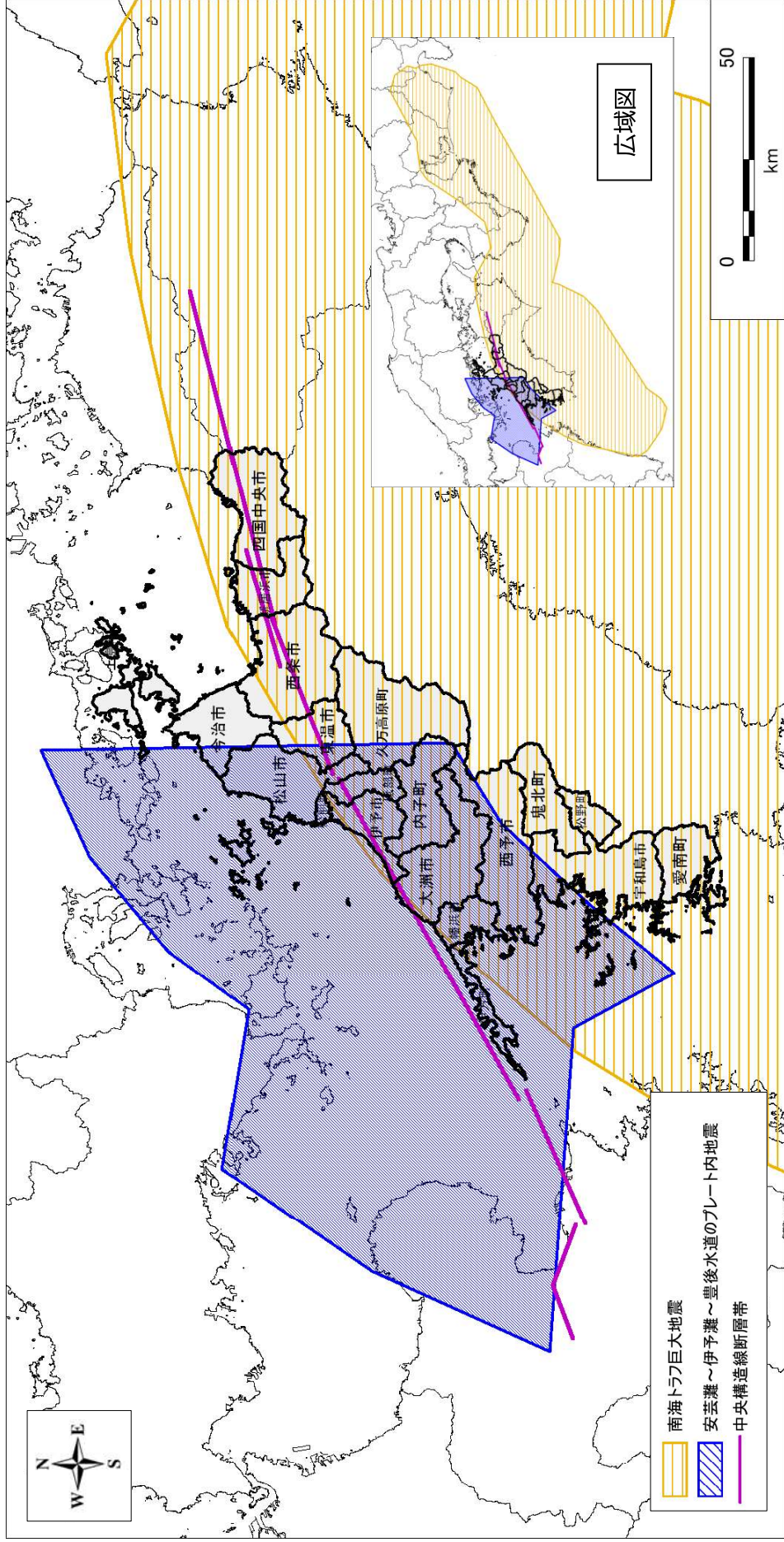


図 2.3-7 想定地震 全体位置図

### (3) 震源モデルの設定

#### ① 南海トラフ巨大地震

南海トラフ巨大地震については、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会」（以下「内閣府（2012）」という。）で震源断層モデルが検討されている。この震源断層モデルは、1707年宝永地震以降の5地震の震度を重ね合わせた震度分布を概ね再現できるような中央防災会議（2003）の検討成果に基づいた強震動生成域（震源断層の中でも、強い揺れを生じさせる領域）の配置を「基本ケース」としている。

一方で、強震動生成域の位置が少し変わる可能性や、やや深い場所にある可能性も考えられることから、基本ケースから強震動生成域の位置を移動させたケースを加えた、次の4ケースを対象に震源モデルの設定と地震動の予測を行っている。

○基本ケース：中央防災会議による東海地震、東南海・南海地震の検討結果を参考に設定したもの

○東側ケース：基本ケースの強震動生成域を、やや東側の場所に設定したもの

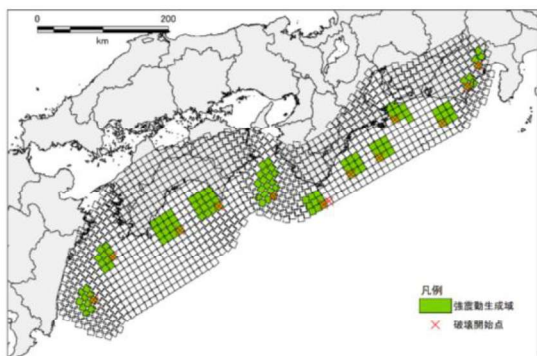
○西側ケース：基本ケースの強震動生成域を、やや西側の場所に設定したもの

○陸側ケース：基本ケースの強震動生成域を、陸域側の深い場所に設定したもの

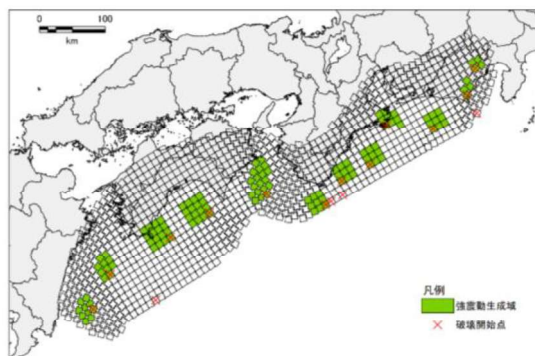
さらに、強震波形計算による結果では、地盤条件等により地震波が集中するような場合や局所的に地震動が大きくなるような条件が考慮できていない場合があり、震源断層からの距離によって求められる経験的手法による結果も加えて震度分布を求めている。

今回調査では、前回調査と同様に、これらの各ケース（基本ケース、東側ケース、西側ケース、陸側ケース、経験的手法）を重ね合わせて最大となるものを南海トラフ巨大地震の想定結果とする。

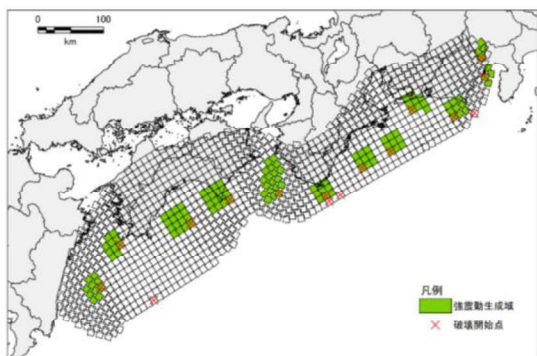
基本ケース



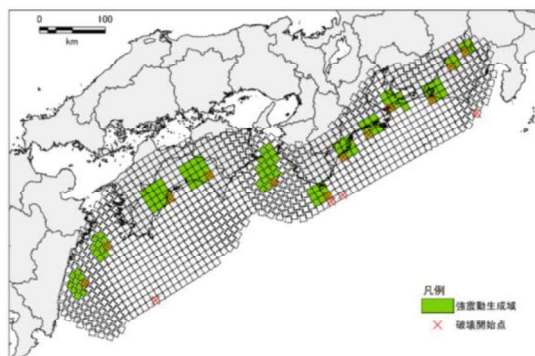
西側ケース



東側ケース



陸側ケース



経験的手法

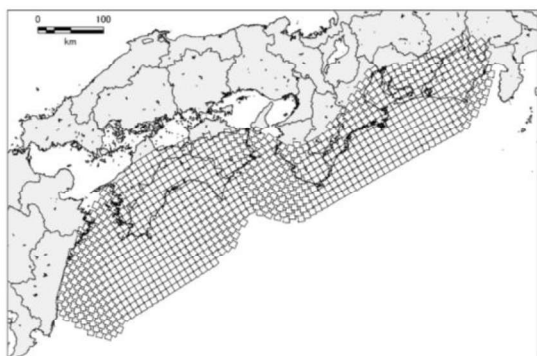


図 2.3-8 内閣府による南海トラフ巨大地震のケースごとの震源断層モデル

表 2.3-4 内閣府 (2012) による南海トラフ巨大地震のケースごとの震源断層パラメータ (1/2)

基本ケース

全体	110,150			
	面積 [km <sup>2</sup> ]	応力パラメータ [MPa]	平均すべり量 [m]	地震モーメント [Nm]
全体	110,150	2.3	7.6	3.4E+22
Mw	9.0			
各セグメント	東海域 駿河湾域			
	セグメント名	日向灘	南海域	東海域
各セグメント	面積 [km <sup>2</sup> ]	19,053	57,790	29,419
	平均応力降下量 [MPa]	4	4	4
	平均すべり量 [m]	5.5	9.3	6.9
	地震モーメント [Nm]	4.3E+21	2.0E+22	8.3E+21
Mw		8.4	8.8	8.5
強震動生成域 SMGA	面積 [km <sup>2</sup> ]	2,047	6,109	3,661
	面積比	11%	11%	12%
	平均すべり量 [m]	11.1	18.6	13.7
	地震モーメント [Nm]	9.3E+20	4.7E+21	2.1E+21
Mw		7.9	8.4	8.1
強震動生成域 SMGA①	面積 [km <sup>2</sup> ]	1,018	1,953	910
	応力パラメータ [MPa]	34.5	46.4	45.4
	平均すべり量 [m]	11.0	20.5	13.7
	地震モーメント [Nm]	4.6E+20	1.6E+21	5.1E+20
Mw		7.7	8.1	7.7
強震動生成域 SMGA②	面積 [km <sup>2</sup> ]	1,029	1,615	914
	応力パラメータ [MPa]	34.5	46.4	45.4
	平均すべり量 [m]	11.1	18.7	13.7
	地震モーメント [Nm]	4.7E+20	1.2E+21	5.1E+20
Mw		7.7	8.0	7.7
強震動生成域 SMGA③	面積 [km <sup>2</sup> ]		1,612	913
	応力パラメータ [MPa]		46.4	45.4
	平均すべり量 [m]		18.7	13.7
	地震モーメント [Nm]		1.2E+21	5.1E+20
Mw			8.0	7.7
強震動生成域 SMGA④	面積 [km <sup>2</sup> ]		929	924
	応力パラメータ [MPa]		46.4	45.4
	平均すべり量 [m]		14.2	13.8
	地震モーメント [Nm]		5.4E+20	5.2E+20
Mw			7.8	7.7
背景領域	面積 [km <sup>2</sup> ]	17,006	47,681	25,758
	応力パラメータ [MPa]	3.7	3.7	3.7
	平均すべり量 [m]	4.9	8.1	5.9
	地震モーメント [Nm]	3.4E+21	1.6E+22	6.2E+21
Mw		8.3	8.7	8.5
その他	破壊伝播速度 [km/s]	2.7		
	fmax [Hz]	6.0		
	剛性率 [Nm <sup>2</sup> ]	4.1E+10		

西側ケース

全体	110,150			
	面積 [km <sup>2</sup> ]	応力パラメータ [MPa]	平均すべり量 [m]	地震モーメント [Nm]
全体	110,150	2.3	7.6	3.4E+22
Mw	9.0			
各セグメント	東海域 駿河湾域			
	セグメント名	日向灘	南海域	東海域
各セグメント	面積 [km <sup>2</sup> ]	19,053	57,790	29,419
	平均応力降下量 [MPa]	4	4	4
	平均すべり量 [m]	5.5	9.3	6.9
	地震モーメント [Nm]	4.3E+21	2.0E+22	8.3E+21
Mw		8.4	8.8	8.5
強震動生成域 SMGA	面積 [km <sup>2</sup> ]	2,048	6,098	3,672
	面積比	11%	11%	12%
	平均すべり量 [m]	11.1	18.6	13.7
	地震モーメント [Nm]	9.3E+20	4.6E+21	2.1E+21
Mw		7.9	8.4	8.1
強震動生成域 SMGA①	面積 [km <sup>2</sup> ]	1,019	1,943	910
	応力パラメータ [MPa]	34.5	46.5	45.3
	平均すべり量 [m]	11.1	20.5	13.7
	地震モーメント [Nm]	4.6E+20	1.6E+21	5.1E+20
Mw		7.7	8.1	7.7
強震動生成域 SMGA②	面積 [km <sup>2</sup> ]	1,029	1,614	918
	応力パラメータ [MPa]	34.5	46.5	45.3
	平均すべり量 [m]	11.1	18.7	13.7
	地震モーメント [Nm]	4.7E+20	1.2E+21	5.2E+20
Mw		7.7	8.0	7.7
強震動生成域 SMGA③	面積 [km <sup>2</sup> ]		1,612	915
	応力パラメータ [MPa]		45.5	45.3
	平均すべり量 [m]		18.7	13.7
	地震モーメント [Nm]		1.2E+21	5.1E+20
Mw			8.0	7.7
強震動生成域 SMGA④	面積 [km <sup>2</sup> ]		929	929
	応力パラメータ [MPa]		46.5	45.3
	平均すべり量 [m]		14.2	13.8
	地震モーメント [Nm]		5.4E+20	5.3E+20
Mw			7.8	7.7
背景領域	面積 [km <sup>2</sup> ]	17,005	47,692	25,747
	応力パラメータ [MPa]	3.7	3.7	3.7
	平均すべり量 [m]	4.9	8.1	5.9
	地震モーメント [Nm]	3.4E+21	1.6E+22	6.2E+21
Mw		8.3	8.7	8.5
その他	破壊伝播速度 [km/s]	2.7		
	fmax [Hz]	6.0		
	剛性率 [Nm <sup>2</sup> ]	4.1E+10		

表 2.3-5 内閣府 (2012) による南海トラフ巨大地震のケースごとの震源断層パラメータ (2/2)

東側ケース

陸側ケース

全体	面積 [km <sup>2</sup> ]		110,150		陸河湾域	
	応力パラメータ [MPa]	平均すべり量 [m]	2.3	7.6	2.3	7.6
	地震モーメント [Nm]	Mw	3.4E+22	9.0	3.4E+22	9.0
各セグメント	セグメント名	日向灘	南海域	東海域	陸河湾域	
	面積 [km <sup>2</sup> ]	19,053	53,790	29,419	7,888	
	平均応力降下量 [MPa]	4	4	4	4	
	平均すべり量 [m]	5.5	9.3	6.9	3.6	
強震動生成域 SMGA	地震モーメント [Nm]	4.3E+21	2.0E+22	8.3E+21	1.2E+21	
	Mw	8.4	8.8	8.5	8.0	
	面積 [km <sup>2</sup> ]	2,037	6,118	3,659	879	
	面積比	11%	11%	12%	11%	
強震動生成域 SMGA①	平均すべり量 [m]	11.1	18.6	13.7	7.1	
	地震モーメント [Nm]	9.2E+20	4.8E+21	2.1E+21	2.6E+20	
	Mw	7.9	8.4	9.1	7.5	
	面積 [km <sup>2</sup> ]	1,014	1,958	913	448	
強震動生成域 SMGA②	応力パラメータ [MPa]	34.6	46.4	45.4	33.9	
	平均すべり量 [m]	11.0	20.5	13.7	7.2	
	地震モーメント [Nm]	4.6E+20	1.6E+21	5.1E+20	1.3E+20	
	Mw	7.7	8.1	7.7	7.3	
強震動生成域 SMGA③	面積 [km <sup>2</sup> ]	1,023	1,616	915	431	
	応力パラメータ [MPa]	34.6	46.4	45.4	33.9	
	平均すべり量 [m]	11.1	18.7	13.7	7.0	
	地震モーメント [Nm]	4.6E+20	1.2E+21	5.2E+20	1.2E+20	
強震動生成域 SMGA④	Mw	7.7	8.0	7.7	7.3	
	面積 [km <sup>2</sup> ]	7.7	1,612	913	431	
	応力パラメータ [MPa]	46.6	45.4	45.4	33.9	
	平均すべり量 [m]	18.6	13.7	13.7	7.0	
背景領域	地震モーメント [Nm]	1.2E+21	5.1E+20	5.2E+20	1.2E+20	
	Mw	8.0	7.7	7.7	7.3	
	面積 [km <sup>2</sup> ]	932	918	918	431	
	応力パラメータ [MPa]	46.4	45.4	45.4	33.9	
その他	平均すべり量 [m]	14.2	13.8	13.8	7.0	
	地震モーメント [Nm]	5.4E+20	5.2E+20	5.2E+20	1.2E+20	
	Mw	7.8	7.7	7.7	7.3	
	面積 [km <sup>2</sup> ]	17,016	47,672	25,760	7,009	
その他	応力パラメータ [MPa]	3.7	3.7	3.7	3.7	
	平均すべり量 [m]	4.9	8.1	5.9	3.1	
	地震モーメント [Nm]	3.4E+21	1.6E+22	6.2E+21	8.9E+20	
	Mw	8.3	8.7	8.5	7.9	
その他	破壊伝播速度 [km/s]	2.7		2.7		
	fmax [Hz]	6.0		6.0		
剛性率 [Nm <sup>2</sup> ]			4.1E+10		4.1E+10	

全体	面積 [km <sup>2</sup> ]		110,150		陸河湾域	
	応力パラメータ [MPa]	平均すべり量 [m]	2.3	7.6	2.3	7.6
	地震モーメント [Nm]	Mw	3.4E+22	9.0	3.4E+22	9.0
各セグメント	セグメント名	日向灘	南海域	東海域	陸河湾域	
	面積 [km <sup>2</sup> ]	19,053	57,790	29,419	7,888	
	平均応力降下量 [MPa]	4	4	4	4	
	平均すべり量 [m]	5.5	9.3	6.9	3.6	
強震動生成域 SMGA	地震モーメント [Nm]	4.3E+21	2.0E+22	8.3E+21	1.2E+21	
	Mw	8.4	8.8	8.5	8.0	
	面積 [km <sup>2</sup> ]	2,112	6,130	3,714	836	
	面積比	11%	11%	13%	11%	
強震動生成域 SMGA①	平均すべり量 [m]	11.1	18.6	13.7	7.1	
	地震モーメント [Nm]	9.6E+20	4.7E+21	2.1E+21	2.4E+20	
	Mw	7.9	8.4	9.1	7.5	
	面積 [km <sup>2</sup> ]	1,028	1,960	922	419	
強震動生成域 SMGA②	応力パラメータ [MPa]	34.0	46.3	45.0	34.8	
	平均すべり量 [m]	10.9	20.5	13.7	7.1	
	地震モーメント [Nm]	4.6E+20	1.7E+21	5.2E+20	1.2E+20	
	Mw	7.7	8.1	7.7	7.3	
強震動生成域 SMGA③	面積 [km <sup>2</sup> ]	1,084	1,624	914	417	
	応力パラメータ [MPa]	34.0	46.3	45.0	34.8	
	平均すべり量 [m]	11.2	18.7	13.6	7.1	
	地震モーメント [Nm]	5.0E+20	1.2E+21	5.1E+20	1.2E+20	
強震動生成域 SMGA④	Mw	7.7	8.0	7.7	7.3	
	面積 [km <sup>2</sup> ]	7.7	1,614	936	431	
	応力パラメータ [MPa]	46.3	45.0	45.0	33.9	
	平均すべり量 [m]	18.6	13.8	13.8	7.0	
背景領域	地震モーメント [Nm]	1.2E+21	5.1E+20	5.3E+20	1.2E+20	
	Mw	8.0	7.7	7.7	7.3	
	面積 [km <sup>2</sup> ]	932	942	942	431	
	応力パラメータ [MPa]	46.3	45.0	45.0	33.9	
その他	平均すべり量 [m]	14.2	13.8	13.8	7.0	
	地震モーメント [Nm]	5.4E+20	5.3E+20	5.3E+20	1.2E+20	
	Mw	7.8	7.8	7.8	7.3	
	面積 [km <sup>2</sup> ]	16,941	47,660	25,705	7,052	
その他	応力パラメータ [MPa]	3.7	3.7	3.7	3.7	
	平均すべり量 [m]	4.8	8.1	5.9	3.1	
	地震モーメント [Nm]	3.4E+21	1.6E+22	6.2E+21	9.1E+20	
	Mw	8.3	8.7	8.5	7.9	
その他	破壊伝播速度 [km/s]	2.7		2.7		
	fmax [Hz]	6.0		6.0		
剛性率 [Nm <sup>2</sup> ]			4.1E+10		4.1E+10	

② 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震

前回調査を基に、次の方針に基づいて震源モデルを設定する。震源モデルの位置については、長期評価によって地震発生が想定される領域が変化していることを踏まえ、より浅部側の領域（県の内陸側）へ配置するモデル（モデルC）を新たに設定する。

表 2.3-6 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震の震源モデルの作成方針

- 震源モデルの走向・傾斜は、プレートの沈み込みの向きを参考に、愛媛県に影響が大きくなるように設定（NE-SW 走向、NW 傾斜）する。
- 震源モデルの長さ×幅は、J-SHIS（（独）防災科学技術研究所の「地震ハザードステーション」）を参考に、50×50km とする。
- 震源モデルの位置は、震源域が広範囲であることから、次の3つを想定する。  
 モデルA：松山市を中心とした北側地域  
 モデルB：南予地域を考慮した南側地域  
 モデルC：最新の長期評価による震源領域を考慮した東南側地域
- ※ モデルA,B は県前回調査の設定を踏襲、モデルC は最新の長期評価による震源領域のうち、愛媛県の直下にあたる範囲を想定して新たに設定する。なお、国後半島沖～山口県にかけての領域については、その他のモデルと比べて愛媛県からの距離が大きくなり、相対的に影響が少ないものと判断する。
- 強震動生成域は、愛媛県に影響が大きくなるように浅い位置に設定し、建物密度の高い地域に第1強震動生成域（大きい方）を設定する。
- 想定したモデルA～C に対して、破壊開始点を2つずつ設定する。

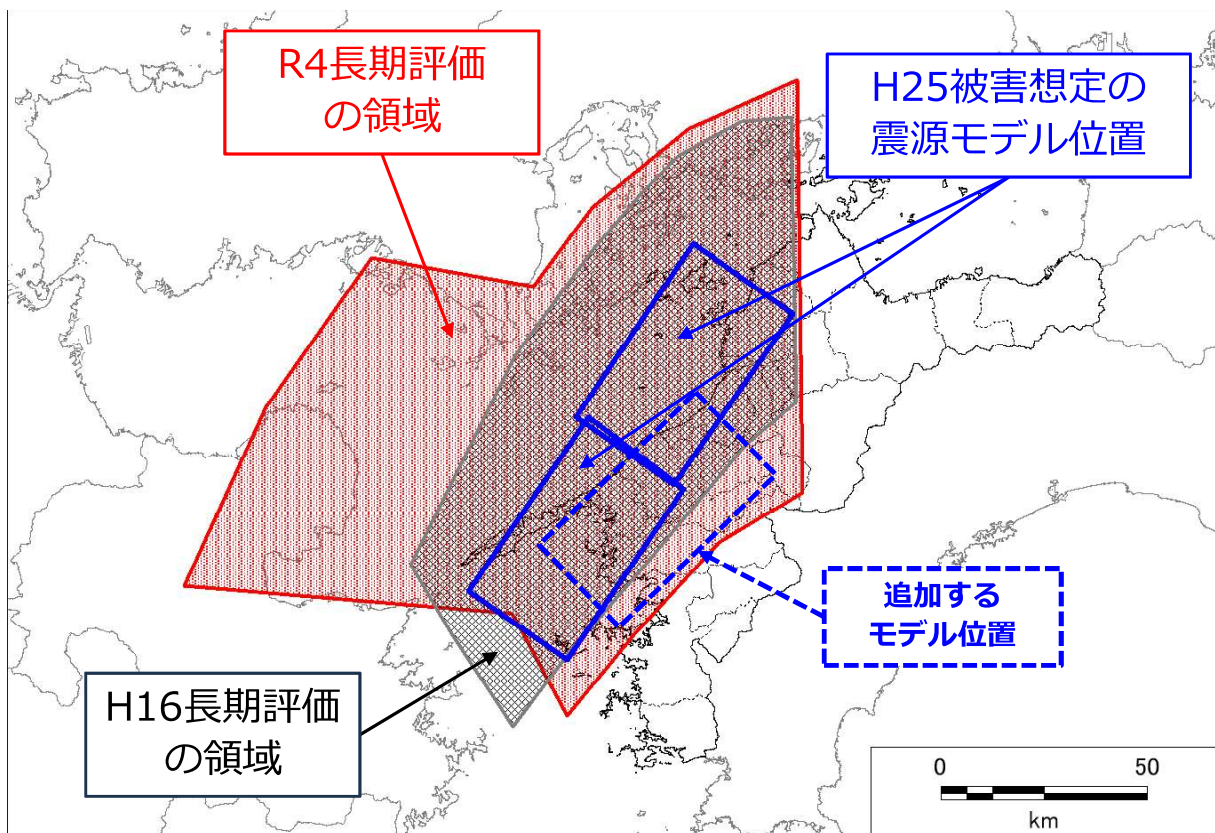


図 2.3-9 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震の震源領域

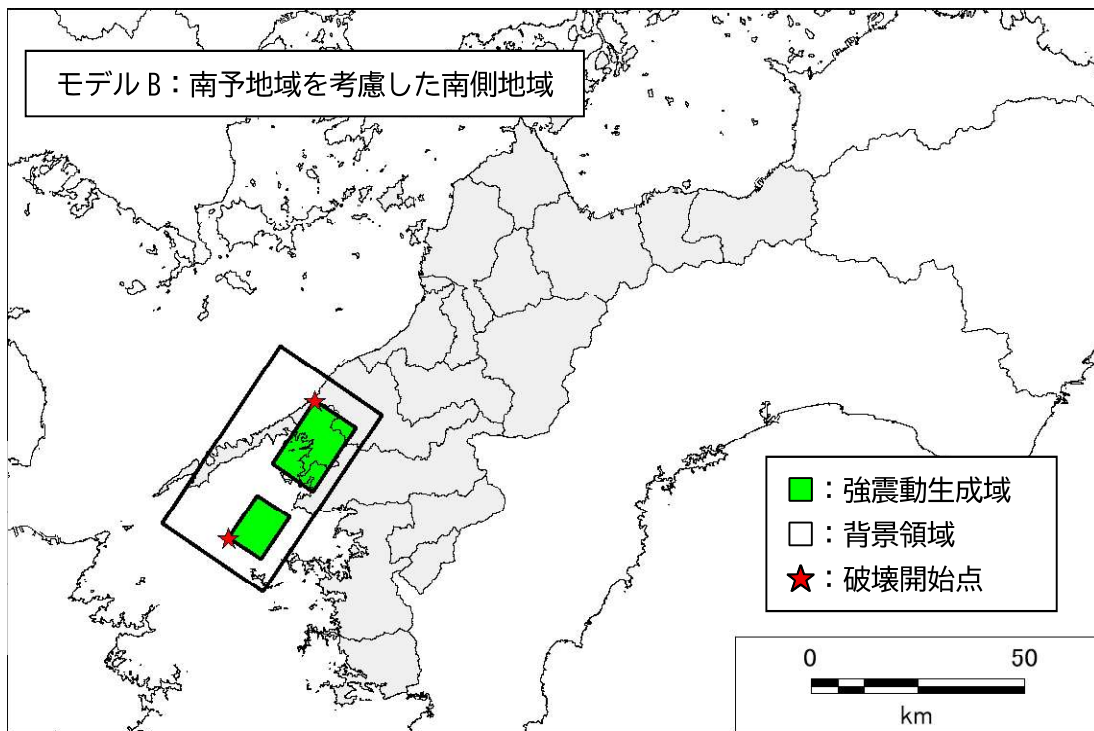
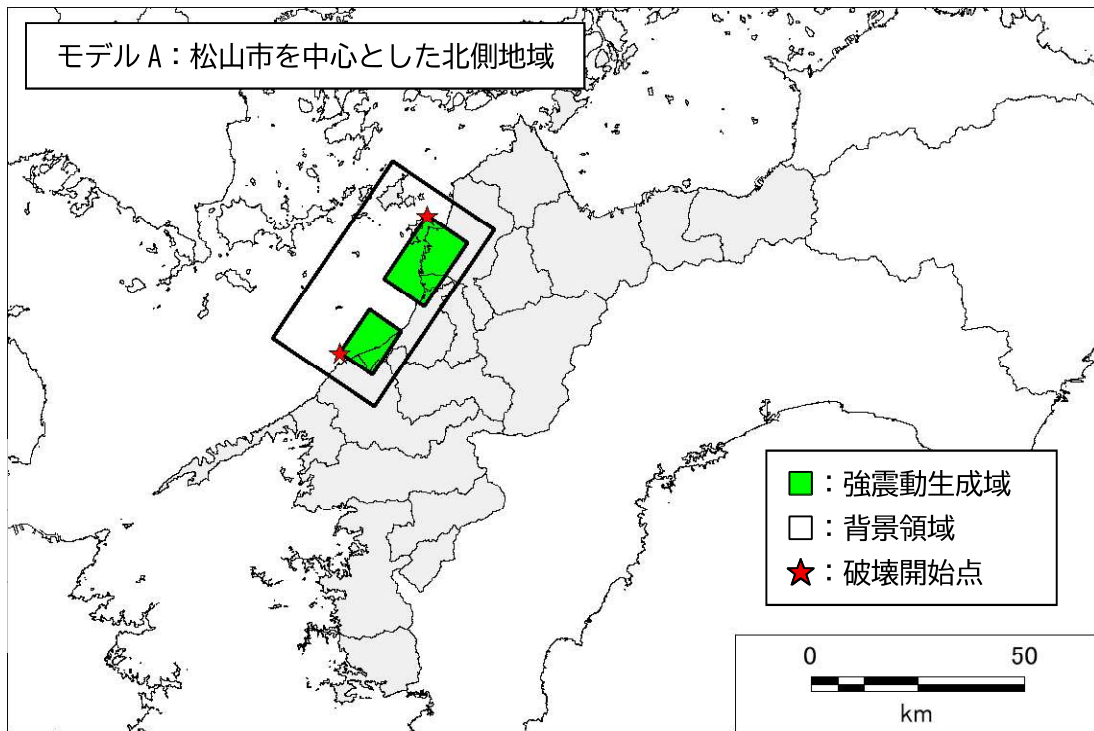


図 2.3-10 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震のケースごとの震源断層モデル (1/2)

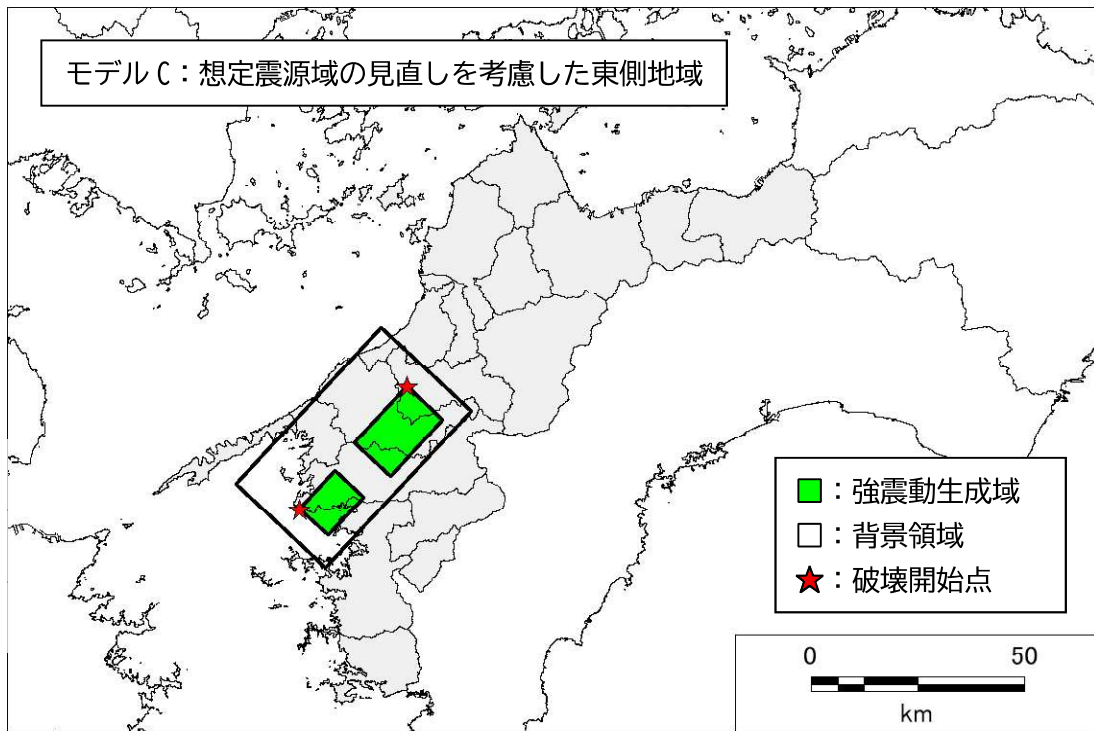


図 2.3-11 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震のケースごとの震源断層モデル (2/2)

表 2.3-7 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震の震源断層パラメータ

項目		値	設定方法		
マグニチュードM		7.4			
傾斜角 $\delta$		55°			
すべり角 $\gamma$		°			
上端深さ		40 km	微小地震の発生と地震基盤深さから		
断層モデル長さLmodel		50 km	断層モデルメッシュサイズ		
断層モデル幅Wmodel		50 km	断層モデルメッシュサイズ		
断層モデル面積Smodel		2500 km <sup>2</sup>	宇津・関(1955) $\log S=M-4$		
地震モーメントMo		2.00E+20 Nm	佐藤(1989) $\log Mo=1.5M+9.2$		
モーメントマグニチュードMw		7.5	$Mw=(\log Mo-9.1)/1.5$		
断層モデルの等価半径R		28.2 km			
静的応力降下量 $\Delta\sigma$		3.9 MPa	$\Delta\sigma=7/16Mo/R^3$		
地震発生層の密度 $\rho$		2700.0 kg/m <sup>3</sup>			
S波速度 $\beta$		3.40 km/s			
剛性率 $\mu$		3.12E+10 N/m <sup>2</sup>	$\mu=\rho\beta^2$		
平均すべり量Dmodel		2.6 m	$Mo/(\mu Smodel)$		
短周期レベルA		3.10E+19 Nm/s <sup>2</sup>	$A=2.46\cdot 10^{16}\times(Mo\times 10^5)^{1/3}$		
SMGA個数		2	地震規模より		
微視的 パラメータ	全	面積Sa	550.0 km <sup>2</sup>	$Sa=0.22\times S$	
	S	等価半径r	13.2 km		
	M	平均すべり量Da	5.1 m	$Da=\gamma D\cdot Dmodel, \gamma D=2.0$	
	G	実効応力 $\sigma_a$	25.9 MPa	$\sigma_a=\Delta\sigma_a=7/16\cdot Mo/(r^2\cdot R)$	
	A	地震モーメントMoa	8.78E+19 Nm	$Moa=\mu DaSa$	
	第1	面積Sa1	366.7 km <sup>2</sup>	$Sa1=Sa$	
		等価半径r1	10.8 km	$r1=(Sa1/\pi)^{1/2}$	
		等価半径比 $\gamma1$	0.8	$\gamma1=r1/r$	
		S	平均すべり量Da1	5.7 m	$Da1=(\gamma1/\sum\gamma i^3)\cdot Da$
		G	実効応力 $\sigma a1$	25.9 MPa	
		A	SMGAMoa1	6.49E+19 Nm	
	第2	面積Sa2	183.3 km <sup>2</sup>		
		等価半径r2	7.6 km	$r2=(Sa2/\pi)^{1/2}$	
		等価半径比 $\gamma2$	0.6	$\gamma2=r2/r$	
		S	平均すべり量Da2	4.4 m	$Da2=(\gamma2/\sum\gamma i^3)\cdot Da$
		G	実効応力 $\sigma a2$	25.9 MPa	$\sigma a2=\sigma a$
		A	SMGAMoa2	2.54E+19 Nm	
	背景領域	計算用面積	192.0 km <sup>2</sup>	断層モデルメッシュサイズ	
		面積Sb	1950.0 km <sup>2</sup>	$Sb=Smodel-Sa$	
		平均すべり量Db	1.8 m	$Db=Mo/(\mu\cdot Sb)$	
		断層アスペクト比	1.0		
		背景領域の幅lb	44 km		
		実効応力 $\sigma b$	3.6 MPa	$\sigma b=(Db/lb)\cdot(\sqrt{\pi}/Da)\cdot r\cdot\sum\gamma i^3\cdot\sigma a$	
		地震モーメントMob	1.12E+20 Nm	$Mob=Mo-Moa$	
計算用面積		1948.0 km <sup>2</sup>	断層モデルメッシュサイズ		

### ③～⑧ 中央構造線断層帯

中央構造線断層帯の震源モデルは、表 2.3-8 の作成方針に基づき設定する。各区間の震源モデルの位置は、図 2.3-12 のとおりである。また、区間ごとのモデル設定について図 2.3-13～図 2.3-18 に示す。

表 2.3-8 中央構造線断層帯の震源モデルの作成方針

- 中央構造線断層帯の傾斜角については、県内で地震動の影響が広範囲に及ぶ「中角度（40度）」を基本とする。
- アスペリティの位置は、最新の知見により設定されている J-SHIS による設定を採用する。位置設定が複数示されている場合には、県内への影響が大きくなるようなものを選定する。
- 選定したモデル設定に対して、破壊開始点の異なる各 2 ケースを想定する。

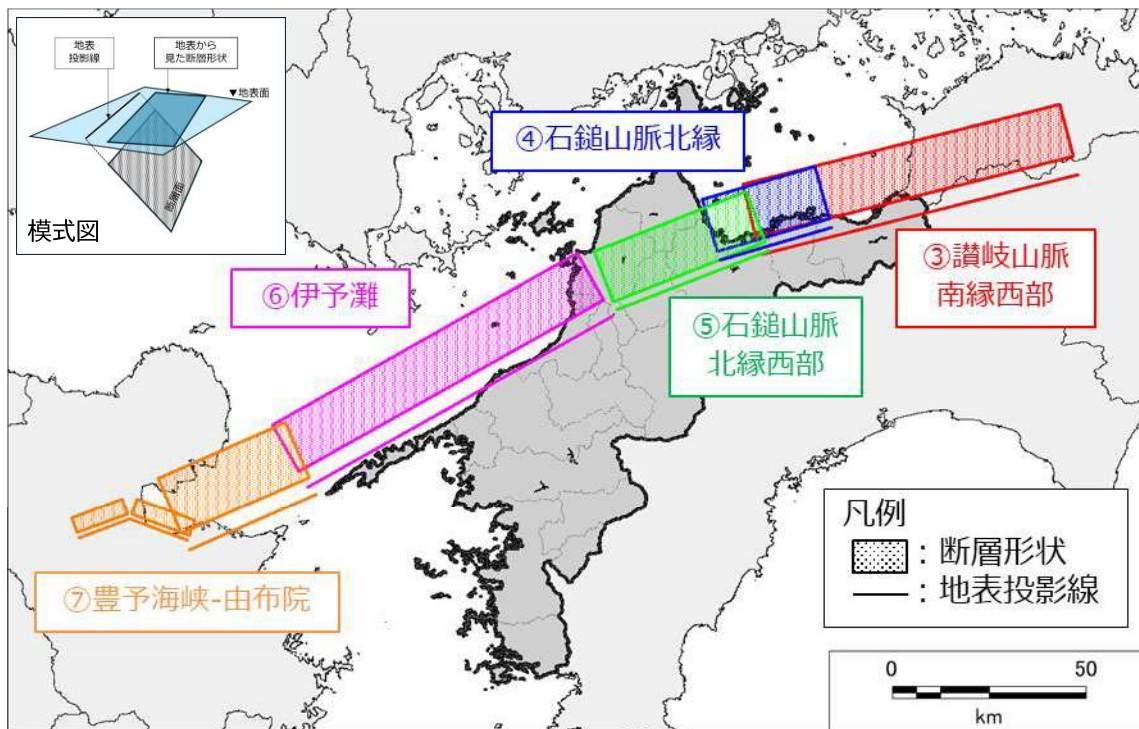


図 2.3-12 中央構造線断層帯各区間の震源モデル設定位置

■ : アスペリティ、□ : 背景領域、★ : 破壊開始点

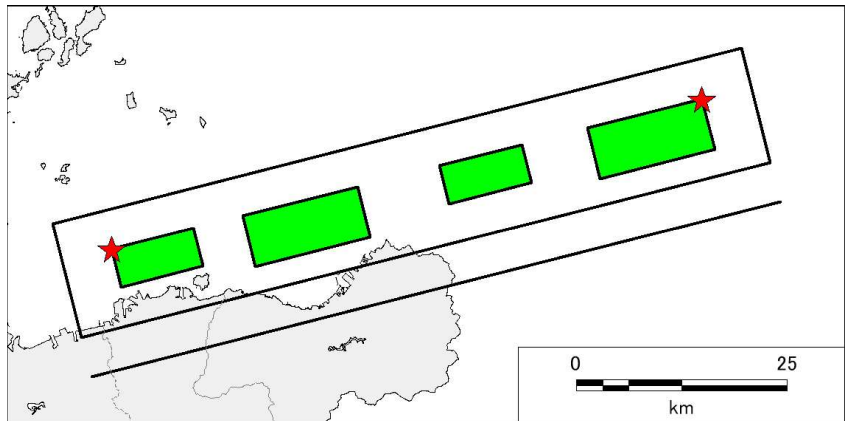


図 2.3-13 中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）の震源断層設定

■ : アスペリティ、□ : 背景領域、★ : 破壊開始点

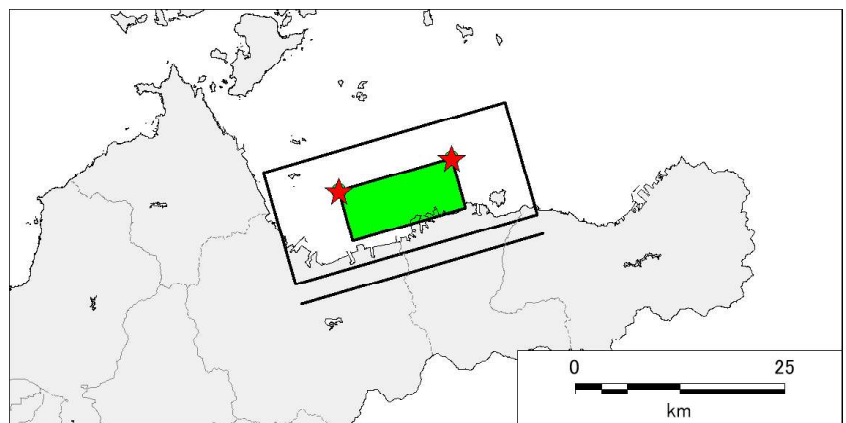


図 2.3-14 中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）の震源断層設定

■ : アスペリティ、□ : 背景領域、★ : 破壊開始点

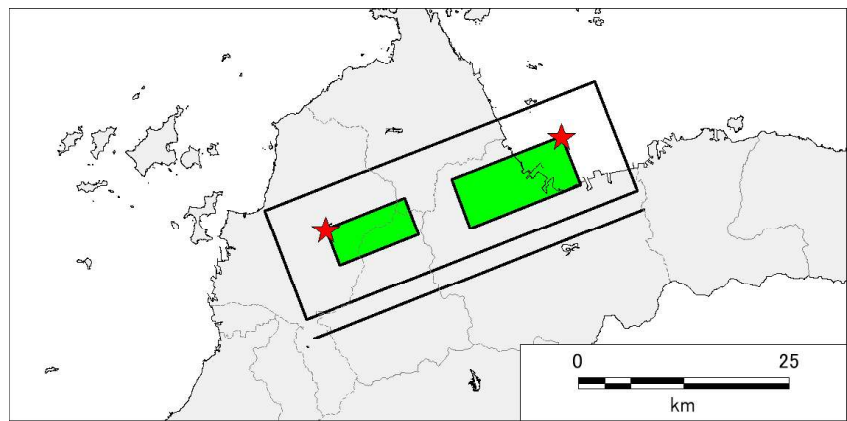


図 2.3-15 中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）の震源断層設定

■ : アスペリティ、□ : 背景領域、★ : 破壊開始点

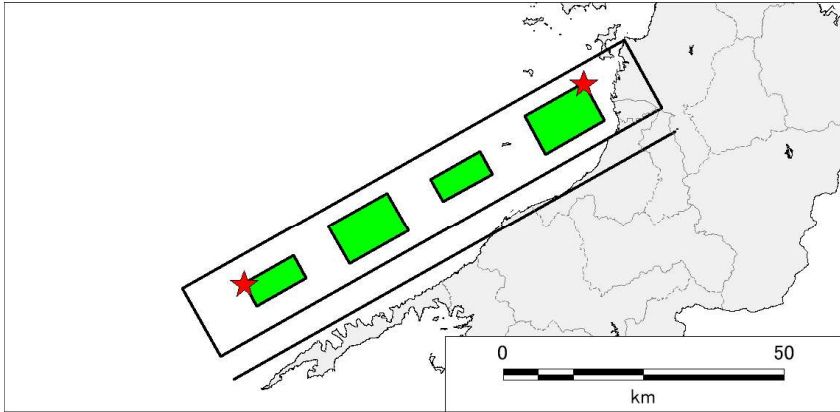


図 2.3-16 中央構造線断層帯（伊予灘区間）の震源断層設定

■ : アスペリティ、□ : 背景領域、★ : 破壊開始点

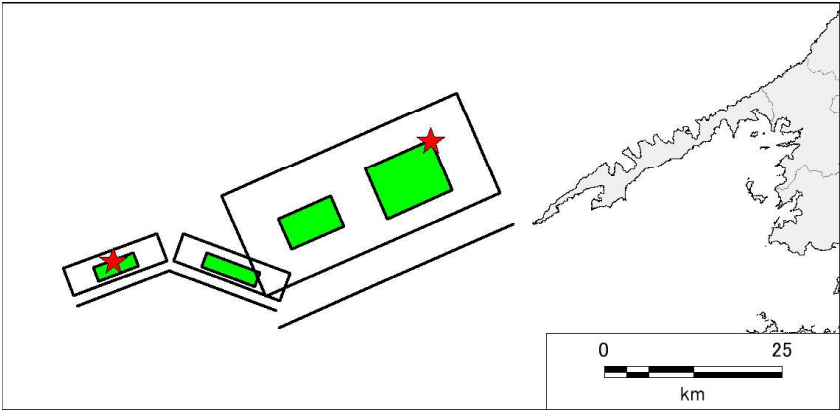


図 2.3-17 中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）の震源断層設定

■ : 強震動生成域、□ : 背景領域、★ : 破壊開始点

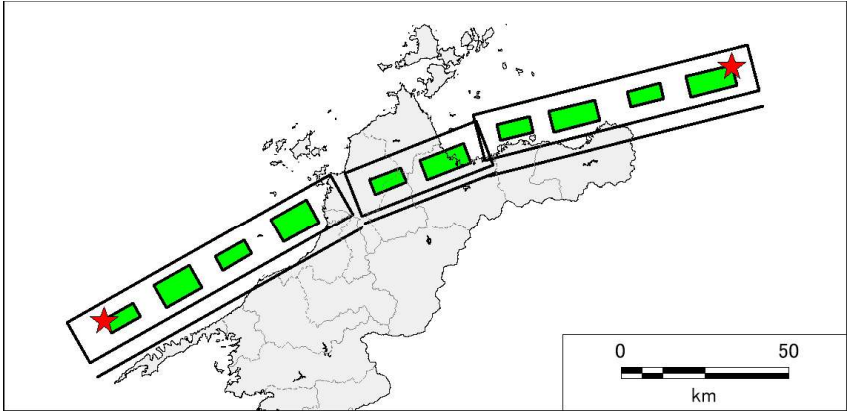


図 2.3-18 中央構造線断層帯（3区間連動）の震源断層設定

表 2.3-9 中央構造線断層帯の震源断層パラメータ (1/3)

讃岐山脈南縁西部区間

活断層長さL [km]	82
マグニチュードM	8.0
走向角 $\theta$ [°]	255.8
傾斜角 $\delta$ [°]	40
すべり角 $\nu$ [°]	180
上端深さ [km]	4
断層モデル長さ $L_{model}$ [km]	84
断層モデル幅 $W_{model}$ [km]	18
断層モデル面積 $S_{model}$ [km <sup>2</sup> ]	1512
地震モーメント $M_0$ [Nm]	1.28E+20
モーメントマグニチュード $M_w$	7.3
静的応力降下量 $\Delta\sigma$ [Mpa]	3.1
地震発生層の密度 $\rho$ [kg/m <sup>3</sup> ]	2.7
地震発生層のS波速度 $\beta$ [km/s]	3.4
剛性率 $\mu$ [N/m <sup>2</sup> ]	3.12E+10
平均すべり量 $D_{model}$ [m]	2.71
短周期レベルA [Nm/s <sup>2</sup> ]	2.11E+19
SMGA個数	4
面積 $S_a$ [km <sup>2</sup> ]	332.6
平均すべり量 $D_a$ [m]	5.42
実行応力 $\sigma_a$ [Mpa]	14.1
地震モーメント $M_{0a}$	5.63E+19
面積 $S_{a1}$ [km <sup>2</sup> ]	110.9
平均すべり量 $D_{a1}$ [m]	6.01
実行応力 $\sigma_{a1}$ [Mpa]	14.1
地震モーメント $M_{0a1}$ [Nm]	2.08E+19
面積 $S_{a2}$ [km <sup>2</sup> ]	55.4
平均すべり量 $D_{a2}$ [m]	4.25
実行応力 $\sigma_{a2}$ [Mpa]	14.1
地震モーメント $M_{0a2}$ [Nm]	7.35E+18
面積 $S_b$ [km <sup>2</sup> ]	1179.4
平均すべり量 $D_b$ [m]	1.95
実行応力 $\sigma_b$ [Mpa]	2.7
地震モーメント $M_{0b}$ [Nm]	7.16E+19
背景領域	

石鎚山脈北縁区間

活断層長さL	29
マグニチュードM	7.3
走向角 $\theta$	253.9
傾斜角 $\delta$	40
すべり角 $\nu$	180
上端深さ	2
断層モデル長さ $L_{model}$	30
断層モデル幅 $W_{model}$	18
断層モデル面積 $S_{model}$	540
地震モーメント $M_0$	1.69E+19
モーメントマグニチュード $M_w$	7.3
静的応力降下量 $\Delta\sigma$	3.3
地震発生層の密度 $\rho$	2.7
地震発生層のS波速度 $\beta$	3.4
剛性率 $\mu$	3.12E+10
平均すべり量 $D_{model}$	1.00
短周期レベルA	1.36E+19
SMGA個数	1
面積 $S_a$	113.6
平均すべり量 $D_a$	2
実行応力 $\sigma_a$	15.6
地震モーメント $M_{0a}$	7.09E+18
面積 $S_{a1}$	113.5
平均すべり量 $D_{a1}$	2
実行応力 $\sigma_{a1}$	15.6
地震モーメント $M_{0a1}$	7.09E+18
面積 $S_{a2}$	
平均すべり量 $D_{a2}$	
実行応力 $\sigma_{a2}$	
地震モーメント $M_{0a2}$	
面積 $S_b$	426.4
平均すべり量 $D_b$	0.73
実行応力 $\sigma_b$	2.5
地震モーメント $M_{0b}$	9.76E+18
背景領域	

石鎚山脈北縁西部区間

活断層長さL	41
マグニチュードM	7.5
走向角 $\theta$	248.7
傾斜角 $\delta$	40
すべり角 $\nu$	180
上端深さ	2
断層モデル長さ $L_{model}$	42
断層モデル幅 $W_{model}$	18
断層モデル面積 $S_{model}$	756
地震モーメント $M_0$	3.31E+19
モーメントマグニチュード $M_w$	6.9
静的応力降下量 $\Delta\sigma$	3.1
地震発生層の密度 $\rho$	2.7
地震発生層のS波速度 $\beta$	3.4
剛性率 $\mu$	3.12E+10
平均すべり量 $D_{model}$	1.40
短周期レベルA	1.49E+19
SMGA個数	2
面積 $S_a$	166.3
平均すべり量 $D_a$	2.81
実行応力 $\sigma_a$	14.1
地震モーメント $M_{0a}$	1.46E+19
面積 $S_{a1}$	110.9
平均すべり量 $D_{a1}$	3.11
実行応力 $\sigma_{a1}$	14.1
地震モーメント $M_{0a1}$	1.08E+19
面積 $S_{a2}$	55.4
平均すべり量 $D_{a2}$	2.2
実行応力 $\sigma_{a2}$	14.1
地震モーメント $M_{0a2}$	3.81E+18
面積 $S_b$	589.7
平均すべり量 $D_b$	1.01
実行応力 $\sigma_b$	2.7
地震モーメント $M_{0b}$	1.85E+19
背景領域	

表 2.3-10 中央構造線断層帯の震源断層パラメータ (2/3)

伊予灘区間

豊予海峡-由布院区間

活断層長さL	88
マグニチュードM	8.1
走向角 $\theta$	240.7
傾斜角 $\delta$	40
すべり角 $\nu$	180
上端深さ $z$	4
断層モデル長さ $L_{model}$	90
断層モデル幅 $W_{model}$	18
断層モデル面積 $S_{model}$	1620
地震モーメント $M_0$	1.47E+20
モーメントマグニチュード $M_w$	7.4
静的応力降下量 $\Delta\sigma$	3.1
地震発生層の密度 $\rho$	2.7
地震発生層のS波速度 $\beta$	3.4
剛性率 $\mu$	3.12E+10
平均すべり量 $D_{model}$	2.9
短周期レベラA	2.18E+19
SMGA個数	4
面積 $S_a$	356.4
平均すべり量 $D_a$	5.81
実行応力 $\sigma_a$	14.1
地震モーメント $M_{0a}$	6.46E+19
面積 $S_{a1}$	118.8
平均すべり量 $D_{a1}$	6.44
実行応力 $\sigma_{a1}$	14.1
地震モーメント $M_{0a1}$	2.39E+19
面積 $S_{a2}$	59.4
平均すべり量 $D_{a2}$	4.55
実行応力 $\sigma_{a2}$	14.1
地震モーメント $M_{0a2}$	8.44E+18
面積 $S_b$	1263.6
平均すべり量 $D_b$	2.08
実行応力 $\sigma_b$	2.8
地震モーメント $M_{0b}$	8.22E+19

活断層長さL	61
マグニチュードM	7.8
走向角 $\theta$	246.4
傾斜角 $\delta$	40
すべり角 $\nu$	180
上端深さ $z$	4
断層モデル長さ $L_{model}$	36
断層モデル幅 $W_{model}$	20
断層モデル面積 $S_{model}$	720
地震モーメント $M_0$	5.70E+19
モーメントマグニチュード $M_w$	7.2
静的応力降下量 $\Delta\sigma$	3.1
地震発生層の密度 $\rho$	2.7
地震発生層のS波速度 $\beta$	3.4
剛性率 $\mu$	3.12E+10
平均すべり量 $D_{model}$	2.13
短周期レベラA	1.78E+19
SMGA個数	2
面積 $S_a$	158.4
平均すべり量 $D_a$	5.11
実行応力 $\sigma_a$	14.1
地震モーメント $M_{0a}$	2.53E+19
面積 $S_{a1}$	105.6
平均すべり量 $D_{a1}$	5.67
実行応力 $\sigma_{a1}$	14.1
地震モーメント $M_{0a1}$	1.87E+19
面積 $S_{a2}$	52.8
平均すべり量 $D_{a2}$	4.01
実行応力 $\sigma_{a2}$	14.1
地震モーメント $M_{0a2}$	6.60E+18
面積 $S_b$	561.6
平均すべり量 $D_b$	1.84
実行応力 $\sigma_b$	2.3
地震モーメント $M_{0b}$	3.22E+19

表 2.3-11 中央構造線断層帯の震源断層パラメータ (3/3)

3 区間連動

	讃岐山脈南縁西部	石鏡山脈北縁西部	伊予灘
活断層長さ [km]	211		
マグニチュード	8.7		
走向角 $\theta$ [°]	255.8	248.7	240.7
傾斜角 $\delta$ [°]	40	40	40
すべり角 $\nu$ [°]	180	180	180
上端深さ [km]	4	2	4
断層モデル長さ $L_{model}$ [km]	84	42	90
断層モデル幅 $W_{model}$ [km]	18	18	18
断層モデル面積 $S_{model}$ [km <sup>2</sup> ]	1512	756	1620
地震モーメント $M_0$ [Nm]	1.46E+20	6.62E+19	1.62E+20
モーメントマグニチュード $M_w$	7.7		
静的応力降下量 $\Delta\sigma$ [Mpa]		3.1	
地震発生層の密度 $\rho$ [kg/m <sup>3</sup> ]		2.7	
地震発生層のS波速度 $\beta$ [km/s]		3.4	
剛性率 $\mu$ [N/m <sup>2</sup> ]		3.12E+10	
平均すべり量 $D_{node}$ [m]		3.2	
短周期レベル $A$ [Nm/s <sup>2</sup> ]		3.82E+19	
SMGA個数	4	1	4
面積 $S_0$ [km <sup>2</sup> ]	308.7	182.4	331.3
平均すべり量 $D_0$ [m]	6.65	5.11	6.89
実行応力 $\sigma_0$ [Mpa]	14.1	14.1	14.1
地震モーメント $M_{00}$	6.41E+18	2.91E+19	7.13E+19
面積 $S_{01}$ [km <sup>2</sup> ]	102.9	121.6	110.4
平均すべり量 $D_{01}$ [m]	7.37	5.67	7.64
実行応力 $\sigma_{01}$ [Mpa]	14.1	14.1	14.1
地震モーメント $M_{001}$ [Nm]	2.37E+19	2.15E+19	2.63E+19
面積 $S_{02}$ [km <sup>2</sup> ]	51.5	60.8	55.2
平均すべり量 $D_{02}$ [m]	5.21	4.01	5.4
実行応力 $\sigma_{02}$ [Mpa]	14.1	14.1	14.1
地震モーメント $M_{002}$ [Nm]	8.37E+18	7.61E+18	9.31E+18
面積 $S_b$ [km <sup>2</sup> ]	1094.5	646.8	1174.6
平均すべり量 $D_b$ [m]	2.39	1.84	2.47
実行応力 $\sigma_b$ [Mpa]	2.1	2.5	2.8
地震モーメント $M_{0b}$ [Nm]	8.16E+19	3.71E+19	9.07E+19

## 2.4. 地震動の想定

### (1) 地震動の想定手法

地表の地震動は、地中にある震源断層の破壊によって生じた揺れが、地盤を伝播することで観測される。これらの過程において、地震動の特性は大きく見ると次のように表される。

$$\text{地表地震動} = \text{震源の特性} \times \text{伝播経路の特性} \times \text{表層地盤の応答特性}$$

震源の特性は、断層においてどのような破壊が起こったかを示すものであり、断層面の広がりや破壊の様式などが関係する。伝播経路の特性は、震源で生じた揺れがどのように伝播するかを表すもので、深部地盤（地震基盤～工学的基盤）が関係する。表層地盤の応答特性は、浅部地盤（工学的基盤～地表）による影響を表すものである。以上の特性を踏まえ、今回調査では図 2.4-1 に示すフローによって地表の地震動を想定する。

また、今回調査と前回調査の想定手法について表 2.4-1 に整理する。工学的基盤の地震動については、南海トラフ巨大地震は、内閣府（2012）と同等の手法として、統計的グリーン関数法を採用する。その他の地震（安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震及び中央構造線断層帯）は、統計的グリーン関数法に加え、長周期地震動について精度の高い予測が可能な 3 次元差分法を用いたハイブリッド合成法を採用する。応答計算手法は前回と同じ等価線形解析を用いるが、今回は 125m メッシュの各地点で応答計算を行い、地点ごとの入力波や地盤の挙動を個別に評価する。

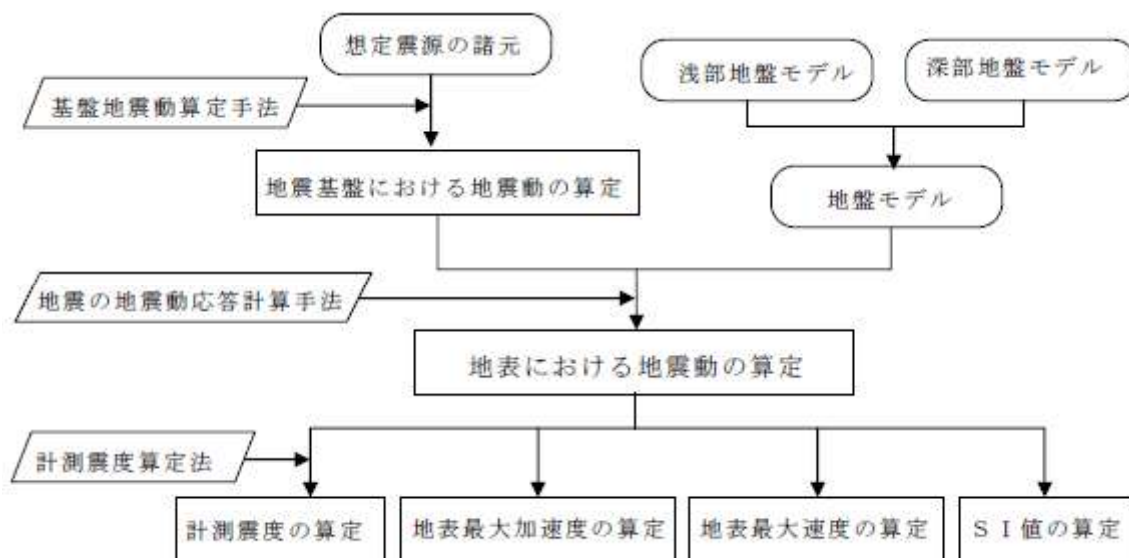


図 2.4-1 地震動想定フロー

表 2.4-1 前回調査との地震動想定手法の比較

項目	今回調査	前回調査
(工学的) 基盤 地震動の算定手法	南海トラフ巨大地震： 統計的グリーン関数法 その他の地震： ハイブリッド合成法 (統計的グリーン関数法と3次元差分)	統計的グリーン関数法
浅部地盤の地震動 応答計算手法	等価線形解析 ※各メッシュで応答計算を実施	等価線形解析 ※応答計算に基づく増幅率によ って地表地震動を算定

a) 基盤地震動算定手法

① 統計的グリーン関数法

統計的グリーン関数法は、震源となる断層面を分割した領域から生じる小地震（要素地震）を理論的に作成し、震源断層の破壊の進行に要する時間と対象点までの距離の違いを考慮して合成することで強震波形を予測する方法で、内閣府などによる強震動予測をはじめとして、幅広く採用されている。ただし、統計的グリーン関数法では、地震動を予測する地点直下の地盤構造を一次元として取り扱うため、地盤の三次元的な構造によって生じる表面波などの長周期帯の再現は困難である。

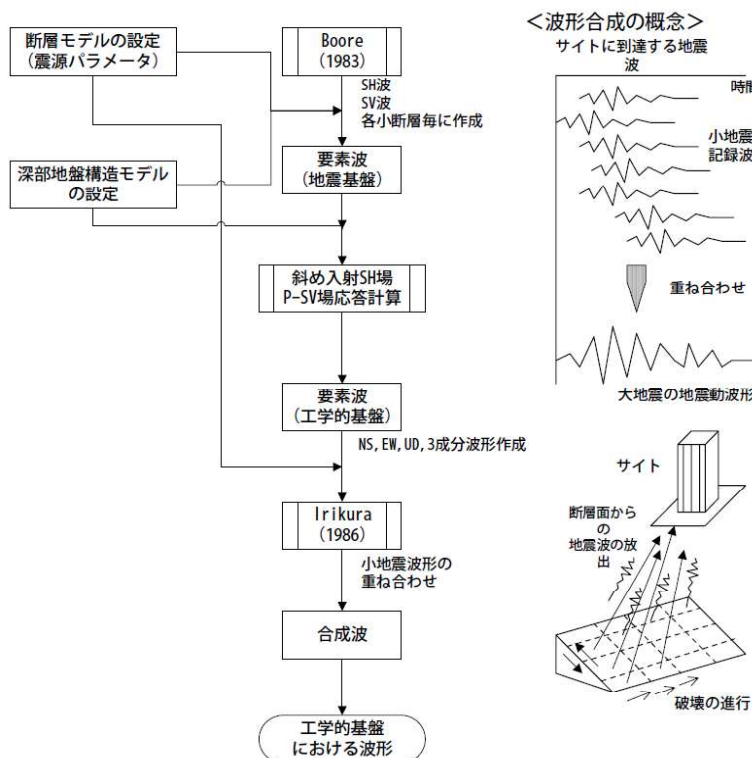


図 2.4-2 統計的グリーン関数法の概要

(出典：内閣府，防災情報のページ)

## ② ハイブリッド合成法

震源の特性と伝播経路の特性を考慮した（工学的）基盤地震動の予測には、ハイブリッド合成法を採用する。ハイブリッド合成法は、異なる手法によって作成した地震動を足し合わせることによって地震動を予測する方法である。通常、地震動は様々な周期の揺れが含まれるが、単一の予測手法では、全ての周期帯で高精度な予測を行うことが困難である。そこで、短周期帯の地震動は統計的グリーン関数法に、長周期帯の地震動は3次元差分法（3次元有限差分法）によってそれぞれ予測し、足し合わせることで、広帯域で精度の高い地震動の予測が可能となる。

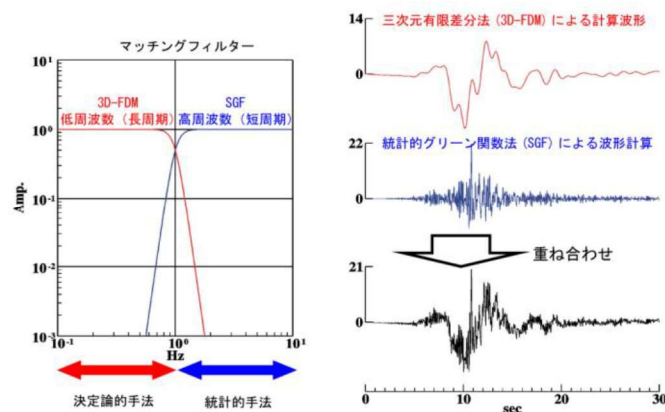


図 2.4-3 ハイブリッド合成法のイメージ  
(出典：「全国地震動予測地図」作成手法の検討)

### ③ 3次元差分法

3次元差分法は、震源や地盤構造を格子状にモデル化することで、3次元的な不均質性を考慮した地震波の伝播を計算できる手法である。内陸型地震の断層近傍で生じるやや長周期パルスや永久変位を評価する目的で実施する。主に周期2秒以上の長周期を対象とした手法であり、内閣府の南海トラフ沿いで発生する長周期地震動に関する検討において採用されている。

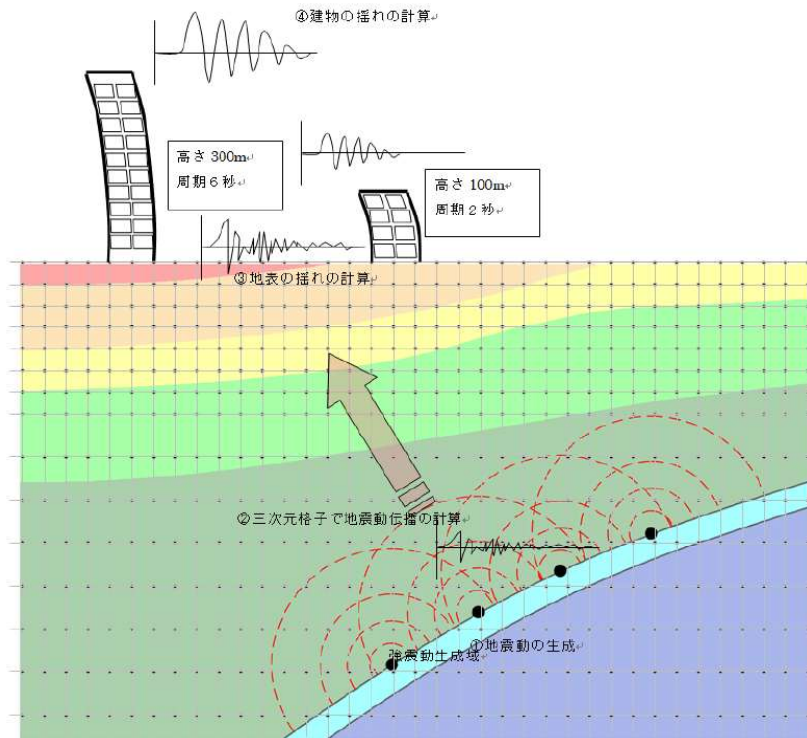


図 2.4-4 3次元差分法のイメージ

(出典：南海トラフの巨大地震モデル検討会 首都直下地震モデル検討会，  
南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動に関する報告，平成 27 年 12 月)

## b) 地震応答計算手法

浅部地盤（工学的基盤～地表）の影響を踏まえた地表地震動の予測は、地震応答解析によって行った。地震応答解析は、工学的基盤に入射した地震動について地盤による増幅や減衰の影響を数値解析によって解く方法である。

浅部地盤はS波速度が小さい軟弱な土質も多いため、地盤が非線形挙動を示す可能性がある。今回調査では、この様な非線形特性を考慮するため、等価線形化法を採用する。等価線形化法は、水平成層と仮定した地盤においてS波が反射・透過を繰り返した結果の地表面での地震動を算定する重複反射理論に基づくもので、土の非線形特性を等価な線形の関係に置き換え、解析の間一定の材料特性を用いる方法である。周波数領域で解くため、時刻歴で解く方法よりも計算量が少ないといった特徴がある。また、地盤ひずみが大きくなる場合には解析精度がやや精度が低下する可能性がある。

125mメッシュで整備する浅部地盤モデルを用いて各地点での応答解析を実施し、地表の時刻歴加速度波形を求める。

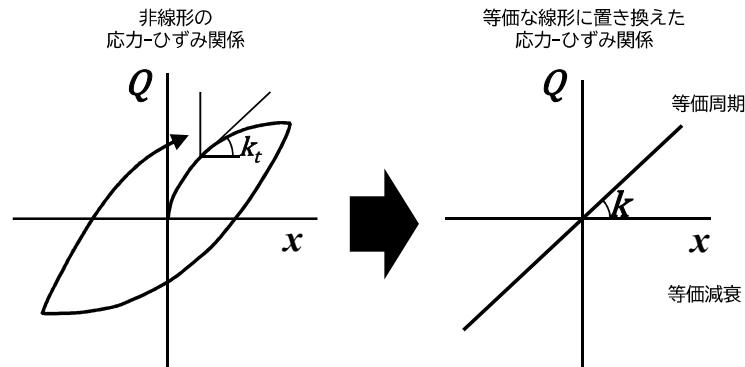


図 2.4-5 等価線形化法における非線形特性の概念図

（「地盤震動と強震動予測 - 基本を学ぶための重要項目 - ，一般社団法人日本建築学会」を参考に作成）

## c) 計測震度の算出手法

震度階級は、気象庁の計測震度である震度階級に準拠して求めた。気象庁の手法の概略は以下のとおりである。

<気象庁計測震度の算出法>

- ① 3成分（水平2、上下1成分）の加速度記録からフーリエスペクトルを計算する。
- ② フーリエスペクトルの周期に関係した次の3つのフィルターをかける。

ア) 体感と震度の関係を考慮したフィルター

$$F_F = (k/f)^{1/2}$$

k：係数（1.00） f：周波数

イ) ハイカットフィルター

$$F_H = (1 + 0.694X^2 + 0.241X^4 + 0.0557X^6 + 0.009664X^8 + 0.00134X^{10} + 0.000155X^{12})^{-1/2}$$

$$X=f/f_c \quad (f_c=10\text{Hz})$$

ウ)ローカットフィルター

$$F_L = (1-\exp(-(f/f_0)^3))^{1/2}$$

$f_0$ : 震度算出に用いる周波数の下限 (0.5Hz とする。)

- ③ フィルター処理したスペクトルを逆フーリエ変換により加速度と速度の中間的な時刻歴波形を求める。
- ④ 3成分の時刻歴波形をベクトル合成する。
- ⑤ ベクトル波について、その絶対値が  $A'$  以上である時間の合計が  $\tau$  (継続時間: 0.3sec とする。) となる  $A'$  を求める。
- ⑥ 震度と加速度の関係式に  $A'$  を代入し、計測震度 (I) を求める。

$$I=2 \cdot \log A' + 0.94$$

- ⑦ 計測震度から震度階級を決定する。

表 2.4-2 計測震度と震度階級の対比表

計測震度	震度階級	計測震度	震度階級
0.5 未満	0	4.5 以上 5.0 未満	5 弱
0.5 以上 1.5 未満	1	5.0 以上 5.5 未満	5 強
1.5 以上 2.5 未満	2	5.5 以上 6.0 未満	6 弱
2.5 以上 3.5 未満	3	6.0 以上 6.5 未満	6 強
3.5 以上 4.5 未満	4	6.5 以上	7

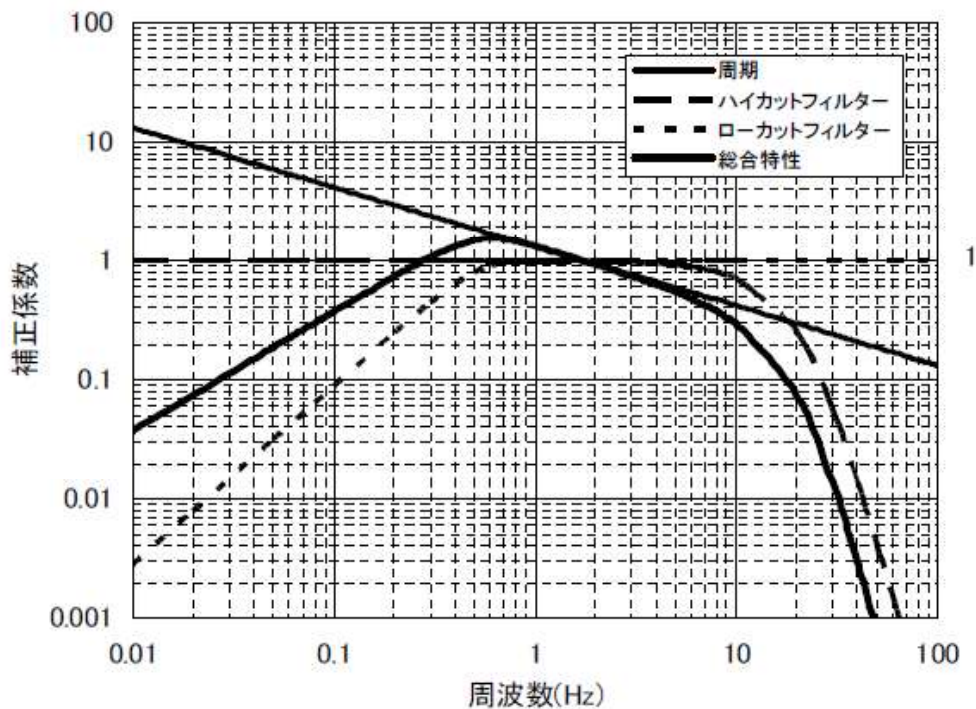


図 2.4-6 フィルターの総合特性

d) 加速度の算出手法

最大加速度 (PGA) は、地震動の強さを表す一般的な指標の一つである。物体に加わる力の大きさは、加速度に比例して増大する性質がある。そのため、最大加速度が大きい場合は、大きな破壊力を持つことになる。ただし、加速度波形の一部分だけ振幅が大きくなる場合は、一般建物等の構造物に対する被害は少ないことがある。

地表の最大加速度は、計測震度と最大加速度の関係式 (童・山崎(1996)) を用いて求めた。

$$I = 0.59 + 1.89 \cdot \log \text{PGA}$$

ここに、

I : 計測震度

PGA : 最大加速度 (cm/s<sup>2</sup>)

e) 速度の算出手法

最大速度 (PGV) は、加速度と同様、地震動の強さを表す指標の一つである。速度は、物体が移動するときの速さと方向を合わせたものであり、最大速度が大きいほど大きな破壊力が働くことになる。最大速度は、最大加速度に比べて地震時の建物被害状況とよく一致するとされている。

地表最大速度は、震度と速度の関係式 (藤本・翠川, 2005) を用いて求める。

$$I = 2.002 + 2.603 \cdot \log(\text{PGV}) - 0.213 \cdot \log(\text{PGV})^2 \quad (4 \leq I)$$

$$I = 2.165 + 2.262 \cdot \log(\text{PGV}) \quad (I < 4)$$

ここに、I : 計測震度

PGV : 地表最大速度 (cm/s)

f) SI 値の算出手法

SI 値 (Spectral Intensity : スペクトル強度) は、アメリカのハウスナー (G.W.Housner) によって提唱された地震動の強さの指標であり、地震動の周期 0.1~2.5 秒間の速度応答スペクトルの平均値 (単位 : cm/s) である。建物の周期が 0.1~2.5 秒であるため、建物にどの程度の被害が生じるかを示す指標となる。都市ガスにおいては、SI 値を指標に、供給停止の判断をしている。

SI 値は、震度と SI 値の関係式 (童・山崎, 1996) を用いて求める。

$$SI = 10^{-1.16 + 0.5 \cdot I}$$

ここに、SI : スペクトル強度 (cm/s)

I : 計測震度

## (2) 地震動の想定結果

以上を踏まえた地震動の想定結果を以下に示す。

### a) 震度

各想定地震における最大クラスの震度（破壊開始点の異なるケースを重ね合わせた地点ごとの最大震度）の想定結果について、表 2.4-3～表 2.4-5、図 2.4-7～図 2.4-16 に示す。

#### ① 南海トラフ巨大地震

県のほぼ全域で震度 6 弱以上になり、西条市から新居浜市の沿岸域では広い範囲で震度 6 強になると想定される。今治市、宇和島市、新居浜市、西条市、大洲市、四国中央市、西予市の一部で震度 7 になると想定され、特に西条市でその範囲が広い。

#### ② 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル A）

震源断層の直上にあたる今治市で最大震度 6 強が想定される。また、松山市や低地部であるや西条市、新居浜市のほか八幡浜市、大洲市、伊予市、東温市、松前市、伊方町の一部などで最大震度 6 弱になると想定される。

#### ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル B）

震源断層に近い南予地域でも震度 5 弱の範囲が広く、伊方町の一部で震度 6 強と想定される。

#### ②" 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル C）

松山市より南では、広い範囲で震度 5 弱になると想定される。大洲市、伊方町の一部で 6 強、松山市、今治市、宇和島市などでは、震度 6 弱になるとされる。

#### ③ 中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）

震源断層に近く、かつ低地部において震度が大きくなる傾向で、特に新居浜市から四国中央市の沿岸地域で震度 6 強になると想定される範囲が広く、強い揺れが生じる可能性がある。一部では震度 7 になると想定される。

#### ④ 中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）

震源断層の長さが比較的短いため、影響範囲は限定的であるものの、直上付近である新居浜市や西条市で特に震度が大きく、最大震度 7 が想定される。

#### ⑤ 中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）

陸域の直下に震源があり、震源断層付近の広い範囲で震度 5 強以上となり、特に、今治市、西条市、新居浜市の低地部の一部では最大震度 6 強～7 になると想定される。

#### ⑥ 中央構造線断層帯（伊予灘区間）

松山市～伊予市への影響が大きく、特に松前町では広い範囲で震度 6 弱になると想定されるほか、伊予市、松前町の一部で最大震度 7 になると想定される。

#### ⑦ 中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）

伊方町のごく一部で震度 6 強、その他の地域は震度 4 以下が広いと想定される。

#### ⑧ 中央構造線断層帯（3 区間連動）

県東西の広い範囲で震度 5 強以上になり、今治市、新居浜市、西条市、四国中央市で震度 7 になると想定される。

表 2.4-3 想定地震における最大震度及び震度面積割合

想定地震	最大震度	震度 面積割合							
		3以下	4	5弱	5強	6弱	6強	7	
①南海トラフ巨大地震	7	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	82.4%	11.5%	0.7%	
②安芸灘～伊予灘 ～豊後水道の プレート内地震	A	6強	0.0%	57.7%	34.7%	6.1%	1.5%	0.0%	0.0%
	B	6強	3.7%	64.5%	29.3%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	C	6強	0.4%	40.7%	53.3%	5.5%	0.2%	0.0%	0.0%
③中央構造線断層帯 (讃岐山脈南縁西部区間)	7	11.6%	65.4%	9.2%	6.5%	5.7%	1.5%	0.2%	
④中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁区間)	7	39.3%	42.0%	10.3%	4.1%	3.0%	1.2%	0.1%	
⑤中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁西部区間)	7	10.4%	56.0%	19.7%	9.7%	3.1%	1.1%	0.0%	
⑥中央構造線断層帯 (伊予灘区間)	7	0.3%	54.0%	27.3%	14.7%	2.9%	0.8%	0.0%	
⑦中央構造線断層帯 (豊予海峡-由布院区間)	6強	48.1%	49.7%	1.7%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
⑧中央構造線断層帯 (3区間連動)	7	0.1%	34.3%	25.7%	25.5%	10.2%	3.7%	0.4%	

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

表 2.4-4 想定地震における市町別最大震度 (1/2)

市町名	①南海トラフ 巨大地震	②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震			③中央構造 線断層帯 (讃岐山脈 南縁西部区間)
		モデル A	モデル B	モデル C	
松山市	6 強	6 弱	5 強	6 弱	5 強
今治市	7	6 強	5 強	6 弱	6 強
宇和島市	7	5 強	6 弱	6 弱	5 弱
八幡浜市	6 強	6 弱	6 弱	6 弱	5 弱
新居浜市	7	6 弱	5 弱	5 強	7
西条市	7	6 弱	5 強	6 弱	6 強
大洲市	7	6 弱	6 弱	6 強	5 強
伊予市	6 強	6 弱	5 強	6 弱	5 強
四国中央市	7	5 強	5 弱	5 弱	7
西予市	7	5 強	5 強	6 弱	5 弱
東温市	6 強	6 弱	5 強	5 強	5 強
上島町	6 強	5 強	5 弱	5 弱	6 弱
久万高原町	6 強	5 強	5 弱	5 強	5 弱
松前町	6 強	6 弱	6 弱	6 弱	5 強
砥部町	6 強	5 強	5 弱	5 強	5 弱
内子町	6 強	5 強	5 強	5 強	4
伊方町	6 強	6 弱	6 強	6 強	4
松野町	6 強	5 弱	5 弱	5 強	4
鬼北町	6 強	5 弱	5 強	5 強	4
愛南町	6 強	5 弱	5 強	5 強	5 弱

表 2.4-5 想定地震における市町別最大震度 (2/2)

市町名	④中央構造線 断層帯 (石鎚山脈 北縁区間)	⑤中央構造線 断層帯 (石鎚山脈北縁 西部区間)	⑥中央構造線 断層帯 (伊予灘区間)	⑦中央構造線 断層帯 (豊予海峡- 由布院区間)	⑧中央構造線 断層帯 (3区間連動)
松山市	5強	6弱	6強	5弱	6強
今治市	6強	6強	6弱	5弱	7
宇和島市	4	5弱	5強	5強	6弱
八幡浜市	4	5弱	6強	5弱	6弱
新居浜市	7	6強	6弱	4	7
西条市	7	7	6弱	5弱	7
大洲市	4	6弱	6強	5強	6強
伊予市	5弱	5強	7	4	6強
四国中央市	6弱	6弱	5強	4	7
西予市	4	5弱	6弱	5強	6強
東温市	5弱	6弱	6弱	4	6強
上島町	6弱	5強	5強	4	6弱
久万高原町	4	5弱	5強	4	5強
松前町	5弱	6弱	7	5弱	6強
砥部町	5弱	5強	6弱	4	6弱
内子町	4	5弱	6弱	5弱	5強
伊方町	4	5弱	6強	6強	6強
松野町	4	4	5弱	4	5弱
鬼北町	4	4	5弱	4	5弱
愛南町	4	4	5弱	5弱	5弱

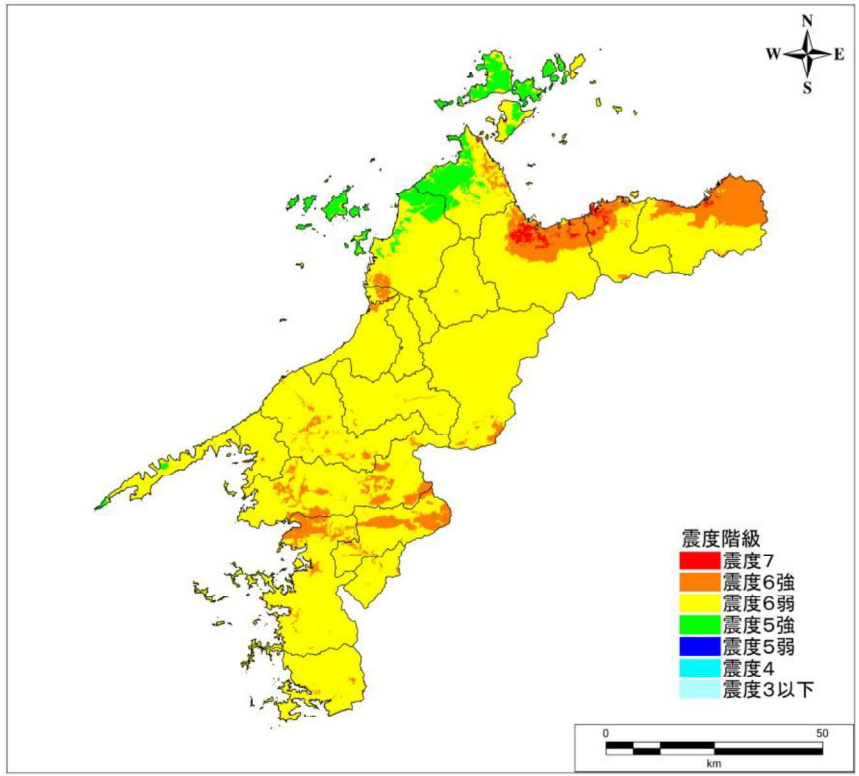


図 2.4-7 ①南海トラフ巨大地震の震度分布

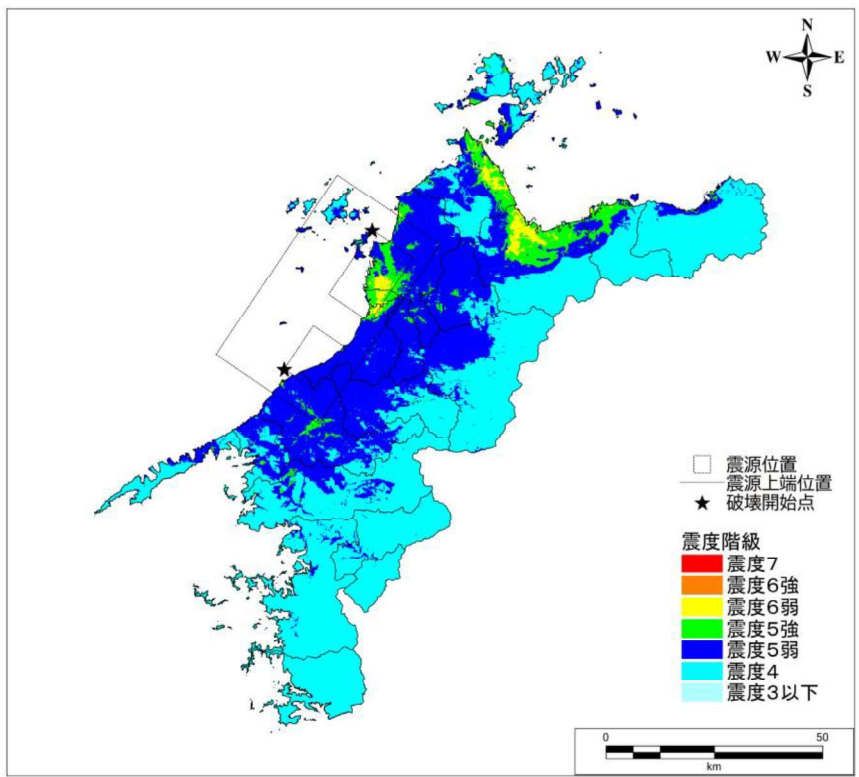


図 2.4-8 ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデルA）の震度分布

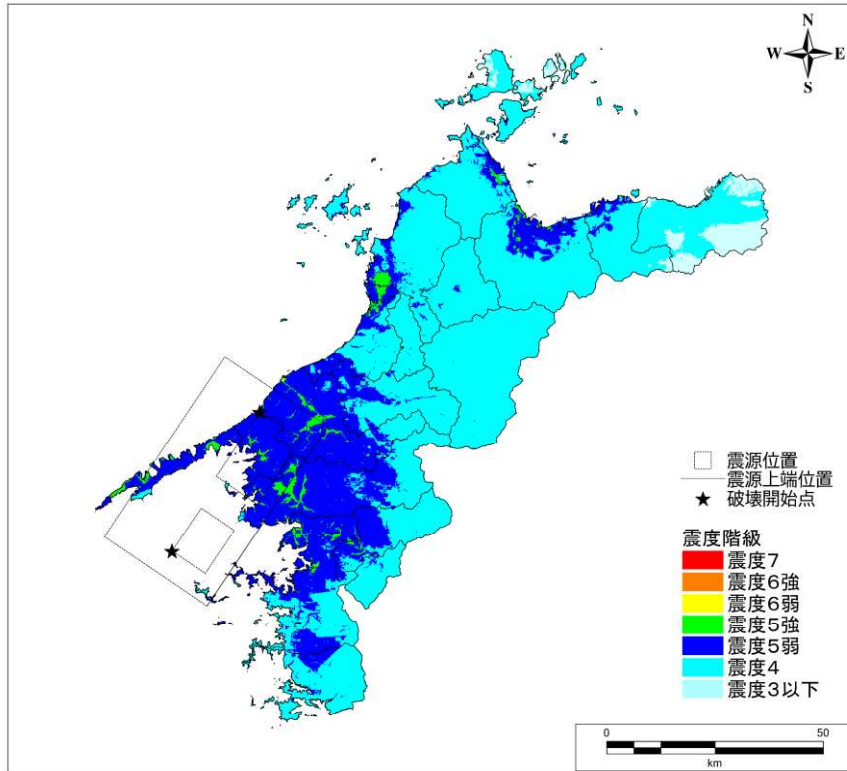


図 2.4-9 ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデルB）の震度分布

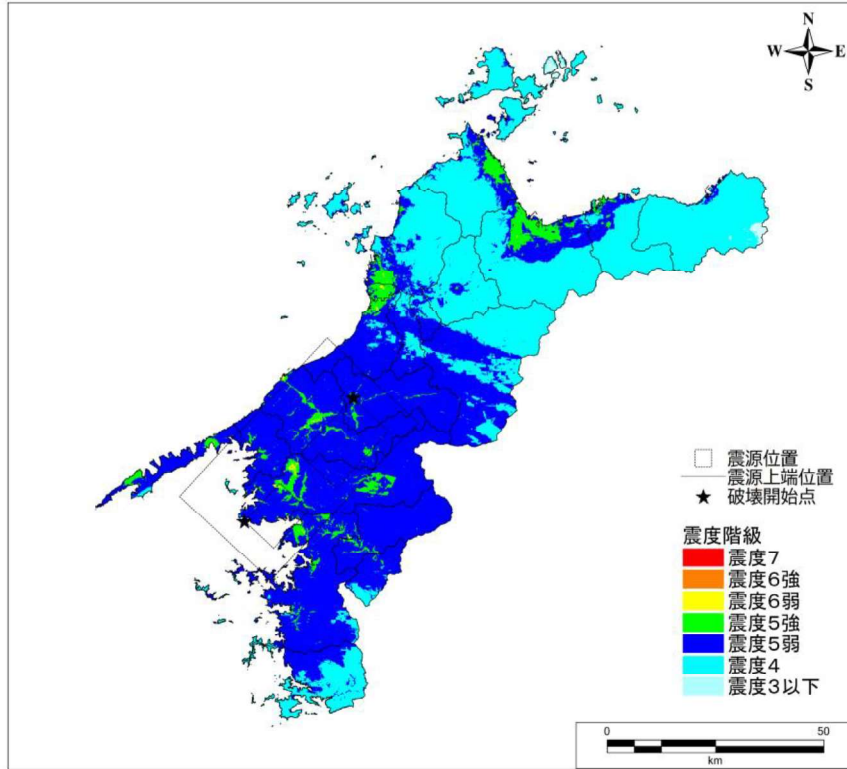


図 2.4-10 ②'' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデルC）の震度分布

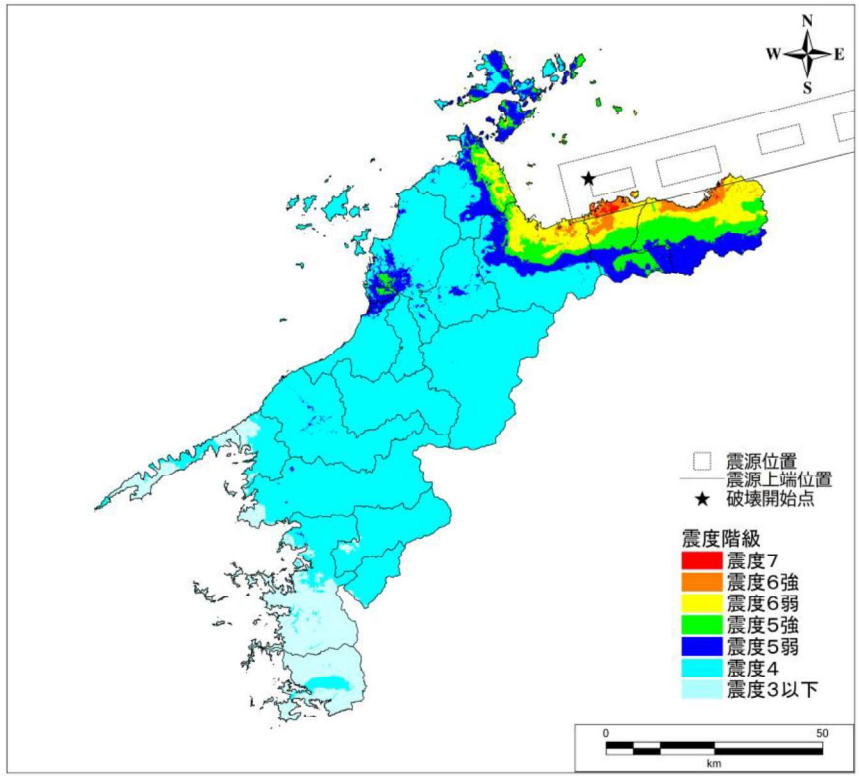


図 2.4-11 ③中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）の震度分布

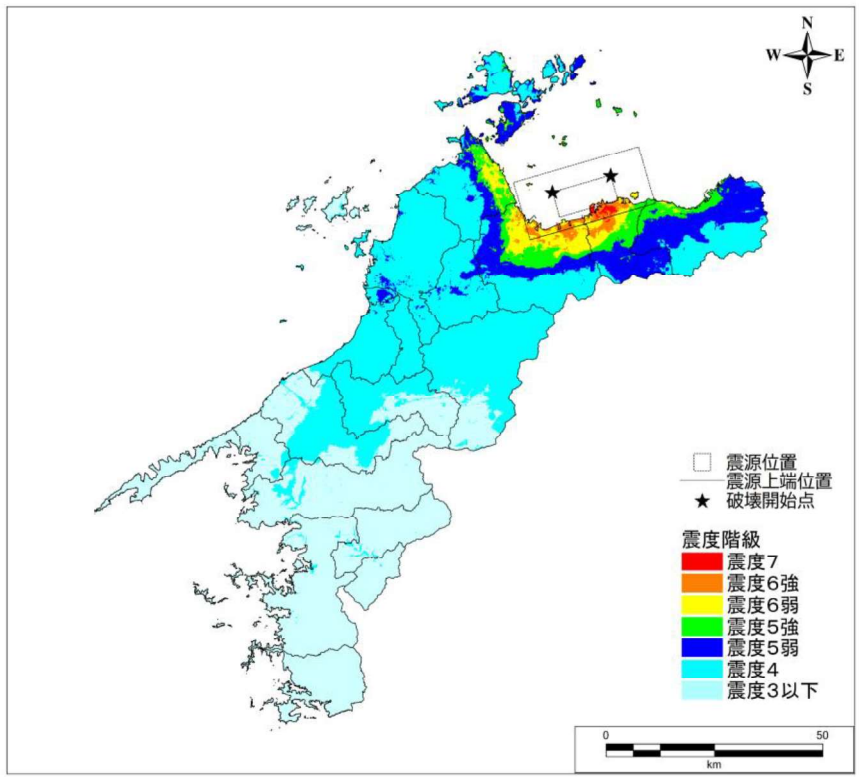


図 2.4-12 ④中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）の震度分布

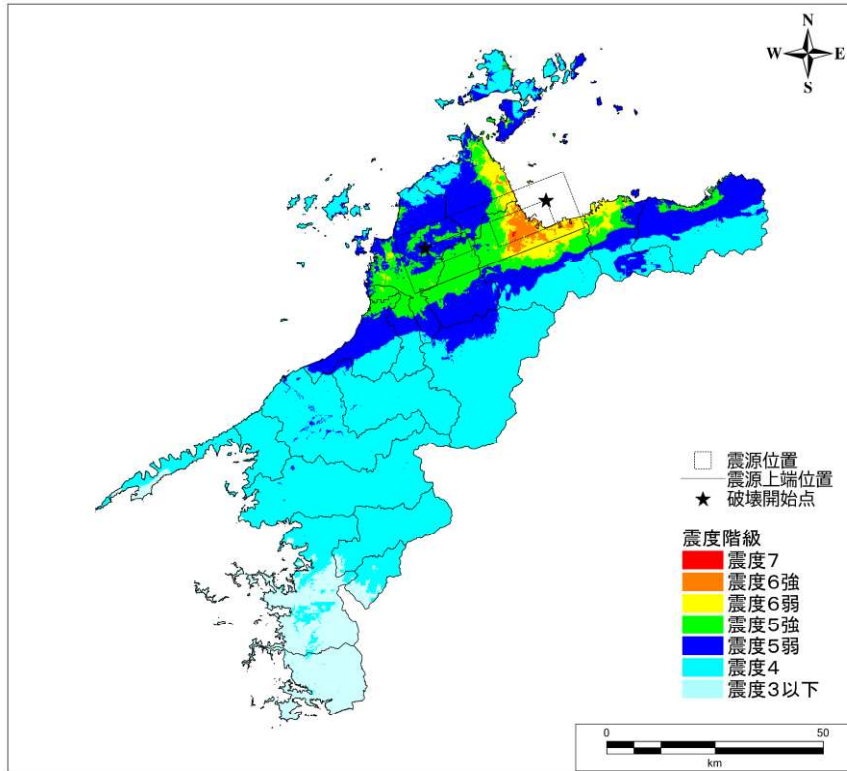


図 2.4-13 ⑤中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）の震度分布

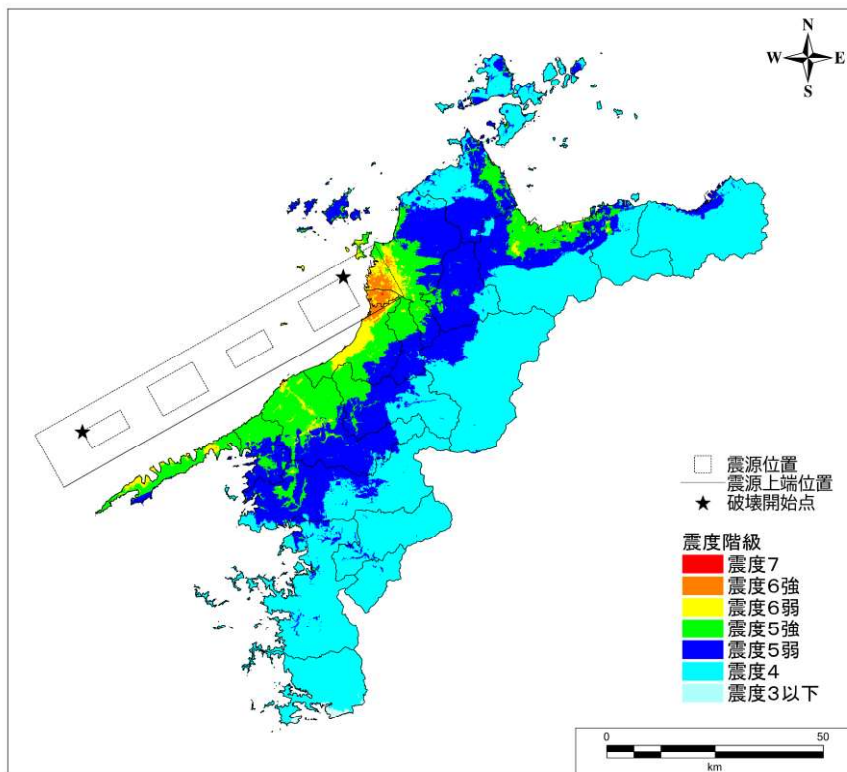


図 2.4-14 ⑥中央構造線断層帯（伊予灘区間）の震度分布

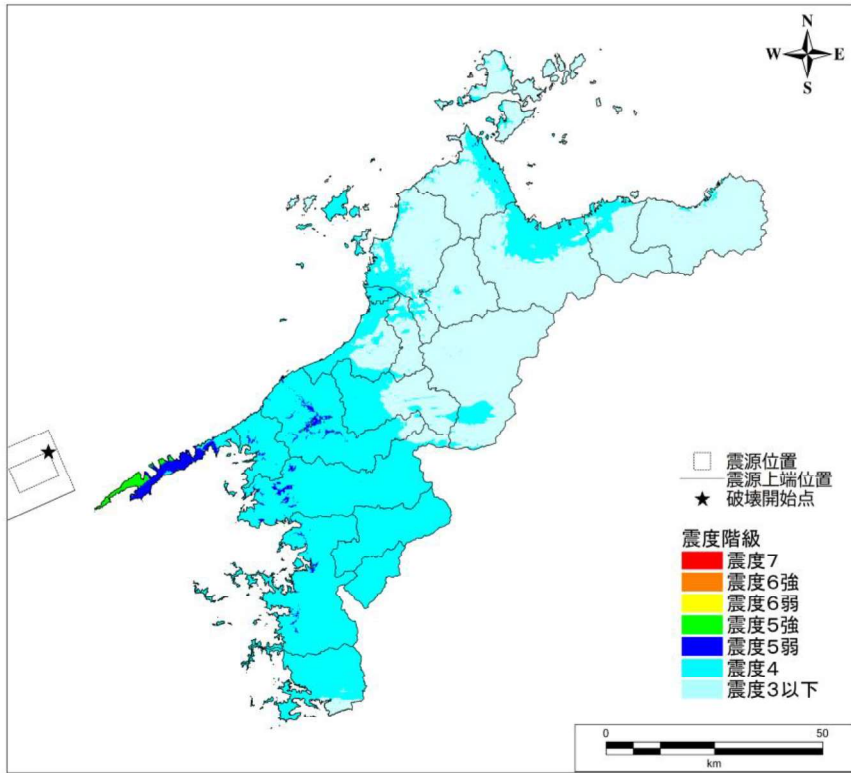


図 2.4-15 ⑦中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）の震度分布

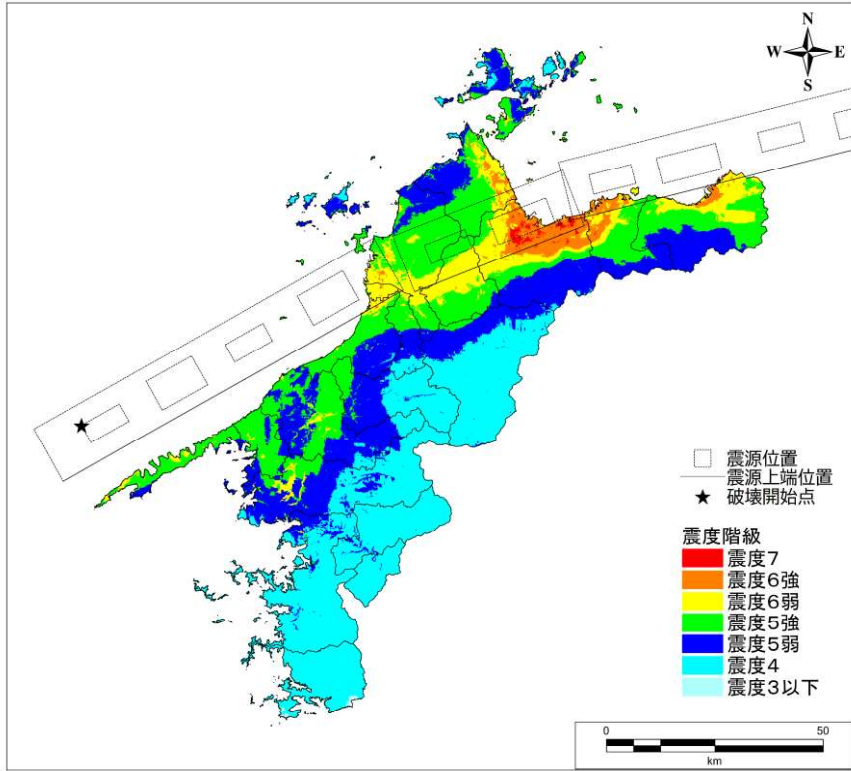


図 2.4-16 ⑧中央構造線断層帯（3区間連動）の震度分布

表 2.4-6 ①南海トラフ巨大地震の震度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	震度 面積割合						
				3以下	4	5弱	5強	6弱	6強	7
松山市	6.4	5.2	5.5	0.0%	0.0%	0.0%	23.6%	73.8%	2.6%	0.0%
今治市	6.5	5.2	5.5	0.0%	0.0%	0.0%	40.9%	53.6%	5.5%	0.0%
宇和島市	6.6	5.5	5.8	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	87.7%	12.3%	0.0%
八幡浜市	6.2	5.5	5.6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	98.8%	1.2%	0.0%
新居浜市	6.8	5.5	5.9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	72.7%	23.0%	4.3%
西条市	6.9	5.4	5.8	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	69.9%	24.8%	5.3%
大洲市	6.5	5.4	5.8	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	94.3%	5.6%	0.0%
伊予市	6.2	5.5	5.6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	97.2%	2.8%	0.0%
四国中央市	6.7	5.5	5.9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	59.5%	39.4%	1.1%
西予市	6.5	5.5	5.8	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.9%	16.1%	0.1%
東温市	6.2	5.5	5.6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	99.8%	0.2%	0.0%
上島町	6.3	5.3	5.5	0.0%	0.0%	0.0%	43.9%	54.2%	1.8%	0.0%
久万高原町	6.3	5.5	5.7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	97.5%	2.5%	0.0%
松前町	6.3	5.7	5.9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	59.3%	40.7%	0.0%
砥部町	6.0	5.5	5.6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
内子町	6.2	5.5	5.7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	99.1%	0.9%	0.0%
伊方町	6.2	5.4	5.5	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	94.0%	0.5%	0.0%
松野町	6.2	5.7	5.8	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	97.5%	2.5%	0.0%
鬼北町	6.3	5.6	5.9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.1%	28.9%	0.0%
愛南町	6.3	5.6	5.7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	97.8%	2.2%	0.0%

表 2.4-7 ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル A）の震度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	震度 面積割合						
				3以下	4	5弱	5強	6弱	6強	7
松山市	5.9	4.2	4.7	0.0%	7.4%	73.1%	16.6%	3.0%	0.0%	0.0%
今治市	6.0	3.9	4.6	0.0%	40.9%	37.0%	16.9%	5.2%	0.0%	0.0%
宇和島市	5.0	3.7	4.0	0.0%	95.8%	4.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	5.6	3.9	4.5	0.0%	43.2%	55.4%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	5.6	3.8	4.3	0.0%	67.1%	17.4%	14.9%	0.6%	0.0%	0.0%
西条市	5.8	3.9	4.6	0.0%	44.8%	27.7%	19.8%	7.7%	0.0%	0.0%
大洲市	5.7	4.3	4.6	0.0%	17.9%	77.5%	4.5%	0.1%	0.0%	0.0%
伊予市	5.8	4.4	4.7	0.0%	0.3%	90.5%	6.6%	2.6%	0.0%	0.0%
四国中央市	5.1	3.4	4.0	0.0%	91.2%	8.1%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	5.4	4.0	4.4	0.0%	79.9%	18.9%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	5.6	4.3	4.6	0.0%	15.3%	81.9%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	5.3	3.8	4.3	0.0%	69.5%	28.8%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	5.0	4.0	4.4	0.0%	74.9%	25.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	5.9	4.8	5.4	0.0%	0.0%	4.0%	63.1%	32.9%	0.0%	0.0%
砥部町	5.2	4.4	4.6	0.0%	3.2%	94.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	5.3	4.3	4.5	0.0%	39.9%	59.6%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	5.8	3.7	4.4	0.0%	74.4%	24.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	4.5	3.7	3.9	0.0%	99.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	4.9	3.9	4.2	0.0%	97.3%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	4.7	3.4	3.8	0.2%	99.5%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-8 ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデルB）の  
震度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	震度 面積割合						
				3以下	4	5弱	5強	6弱	6強	7
松山市	5.4	3.9	4.2	0.0%	82.5%	14.8%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	5.4	3.2	4.0	5.7%	83.1%	9.7%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
宇和島市	5.5	4.1	4.5	0.0%	37.4%	58.1%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	5.5	4.3	4.7	0.0%	1.1%	93.4%	5.5%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	4.9	3.4	3.9	3.6%	84.6%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西条市	5.3	3.5	4.1	0.0%	78.6%	19.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
大洲市	5.8	4.1	4.6	0.0%	13.7%	80.3%	5.8%	0.1%	0.0%	0.0%
伊予市	5.3	4.0	4.4	0.0%	66.5%	30.8%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	4.5	3.0	3.5	38.3%	61.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	5.4	4.1	4.6	0.0%	30.4%	63.9%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	5.0	3.9	4.0	0.0%	98.7%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	4.9	3.2	3.6	40.4%	59.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	4.6	3.9	4.2	0.0%	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	5.5	4.3	4.8	0.0%	2.6%	71.7%	25.5%	0.2%	0.0%	0.0%
砥部町	4.7	4.0	4.2	0.0%	99.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	5.1	4.1	4.4	0.0%	72.6%	27.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	6.0	4.0	4.8	0.0%	5.7%	76.2%	17.6%	0.5%	0.0%	0.0%
松野町	4.9	4.1	4.3	0.0%	96.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	5.1	4.1	4.4	0.0%	60.5%	37.9%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	5.1	3.9	4.2	0.0%	87.5%	12.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-9 ②" 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデルC）の  
震度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	震度 面積割合						
				3以下	4	5弱	5強	6弱	6強	7
松山市	5.6	4.1	4.4	0.0%	67.8%	26.6%	5.5%	0.1%	0.0%	0.0%
今治市	5.6	3.5	4.2	0.0%	76.6%	16.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
宇和島市	5.7	4.1	4.7	0.0%	6.0%	86.4%	7.4%	0.2%	0.0%	0.0%
八幡浜市	5.5	4.2	4.7	0.0%	2.0%	92.9%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	5.3	3.7	4.1	0.0%	78.2%	17.6%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%
西条市	5.6	3.9	4.4	0.0%	66.2%	21.7%	12.1%	0.0%	0.0%	0.0%
大洲市	6.0	4.4	4.8	0.0%	0.1%	92.2%	7.2%	0.6%	0.0%	0.0%
伊予市	5.6	4.3	4.6	0.0%	7.8%	84.8%	7.2%	0.2%	0.0%	0.0%
四国中央市	4.8	3.3	3.8	2.8%	95.1%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	5.6	4.4	4.8	0.0%	0.2%	88.6%	10.5%	0.7%	0.0%	0.0%
東温市	5.4	4.1	4.3	0.0%	92.8%	7.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	4.9	3.3	3.7	35.8%	64.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	5.1	4.2	4.4	0.0%	50.2%	49.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	5.6	4.5	5.1	0.0%	0.0%	20.5%	76.7%	2.8%	0.0%	0.0%
砥部町	5.0	4.2	4.5	0.0%	29.2%	70.7%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	5.4	4.4	4.7	0.0%	0.0%	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	6.0	4.2	4.8	0.0%	4.2%	80.8%	14.6%	0.4%	0.0%	0.0%
松野町	5.1	4.3	4.5	0.0%	18.7%	80.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	5.4	4.5	4.7	0.0%	0.0%	97.2%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	5.3	4.0	4.4	0.0%	65.6%	34.1%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-10 ③中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）の震度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	震度 面積割合						
				3以下	4	5弱	5強	6弱	6強	7
松山市	5.4	3.6	4.1	0.0%	88.3%	10.1%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	6.2	3.8	4.7	0.0%	39.5%	34.2%	16.5%	9.6%	0.2%	0.0%
宇和島市	4.8	3.0	3.4	64.1%	35.8%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	4.5	3.3	3.6	24.4%	75.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	6.7	4.3	5.3	0.0%	1.0%	31.5%	27.8%	20.7%	15.5%	3.4%
西条市	6.3	3.9	4.8	0.0%	45.5%	19.1%	11.6%	21.3%	2.4%	0.0%
大洲市	5.0	3.4	3.8	0.0%	99.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	5.0	3.6	4.0	0.0%	92.8%	7.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	6.6	4.6	5.3	0.0%	0.0%	26.5%	34.8%	29.2%	9.0%	0.5%
西予市	4.7	3.2	3.7	5.1%	94.7%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	5.1	3.9	4.3	0.0%	96.1%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	5.7	4.2	4.8	0.0%	34.2%	27.5%	33.6%	4.7%	0.0%	0.0%
久万高原町	4.5	3.5	3.9	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	5.3	4.2	4.7	0.0%	13.9%	64.5%	21.6%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	4.6	3.7	3.9	0.0%	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	4.2	3.6	3.7	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	4.1	3.1	3.4	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	4.1	3.4	3.6	2.9%	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	4.2	3.4	3.6	2.8%	97.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	4.6	2.9	3.3	86.6%	13.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-11 ④中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）の震度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	震度 面積割合						
				3以下	4	5弱	5強	6弱	6強	7
松山市	5.0	3.1	3.9	8.6%	88.9%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	6.2	3.6	4.5	0.0%	53.2%	25.5%	13.2%	8.0%	0.1%	0.0%
宇和島市	3.9	2.5	2.9	98.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	3.9	3.1	3.3	92.2%	7.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	6.7	4.3	5.2	0.0%	5.6%	41.9%	19.1%	16.1%	13.7%	3.5%
西条市	6.5	3.6	4.9	0.0%	37.2%	23.3%	13.8%	18.9%	6.7%	0.0%
大洲市	4.4	3.2	3.4	49.3%	50.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	4.7	3.4	3.6	4.4%	94.9%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	5.7	3.9	4.6	0.0%	37.0%	48.6%	13.5%	0.9%	0.0%	0.0%
西予市	4.2	3.0	3.3	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	4.9	3.9	4.3	0.0%	91.1%	8.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	5.6	3.8	4.4	0.0%	49.1%	35.8%	14.9%	0.2%	0.0%	0.0%
久万高原町	4.4	3.2	3.7	19.9%	80.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	4.8	4.0	4.4	0.0%	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	4.6	3.5	3.7	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	4.0	3.2	3.5	39.1%	60.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	4.0	2.5	3.1	97.7%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	3.5	2.9	3.0	99.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	3.8	3.0	3.1	97.7%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	3.8	2.3	2.7	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-12 ⑤中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）の震度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	震度 面積割合						
				3以下	4	5弱	5強	6弱	6強	7
松山市	5.9	3.8	4.8	0.0%	15.7%	50.6%	32.3%	1.4%	0.0%	0.0%
今治市	6.2	3.9	4.8	0.0%	28.1%	45.6%	14.6%	10.7%	1.0%	0.0%
宇和島市	4.6	3.1	3.5	60.1%	39.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	4.9	3.6	3.9	0.0%	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	6.1	4.1	4.8	0.0%	33.0%	35.9%	17.6%	13.5%	0.0%	0.0%
西条市	6.6	4.1	5.0	0.0%	29.4%	17.0%	24.0%	18.3%	11.1%	0.2%
大洲市	5.5	3.6	4.1	0.0%	97.2%	2.7%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	5.4	3.9	4.5	0.0%	35.6%	54.6%	9.8%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	5.5	3.9	4.4	0.0%	48.5%	45.6%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	4.7	3.4	3.8	0.3%	99.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	5.6	4.4	4.9	0.0%	0.9%	49.2%	49.7%	0.2%	0.0%	0.0%
上島町	5.4	4.0	4.4	0.0%	52.7%	43.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	4.8	3.6	4.1	0.0%	87.9%	12.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	5.5	4.7	5.2	0.0%	0.0%	14.0%	83.3%	2.7%	0.0%	0.0%
砥部町	5.4	3.9	4.4	0.0%	56.9%	25.9%	17.2%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	4.7	3.7	4.0	0.0%	97.2%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	4.6	3.1	3.6	19.1%	80.8%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	4.0	3.3	3.5	26.5%	73.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	4.4	3.4	3.7	3.4%	96.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	3.9	2.9	3.2	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-13 ⑥中央構造線断層帯（伊予灘区間）の震度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	震度 面積割合						
				3以下	4	5弱	5強	6弱	6強	7
松山市	6.4	4.1	5.0	0.0%	6.2%	47.0%	29.9%	12.2%	4.7%	0.0%
今治市	5.7	3.8	4.5	0.0%	49.5%	40.6%	9.7%	0.2%	0.0%	0.0%
宇和島市	5.3	3.6	4.1	0.0%	92.0%	7.2%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	6.0	4.3	5.0	0.0%	2.0%	48.4%	48.5%	1.1%	0.0%	0.0%
新居浜市	5.7	3.6	4.2	0.0%	73.8%	18.5%	7.2%	0.5%	0.0%	0.0%
西条市	5.8	3.6	4.4	0.0%	50.5%	29.1%	18.6%	1.8%	0.0%	0.0%
大洲市	6.3	4.1	4.9	0.0%	9.2%	43.0%	43.1%	4.6%	0.2%	0.0%
伊予市	6.5	4.5	5.3	0.0%	0.0%	21.7%	48.2%	24.2%	5.9%	0.0%
四国中央市	5.0	3.6	4.0	0.0%	93.7%	6.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	5.6	3.9	4.5	0.0%	52.8%	41.5%	5.4%	0.2%	0.0%	0.0%
東温市	5.5	4.0	4.7	0.0%	16.5%	76.3%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	5.3	3.7	4.1	0.0%	80.6%	16.4%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	5.0	3.7	4.1	0.0%	87.3%	12.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	6.5	5.6	6.1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.7%	71.8%	1.4%
砥部町	5.8	4.4	4.8	0.0%	2.4%	56.4%	40.4%	0.9%	0.0%	0.0%
内子町	5.5	3.9	4.6	0.0%	43.3%	38.8%	17.4%	0.5%	0.0%	0.0%
伊方町	6.4	4.5	5.3	0.0%	0.0%	8.1%	68.8%	22.4%	0.6%	0.0%
松野町	4.5	3.7	3.9	0.0%	99.2%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	4.8	3.9	4.1	0.0%	97.6%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	4.6	3.2	3.7	5.9%	94.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-14 ⑦中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）の震度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	震度 面積割合						
				3以下	4	5弱	5強	6弱	6強	7
松山市	4.5	3.0	3.3	70.9%	29.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	4.8	2.8	3.3	74.5%	25.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
宇和島市	5.1	3.5	3.9	0.0%	98.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	4.9	3.9	4.2	0.0%	97.4%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	4.2	2.8	3.2	81.2%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西条市	4.5	2.8	3.3	70.0%	29.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大洲市	5.3	3.3	4.0	5.2%	90.5%	3.8%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	4.4	3.2	3.5	43.8%	56.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	3.7	2.7	2.9	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	5.2	3.3	3.9	4.8%	92.7%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	3.8	3.0	3.2	97.7%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	4.3	2.7	3.0	94.3%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	4.1	2.9	3.2	93.5%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	4.5	3.6	4.1	0.0%	98.6%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	3.9	3.2	3.4	82.1%	17.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	4.7	3.0	3.5	48.3%	51.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	6.0	4.0	4.7	0.0%	23.2%	51.5%	25.0%	0.3%	0.0%	0.0%
松野町	4.2	3.4	3.7	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	4.2	3.5	3.7	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	4.5	3.3	3.6	8.6%	91.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-15 ⑧中央構造線断層帯（3区間連動）の震度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	震度 面積割合						
				3以下	4	5弱	5強	6弱	6強	7
松山市	6.2	4.2	5.2	0.0%	3.1%	20.2%	55.9%	20.2%	0.6%	0.0%
今治市	6.6	4.2	5.1	0.0%	5.4%	35.0%	41.3%	13.9%	4.3%	0.1%
宇和島市	5.7	3.6	4.2	0.0%	88.8%	10.4%	0.6%	0.1%	0.0%	0.0%
八幡浜市	5.9	4.5	5.0	0.0%	0.0%	27.6%	70.4%	2.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	6.5	4.4	5.3	0.0%	0.1%	27.7%	39.2%	16.5%	16.4%	0.1%
西条市	7.0	4.4	5.5	0.0%	0.7%	32.8%	13.6%	22.5%	25.9%	4.5%
大洲市	6.0	4.0	4.9	0.0%	11.3%	46.8%	39.1%	2.7%	0.0%	0.0%
伊予市	6.1	4.4	5.0	0.0%	1.0%	43.5%	46.1%	8.7%	0.6%	0.0%
四国中央市	6.6	4.5	5.2	0.0%	0.0%	29.0%	43.4%	23.7%	3.7%	0.1%
西予市	6.0	3.9	4.6	0.0%	47.8%	38.9%	9.7%	3.6%	0.0%	0.0%
東温市	6.1	4.6	5.4	0.0%	0.0%	3.1%	53.3%	43.6%	0.1%	0.0%
上島町	5.7	4.2	4.7	0.0%	36.2%	28.9%	32.1%	2.7%	0.0%	0.0%
久万高原町	5.2	3.9	4.3	0.0%	75.1%	22.7%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	6.0	5.3	5.7	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	93.3%	3.4%	0.0%
砥部町	5.8	4.3	4.8	0.0%	23.6%	35.6%	35.5%	5.4%	0.0%	0.0%
内子町	5.4	4.0	4.5	0.0%	52.7%	34.9%	12.4%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	6.2	4.6	5.2	0.0%	0.0%	11.3%	73.7%	14.8%	0.2%	0.0%
松野町	4.6	3.8	4.0	0.0%	99.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	4.9	3.9	4.1	0.0%	97.4%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	4.7	3.3	3.8	2.7%	97.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

b) 震度（前回調査等との比較）

前回調査でも想定地震とした「南海トラフ巨大地震」について、震度の想定結果について比較整理する。

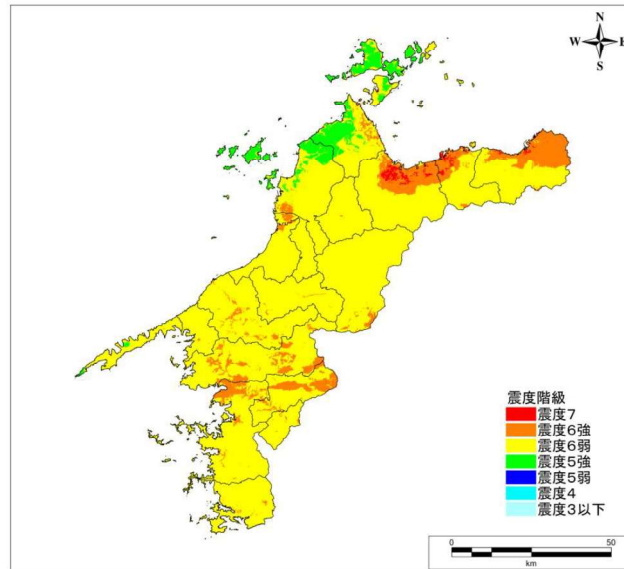
今回調査と、前回調査ならびに内閣府（2025）による市町村最大震度を表 2.4-16、震度分布を図 2.4-17 に示す。松山市、八幡浜市、大洲市、伊予市、西予市、松前町、砥部町、伊方町、鬼北町、愛南町では、前回調査では最大震度 7 が想定されているが、今回調査では 6 強と想定されている。また、震度分布より、特に南予地域において、今回調査では震度 6 弱の範囲が広がっている。この要因としては、前回調査から深部地盤モデルを更新したことや、個別の地盤モデルごとに増幅計算を行っていたものについて、各地点で応答計算を行ったことが挙げられる。

また、内閣府（2025）の震度と比較すると、今回調査の想定結果は震度がやや小さくなっている市町がある。内閣府（2025）では、工学的基盤～地表の増幅評価に簡便な方法を用いていることに対して、今回調査では詳細地盤モデルを設定した上で、応答計算を行っているため、違いが生じている。

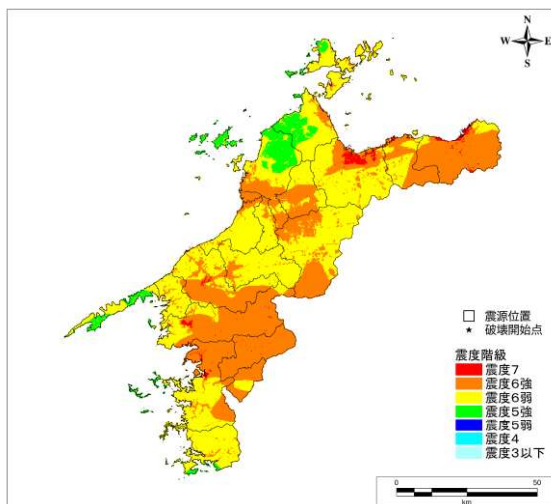
表 2.4-16 各調査における市町最大震度の比較

市町名	今回調査	内閣府（2025）	前回調査（2013）
松山市	6 強	6 強	7
今治市	7	6 強	6 強
宇和島市	7	7	7
八幡浜市	6 強	6 強	7
新居浜市	7	7	7
西条市	7	7	7
大洲市	7	7	7
伊予市	6 強	6 強	7
四国中央市	7	7	7
西予市	7	7	7
東温市	6 強	6 強	6 強
上島町	6 強	6 強	6 強
久万高原町	6 強	6 強	6 強
松前町	6 強	6 強	7
砥部町	6 強	6 強	6 強
内子町	6 強	6 強	6 強
伊方町	6 強	6 強	7
松野町	6 強	6 強	6 強
鬼北町	6 強	6 強	7
愛南町	6 強	6 強	7

今回調査



内閣府 (2025)



前回調査 (2013)

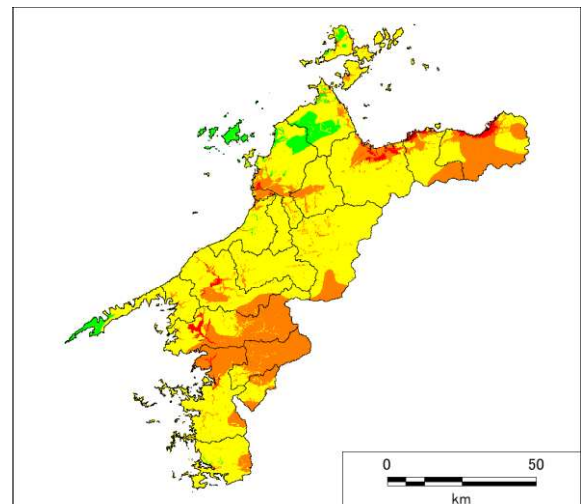


図 2.4-17 各調査における震度分布の比較

### c) 地表加速度 (PGA)

各想定地震における最大クラスの加速度 (破壊開始点の異なるケースを重ね合わせた地点ごとの最大加速度 (PGA)) の想定結果について、表 2.4-17、図 2.4-18～図 2.4-27 に示す。

#### ① 南海トラフ巨大地震

四国中央市、新居浜市、西条市の一部などで  $1000\text{cm/s}^2$  超と想定される。また、南予地域で  $600\text{cm/s}^2$  以上となる範囲が広い。今治市北部では相対的に加速度が小さく、 $300\sim 400\text{cm/s}^2$  程度が想定される。

#### ② 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震 (モデル A)

県の広い範囲で  $200\text{cm/s}^2$  未満である。ただし、震源の直上で、かつ、低地部にあたる松山市や西条市～今治市では  $600\text{cm/s}^2$  以上が想定される。

#### ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震 (モデル B)

県の広い範囲で  $200\text{cm/s}^2$  未満である。震源に近い大洲市～伊方町においても  $200\sim 300\text{cm/s}^2$  程度の地点が多い。

#### ②" 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震 (モデル C)

県の広い範囲で  $200\text{cm/s}^2$  未満である。大洲市西部～西予市にかけて  $300\sim 400\text{cm/s}^2$  と想定される地点がある。また、震源からやや離れた西条市でも  $200\sim 300\text{cm/s}^2$  の加速度が想定される。

#### ③ 中央構造線断層帯 (讃岐山脈南縁西部区間)

東予を中心とした地域で加速度  $300\text{cm/s}^2$  以上が想定される。特に、新居浜市や西条市、四国中央市の一部では  $1000\text{cm/s}^2$  以上が想定される。

#### ④ 中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁区間)

震源断層の長さが比較的短いため、加速度が大きくなる地域は限定的であるが、震源の直上にあたる新居浜市や西条市では  $1000\text{cm/s}^2$  以上が想定される。

#### ⑤ 中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁西部区間)

西条市の低地部で  $400\text{cm/s}^2$  以上が想定され、 $1000\text{cm/s}^2$  以上の地点も多く生じている。山地部では相対的に加速度は小さく想定される。

#### ⑥ 中央構造線断層帯 (伊予灘区間)

松山市への影響が大きく、市内の広い範囲で  $800\text{cm/s}^2$  以上と想定される。また、大洲市の低地、河川沿いや伊方町でも  $600\text{cm/s}^2$  以上となる地点がある。

#### ⑦ 中央構造線断層帯 (豊予海峡-由布院区間)

伊方町の西部で最も大きく、 $300\sim 400\text{cm/s}^2$  となる。その他の地域では  $100\text{cm/s}^2$  未満となる。

#### ⑧ 中央構造線断層帯 (3 区間連動)

震源断層に沿って加速度が大きい地域が広がっており、特に、西条市や新居浜市で  $1000\text{cm/s}^2$  以上となる地点が多い。松山市でも  $600\sim 800\text{cm/s}^2$  が想定されるほか、震源断層からやや離れた西予市でも  $400\sim 500\text{cm/s}^2$  が広い範囲で想定される。

表 2.4-17 想定地震における最大加速度及び地表加速度面積割合

想定地震	最大 加速度 (cm/s <sup>2</sup> )	地表最大加速度 面積割合							
		0~100 (cm/s <sup>2</sup> )	100~ 200 (cm/s <sup>2</sup> )	200~ 300 (cm/s <sup>2</sup> )	300~ 400 (cm/s <sup>2</sup> )	400~ 500 (cm/s <sup>2</sup> )	500~ 600 (cm/s <sup>2</sup> )	600~ (cm/s <sup>2</sup> )	
①南海トラフ巨大地震	2410.0	0.0%	0.0%	0.0%	6.2%	36.5%	23.2%	34.0%	
②安芸灘～伊予灘 ～豊後水道の プレート内地震	A	750.1	41.6%	49.7%	5.0%	2.3%	1.1%	0.3%	0.0%
	B	740.1	56.2%	40.5%	2.8%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	C	728.5	31.9%	61.1%	5.6%	1.3%	0.1%	0.0%	0.0%
③中央構造線断層帯 (讃岐山脈南縁西部区間)	1825.5	72.7%	12.0%	5.1%	2.9%	2.7%	1.6%	2.9%	
④中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁区間)	1888.8	77.1%	13.9%	3.0%	1.8%	1.0%	1.0%	2.3%	
⑤中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁西部区間)	1590.7	60.8%	23.2%	9.1%	2.8%	1.4%	0.9%	1.8%	
⑥中央構造線断層帯 (伊予灘区間)	1450.0	46.7%	32.8%	11.2%	5.8%	1.7%	0.5%	1.3%	
⑦中央構造線断層帯 (豊予海峡-由布院区間)	733.0	97.0%	2.4%	0.4%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
⑧中央構造線断層帯 (3区間連動)	2518.0	27.5%	29.1%	20.3%	9.2%	4.8%	2.9%	6.1%	

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

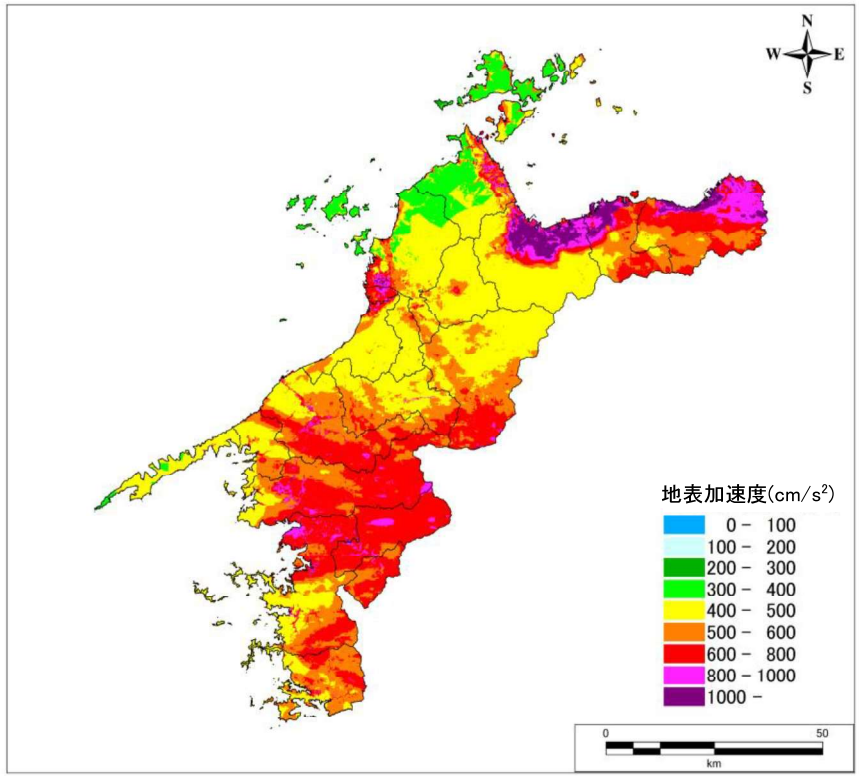


図 2.4-18 ①南海トラフ巨大地震の地表加速度分布

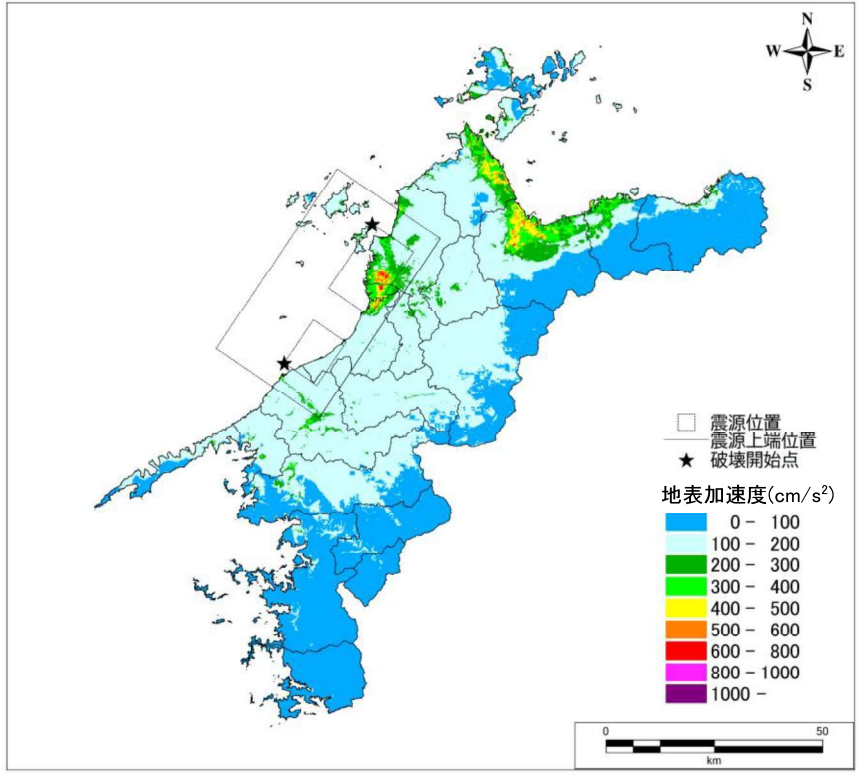


図 2.4-19 ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデル A）の地表加速度分布

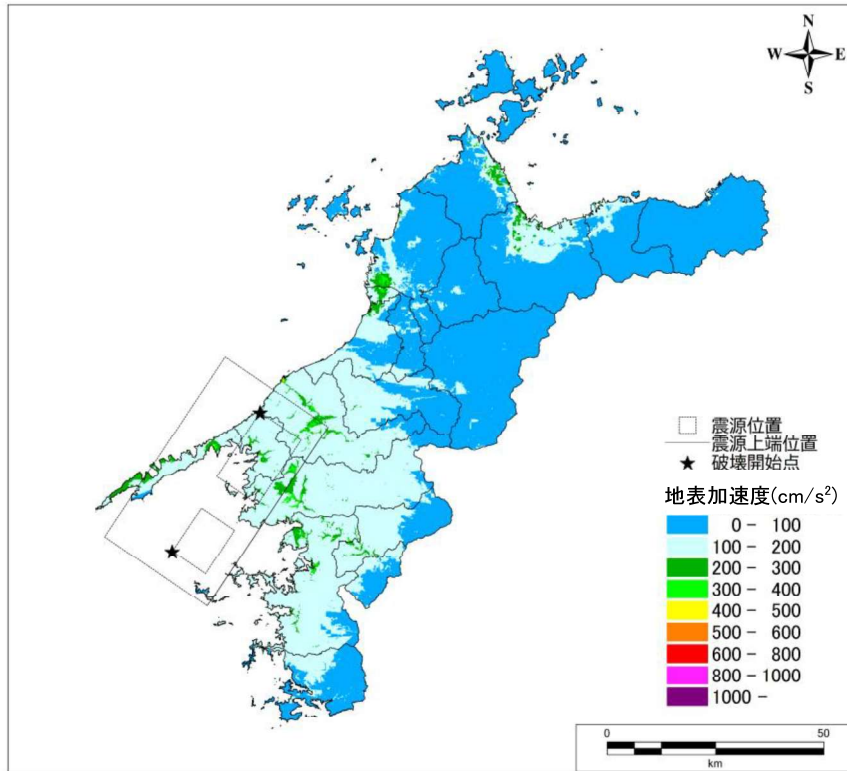


図 2.4-20 ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデル B）の地表加速度分布

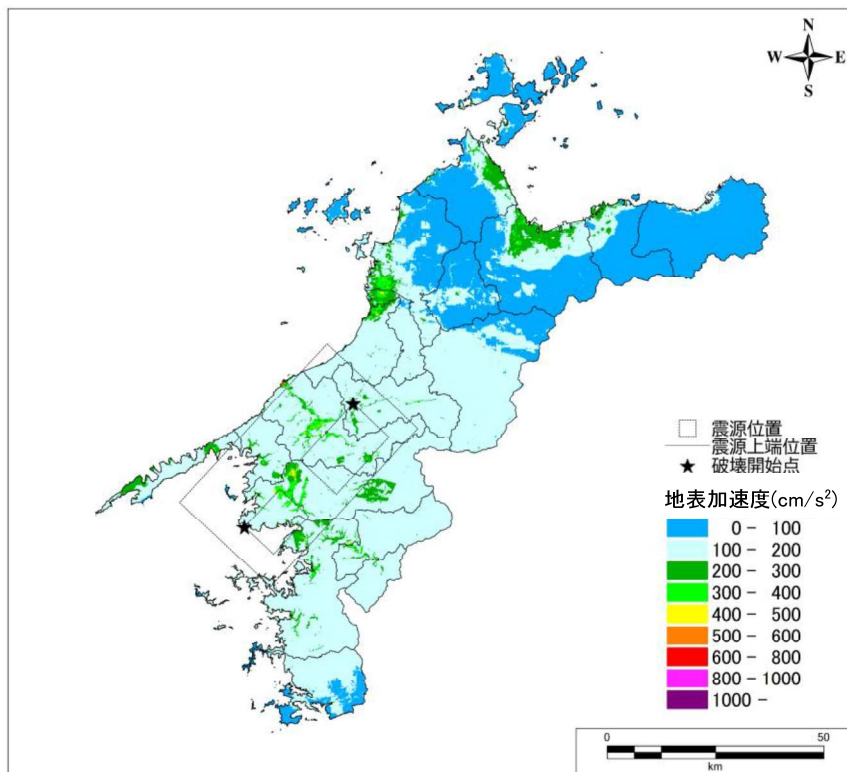


図 2.4-21 ②'' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデル C）の地表加速度分布

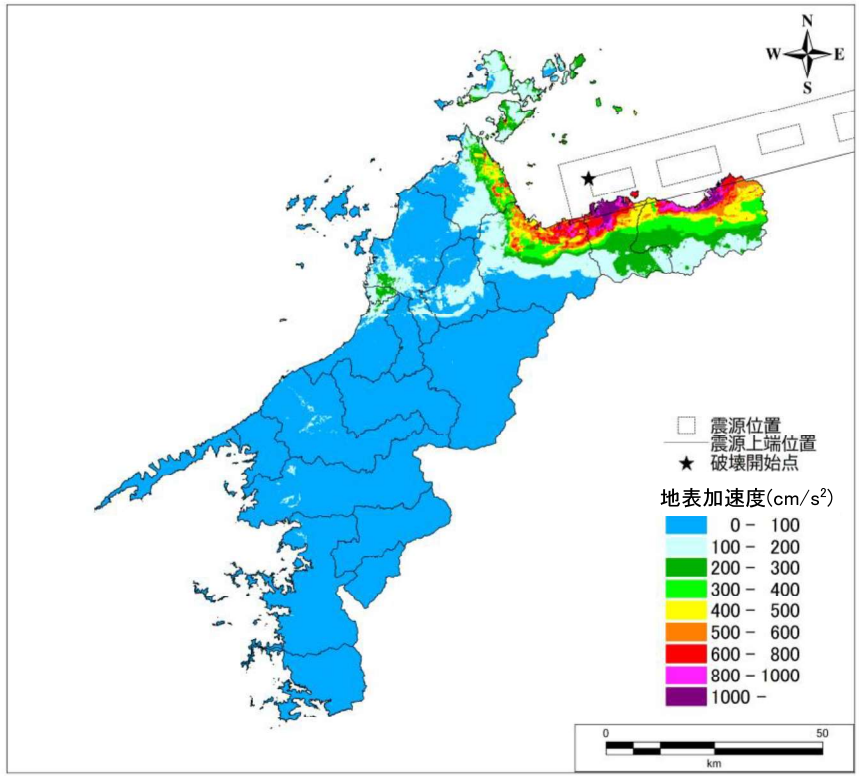


図 2.4-22 ③中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）の地表加速度分布

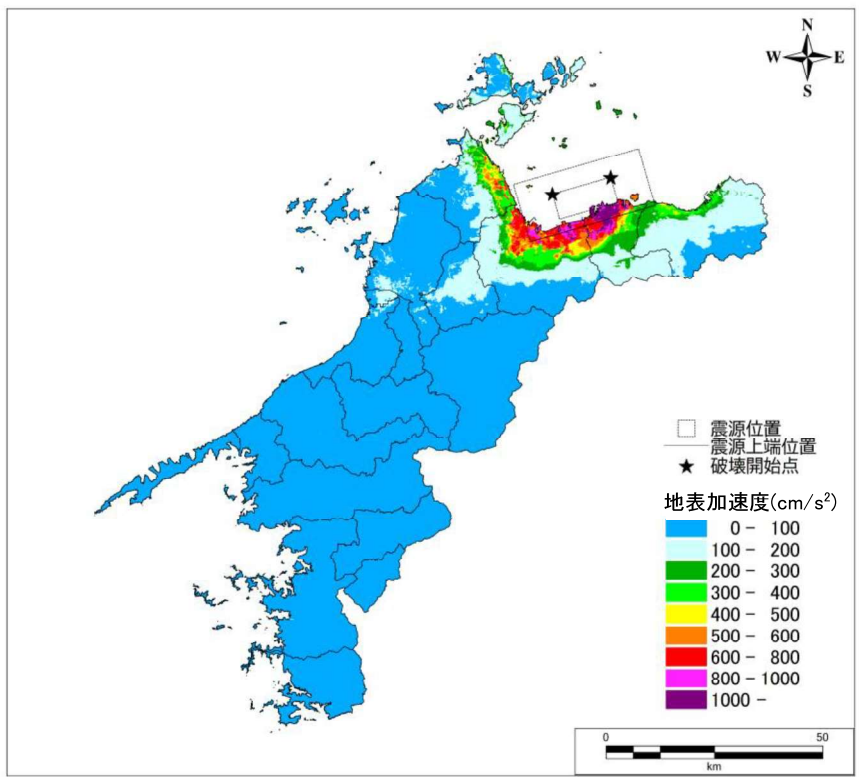


図 2.4-23 ④中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）の地表加速度分布

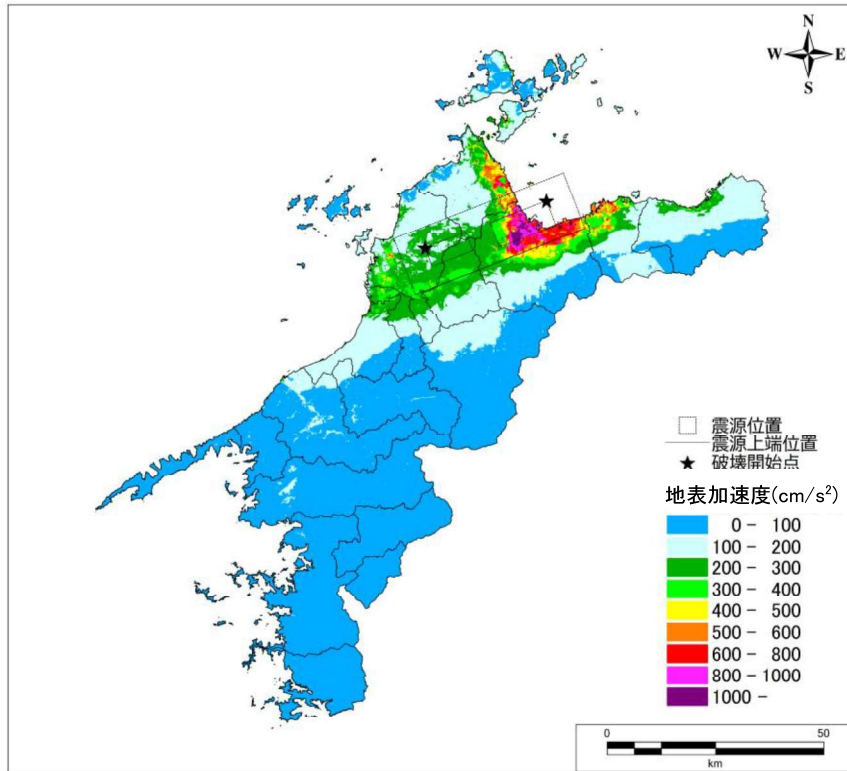


図 2.4-24 ⑤中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）の地表加速度分布

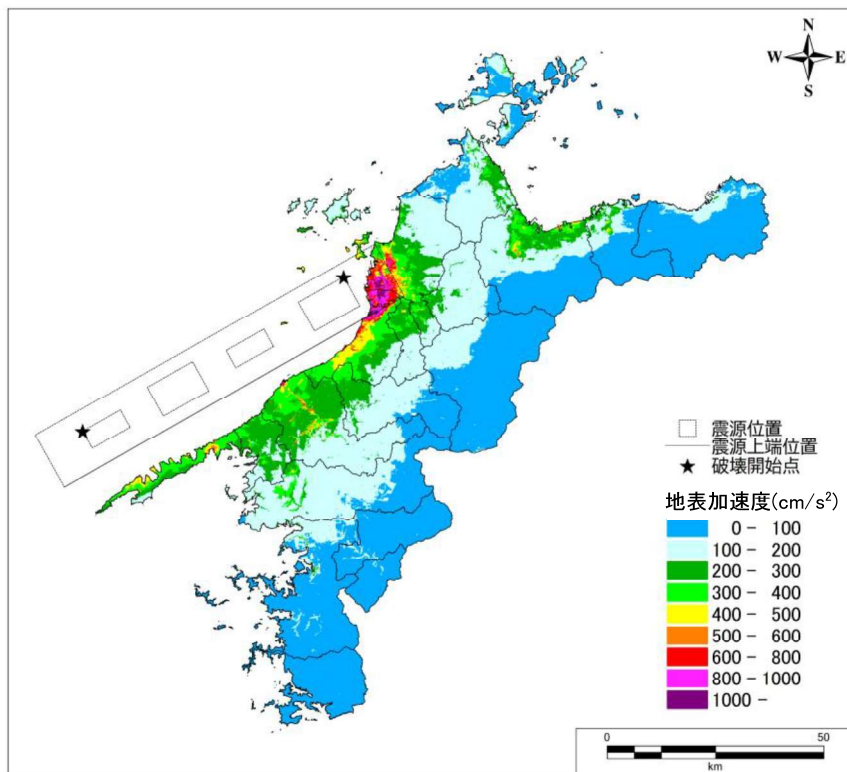


図 2.4-25 ⑥中央構造線断層帯（伊予灘区間）の地表加速度分布

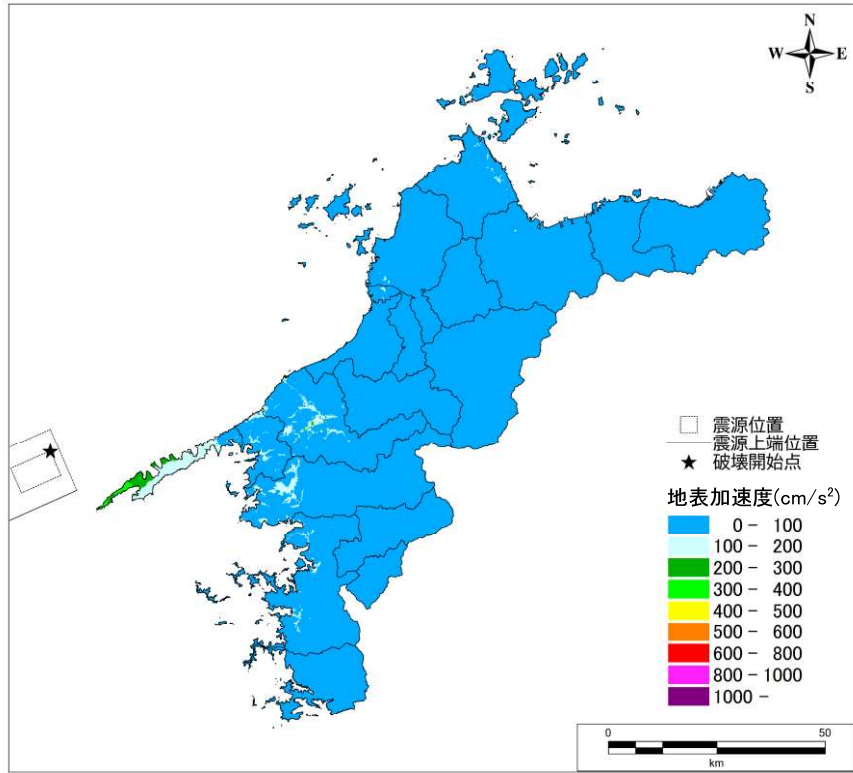


図 2.4-26 ⑦中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）の地表加速度分布

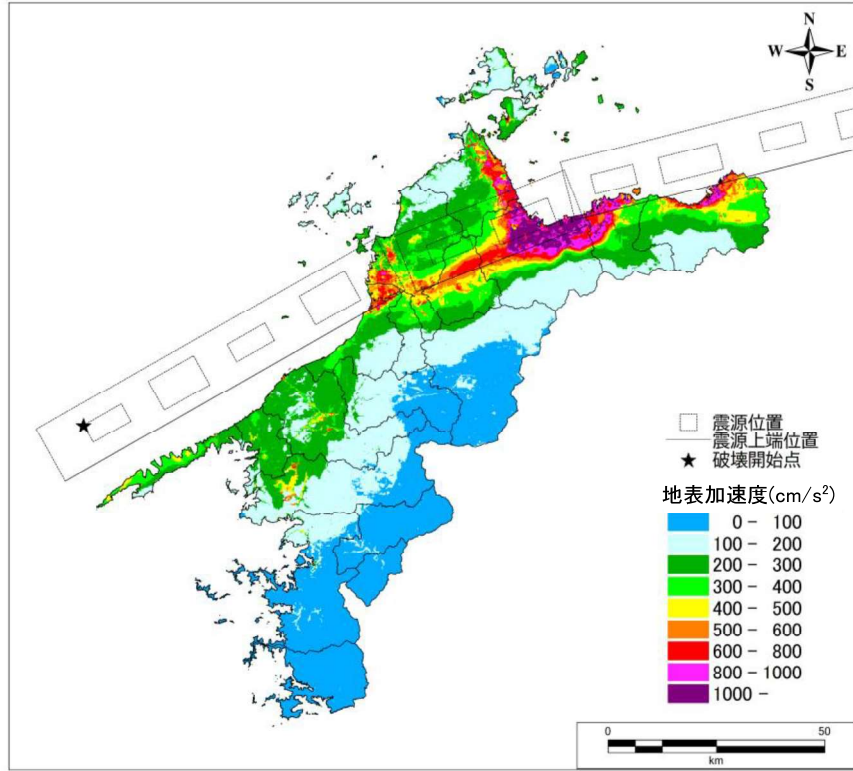


図 2.4-27 ⑧中央構造線断層帯（3区間連動）の地表加速度分布

表 2.4-18 ①南海トラフ巨大地震の地表加速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s <sup>2</sup> )	最小値 (cm/s <sup>2</sup> )	平均値 (cm/s <sup>2</sup> )	地表加速度 面積割合						
				0~100 (cm/s <sup>2</sup> )	100~ 200 (cm/s <sup>2</sup> )	200~ 300 (cm/s <sup>2</sup> )	300~ 400 (cm/s <sup>2</sup> )	400~ 500 (cm/s <sup>2</sup> )	500~ 600 (cm/s <sup>2</sup> )	600~ (cm/s <sup>2</sup> )
松山市	1275.9	299.4	450.8	0.0%	0.0%	0.0%	28.1%	51.1%	13.1%	7.8%
今治市	1471.4	292.2	448.4	0.0%	0.0%	0.5%	46.8%	30.1%	10.9%	11.7%
宇和島市	1524.3	432.5	593.1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.7%	27.1%	44.2%
八幡浜市	1034.7	411.4	502.7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.3%	32.2%	12.6%
新居浜市	2151.8	426.7	701.7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.0%	32.8%	54.2%
西条市	2410.0	354.2	654.3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	59.2%	6.1%	34.6%
大洲市	1394.6	391.9	580.1	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	22.4%	35.7%	41.7%
伊予市	992.7	408.9	467.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.8%	12.9%	6.4%
四国中央市	1902.7	436.2	718.1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%	29.1%	66.8%
西予市	1420.3	420.5	637.4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.5%	24.2%	67.3%
東温市	1018.4	410.9	453.6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88.3%	10.5%	1.2%
上島町	1089.0	317.8	439.7	0.0%	0.0%	0.0%	45.0%	31.2%	15.6%	8.2%
久万高原町	1156.0	428.3	525.6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	51.1%	30.6%	18.3%
松前町	1160.2	517.3	718.6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.6%	92.4%
砥部町	760.2	419.0	459.4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	86.2%	12.7%	1.1%
内子町	954.8	422.6	515.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	49.2%	39.6%	11.1%
伊方町	1004.9	383.8	421.9	0.0%	0.0%	0.0%	10.7%	85.3%	2.7%	1.2%
松野町	1041.0	530.1	620.6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	34.2%	65.8%
鬼北町	1160.2	495.1	693.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.1%	94.9%
愛南町	1044.8	458.5	555.5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	24.9%	53.5%	21.6%

表 2.4-19 ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル A）の  
地表加速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s <sup>2</sup> )	最小値 (cm/s <sup>2</sup> )	平均値 (cm/s <sup>2</sup> )	地表加速度 面積割合						
				0~100 (cm/s <sup>2</sup> )	100~ 200 (cm/s <sup>2</sup> )	200~ 300 (cm/s <sup>2</sup> )	300~ 400 (cm/s <sup>2</sup> )	400~ 500 (cm/s <sup>2</sup> )	500~ 600 (cm/s <sup>2</sup> )	600~ (cm/s <sup>2</sup> )
松山市	674.7	82.5	177.7	0.7%	76.3%	15.5%	4.6%	1.6%	1.0%	0.3%
今治市	750.1	60.3	165.6	19.0%	56.6%	13.3%	6.1%	4.0%	0.8%	0.1%
宇和島市	217.6	45.5	71.3	92.5%	7.3%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	479.7	63.0	121.3	12.1%	85.5%	2.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	468.7	52.4	123.0	62.3%	20.1%	10.0%	7.0%	0.5%	0.0%	0.0%
西条市	638.7	61.2	172.8	36.7%	33.5%	13.6%	8.9%	6.1%	1.1%	0.1%
大洲市	521.1	95.4	136.4	0.7%	93.9%	4.5%	0.8%	0.1%	0.0%	0.0%
伊予市	629.4	113.0	162.6	0.0%	90.2%	4.3%	3.2%	1.8%	0.5%	0.0%
四国中央市	271.6	34.1	76.9	87.9%	10.6%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	373.7	65.4	107.2	44.0%	54.2%	1.6%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	472.1	97.4	139.7	0.1%	95.6%	4.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	324.4	52.9	99.0	51.4%	46.6%	1.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	221.8	71.2	105.4	43.2%	56.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	709.2	169.3	365.2	0.0%	2.2%	20.4%	49.0%	23.1%	2.2%	3.0%
砥部町	300.5	110.9	141.9	0.0%	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	309.0	92.7	124.5	4.1%	94.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	603.1	44.3	108.7	39.9%	57.9%	2.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	120.9	49.0	63.6	98.8%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	194.7	57.7	83.9	94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	162.6	34.1	56.2	99.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-20 ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル B）の  
地表加速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s <sup>2</sup> )	最小値 (cm/s <sup>2</sup> )	平均値 (cm/s <sup>2</sup> )	地表加速度 面積割合						
				0～100 (cm/s <sup>2</sup> )	100～ 200 (cm/s <sup>2</sup> )	200～ 300 (cm/s <sup>2</sup> )	300～ 400 (cm/s <sup>2</sup> )	400～ 500 (cm/s <sup>2</sup> )	500～ 600 (cm/s <sup>2</sup> )	600～ (cm/s <sup>2</sup> )
松山市	390.4	58.2	94.7	77.1%	19.8%	2.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	384.8	25.9	74.0	84.6%	12.4%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
宇和島市	402.5	80.3	130.8	8.2%	86.0%	5.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	410.4	101.5	158.0	0.0%	94.0%	5.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	212.8	32.0	64.4	84.4%	15.4%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西条市	330.8	38.4	88.9	73.0%	24.3%	2.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
大洲市	600.9	77.8	144.8	6.9%	86.6%	5.1%	1.3%	0.1%	0.0%	0.0%
伊予市	317.8	70.2	113.5	36.3%	60.1%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	119.6	20.5	38.2	99.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	391.9	72.8	138.1	8.8%	85.2%	4.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	239.2	56.4	71.7	96.5%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	190.5	26.3	43.8	97.6%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	135.9	58.2	82.1	97.3%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	394.2	94.0	192.1	0.1%	65.4%	31.3%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	166.4	68.8	90.4	82.4%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	258.3	74.0	105.9	42.9%	56.9%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	740.1	71.1	181.6	4.3%	67.4%	26.0%	1.9%	0.4%	0.0%	0.0%
松野町	202.0	78.1	99.5	57.6%	42.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	270.2	73.2	112.0	34.5%	63.1%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	260.2	59.4	93.0	72.5%	27.3%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-21 ②" 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル C）の  
地表加速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s <sup>2</sup> )	最小値 (cm/s <sup>2</sup> )	平均値 (cm/s <sup>2</sup> )	地表加速度 面積割合						
				0～100 (cm/s <sup>2</sup> )	100～ 200 (cm/s <sup>2</sup> )	200～ 300 (cm/s <sup>2</sup> )	300～ 400 (cm/s <sup>2</sup> )	400～ 500 (cm/s <sup>2</sup> )	500～ 600 (cm/s <sup>2</sup> )	600～ (cm/s <sup>2</sup> )
松山市	447.0	71.9	120.3	52.0%	40.1%	6.0%	1.9%	0.1%	0.0%	0.0%
今治市	473.3	34.5	99.0	71.5%	20.6%	7.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
宇和島市	507.9	74.6	154.8	1.4%	89.7%	7.4%	1.3%	0.1%	0.0%	0.0%
八幡浜市	426.2	88.7	159.5	1.7%	89.8%	7.9%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	326.0	45.9	88.7	74.4%	19.6%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西条市	467.0	59.1	123.0	58.5%	27.4%	13.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
大洲市	728.5	112.0	178.4	0.0%	90.0%	5.7%	3.8%	0.4%	0.1%	0.0%
伊予市	461.3	95.5	145.1	0.3%	91.4%	6.0%	2.2%	0.2%	0.0%	0.0%
四国中央市	181.7	29.8	52.8	95.8%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	487.3	108.6	180.5	0.0%	86.8%	8.8%	3.9%	0.5%	0.0%	0.0%
東温市	364.7	74.1	96.0	77.2%	22.5%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	198.1	28.4	49.2	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	244.0	81.4	117.5	19.5%	80.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	457.4	126.7	257.4	0.0%	12.6%	67.4%	17.6%	2.4%	0.0%	0.0%
砥部町	223.7	88.5	125.8	2.8%	96.9%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	372.8	115.5	155.8	0.0%	96.1%	3.6%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	727.6	84.2	174.2	1.7%	75.2%	21.2%	1.5%	0.3%	0.0%	0.0%
松野町	272.6	102.1	128.5	0.0%	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	374.6	116.6	156.5	0.0%	97.1%	1.9%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	317.0	69.5	112.9	32.5%	67.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-22 ③中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）の地表加速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s <sup>2</sup> )	最小値 (cm/s <sup>2</sup> )	平均値 (cm/s <sup>2</sup> )	地表加速度 面積割合						
				0~100 (cm/s <sup>2</sup> )	100~ 200 (cm/s <sup>2</sup> )	200~ 300 (cm/s <sup>2</sup> )	300~ 400 (cm/s <sup>2</sup> )	400~ 500 (cm/s <sup>2</sup> )	500~ 600 (cm/s <sup>2</sup> )	600~ (cm/s <sup>2</sup> )
松山市	363.3	39.3	85.3	79.2%	18.6%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	954.8	52.2	183.1	25.8%	44.5%	13.6%	6.9%	6.2%	2.0%	1.0%
宇和島市	173.2	19.8	33.6	99.6%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	128.4	27.4	40.3	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	1825.5	100.9	446.9	0.0%	22.8%	32.9%	4.8%	8.1%	4.9%	26.5%
西条市	1149.0	57.9	239.0	33.5%	29.8%	6.4%	6.8%	7.6%	7.8%	8.0%
大洲市	219.4	33.6	54.5	98.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	234.6	39.7	71.4	88.6%	10.6%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	1696.8	145.9	393.4	0.0%	20.0%	22.3%	20.1%	16.1%	7.9%	13.6%
西予市	153.5	26.6	48.0	98.9%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	260.2	62.0	93.4	71.3%	28.7%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	515.4	81.5	198.2	19.5%	36.8%	25.8%	13.7%	3.8%	0.5%	0.0%
久万高原町	128.4	37.0	58.3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	335.7	84.2	174.0	3.0%	62.0%	33.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	140.1	47.2	62.3	98.8%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	89.1	39.9	49.5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	73.1	23.3	33.4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	73.3	31.8	44.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	85.9	32.1	44.2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	137.9	18.2	29.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-23 ④中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）の地表加速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s <sup>2</sup> )	最小値 (cm/s <sup>2</sup> )	平均値 (cm/s <sup>2</sup> )	地表加速度 面積割合						
				0~100 (cm/s <sup>2</sup> )	100~ 200 (cm/s <sup>2</sup> )	200~ 300 (cm/s <sup>2</sup> )	300~ 400 (cm/s <sup>2</sup> )	400~ 500 (cm/s <sup>2</sup> )	500~ 600 (cm/s <sup>2</sup> )	600~ (cm/s <sup>2</sup> )
松山市	222.4	21.2	62.8	93.8%	6.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	987.9	41.4	163.3	41.9%	34.5%	9.6%	6.3%	4.6%	2.4%	0.8%
宇和島市	58.4	11.2	18.4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	57.9	22.0	28.4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	1888.8	91.3	404.4	0.8%	42.8%	17.7%	5.7%	4.5%	5.5%	23.0%
西条市	1413.4	41.8	273.6	27.5%	31.8%	7.7%	7.8%	4.8%	6.3%	14.2%
大洲市	106.4	24.2	34.6	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	150.0	31.8	45.3	97.3%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	524.3	59.9	149.7	26.1%	57.1%	10.5%	5.6%	0.7%	0.0%	0.0%
西予市	84.1	20.2	28.1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	206.4	62.3	96.0	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	464.2	51.4	127.1	42.8%	40.8%	16.1%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%
久万高原町	115.9	23.9	47.8	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	170.9	66.3	105.7	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	142.7	36.5	50.4	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	67.5	24.9	35.1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	70.4	11.2	21.6	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	36.5	16.6	19.9	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	53.3	18.9	23.9	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	52.9	8.1	14.6	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-24 ⑤中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）の地表加速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s <sup>2</sup> )	最小値 (cm/s <sup>2</sup> )	平均値 (cm/s <sup>2</sup> )	地表加速度 面積割合						
				0~100 (cm/s <sup>2</sup> )	100~ 200 (cm/s <sup>2</sup> )	200~ 300 (cm/s <sup>2</sup> )	300~ 400 (cm/s <sup>2</sup> )	400~ 500 (cm/s <sup>2</sup> )	500~ 600 (cm/s <sup>2</sup> )	600~ (cm/s <sup>2</sup> )
松山市	666.5	55.0	193.2	11.0%	44.1%	35.9%	7.8%	1.0%	0.1%	0.1%
今治市	1038.5	56.3	204.4	17.5%	51.1%	15.2%	4.7%	5.4%	3.6%	2.3%
宇和島市	133.8	22.2	35.4	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	208.0	41.5	63.2	99.6%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	818.9	72.6	204.8	19.6%	46.4%	12.2%	9.1%	6.5%	4.6%	1.7%
西条市	1590.7	74.9	323.3	21.3%	22.9%	17.3%	9.6%	7.5%	4.2%	17.3%
大洲市	398.1	41.5	75.3	86.8%	13.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	393.3	59.2	140.9	24.9%	63.1%	10.1%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	439.9	56.8	125.1	38.9%	52.8%	7.5%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	150.2	30.7	55.4	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	492.1	106.9	213.4	0.0%	46.1%	44.4%	9.3%	0.1%	0.0%	0.0%
上島町	376.0	63.4	118.2	45.0%	49.1%	5.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	172.6	43.0	82.6	80.5%	19.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	436.2	148.6	280.6	0.0%	8.7%	50.5%	38.6%	2.2%	0.0%	0.0%
砥部町	366.0	61.3	130.8	54.3%	21.9%	23.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	160.4	47.4	69.7	92.6%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	140.7	23.7	44.1	99.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	69.5	27.9	36.2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	114.9	32.3	44.8	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	62.9	16.6	24.6	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-25 ⑥中央構造線断層帯（伊予灘区間）の地表加速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s <sup>2</sup> )	最小値 (cm/s <sup>2</sup> )	平均値 (cm/s <sup>2</sup> )	地表加速度 面積割合						
				0~100 (cm/s <sup>2</sup> )	100~ 200 (cm/s <sup>2</sup> )	200~ 300 (cm/s <sup>2</sup> )	300~ 400 (cm/s <sup>2</sup> )	400~ 500 (cm/s <sup>2</sup> )	500~ 600 (cm/s <sup>2</sup> )	600~ (cm/s <sup>2</sup> )
松山市	1288.4	79.0	273.7	1.7%	45.9%	23.9%	12.2%	5.9%	2.9%	7.5%
今治市	541.8	51.5	129.0	33.6%	55.0%	9.3%	2.0%	0.1%	0.0%	0.0%
宇和島市	322.1	41.8	82.0	81.7%	17.3%	0.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	760.2	101.8	230.4	0.0%	29.4%	59.0%	10.6%	0.7%	0.3%	0.0%
新居浜市	509.2	40.5	98.5	68.8%	20.7%	9.0%	1.1%	0.4%	0.0%	0.0%
西条市	592.2	41.1	139.3	44.4%	33.9%	13.8%	6.3%	1.3%	0.3%	0.0%
大洲市	1136.5	76.4	220.0	5.9%	42.2%	33.1%	14.4%	2.9%	1.0%	0.5%
伊予市	1450.0	124.8	358.5	0.0%	17.2%	22.9%	31.0%	15.9%	4.2%	8.7%
四国中央市	237.5	41.6	71.8	86.9%	12.8%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	487.3	58.4	125.3	30.6%	62.8%	3.1%	3.4%	0.1%	0.0%	0.0%
東温市	412.9	64.6	154.8	8.3%	81.7%	9.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	339.8	47.3	88.1	70.3%	26.5%	2.3%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	222.4	44.8	77.8	82.1%	17.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	1413.4	450.8	838.1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	8.5%	90.9%
砥部町	600.9	106.9	199.7	0.0%	57.0%	30.0%	12.2%	0.8%	0.0%	0.0%
内子町	434.6	61.5	149.9	29.5%	50.2%	14.9%	5.0%	0.3%	0.0%	0.0%
伊方町	1196.1	126.5	341.8	0.0%	7.0%	23.6%	50.1%	15.1%	2.6%	1.7%
松野町	127.4	46.8	59.1	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	188.9	56.7	75.2	96.9%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	147.1	26.8	49.7	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-26 ⑦中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）の地表加速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s <sup>2</sup> )	最小値 (cm/s <sup>2</sup> )	平均値 (cm/s <sup>2</sup> )	地表加速度 面積割合						
				0~100 (cm/s <sup>2</sup> )	100~ 200 (cm/s <sup>2</sup> )	200~ 300 (cm/s <sup>2</sup> )	300~ 400 (cm/s <sup>2</sup> )	400~ 500 (cm/s <sup>2</sup> )	500~ 600 (cm/s <sup>2</sup> )	600~ (cm/s <sup>2</sup> )
松山市	121.5	19.4	32.0	99.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	184.6	15.9	31.7	99.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
宇和島市	266.0	37.9	62.2	97.3%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	204.2	61.2	86.0	91.1%	8.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	83.7	15.6	26.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西条市	130.3	14.7	31.4	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大洲市	339.0	28.8	70.6	93.3%	6.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	104.0	25.0	38.5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	47.7	13.1	17.9	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	291.8	28.8	61.9	94.9%	5.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	52.7	19.8	26.5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	93.1	14.1	21.7	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	79.9	16.8	26.2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	129.9	43.7	73.3	96.5%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	56.8	24.3	30.8	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	148.9	20.9	40.3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	733.0	71.4	172.0	17.4%	53.1%	20.6%	8.6%	0.1%	0.1%	0.0%
松野町	88.0	34.1	49.6	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	89.9	36.6	49.6	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	117.0	28.7	43.5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-27 ⑧中央構造線断層帯（3区間連動）の地表加速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s <sup>2</sup> )	最小値 (cm/s <sup>2</sup> )	平均値 (cm/s <sup>2</sup> )	地表加速度 面積割合						
				0~100 (cm/s <sup>2</sup> )	100~ 200 (cm/s <sup>2</sup> )	200~ 300 (cm/s <sup>2</sup> )	300~ 400 (cm/s <sup>2</sup> )	400~ 500 (cm/s <sup>2</sup> )	500~ 600 (cm/s <sup>2</sup> )	600~ (cm/s <sup>2</sup> )
松山市	944.3	85.4	305.7	0.3%	20.0%	37.7%	21.9%	11.2%	5.9%	3.1%
今治市	1548.6	87.9	292.6	1.1%	35.5%	32.1%	13.5%	4.3%	4.2%	9.3%
宇和島市	517.3	42.9	85.5	77.4%	21.6%	0.6%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%
八幡浜市	664.1	117.2	238.8	0.0%	11.5%	80.3%	6.4%	1.6%	0.2%	0.0%
新居浜市	1494.9	112.0	403.0	0.0%	23.8%	28.0%	15.6%	5.3%	5.2%	22.2%
西条市	2518.0	106.9	538.7	0.0%	32.1%	7.8%	7.7%	9.0%	6.8%	36.5%
大洲市	803.1	70.5	203.7	6.1%	37.6%	49.6%	4.2%	1.9%	0.4%	0.3%
伊予市	879.9	109.6	250.9	0.0%	38.9%	36.8%	15.5%	3.0%	3.3%	2.6%
四国中央市	1666.1	122.9	328.1	0.0%	24.9%	27.2%	21.8%	14.1%	5.1%	6.9%
西予市	788.5	62.4	148.4	27.3%	54.1%	14.0%	1.1%	2.6%	0.8%	0.1%
東温市	891.8	146.8	396.4	0.0%	1.8%	23.6%	32.7%	19.1%	14.8%	8.1%
上島町	528.8	81.6	183.3	23.3%	34.8%	29.2%	10.2%	2.4%	0.1%	0.0%
久万高原町	285.8	61.1	104.0	56.1%	41.1%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	790.5	321.3	546.3	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	25.1%	43.0%	28.3%
砥部町	603.9	94.4	207.6	1.0%	56.3%	16.2%	22.1%	4.3%	0.2%	0.0%
内子町	363.3	63.4	134.2	40.3%	45.3%	12.9%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	1003.7	144.3	315.2	0.0%	9.0%	36.3%	41.7%	11.1%	0.9%	0.9%
松野町	136.9	52.0	63.9	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	201.5	62.8	80.9	95.4%	4.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	155.6	30.5	51.7	99.7%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

d) 地表速度 (PGV)

各想定地震における最大クラスの世界 (破壊開始点の異なるケースを重ね合わせた地点ごとの最大速度 (PGV)) の想定結果について、表 2.4-28、図 2.4-28～図 2.4-37 に示す。

① 南海トラフ巨大地震

西条市～新居浜市、四国中央市の一部で 100cm/s 超と想定される。また、松山市や南予地域で 50cm/s 以上と想定される。

② 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震 (モデル A)

県の広い範囲で 20cm/s 未満と想定される。震源の直上にあたる松山市の低地部では 20cm/s 以上で、今治市などの一部では 60cm/s 以上が想定される。

②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震 (モデル B)

県の広い範囲で 20cm/s 未満と想定される。西予市の低地部などでは 20～30cm/s がやや広く想定される。

②" 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震 (モデル C)

県の広い範囲で 20cm/s 未満と想定される。西予市の低地部や、西条市において 20～30cm/s が想定される。

③ 中央構造線断層帯 (讃岐山脈南縁西部区間)

震源に近い新居浜市や四国中央市の沿岸部で速度が大きく、100cm/s 以上が想定される。そのほかの地域では、おおむね 10cm/s 以下となった。

④ 中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁区間)

震源に近い西条市や新居浜市、西条市の沿岸部や低地部で速度が大きく、100cm/s 以上が想定される。西条市から今治市にかけて 40cm/s 以上の範囲が広い。

⑤ 中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁西部区間)

西条市の低地部で 80cm/s の地点が多く想定される。また、東温市～松山市にかけて 20cm/s 以上と想定される。

⑥ 中央構造線断層帯 (伊予灘区間)

松山市周辺で速度が非常に大きく、広い範囲で 60cm/s 以上と想定される。松前町～伊方町にかけて、沿岸域の広い範囲で 20cm/s が想定される。

⑦ 中央構造線断層帯 (豊予海峡-由布院区間)

震源が県域からやや離れているため、伊方町を除く県のほぼ全域で 10cm/s と想定される。伊方町においても、西部で 20～30cm/s で、おおむね 20cm/s 未満と想定される。

⑧ 中央構造線断層帯 (3 区間連動)

断層が長く、その影響範囲が非常に広い。東予～西予にかけて 20cm/s 以上となり、西条市では広い範囲で 100cm/s 以上と想定される。また、松山市周辺などでも 60cm/s 以上が想定される。

表 2.4-28 想定地震における地表速度及び地表速度面積割合

想定地震	最大速度 (cm/s)	地表最大速度 面積割合							
		0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)	
①南海トラフ巨大地震	236.9	0.0%	0.0%	1.3%	29.7%	30.0%	23.2%	15.8%	
②安芸灘～伊予灘 ～豊後水道の プレート内地震	A	65.2	43.9%	49.0%	4.5%	1.9%	0.6%	0.1%	0.0%
	B	64.4	58.2%	39.7%	2.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	C	63.3	33.5%	61.5%	4.4%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
③中央構造線断層帯 (讃岐山脈南縁西部区間)	171.4	73.6%	13.3%	4.1%	3.6%	2.3%	1.2%	1.9%	
④中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁区間)	178.2	77.9%	14.0%	3.0%	1.5%	1.1%	0.9%	1.5%	
⑤中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁西部区間)	146.6	61.7%	25.6%	7.5%	2.1%	1.2%	0.7%	1.2%	
⑥中央構造線断層帯 (伊予灘区間)	132.2	48.0%	34.7%	11.3%	3.6%	0.9%	0.4%	1.0%	
⑦中央構造線断層帯 (豊予海峡-由布院区間)	63.7	97.2%	2.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
⑧中央構造線断層帯 (3区間連動)	249.6	28.6%	33.8%	19.3%	7.8%	3.9%	2.2%	4.5%	

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

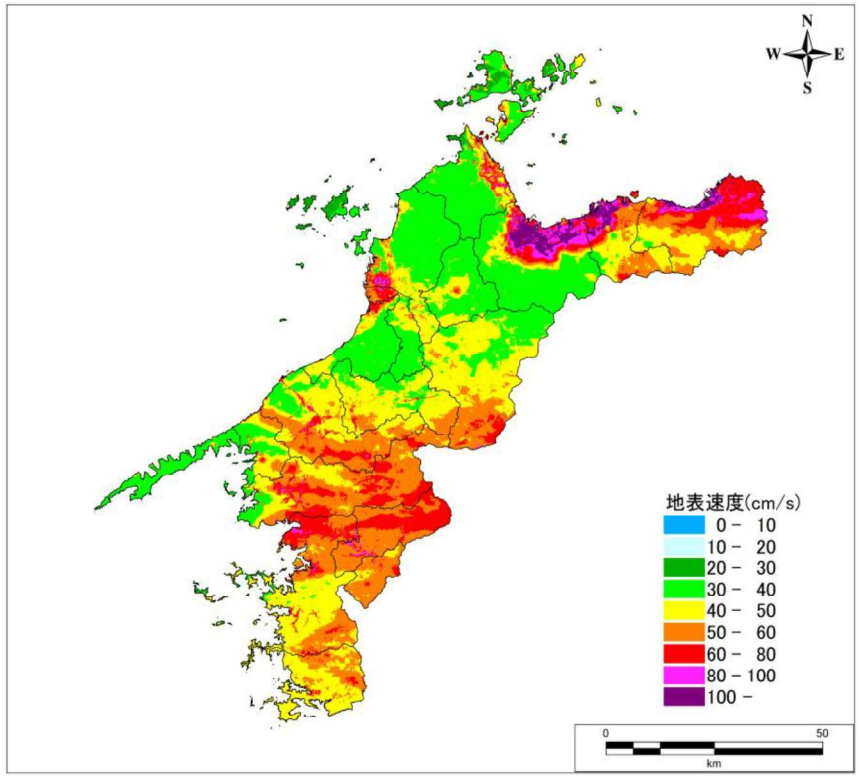


図 2.4-28 ①南海トラフ巨大地震の地表速度分布

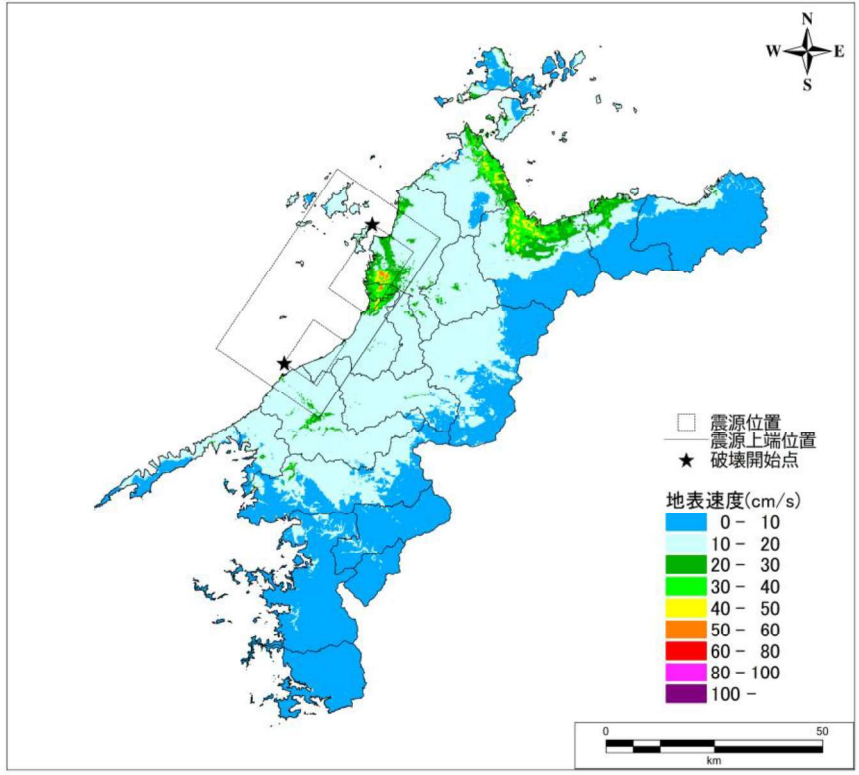


図 2.4-29 ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデル A）の地表速度分布

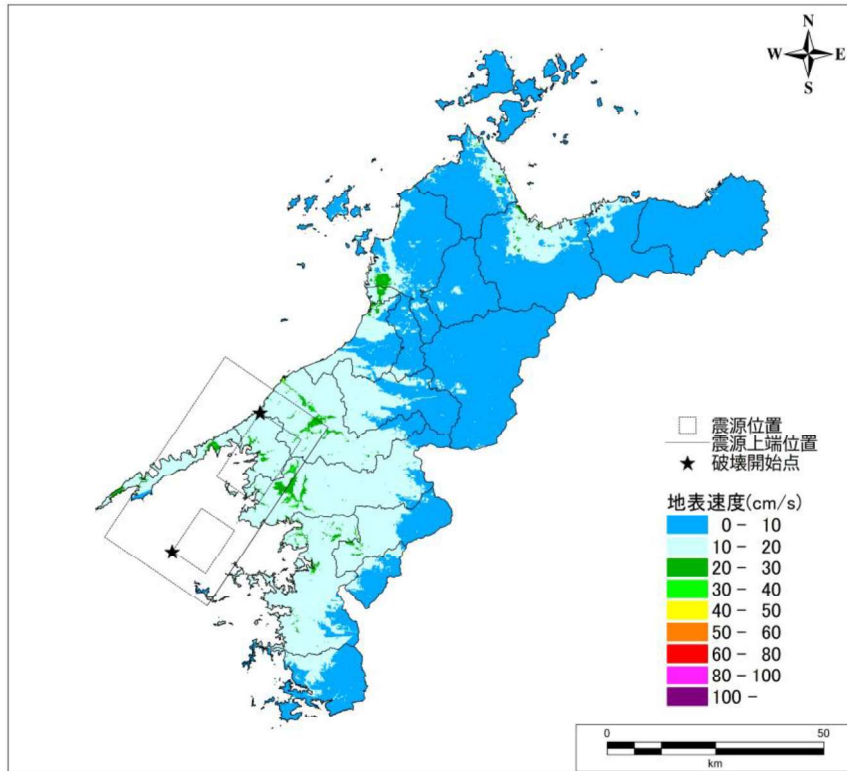


図 2.4-30 ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデル B）の地表速度分布

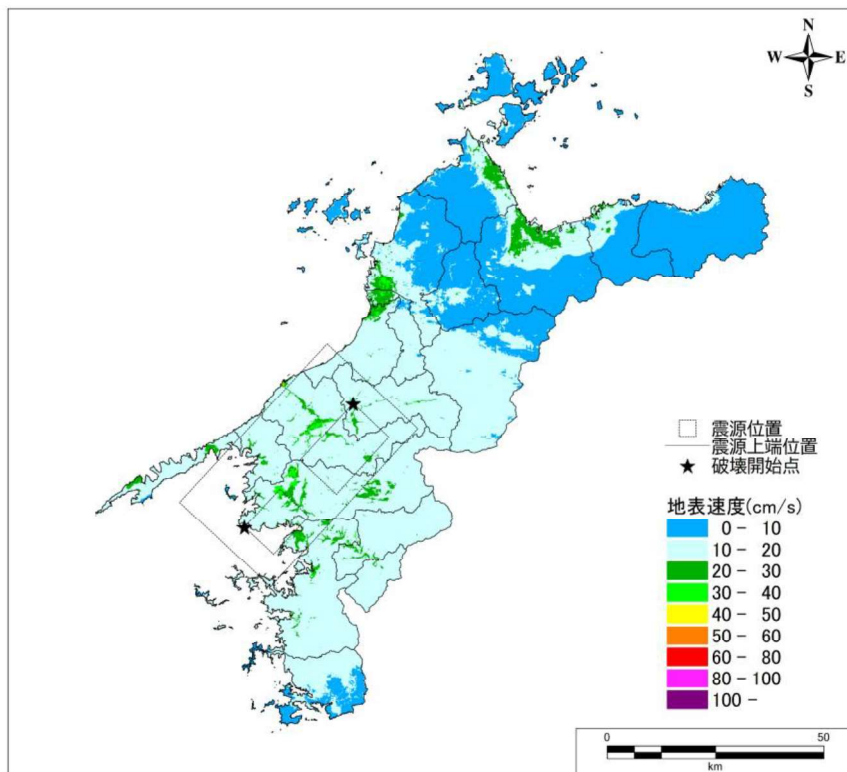


図 2.4-31 ②'' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデル C）の地表速度分布

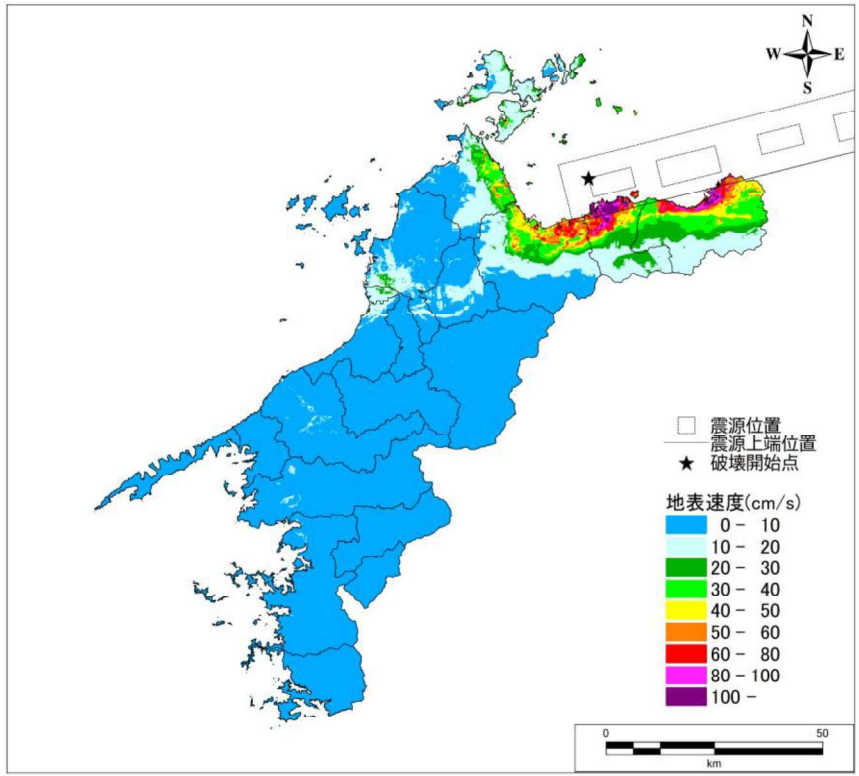


図 2.4-32 ③中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）の地表速度分布

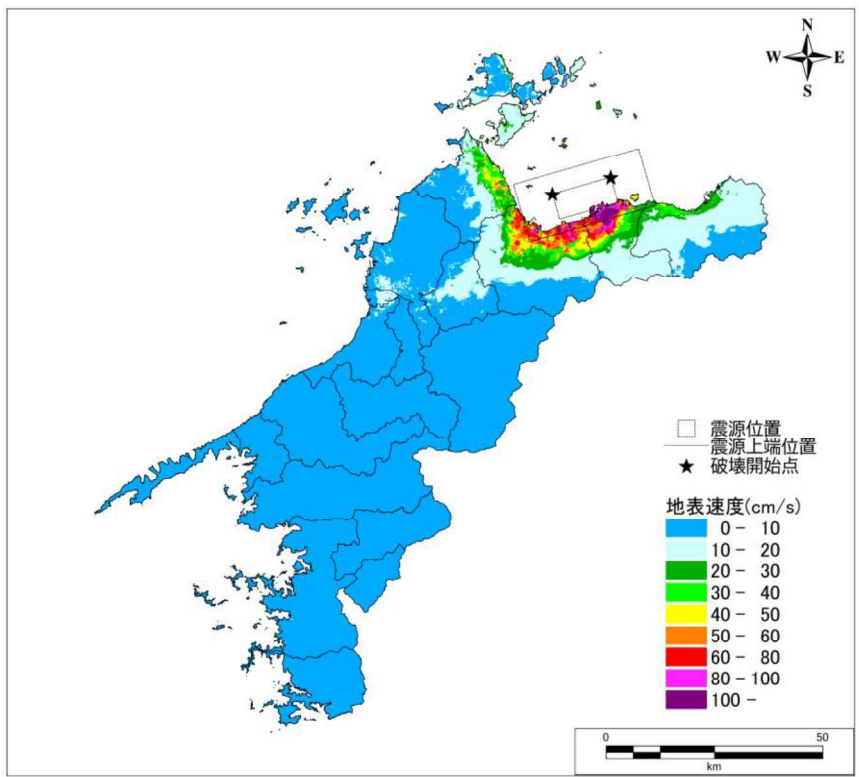


図 2.4-33 ④中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）の地表速度分布

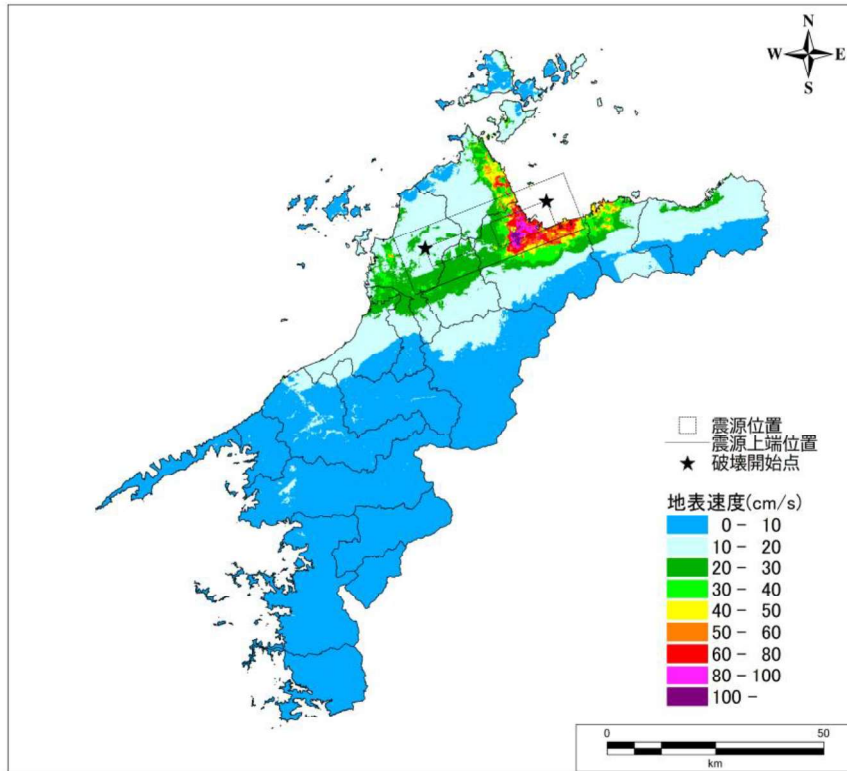


図 2.4-34 ⑤中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）の地表速度分布

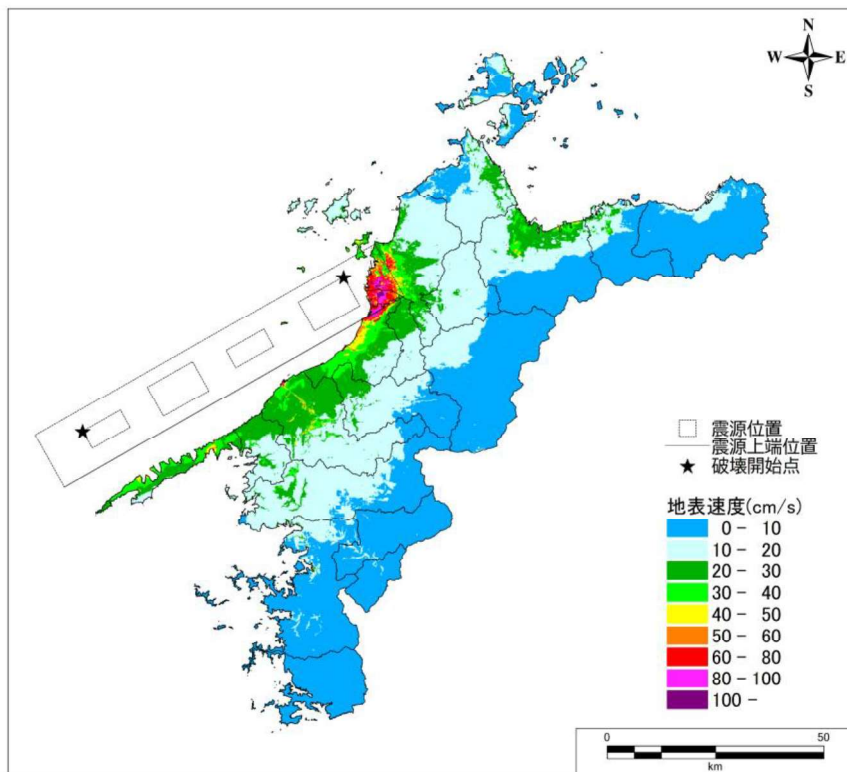


図 2.4-35 ⑥中央構造線断層帯（伊予灘区間）の地表速度分布

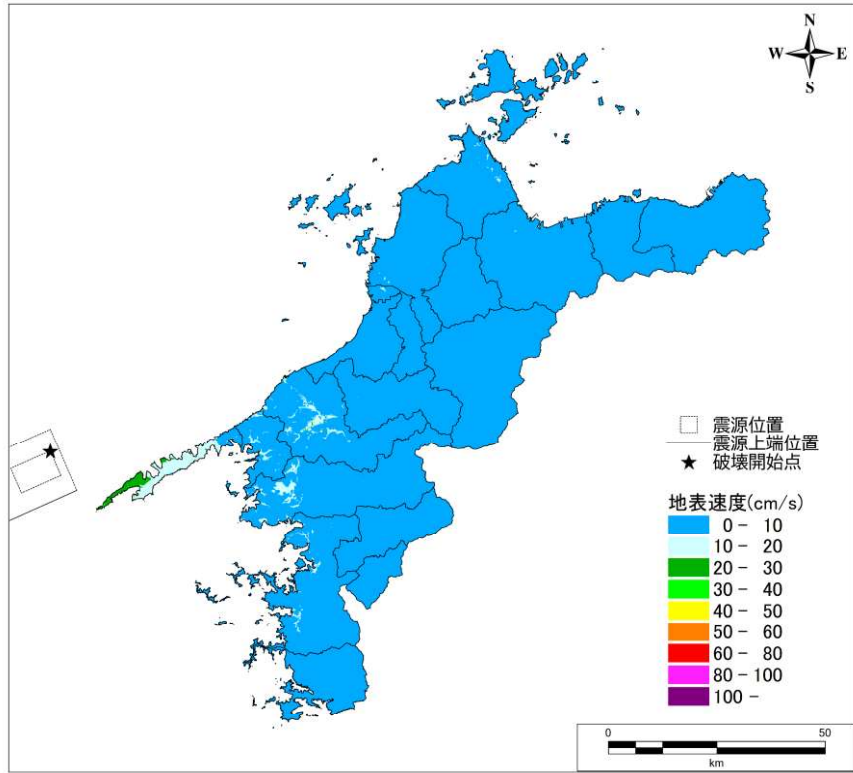


図 2.4-36 ⑦中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）の地表速度分布

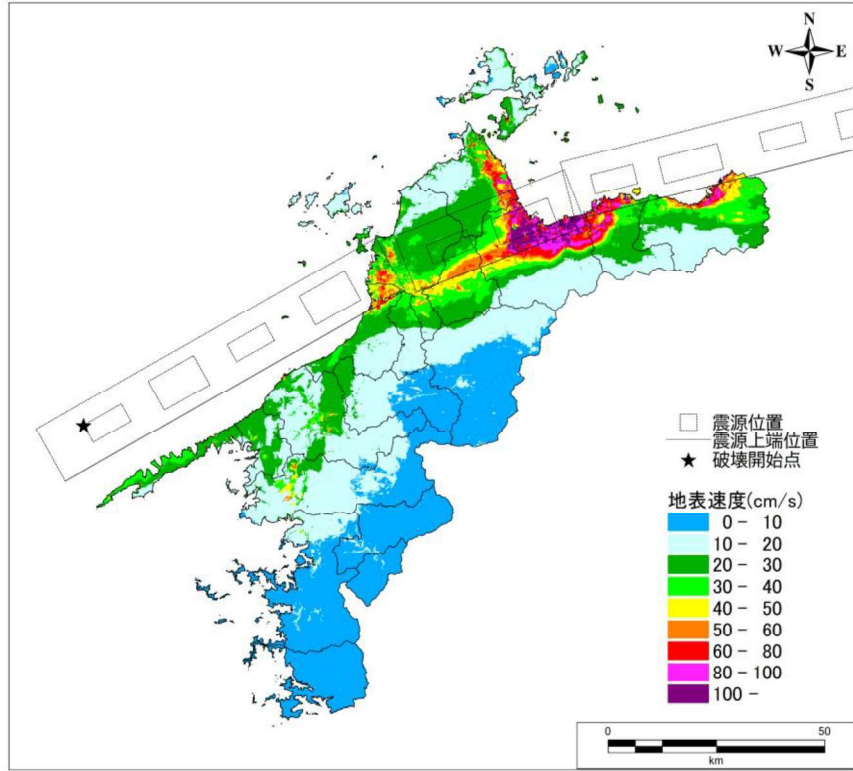


図 2.4-37 ⑧中央構造線断層帯（3区間連動）の地表速度分布

表 2.4-29 ①南海トラフ巨大地震の地表速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	地表速度 面積割合						
				0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)
松山市	114.8	26.3	39.2	0.0%	0.0%	6.6%	63.7%	20.5%	5.9%	3.3%
今治市	134.3	25.7	39.0	0.0%	0.0%	9.0%	63.7%	13.8%	6.9%	6.6%
宇和島市	139.7	37.5	51.4	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	45.7%	33.1%	17.8%
八幡浜市	91.5	35.7	43.6	0.0%	0.0%	0.0%	43.3%	37.5%	17.5%	1.7%
新居浜市	207.3	37.0	61.5	0.0%	0.0%	0.0%	5.2%	32.9%	31.4%	30.5%
西条市	236.9	30.9	57.6	0.0%	0.0%	0.0%	54.2%	10.4%	4.2%	31.2%
大洲市	126.6	34.1	50.3	0.0%	0.0%	0.0%	12.1%	39.1%	38.0%	10.8%
伊予市	87.5	35.5	40.5	0.0%	0.0%	0.0%	72.4%	20.2%	3.7%	3.7%
四国中央市	179.7	37.8	62.7	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	25.4%	28.1%	45.5%
西予市	129.2	36.5	55.3	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%	18.1%	50.7%	25.4%
東温市	89.9	35.7	39.3	0.0%	0.0%	0.0%	72.4%	25.9%	1.3%	0.3%
上島町	96.6	27.9	38.2	0.0%	0.0%	23.1%	38.1%	29.5%	6.5%	2.9%
久万高原町	103.1	37.2	45.5	0.0%	0.0%	0.0%	26.7%	50.3%	18.5%	4.6%
松前町	103.5	44.8	62.5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	45.8%	52.4%
砥部町	66.2	36.4	39.8	0.0%	0.0%	0.0%	70.3%	27.0%	2.7%	0.0%
内子町	84.0	36.7	44.6	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	62.0%	14.3%	1.5%
伊方町	88.7	33.4	36.6	0.0%	0.0%	0.0%	94.0%	4.6%	0.7%	0.6%
松野町	92.1	45.9	53.8	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	79.9%	5.9%
鬼北町	103.5	42.9	60.2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	54.6%	44.2%
愛南町	92.4	39.7	48.1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	67.8%	27.9%	4.2%

表 2.4-30 ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデルA）の  
地表速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	地表速度 面積割合						
				0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)
松山市	58.5	8.3	16.3	1.2%	80.8%	13.7%	2.6%	1.3%	0.5%	0.0%
今治市	65.2	6.2	15.2	22.0%	57.6%	11.9%	6.4%	2.0%	0.1%	0.0%
宇和島市	19.6	4.9	7.2	92.8%	7.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	41.5	6.4	11.6	14.4%	84.6%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	40.6	5.5	11.6	63.1%	22.1%	11.9%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
西条市	55.3	6.3	15.8	38.2%	35.9%	13.8%	8.7%	3.4%	0.1%	0.0%
大洲市	45.1	9.4	12.8	2.1%	93.9%	3.7%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	54.5	10.9	15.0	0.0%	91.1%	4.8%	3.1%	0.9%	0.1%	0.0%
四国中央市	24.0	3.8	7.7	89.0%	10.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	32.6	6.8	10.4	51.1%	47.9%	0.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	40.9	9.5	13.1	0.3%	97.7%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	28.4	5.5	9.6	53.0%	45.6%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	19.9	7.3	10.2	49.0%	51.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	61.6	15.6	31.9	0.0%	4.3%	35.5%	50.4%	6.6%	3.1%	0.2%
砥部町	26.4	10.7	13.3	0.0%	98.5%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	27.1	9.2	11.8	9.1%	90.5%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	52.2	4.8	10.5	45.0%	53.8%	1.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	11.5	5.2	6.6	98.9%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	17.7	6.0	8.4	96.5%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	15.0	3.8	5.8	99.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-31 ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデルB）の  
地表速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	地表速度 面積割合						
				0～10 (cm/s)	10～20 (cm/s)	20～30 (cm/s)	30～40 (cm/s)	40～50 (cm/s)	50～60 (cm/s)	60～ (cm/s)
松山市	34.0	6.0	9.3	78.6%	19.0%	2.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	33.5	3.1	7.4	85.7%	13.4%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
宇和島市	35.0	8.1	12.4	10.3%	86.3%	3.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	35.7	9.9	14.6	0.1%	95.0%	4.6%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	19.2	3.6	6.5	85.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西条市	29.0	4.2	8.7	74.0%	24.8%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大洲市	52.0	7.9	13.5	7.6%	87.0%	5.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%
伊予市	27.9	7.2	10.9	41.3%	56.7%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	11.4	2.5	4.2	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	34.1	7.4	13.0	11.4%	83.1%	5.2%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	21.4	5.8	7.3	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	17.3	3.1	4.7	98.5%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	12.8	6.0	8.2	98.6%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	34.3	9.3	17.4	0.3%	78.4%	20.1%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	15.3	7.1	9.0	86.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	22.9	7.5	10.3	48.4%	51.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	64.4	7.3	16.6	4.5%	83.4%	11.0%	0.8%	0.2%	0.0%	0.0%
松野町	18.3	7.9	9.7	70.8%	29.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	23.9	7.5	10.8	38.5%	60.3%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	23.1	6.1	9.2	76.1%	23.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-32 ②" 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデルC）の  
地表速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	地表速度 面積割合						
				0～10 (cm/s)	10～20 (cm/s)	20～30 (cm/s)	30～40 (cm/s)	40～50 (cm/s)	50～60 (cm/s)	60～ (cm/s)
松山市	38.8	7.4	11.5	56.1%	39.1%	3.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	41.0	3.9	9.6	72.5%	21.5%	6.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
宇和島市	44.0	7.6	14.4	1.7%	91.5%	6.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	37.0	8.8	14.7	1.9%	93.6%	4.3%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	28.6	4.9	8.7	75.1%	22.1%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西条市	40.5	6.1	11.7	60.8%	28.4%	10.7%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
大洲市	63.3	10.8	16.3	0.0%	92.7%	5.4%	1.8%	0.1%	0.0%	0.0%
伊予市	40.0	9.4	13.5	0.6%	92.6%	5.8%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	16.6	3.4	5.5	96.1%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	42.2	10.5	16.5	0.0%	90.3%	7.5%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	31.8	7.6	9.4	83.0%	16.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	17.9	3.3	5.2	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	21.7	8.2	11.2	23.5%	76.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	39.6	12.0	22.9	0.0%	26.7%	67.7%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	20.1	8.8	11.9	4.7%	95.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	32.5	11.1	14.4	0.0%	97.4%	2.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	63.2	8.4	16.0	2.0%	86.2%	10.8%	0.8%	0.1%	0.0%	0.0%
松野町	24.1	9.9	12.2	0.0%	98.9%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	32.6	11.2	14.5	0.0%	97.2%	2.7%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	27.8	7.2	10.8	38.7%	61.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-33 ③中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）の地表速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	地表速度 面積割合						
				0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)
松山市	31.7	4.3	8.4	81.6%	17.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	84.0	5.5	16.7	28.0%	47.8%	10.7%	9.0%	3.4%	0.9%	0.3%
宇和島市	15.9	2.4	3.8	99.7%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	12.2	3.2	4.4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	171.4	9.8	39.7	0.0%	37.2%	21.1%	7.5%	6.8%	6.4%	21.0%
西条市	102.4	6.0	21.5	35.4%	29.9%	7.3%	8.7%	9.1%	6.3%	3.3%
大洲市	19.7	3.8	5.7	98.4%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	21.0	4.4	7.2	89.9%	10.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	157.7	13.6	34.6	0.0%	29.5%	19.7%	23.8%	12.3%	4.4%	10.3%
西予市	14.3	3.1	5.1	99.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	23.1	6.3	9.2	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	44.6	8.2	17.9	21.9%	43.0%	20.0%	13.0%	2.1%	0.0%	0.0%
久万高原町	12.2	4.1	6.1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	29.4	8.4	15.9	4.4%	81.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	13.1	5.0	6.4	99.2%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	8.8	4.4	5.2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	7.5	2.8	3.8	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	7.5	3.6	4.8	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	8.6	3.7	4.8	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	13.0	2.3	3.4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-34 ④中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）の地表速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	地表速度 面積割合						
				0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)
松山市	20.0	2.6	6.5	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	87.1	4.5	15.0	44.5%	35.5%	8.7%	6.8%	3.3%	0.9%	0.2%
宇和島市	6.0	1.5	2.3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	6.0	2.7	3.3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	178.2	9.0	36.1	1.4%	48.6%	13.8%	5.9%	6.1%	5.5%	18.5%
西条市	128.5	4.6	24.5	29.2%	32.0%	10.4%	5.7%	7.0%	7.3%	8.3%
大洲市	10.3	2.9	3.9	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	14.0	3.6	4.9	97.7%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	45.4	6.1	13.9	27.9%	58.8%	10.0%	3.1%	0.2%	0.0%	0.0%
西予市	8.4	2.5	3.3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	18.6	6.4	9.4	68.1%	31.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	40.2	5.4	12.0	43.6%	44.5%	11.5%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	11.1	2.9	5.1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	15.7	6.9	10.2	47.2%	52.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	13.4	4.1	5.3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	7.0	3.0	3.9	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	7.2	1.5	2.6	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	4.1	2.1	2.4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	5.6	2.3	2.8	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	5.5	1.2	1.9	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-35 ⑤中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）の地表速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	地表速度 面積割合						
				0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)
松山市	57.8	5.7	17.5	11.6%	60.2%	24.4%	3.5%	0.2%	0.1%	0.0%
今治市	91.8	5.8	18.5	19.6%	56.1%	10.3%	5.8%	5.3%	1.7%	1.2%
宇和島市	12.6	2.7	4.0	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	18.8	4.5	6.5	99.7%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	71.5	7.4	18.5	21.4%	48.9%	12.1%	9.5%	5.5%	2.5%	0.0%
西条市	146.6	7.6	28.7	22.7%	25.7%	17.7%	9.9%	5.8%	5.3%	12.9%
大洲市	34.6	4.5	7.6	88.5%	11.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	34.2	6.1	13.2	26.5%	64.6%	8.5%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	38.2	5.9	11.8	40.1%	55.1%	4.7%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	14.0	3.5	5.8	98.4%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	42.6	10.4	19.2	0.0%	55.5%	43.2%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	32.7	6.4	11.3	45.8%	51.2%	2.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	15.8	4.7	8.2	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	37.8	13.8	24.8	0.0%	18.5%	67.5%	14.0%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	31.9	6.3	12.3	54.9%	30.4%	14.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	14.8	5.1	7.1	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	13.2	2.8	4.7	99.6%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	7.2	3.2	4.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	11.0	3.7	4.8	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	6.4	2.1	2.9	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-36 ⑥中央構造線断層帯（伊予灘区間）の地表速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	地表速度 面積割合						
				0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)
松山市	116.0	8.0	24.4	2.3%	54.5%	21.0%	10.0%	4.0%	2.6%	5.5%
今治市	46.9	5.4	12.2	36.4%	54.5%	8.3%	0.6%	0.1%	0.0%	0.0%
宇和島市	28.2	4.6	8.2	84.0%	15.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	66.2	9.9	20.6	0.0%	57.7%	39.1%	2.7%	0.4%	0.0%	0.0%
新居浜市	44.1	4.4	9.5	70.0%	23.4%	5.5%	1.0%	0.1%	0.0%	0.0%
西条市	51.3	4.5	12.9	45.2%	35.3%	15.5%	3.4%	0.6%	0.0%	0.0%
大洲市	101.2	7.8	19.8	6.2%	48.8%	36.2%	6.5%	1.7%	0.4%	0.2%
伊予市	132.2	11.9	31.5	0.0%	24.5%	32.8%	25.1%	8.2%	2.8%	6.6%
四国中央市	21.2	4.5	7.2	89.0%	11.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	42.2	6.0	11.9	34.4%	60.5%	4.1%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	35.9	6.7	14.3	9.0%	85.3%	5.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	29.7	5.0	8.7	72.0%	25.2%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	20.0	4.8	7.8	83.0%	17.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	128.5	39.1	73.5	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	6.8%	14.5%	78.5%
砥部町	52.0	10.4	18.1	0.0%	59.9%	37.4%	2.7%	0.1%	0.0%	0.0%
内子町	37.7	6.3	13.9	32.6%	51.2%	13.6%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	107.0	12.0	29.9	0.0%	8.8%	40.5%	43.1%	5.6%	1.0%	1.0%
松野町	12.1	5.0	6.1	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	17.2	5.9	7.6	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	13.7	3.1	5.3	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-37 ⑦中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）の地表速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	地表速度 面積割合						
				0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)
松山市	11.6	2.4	3.6	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	16.8	2.0	3.6	99.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
宇和島市	23.6	4.2	6.4	97.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	18.4	6.3	8.6	93.8%	6.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	8.4	2.0	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西条市	12.3	1.9	3.5	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大洲市	29.6	3.3	7.2	94.2%	5.5%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	10.1	3.0	4.2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	5.1	1.7	2.2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	25.7	3.3	6.4	95.6%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	5.5	2.4	3.1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	9.2	1.8	2.6	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	8.1	2.1	3.1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	12.3	4.7	7.4	97.4%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	5.9	2.9	3.5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	13.9	2.6	4.4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	63.7	7.3	15.8	18.0%	59.2%	21.4%	1.2%	0.2%	0.0%	0.0%
松野町	8.7	3.8	5.3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	8.9	4.1	5.3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	11.2	3.3	4.7	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-38 ⑧中央構造線断層帯（3区間連動）の地表速度想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	地表速度 面積割合						
				0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)
松山市	83.0	8.5	27.0	0.6%	24.4%	46.9%	15.2%	9.0%	3.0%	1.0%
今治市	142.2	8.7	26.0	1.7%	41.1%	34.8%	7.9%	4.2%	4.8%	5.6%
宇和島市	44.8	4.7	8.5	79.2%	20.1%	0.4%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%
八幡浜市	57.6	11.2	21.3	0.0%	40.9%	55.7%	2.5%	0.8%	0.1%	0.0%
新居浜市	136.7	10.8	35.5	0.0%	29.6%	31.1%	10.6%	5.7%	4.7%	18.3%
西条市	249.6	10.4	47.9	0.0%	34.5%	8.3%	10.5%	9.2%	5.6%	32.0%
大洲市	70.0	7.2	18.4	7.1%	59.3%	29.1%	3.4%	0.8%	0.3%	0.1%
伊予市	77.0	10.6	22.4	0.0%	47.7%	36.2%	9.3%	3.4%	2.3%	1.1%
四国中央市	154.5	11.7	28.9	0.0%	32.3%	28.0%	23.9%	7.8%	3.6%	4.3%
西予市	68.7	6.4	13.8	29.8%	59.8%	6.2%	1.9%	1.9%	0.3%	0.0%
東温市	78.1	13.7	34.6	0.0%	3.9%	36.9%	30.0%	18.6%	10.1%	0.6%
上島町	45.8	8.2	16.7	25.7%	43.6%	26.8%	3.0%	0.8%	0.0%	0.0%
久万高原町	25.2	6.3	10.1	59.4%	38.8%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	68.9	28.2	47.3	0.0%	0.0%	0.9%	14.4%	49.3%	29.4%	6.0%
砥部町	52.3	9.3	18.7	2.1%	58.0%	24.5%	15.0%	0.5%	0.0%	0.0%
内子町	31.7	6.4	12.6	44.0%	44.6%	11.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	88.6	13.5	27.7	0.0%	12.9%	49.3%	35.0%	1.7%	0.7%	0.4%
松野町	12.9	5.5	6.6	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	18.2	6.4	8.1	96.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	14.4	3.5	5.5	99.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

e) SI 値

各想定地震における最大クラスの SI 値（破壊開始点の異なるケースを重ね合わせた地点ごとの SI 値）の想定結果について、表 2.4-39、図 2.4-38～図 2.4-47 に示す。

① 南海トラフ巨大地震

西条市～新居浜市、四国中央市の一部で 100cm/s 超と想定される。また、松山市や南予地域で 50cm/s 以上と想定される。その他の地域では 40～50cm/s が主であり、今治市では 30～40cm/s となる地点が多い。

② 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル A）

県内の広い範囲で 20cm/s 未満と想定される。震源の直上にあたる松山市や今治市周辺では 60cm/s 以上となる地点がある。また、西条市の低地部においても 40cm/s 以上と想定される。

②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル B）

県内の広い範囲で 20cm/s 未満と想定される。特に、中予～東予にかけては 10cm/s 未満となる地点が多い。震源の直上にあたる大洲市などの低地部や松山市周辺では 20～30cm/s が想定される。

②" 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル C）

県内の広い範囲で 20cm/s 未満と想定される。東予では 10cm/s 未満となる地点が多いが、西条市～今治市ではやや大きく、20～30cm/s と想定されている地点がある。震源の直上となる西予市や、松山市周辺の低地部では多くが 30～40cm/s と想定される。

③ 中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）

震源断層の近傍で SI 値が高く、新居浜市や西条市、四国中央市において 100cm/s 以上が想定される。そのほかに、今治市でも 40cm/s 以上の地点が多い。

④ 中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）

新居浜市への影響が大きく、沿岸域を中心に 100cm/s 以上が想定される。西条市の広い範囲でも 50cm/s 以上となっている。

⑤ 中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）

西条市～東温市～松山市にかけて SI 値が高く、特に、西条市の低地部の広い範囲で 80cm/s が想定される。中予～南予にかけてはおおむね 10cm/s 未満と想定されている。

⑥ 中央構造線断層帯（伊予灘区間）

松山市周辺の低地部で非常に影響が大きく、80cm/s 以上となる地点が多い。西条市周辺や、松山市～伊方町までの沿岸域で SI 値が相対的に高く、30cm/s 以上となる。その他の地域では 20cm/s 以下と想定される。

⑦ 中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）

伊方町を除いてほぼ全域で 10cm/s と想定される。震源に近い伊方町西部では 30～40cm/s と想定される。

⑧ 中央構造線断層帯（3 区間連動）

西条市や今治市、松山市周辺の低地部で SI 値が大きく、広い範囲で 60cm/s 以上と想定される。特に、西条市では広い範囲で 100cm/s 以上となっている。東温町から松山市にいたる山地部でも 60cm/s 以上が想定されている。

表 2.4-39 想定地震における SI 値及び SI 値面積割合

想定地震	最大 SI値 (cm/s)	地表SI値 面積割合							
		0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~5 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)	
①南海トラフ巨大地震	214.3	0.0%	0.0%	0.1%	8.1%	38.7%	25.2%	28.0%	
②安芸灘～伊予灘 ～豊後水道の プレート内地震	A	71.1	36.6%	54.3%	5.4%	2.3%	1.1%	0.2%	0.0%
	B	70.2	51.8%	44.7%	3.1%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	C	69.2	27.7%	64.7%	6.2%	1.3%	0.1%	0.0%	0.0%
③中央構造線断層帯 (讃岐山脈南縁西部区間)	164.8	70.5%	13.8%	5.6%	3.1%	2.8%	1.6%	2.5%	
④中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁区間)	170.2	75.2%	15.5%	3.2%	1.9%	1.1%	1.0%	2.0%	
⑤中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁西部区間)	144.7	58.5%	24.9%	9.8%	2.9%	1.4%	0.9%	1.6%	
⑥中央構造線断層帯 (伊予灘区間)	132.6	43.8%	35.0%	12.0%	5.9%	1.6%	0.5%	1.2%	
⑦中央構造線断層帯 (豊予海峡-由布院区間)	69.6	96.3%	3.1%	0.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
⑧中央構造線断層帯 (3区間連動)	223.4	25.0%	30.7%	21.3%	9.6%	5.0%	2.8%	5.6%	

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

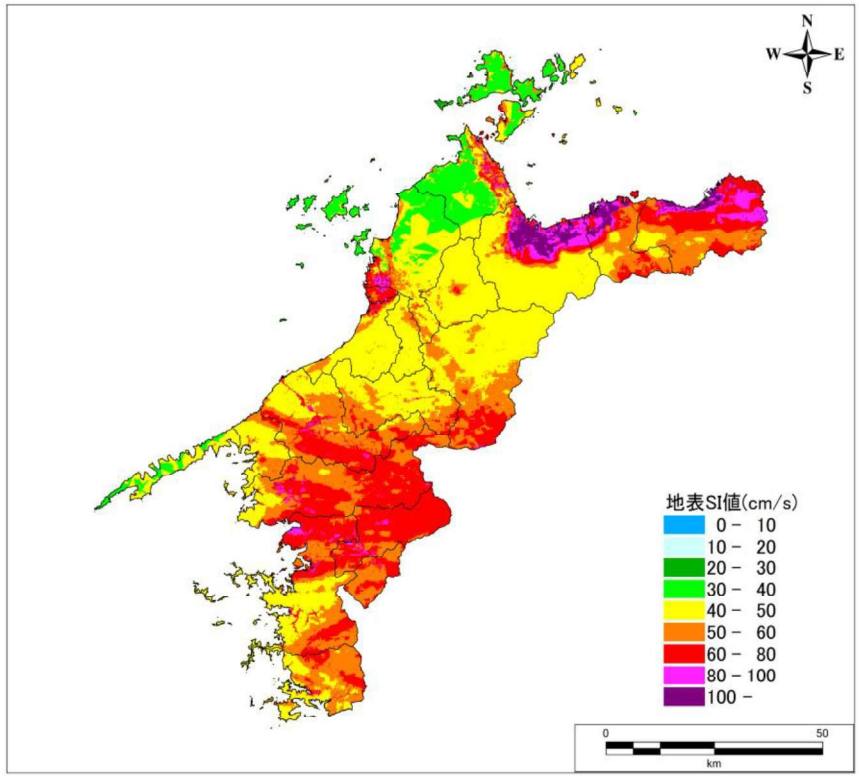


図 2.4-38 ①南海トラフ巨大地震の SI 値分布

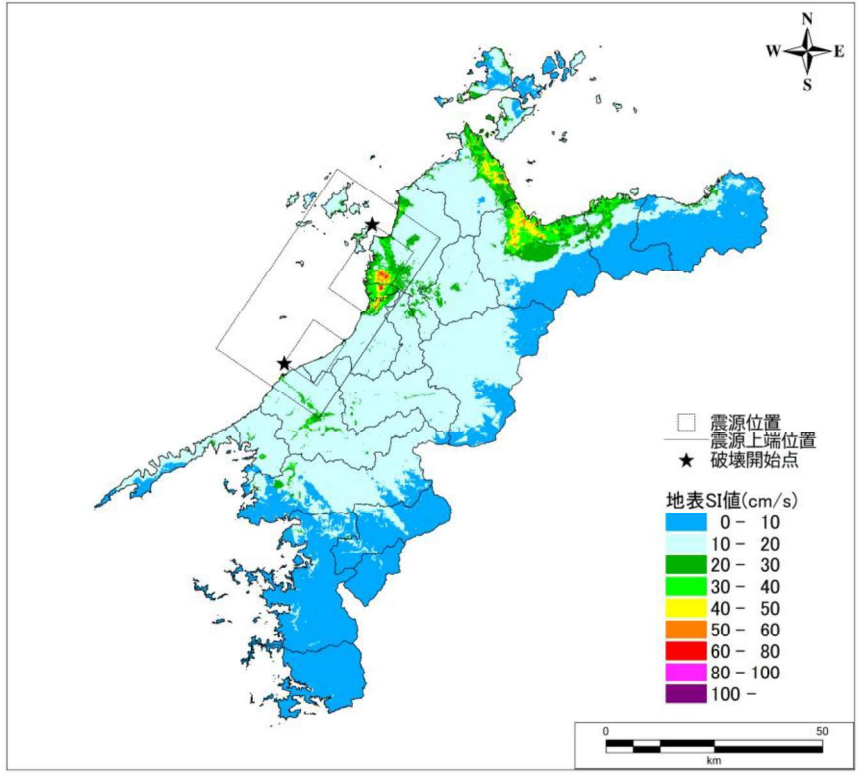


図 2.4-39 ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデル A）の SI 値分布

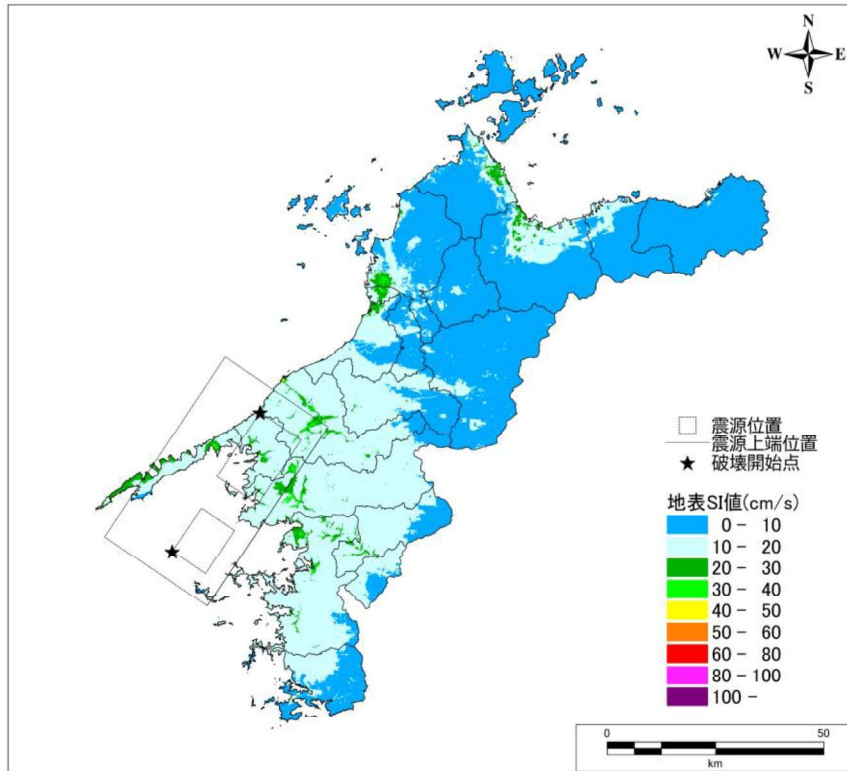


図 2.4-40 ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデル B）の SI 値分布

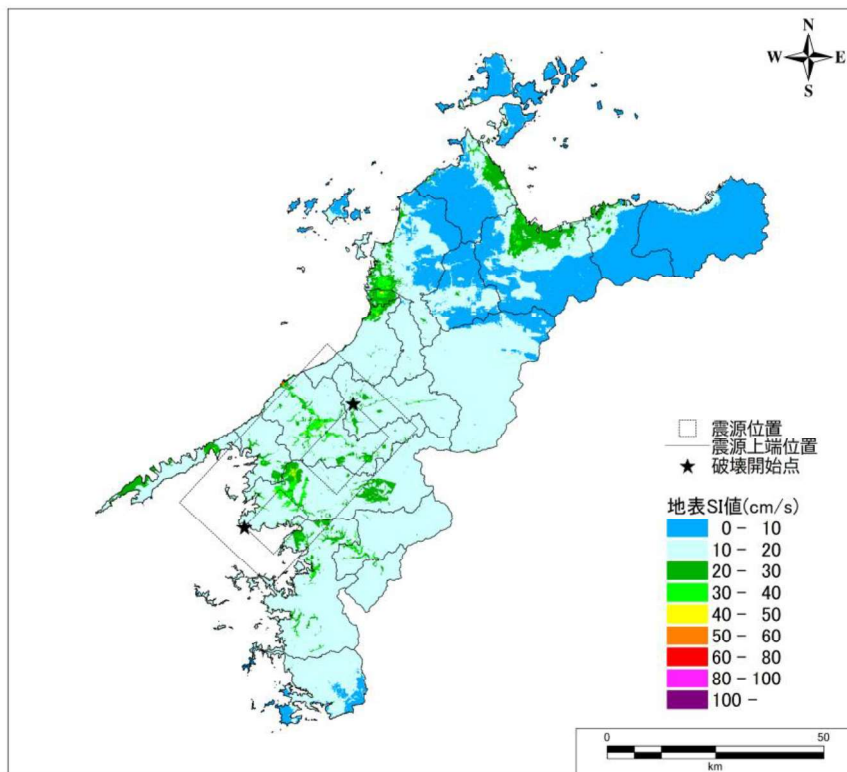


図 2.4-41 ②" 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデル C）の SI 値分布

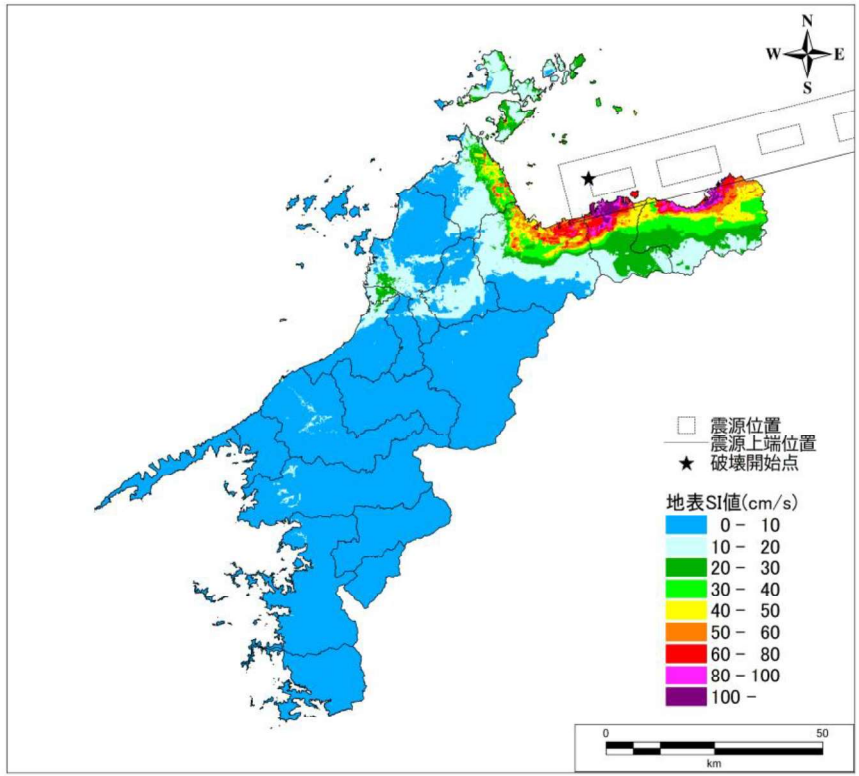


図 2.4-42 ③中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）の SI 値分布

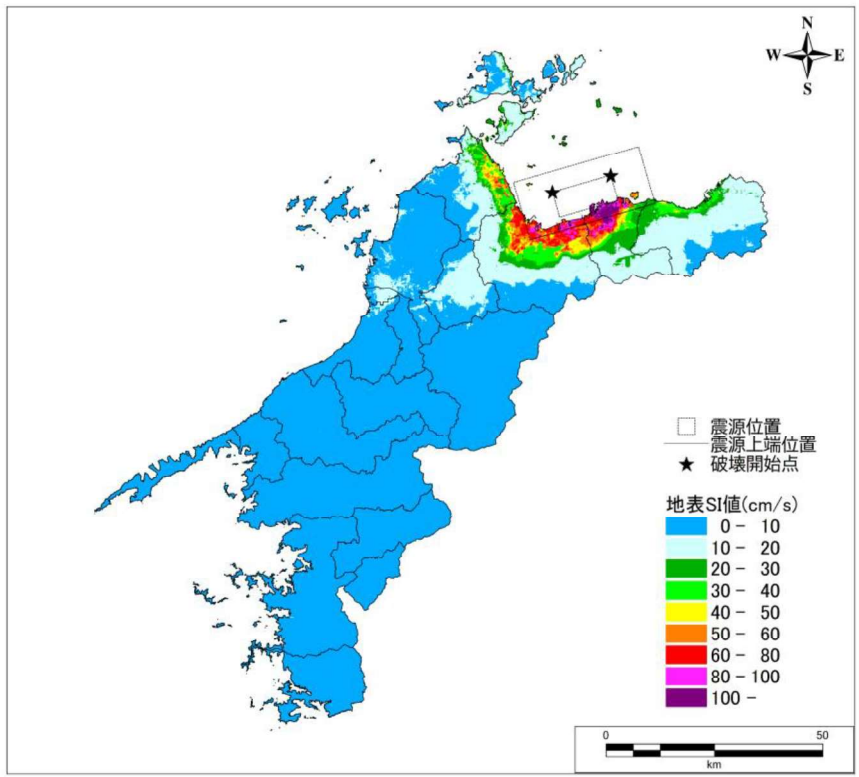


図 2.4-43 ④中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）の SI 値分布

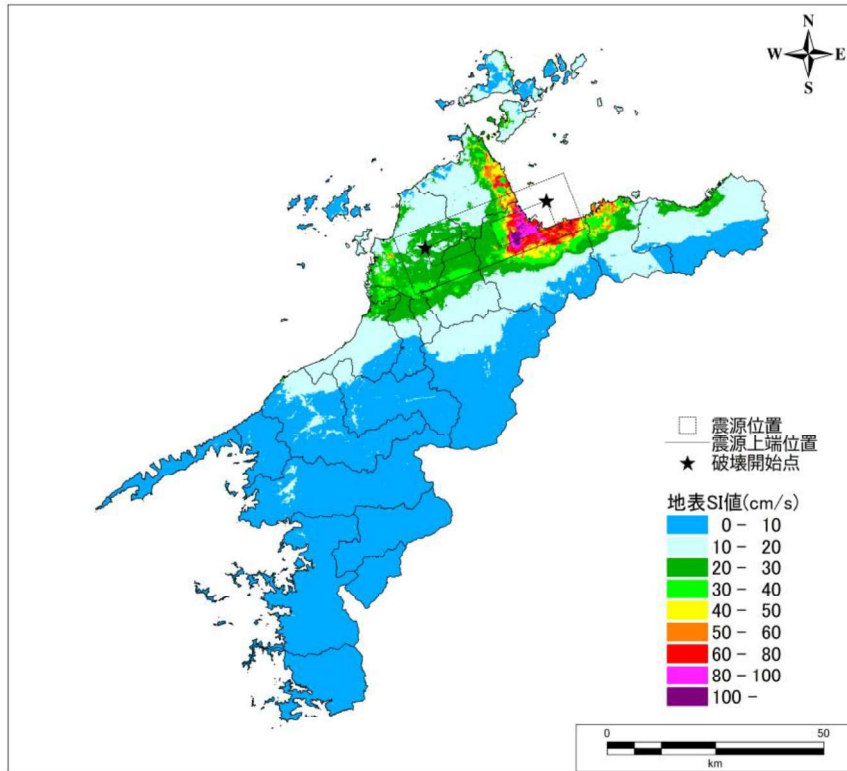


図 2.4-44 ⑤中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）のSI値分布

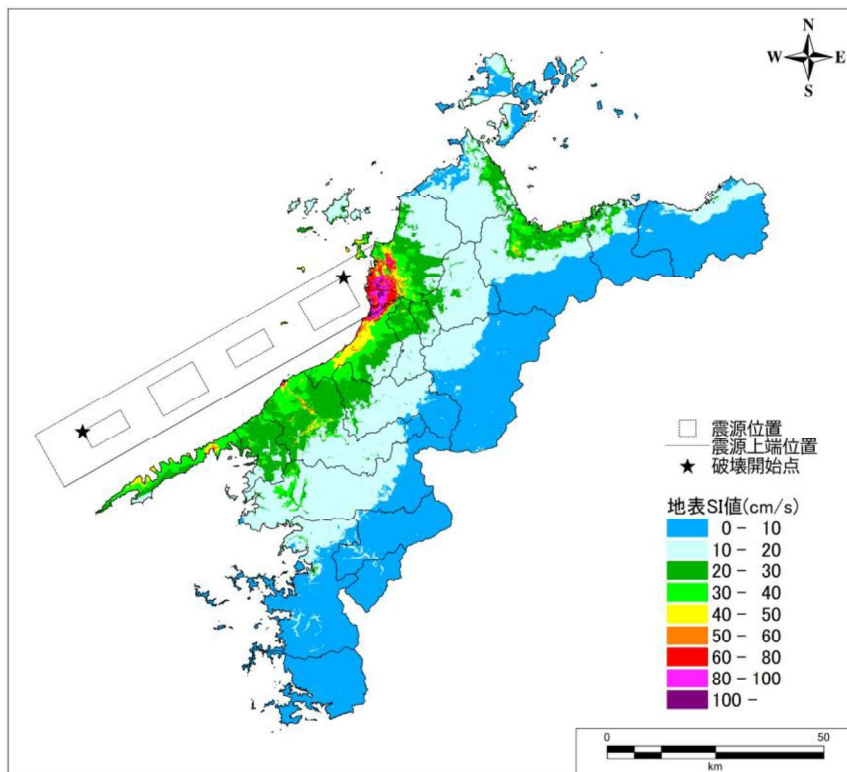


図 2.4-45 ⑥中央構造線断層帯（伊予灘区間）のSI値分布

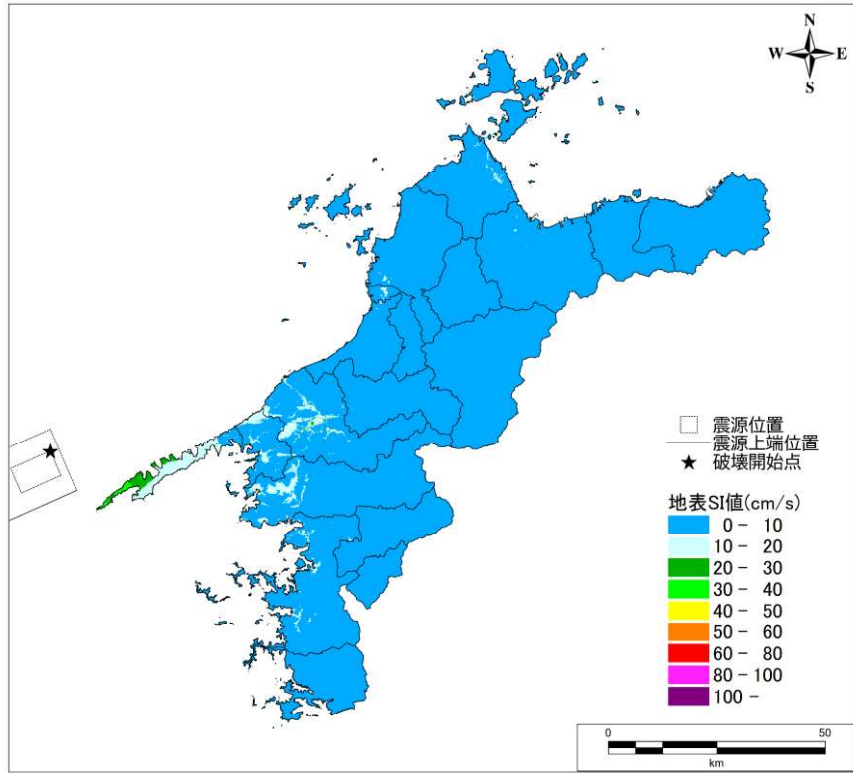


図 2.4-46 ⑦中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）の SI 値分布

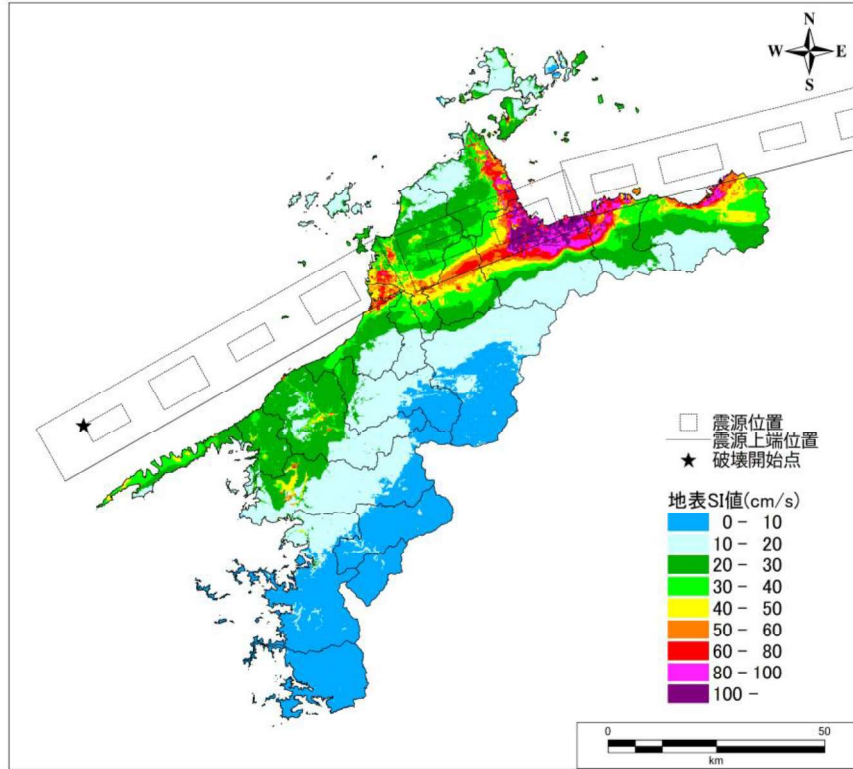


図 2.4-47 ⑧中央構造線断層帯（3区間連動）の SI 値分布

表 2.4-40 ①南海トラフ巨大地震のSI値想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	SI値 面積割合						
				0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)
松山市	117.5	29.9	43.9	0.0%	0.0%	0.0%	36.1%	46.2%	11.4%	6.2%
今治市	134.4	29.2	43.7	0.0%	0.0%	0.7%	56.5%	22.2%	11.0%	9.7%
宇和島市	139.0	42.3	56.9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	34.4%	30.5%	35.0%
八幡浜市	96.4	40.3	48.7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.5%	32.5%	7.0%
新居浜市	192.5	41.7	66.6	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.1%	39.6%	43.2%
西条市	214.3	35.0	62.2	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	60.5%	5.7%	33.7%
大洲市	127.8	38.5	55.7	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	28.2%	39.3%	32.3%
伊予市	92.7	40.1	45.4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.4%	11.1%	5.5%
四国中央市	171.4	42.6	68.1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%	34.3%	59.2%
西予市	130.0	41.2	60.9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.8%	33.7%	56.4%
東温市	95.0	40.3	44.2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	92.9%	6.1%	1.0%
上島町	101.2	31.6	42.9	0.0%	0.0%	0.0%	47.2%	34.8%	11.0%	7.1%
久万高原町	107.0	41.9	50.8	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.9%	29.1%	13.0%
松前町	107.4	50.1	68.3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.1%	84.9%
砥部町	72.0	41.0	44.7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	89.2%	10.5%	0.3%
内子町	89.3	41.4	49.8	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	59.7%	34.2%	6.1%
伊方町	93.8	37.8	41.3	0.0%	0.0%	0.0%	35.5%	61.1%	2.4%	1.0%
松野町	96.9	51.2	59.4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	63.4%	36.6%
鬼北町	107.4	48.0	66.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	15.1%	84.7%
愛南町	97.3	44.7	53.5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	35.6%	49.8%	14.5%

表 2.4-41 ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデルA）のSI値想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	SI値 面積割合						
				0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)
松山市	64.3	8.8	18.2	0.3%	75.7%	16.6%	4.6%	1.7%	0.9%	0.1%
今治市	71.1	6.6	16.9	13.6%	61.4%	14.0%	6.4%	3.9%	0.6%	0.1%
宇和島市	22.1	5.0	7.7	90.8%	8.9%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	46.6	6.8	12.7	8.2%	89.3%	2.3%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	45.6	5.8	12.7	60.6%	21.1%	10.9%	7.0%	0.3%	0.0%	0.0%
西条市	61.1	6.7	17.6	31.4%	38.0%	14.5%	9.3%	6.0%	0.8%	0.0%
大洲市	50.4	10.1	14.2	0.0%	94.4%	4.7%	0.8%	0.1%	0.0%	0.0%
伊予市	60.3	11.9	16.7	0.0%	90.0%	4.5%	3.3%	1.8%	0.3%	0.0%
四国中央市	27.2	3.8	8.2	83.6%	14.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	36.8	7.1	11.3	29.3%	68.6%	1.9%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	45.9	10.3	14.5	0.0%	95.0%	5.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	32.2	5.8	10.5	47.8%	50.0%	2.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	22.5	7.7	11.1	30.8%	69.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	67.5	17.4	36.0	0.0%	1.3%	22.0%	52.4%	19.8%	1.9%	2.6%
砥部町	30.0	11.7	14.7	0.0%	95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	30.8	9.9	13.0	0.1%	98.7%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	57.9	4.9	11.4	29.7%	67.9%	2.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	12.7	5.4	6.9	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	19.9	6.3	9.0	85.8%	14.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	16.8	3.8	6.1	99.2%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-42 ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデルB）の  
SI 値想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	SI値 面積割合						
				0～10 (cm/s)	10～20 (cm/s)	20～30 (cm/s)	30～40 (cm/s)	40～50 (cm/s)	50～60 (cm/s)	60～ (cm/s)
松山市	38.4	6.3	10.0	73.9%	22.9%	2.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	37.8	3.0	7.9	81.8%	14.7%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
宇和島市	39.5	8.6	13.6	4.9%	88.8%	5.7%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	40.2	10.7	16.3	0.0%	93.8%	5.3%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	21.6	3.6	6.9	82.4%	17.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西条市	32.8	4.3	9.4	71.0%	25.9%	3.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
大洲市	57.7	8.4	15.0	4.6%	88.8%	5.3%	1.3%	0.1%	0.0%	0.0%
伊予市	31.6	7.6	11.9	25.6%	70.6%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	12.5	2.4	4.3	99.6%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	38.5	7.8	14.3	5.8%	88.1%	4.8%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	24.2	6.2	7.7	95.3%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	19.5	3.0	4.8	97.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	14.2	6.3	8.8	93.4%	6.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	38.7	10.0	19.6	0.1%	62.0%	34.8%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	17.1	7.4	9.6	70.6%	29.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	26.0	8.0	11.2	30.8%	68.9%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	70.2	7.7	18.6	3.6%	65.1%	29.0%	1.9%	0.3%	0.0%	0.0%
松野町	20.6	8.4	10.5	27.9%	72.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	27.1	7.9	11.8	24.5%	73.1%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	26.2	6.5	9.9	62.8%	37.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-43 ②" 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデルC）の  
SI 値想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	SI値 面積割合						
				0～10 (cm/s)	10～20 (cm/s)	20～30 (cm/s)	30～40 (cm/s)	40～50 (cm/s)	50～60 (cm/s)	60～ (cm/s)
松山市	43.6	7.8	12.6	38.1%	53.4%	6.6%	1.8%	0.1%	0.0%	0.0%
今治市	46.0	3.9	10.4	69.1%	22.7%	7.6%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
宇和島市	49.2	8.0	16.0	0.5%	90.2%	7.9%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	41.7	9.5	16.5	0.1%	88.9%	10.4%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	32.4	5.1	9.4	72.6%	20.9%	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西条市	45.4	6.4	12.8	51.9%	33.3%	13.7%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大洲市	69.2	11.8	18.3	0.0%	88.2%	7.6%	3.8%	0.3%	0.1%	0.0%
伊予市	44.9	10.1	15.0	0.0%	91.4%	6.3%	2.2%	0.1%	0.0%	0.0%
四国中央市	18.6	3.4	5.8	95.1%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	47.3	11.5	18.5	0.0%	85.6%	10.0%	4.0%	0.4%	0.0%	0.0%
東温市	36.0	8.0	10.2	58.3%	41.4%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	20.2	3.2	5.4	95.7%	4.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	24.6	8.7	12.3	11.4%	88.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	44.6	13.2	25.9	0.0%	11.2%	69.7%	17.2%	1.9%	0.0%	0.0%
砥部町	22.7	9.4	13.2	0.6%	99.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	36.7	12.1	16.1	0.0%	95.5%	4.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	69.1	9.0	17.9	0.6%	73.4%	24.2%	1.5%	0.3%	0.0%	0.0%
松野町	27.3	10.8	13.4	0.0%	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	36.9	12.2	16.2	0.0%	97.0%	2.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	31.5	7.5	11.9	20.2%	79.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-44 ③中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）のSI値想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	SI値 面積割合						
				0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)
松山市	35.9	4.4	9.1	73.1%	24.5%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	89.3	5.7	18.6	21.2%	47.8%	14.9%	7.8%	5.8%	1.7%	0.7%
宇和島市	17.8	2.3	3.8	99.6%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	13.4	3.1	4.5	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	164.8	10.7	43.0	0.0%	20.2%	35.5%	5.0%	8.8%	5.2%	25.2%
西条市	106.4	6.3	23.7	28.0%	35.1%	6.8%	7.3%	8.5%	8.2%	6.1%
大洲市	22.3	3.8	6.0	97.9%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	23.7	4.4	7.7	85.4%	13.7%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	153.8	15.1	38.4	0.0%	17.8%	24.7%	21.3%	16.8%	7.1%	12.4%
西予市	15.9	3.0	5.3	98.4%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	26.2	6.7	9.9	55.6%	44.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	49.9	8.7	20.1	7.7%	47.5%	26.9%	14.1%	3.8%	0.0%	0.0%
久万高原町	13.4	4.1	6.4	99.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	33.3	9.0	17.8	1.9%	58.4%	38.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	14.6	5.2	6.8	96.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	9.5	4.4	5.5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	7.9	2.7	3.8	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	7.9	3.6	4.9	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	9.2	3.6	4.9	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	14.4	2.1	3.3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-45 ④中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）のSI値想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	SI値 面積割合						
				0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)
松山市	22.5	2.4	6.8	91.5%	8.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	92.3	4.6	16.6	35.3%	40.4%	10.3%	6.7%	4.6%	2.0%	0.6%
宇和島市	6.4	1.3	2.1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	6.3	2.5	3.2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	170.2	9.7	39.0	0.2%	42.2%	18.9%	5.9%	5.2%	6.0%	21.6%
西条市	129.4	4.7	27.0	24.0%	34.9%	8.2%	8.0%	5.4%	7.2%	12.4%
大洲市	11.2	2.8	3.9	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	15.5	3.6	5.0	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	50.7	6.5	15.4	22.2%	60.2%	11.3%	5.7%	0.5%	0.0%	0.0%
西予市	9.0	2.3	3.2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	21.0	6.8	10.2	48.7%	51.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	45.2	5.6	13.2	40.0%	43.3%	16.4%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%
久万高原町	12.2	2.7	5.3	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	17.6	7.2	11.2	36.8%	63.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	14.8	4.1	5.5	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	7.3	2.8	3.9	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	7.6	1.3	2.5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	4.1	1.9	2.3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	5.8	2.2	2.7	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	5.8	1.0	1.7	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-46 ⑤中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）のSI値想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	SI値 面積割合						
				0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)
松山市	63.6	6.0	19.7	9.5%	42.1%	39.5%	7.8%	0.9%	0.1%	0.0%
今治市	96.7	6.2	20.6	12.6%	54.4%	16.9%	5.1%	5.7%	3.3%	1.9%
宇和島市	13.9	2.5	4.0	99.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	21.2	4.6	6.9	99.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	77.3	7.8	20.6	15.4%	49.6%	13.3%	10.1%	6.2%	4.7%	0.7%
西条市	144.7	8.1	31.6	16.8%	26.8%	18.0%	10.4%	7.3%	4.7%	16.0%
大洲市	39.1	4.6	8.1	82.1%	17.7%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	38.6	6.5	14.6	21.5%	65.4%	11.3%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	43.0	6.2	13.0	35.7%	55.0%	8.5%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	15.6	3.5	6.1	97.8%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	47.8	11.3	21.6	0.0%	45.4%	45.5%	9.0%	0.1%	0.0%	0.0%
上島町	37.0	6.9	12.4	43.3%	50.2%	6.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	17.7	4.8	8.8	76.4%	23.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	42.6	15.4	28.1	0.0%	7.8%	52.6%	38.2%	1.4%	0.0%	0.0%
砥部町	36.1	6.7	13.6	52.8%	22.5%	24.6%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	16.6	5.2	7.5	90.7%	9.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	14.6	2.7	4.9	99.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	7.5	3.2	4.1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	12.1	3.6	5.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	6.8	1.9	2.8	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-47 ⑥中央構造線断層帯（伊予灘区間）のSI値想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	SI値 面積割合						
				0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)
松山市	118.6	8.5	27.2	0.9%	45.2%	25.6%	12.8%	5.7%	2.9%	6.9%
今治市	52.3	5.7	13.4	27.5%	60.6%	9.8%	2.0%	0.1%	0.0%	0.0%
宇和島市	32.0	4.6	8.8	75.7%	23.3%	1.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	72.0	10.8	23.3	0.0%	22.9%	65.8%	10.3%	0.7%	0.2%	0.0%
新居浜市	49.3	4.5	10.3	65.9%	22.7%	9.9%	1.2%	0.3%	0.0%	0.0%
西条市	56.9	4.6	14.3	42.7%	35.1%	14.4%	6.5%	1.1%	0.2%	0.0%
大洲市	105.3	8.2	22.2	4.8%	42.1%	34.6%	14.5%	2.8%	0.8%	0.3%
伊予市	132.6	13.1	35.2	0.0%	15.9%	24.6%	32.3%	15.6%	3.8%	7.8%
四国中央市	24.0	4.6	7.7	81.4%	18.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	47.3	6.4	13.1	25.4%	67.7%	3.4%	3.3%	0.1%	0.0%	0.0%
東温市	40.5	7.0	16.0	6.9%	81.9%	10.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	33.7	5.2	9.3	67.9%	28.9%	2.5%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	22.5	5.0	8.3	79.4%	20.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	129.4	44.0	78.9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	10.4%	88.2%
砥部町	57.7	11.3	20.3	0.0%	56.6%	31.0%	11.7%	0.6%	0.0%	0.0%
内子町	42.5	6.7	15.4	25.7%	52.9%	16.1%	5.0%	0.2%	0.0%	0.0%
伊方町	110.5	13.2	33.8	0.0%	6.7%	24.2%	52.7%	13.3%	1.7%	1.5%
松野町	13.3	5.2	6.4	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	19.3	6.2	8.1	95.6%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	15.3	3.0	5.5	99.7%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-48 ⑦中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）のSI値想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	SI値 面積割合						
				0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)
松山市	12.7	2.3	3.6	99.7%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	18.9	1.9	3.6	99.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
宇和島市	26.7	4.2	6.8	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	20.8	6.7	9.2	84.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	9.0	1.8	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西条市	13.6	1.7	3.5	99.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大洲市	33.6	3.3	7.6	89.7%	9.7%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	11.0	2.9	4.3	99.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	5.3	1.6	2.1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	29.1	3.3	6.7	93.3%	6.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	5.8	2.3	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	9.9	1.7	2.5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	8.6	2.0	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	13.6	4.8	7.9	90.1%	9.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	6.2	2.8	3.5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	15.4	2.4	4.5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	69.6	7.7	17.6	16.3%	53.1%	21.9%	8.4%	0.1%	0.1%	0.0%
松野町	9.4	3.8	5.5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	9.6	4.1	5.5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	12.3	3.3	4.8	99.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 2.4-49 ⑧中央構造線断層帯（3区間連動）のSI値想定結果（市町別）

市町名	最大値 (cm/s)	最小値 (cm/s)	平均値 (cm/s)	SI値 面積割合						
				0~10 (cm/s)	10~20 (cm/s)	20~30 (cm/s)	30~40 (cm/s)	40~50 (cm/s)	50~60 (cm/s)	60~ (cm/s)
松山市	88.4	9.1	30.3	0.2%	19.5%	39.0%	22.0%	11.8%	5.1%	2.5%
今治市	141.1	9.4	29.0	0.4%	35.3%	33.4%	13.9%	4.1%	4.8%	8.2%
宇和島市	50.1	4.8	9.1	72.4%	26.5%	0.7%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%
八幡浜市	63.4	12.3	24.1	0.0%	8.6%	83.4%	6.4%	1.4%	0.2%	0.0%
新居浜市	136.5	11.8	39.2	0.0%	22.4%	29.6%	15.9%	5.9%	5.1%	21.0%
西条市	223.4	11.3	51.3	0.0%	31.6%	8.4%	8.3%	10.0%	6.5%	35.2%
大洲市	75.9	7.6	20.7	4.5%	36.0%	52.9%	4.2%	1.8%	0.4%	0.2%
伊予市	82.7	11.5	25.1	0.0%	37.7%	38.1%	15.7%	3.0%	3.5%	2.0%
四国中央市	151.2	12.9	32.3	0.0%	24.0%	28.2%	23.4%	13.6%	5.2%	5.6%
西予市	74.6	6.8	15.3	23.0%	57.0%	15.4%	1.1%	2.8%	0.6%	0.1%
東温市	83.8	15.2	38.8	0.0%	1.5%	24.3%	34.2%	20.0%	14.6%	5.4%
上島町	51.1	8.7	18.7	14.2%	43.0%	30.2%	10.3%	2.3%	0.0%	0.0%
久万高原町	28.6	6.7	11.0	47.8%	49.1%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	74.7	31.9	52.7	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	33.9%	43.9%	17.9%
砥部町	57.9	10.0	21.0	0.0%	56.8%	16.9%	22.5%	3.7%	0.1%	0.0%
内子町	35.9	6.9	13.9	31.9%	52.9%	13.7%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	93.6	15.0	31.3	0.0%	8.5%	37.4%	43.6%	8.9%	0.8%	0.7%
松野町	14.3	5.7	6.9	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	20.5	6.8	8.7	93.1%	6.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	16.1	3.4	5.7	99.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## 2.5. 液状化の想定

液状化とは、地下水位以深の緩い砂質地盤が、地震動によって発生した過剰間隙水圧により、砂の粒子間の結合と摩擦力が低下し、液体のような挙動を示す現象のことであり、傾斜した地形であれば流動する挙動を示す。このため、水・砂・泥を地表に吹き上げる噴砂、噴泥によって地盤が盛り上がり、不同沈下、陥没を生じたりするので建物や土木構造物の転倒、沈下、傾斜につながる。一般に液状化により、次のような被害が生じることが知られている。

- ① 地中のガス管・上下水道管・地下埋設物等、軽量構造物の浮上
- ② 杭等の深い基礎で支えていない建物、橋梁等の重量構造物の沈下・傾斜
- ③ 堤防等、盛土の基礎地盤の液状化に伴う構造物沈下やすべり破壊の発生
- ④ 護岸や擁壁の側方流動、押し出し 等

### (1) 液状化の想定手法

地震による液状化危険度及び沈下量について、図 2.5-1 のフローで想定する。液状化危険度については、内閣府（2025）等による検討でも採用されている道路橋示方書・同解説（日本道路協会、2025）の  $F_L$  及び岩崎ら（1980）による  $P_L$  を用い、125m メッシュごとの液状化指数（ $P_L$  値）により評価する。また、液状化による建物被害を算定するための沈下量については、建築基礎構造設計指針（2019）による方法を用いて算出する。

なお、液状化については、図 2.5-2 に示すように、微地形区分ごとに発生傾向の強弱が整理されており、愛媛県の微地形区分図のうち、埋立地、旧河道、自然堤防、三角州では、液状化発生傾向が強い。今回調査では、後背湿地・旧河道、砂州・砂丘、三角州、自然堤防、扇状地、谷底低地、氾濫平野、埋立地を対象に液状化危険度と沈下量を評価する。

液状化の想定にあたっては、125m メッシュごとに作成した各想定地震の地表地震動のデータを用いる。なお、国土交通省「リスクコミュニケーションを取るための液状化ハザードマップ作成の手引き」（令和 3 年 6 月）による標準地震動は、【地表面最大加速度 200gal, M=7.5】とされているが、今回調査では、各想定地震の地震動の想定結果を用いることで、これを包含するものとする。

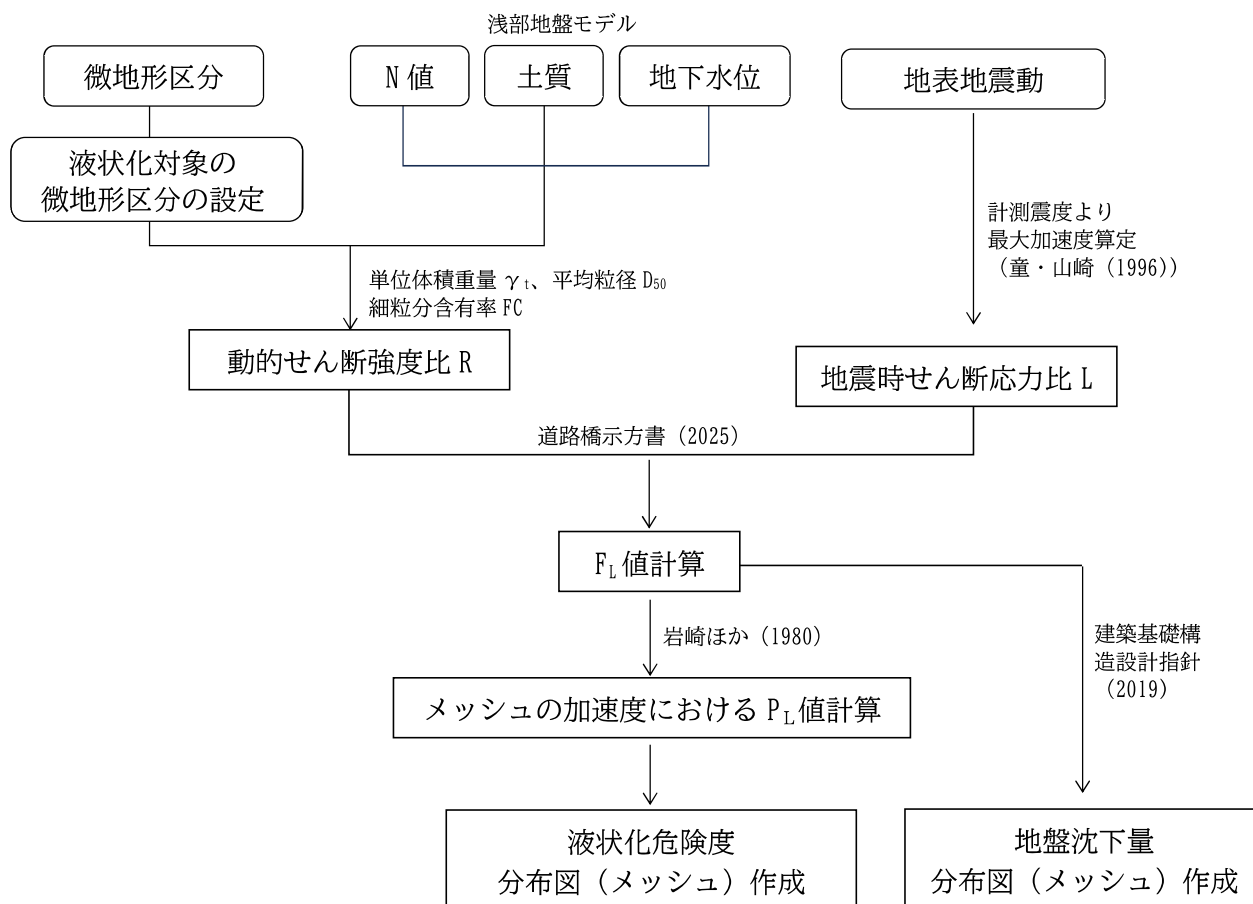


図 2.5-1 液状化危険度及び沈下量の算出フロー

◆地形区分に基づく液状化の発生傾向

液状化の発生傾向の強弱		250mメッシュの微地形分類
		埋立地、砂丘末端緩斜面、砂丘・砂州間低地、旧河道・旧池沼
		干拓地、自然堤防、三角州・海岸低地
		砂州・砂洲、後背湿地、扇状地（傾斜<1/100）、谷底低地（傾斜<1/100）、河原（傾斜<1/100）
		砂丘（末端緩斜面以外）、扇状地（傾斜≥1/100）、谷底低地（傾斜≥1/100）、河原（傾斜≥1/100）
		山地、山麓地、丘陵、火山地、火山山麓地、火山性丘陵、岩石台地、砂礫質台地、火山灰台地、礫・岩礁

注意：水部(河道、湖沼)については、陸部がないことから液状化の発生傾向を評価しない。

図 2.5-2 地形区分に基づく液状化の発生傾向

(出典：国土交通省，地形区分に基づく液状化の発生傾向図等)

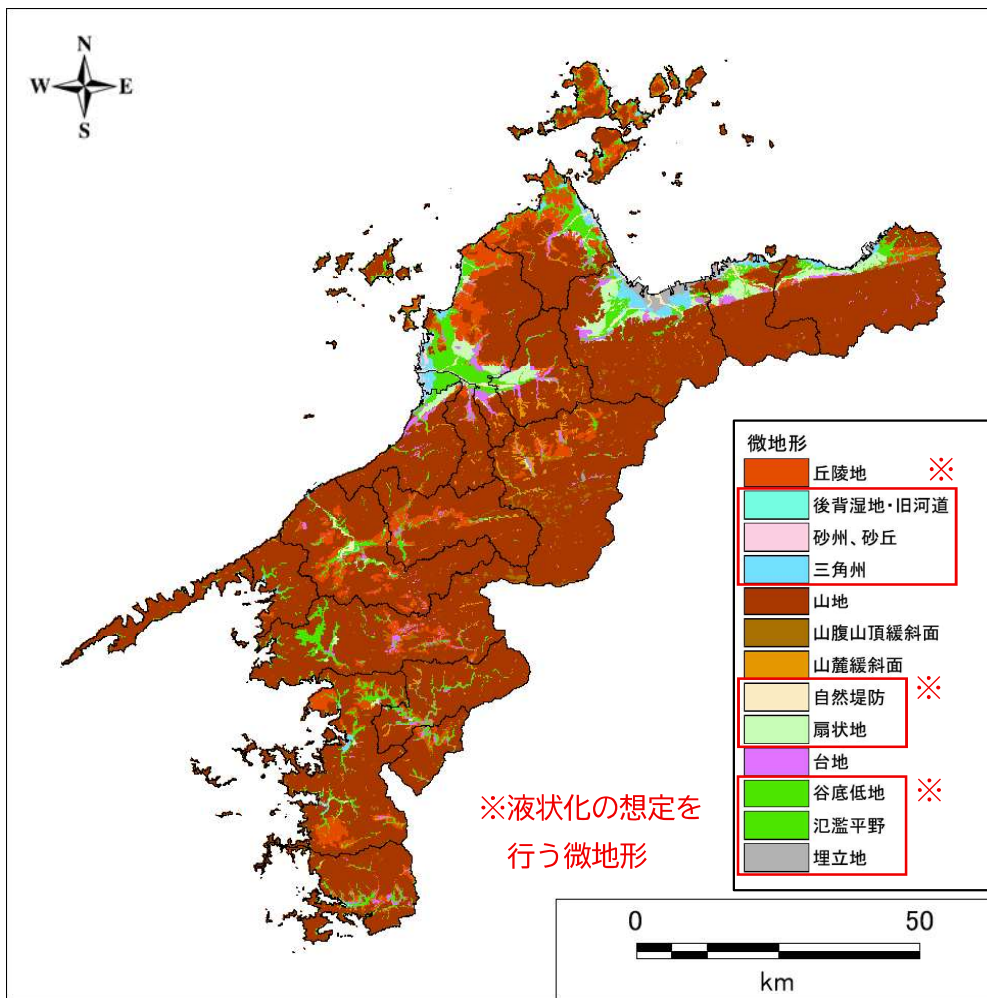


図 2.5-3 愛媛県の微地形区分図と液状化の想定を行う微地形（再掲、一部追記）

a) 地下水位の設定

地下水位は、液状化予測の対象微地形区分を対象に、ボーリングデータの孔内水位を5つの地域（東予①、東予②、中予、南予①、南予②）において、125mメッシュの微地形区分ごとに整理した中央値により設定する。

設定した地下水位の分布は、図 2.5-6、表 2.5-1 のとおりである。後背湿地・旧河道、砂州・砂丘、三角州、氾濫平野、埋立地では全体的に地下水位が高く、自然堤防、扇状地では、全体的に地下水位が低い。一部地域（東予②）では高い傾向にある。

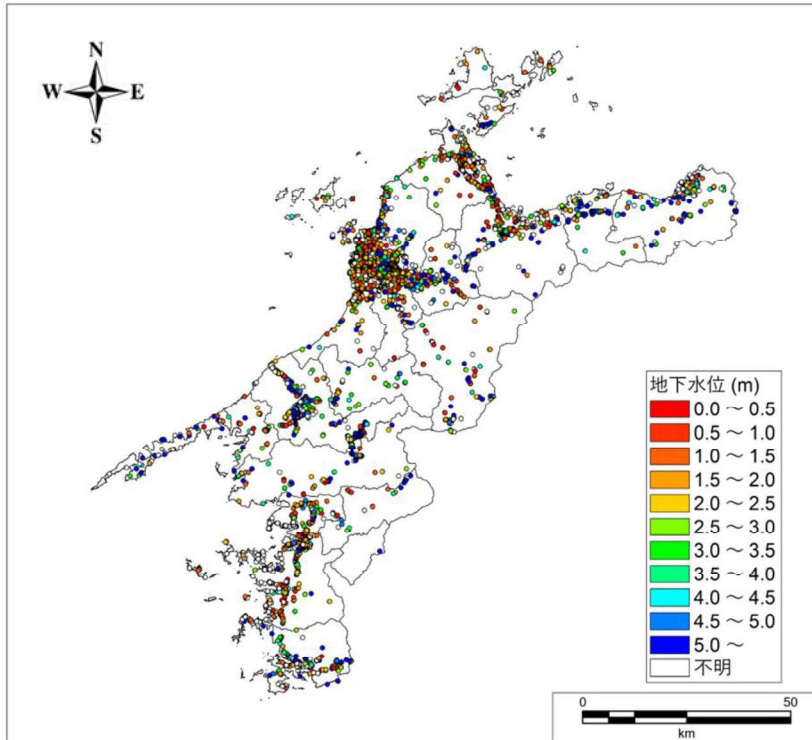


図 2.5-4 ボーリングデータの孔内水位分布図

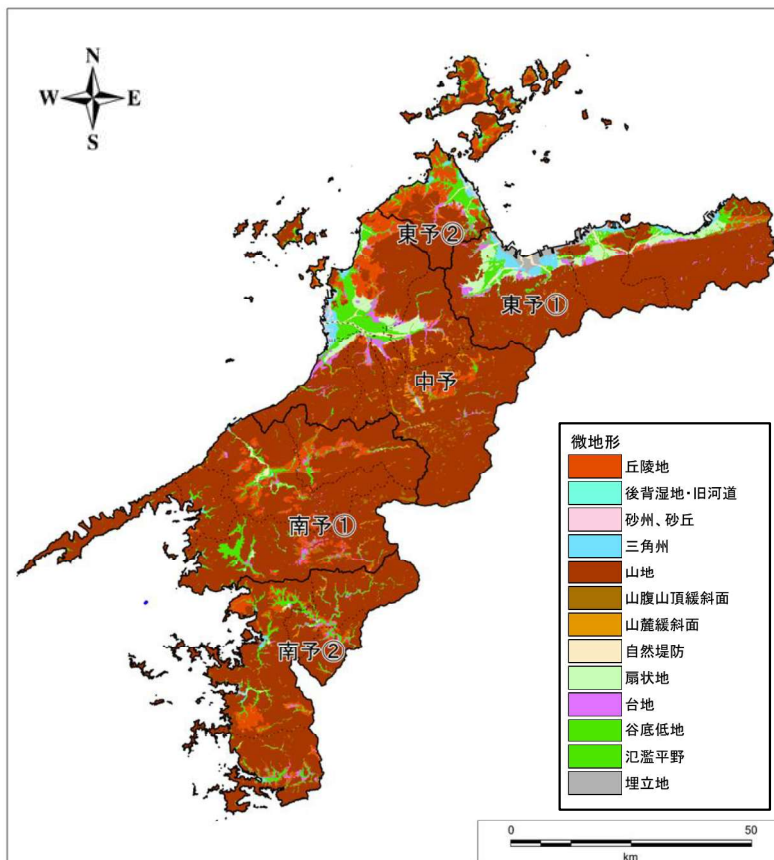


図 2.5-5 5地域と125mメッシュ微地形区分

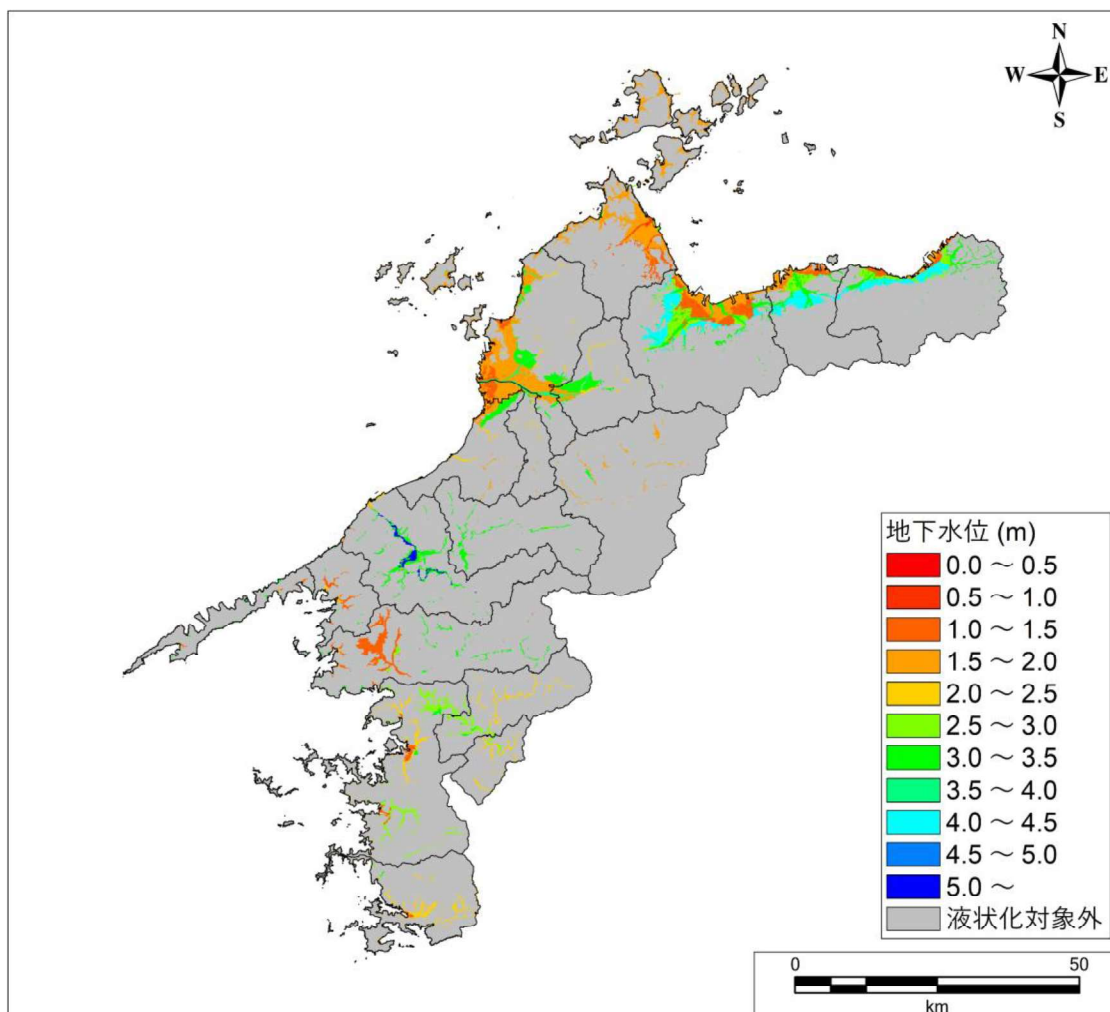


図 2.5-6 125m メッシュごとに設定する地下水位分布図

表 2.5-1 微地形区分ごとに設定する地下水位一覧 (m)

微地形区分	東予①	東予②	中予	南予①	南予②	全体
後背湿地・旧河道	1.4	1.9	—	2.5	—	1.9
砂州、砂丘	—	1.8	1.8	—	1.8	1.8
三角州	1.2	1.5	1.3	2.3	1.3	1.3
自然堤防	3.2	0.9	3.7	5.1	2.5	4.1
扇状地	4.3	1.2	3.3	2.8	3.0	3.4
谷底低地	3.4	1.4	2.1	1.3	2.5	2.2
氾濫平野	2.6	1.5	1.7	3.1	2.0	1.8
埋立地	1.8	2.6	1.9	1.8	1.3	1.6

b) 細粒分含有率と平均粒径の設定

細粒分含有率及び平均粒径は、県内の室内土質試験結果を基に、5つの地域（東予①、東予②、中予、南予①、南予②）において、土質・N値別に整理して、その平均値により設定する。

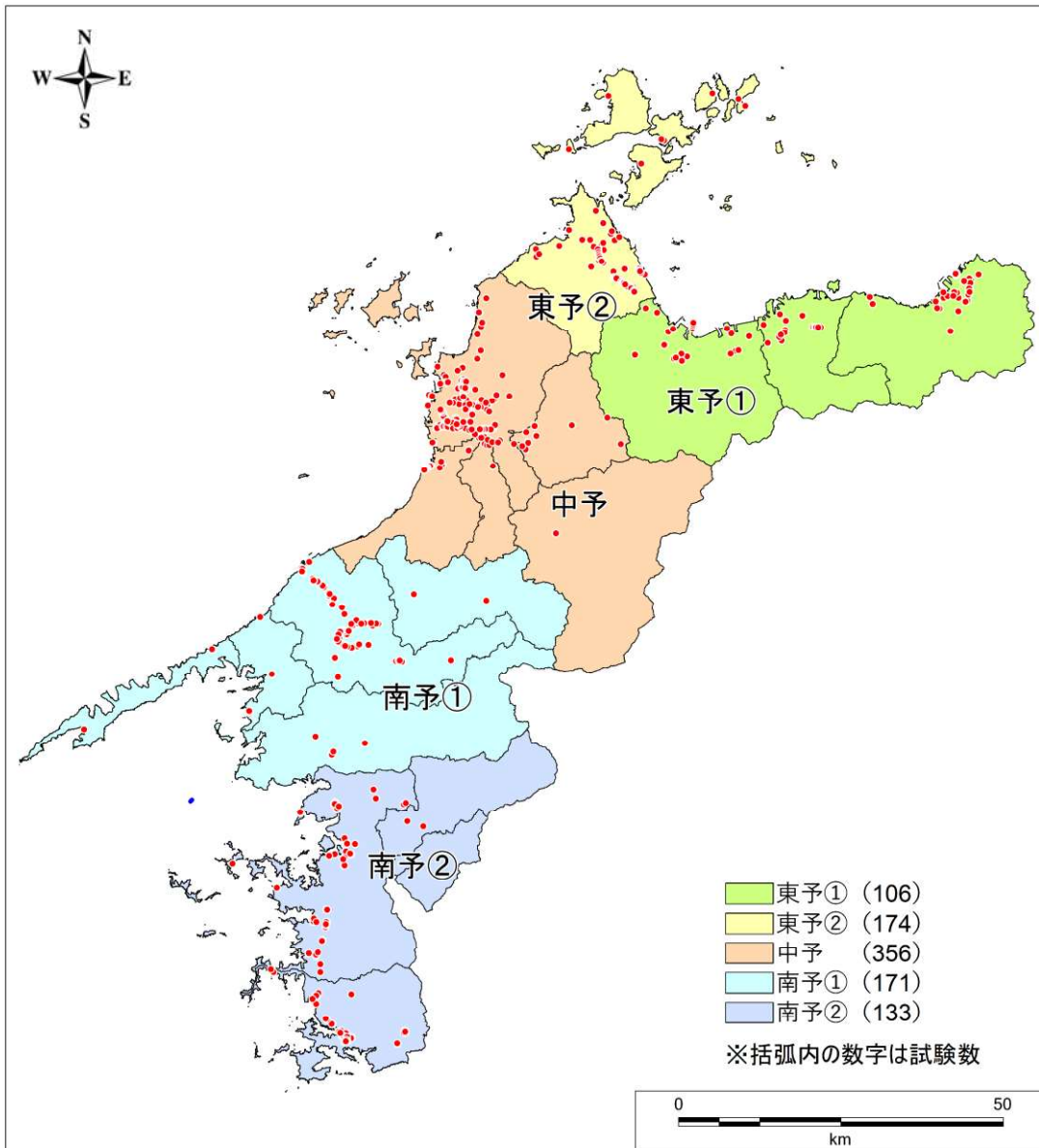


図 2.5-7 収集した室内土質試験結果位置図

表 2.5-2 細粒分含有率と平均粒径の設定一覧

項目	土質区分	N 値区分	東予①	東予②	中予	南予①	南予②	全地域
細粒分含有率 FC(%)	盛土	0<N≤4	-	25.0	18.1	21.7	-	21.4
		4<N≤10	27.1	-	25.2	22.2	-	23.0
		10<N≤30	-	-	15.6	31.4	21.1	22.6
		30<N	-	-	12.8	18.2	13.0	15.8
		全 N 値	27.1	25.0	17.6	24.2	15.1	21.8
	沖積 砂質土	0<N≤4	30.6	24.7	26.0	28.7	33.6	28.7
		4<N≤10	23.2	19.5	21.8	25.0	25.1	22.9
		10<N≤30	18.4	12.8	14.0	18.1	14.3	14.8
		30<N	14.5	9.5	10.8	16.2	14.4	11.9
		全 N 値	22.2	17.1	17.5	23.1	25.5	20.2
平均粒径 D <sub>50</sub> (mm)	沖積 礫質土	N≤20	3.3	1.6	5.2	4.2	4.4	4.3
		20<N≤30	5.2	2.1	6.0	4.5	8.3	3.7
		30<N≤50	4.4	-	6.5	3.6	7.0	4.0
		全 N 値	4.0	1.8	5.8	4.2	5.0	4.1

※中予地域は松山市にデータが集中しているため、1地域とする。

※東予①の盛土 (0<N≤4) はデータがないため、東予②の盛土 (0<N≤4) の値を採用する。

※東予①及び東予②の盛土 (10<N≤30) はデータがないため、全地域の盛土 (10<N≤30) の値を採用する。

※東予①及び東予②の盛土 (30<N) はデータがないため、全地域の盛土 (30<N) の値を採用する。

※東予②の盛土 (4<N≤10) はデータがないため、東予①の盛土 (4<N≤10) の値を採用する。

※南予②の盛土 (0<N≤4) はデータがないため、南予①の盛土 (0<N≤4) の値を採用する。

※南予②の盛土 (4<N≤10) はデータがないため、南予①の盛土 (4<N≤10) の値を採用する。

※東予②の沖積礫質土 (30<N≤50) はデータがないため、東予①の沖積礫質土 (30<N≤50) の値を採用する。

c) 液状化に対する抵抗率 ( $F_L$  値) の算出

$F_L$  値は、液状化対象となる土層ごとの液状化に対する抵抗率を表すもので、地層が有する動的せん断強度比  $R$  と作用する地震時せん断応力比  $L$  によって定義する。この値が 1.0 以下の土層については、液状化するものとみなすものである。今回調査では、道路橋示方書・同解説(2025)に示される算定式を用いて評価した。なお、対象とする土層は、深さ 20m 以浅の砂質土及び礫質土層を基本とする。

$$F_L = R / L \quad (F_L > 1.0 : \text{液状化しない}, F_L \leq 1.0 : \text{液状化する})$$

地層が有する動的せん断強度比  $R$  は、地盤の繰返し三軸強度比  $R_L$  を用いて次の補正式により求める。

$$R = C_w \cdot R_L$$

地震動特性による補正係数  $C_w$  は次のように定められている。

(プレート境界型の大地震の場合)

$$C_w = 1.0$$

(内陸直下型地震の場合)

$$C_w = \begin{cases} 1.0 & (R_L \leq 0.1) \\ 3.3R_L + 0.67 & (0.1 < R_L \leq 0.4) \\ 2.0 & (0.4 < R_L) \end{cases}$$

繰返し三軸強度比  $R_L$  は、以下の式により算出した。

$$R_L = \begin{cases} 0.0882\sqrt{Na/1.7} & (Na < 14) \\ 0.0882\sqrt{Na/1.7} + 1.6 \times 10^{-6} \cdot (Na - 14)^{4.5} & (Na \geq 14) \end{cases}$$

粒度の影響を考慮した補正  $N$  値 ( $Na$ ) は、次のように求める。

$$Na = \begin{cases} C_{FC} (N_1 + 2.47) - 2.47 & (D_{50} < 2\text{mm}) \\ \{1 - 0.36 \cdot \log_{10}(D_{50}/2)\} N_1 & (D_{50} \geq 2\text{mm}) \end{cases}$$

$$N_1 = 170N / (\sigma_{vb}' + 70)$$

$$C_{FC} = \begin{cases} 1 & (0\% \leq FC < 10\%) \\ (FC + 20)/30 & (10\% \leq FC < 40\%) \\ (FC - 16)/12 & (40\% \leq FC) \end{cases}$$

$C_w$  : 地震動特性による補正係数、 $R_L$  : 繰返し三軸強度比、 $N$  : 標準貫入試験から得られる  $N$  値、 $N_1$  : 有効上載圧  $100\text{kN/m}^2$  相当に換算した  $N$  値、 $Na$  : 粒度の影響を考慮した補正  $N$  値、 $\sigma_{vb}'$  : 標準貫入試験を行ったときの地表面からの深さにおける有効上載圧 ( $\text{kN/m}^2$ )、 $C_{FC}$  : 細粒分含有率による  $N$  値の補正係数、 $FC$  : 細粒分含有率 (粒径  $75\mu\text{m}$  以下の土の質量百分率)、 $D_{50}$  : 平均粒径 ( $\text{mm}$ )

地震時せん断応力比  $L$  は、地表最大加速度から次式で表される。

$$L = (\alpha/g) \cdot (\sigma_v / \sigma_v') \cdot \gamma_d$$

$$\gamma_d = 1.0 - 0.015x$$

$\alpha$  : 地表最大加速度 ( $\text{cm/s}^2$ )、 $g$  : 重力加速度 (980gal)、 $\sigma_v$  : 地表面からの深さ  $x$  における全上載圧 ( $\text{kN/m}^2$ )、 $\sigma_v'$  : 地表面からの深さ  $x$  における有効上載圧 ( $\text{kN/m}^2$ )、 $\gamma_d$  : 地震時せん断応力比の深さ方向の係数、 $x$  : 地表からの深さ (m)

d) 液状化危険度指数 ( $P_L$  値) の算出

岩崎ら (1980) による  $P_L$  法は、地盤の液状化の激しさの程度を表す指数で、 $F_L$  値を深さ方向に重みをつけて足し合わせることで求められる。地点ごとに算出した  $P_L$  値に基づき、前回調査同様、表 2.5-3 の区分により液状化危険度を評価する。

$$P_L = \int_0^{20} F \cdot W(z) dz$$

$W(z)$  : 重み係数 (図 2.5-8 参照)、 $Z$  : 深度 (m)

$$F = \begin{cases} 1 - F_L & (F_L < 1.0) \\ 0 & (F_L \geq 1.0) \end{cases}$$

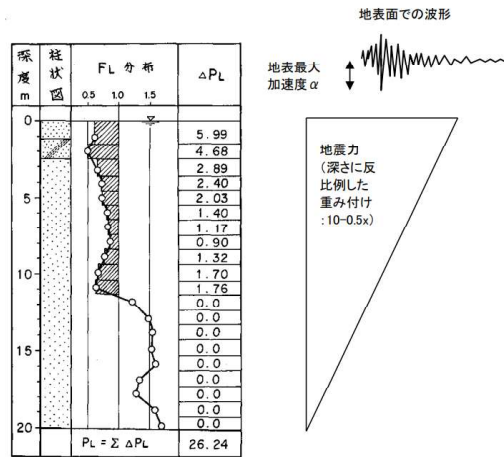


図 2.5-8  $P_L$  値の概念図 (出典：岩崎ら (1980))

表 2.5-3  $P_L$  値による液状化危険度判定区分 (前回調査を参考に設定)

$P_L$ 値	液状化危険度
$P_L=0$	かなり低い
$0 < P_L \leq 5$	低い
$5 < P_L \leq 15$	高い
$15 < P_L \leq 30$	かなり高い
$30 < P_L$	極めて高い

e) 沈下量の算出

沈下量は、内閣府（2025）の手法に準じ、建築基礎構造設計指針（2019）に示される補正 N 値と繰返しせん断ひずみの関係を用いて、次の手順で求める。

- ① 図 2.5-9 を用い補正 N 値とせん断応力比に対応した繰返しせん断ひずみ  $\gamma_{cy}$  を求め、これを体積ひずみと読み替え、各層の体積ひずみを推定する。
- ② 各層の体積ひずみを次式によって鉛直方向に積分して、地表面からの沈下量を算定する。

$$S = \sum_{i=1}^n (H_i \times \varepsilon_{vi})$$

$S$  : 液状化にともなう沈下量(m)、 $H_i$  :  $F_L < 1.0$  となる砂質土層  $i$  の層厚(m)、  
 $\varepsilon_i$  :  $F_L < 1.0$  となる砂質土層  $i$  の体積ひずみ、 $n$  :  $F_L < 1.0$  となる砂質土層数

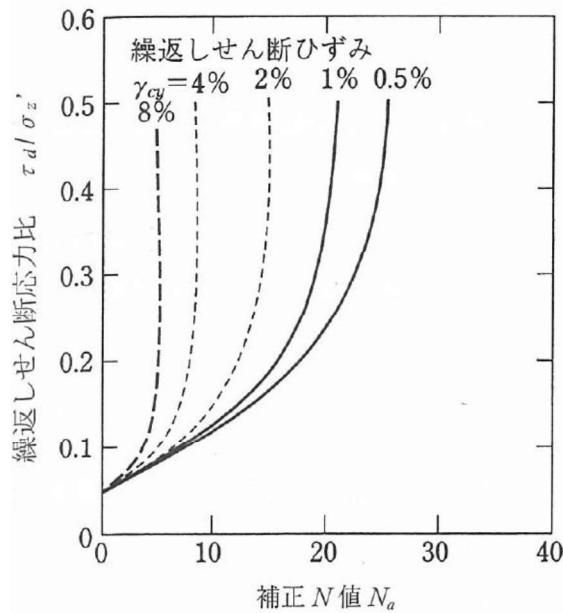


図 2.5-9 補正 N 値と繰返しせん断ひずみの関係  
 (出典：建築基礎構造設計指針（2019）)

## (2) 液状化の想定結果

液状化危険度及び沈下量の想定結果について、表 2.5-4～表 2.5-9 図 2.5-10～図 2.5-19 に示す。

### ① 南海トラフ巨大地震

松山市、松前町、伊予市、今治市、新居浜市、西条市、四国中央市の平野部及び海岸低地部などにおいて、液状化危険度が極めて高い地域があると想定される。沈下量は 0.0～0.3m の地点が多いが、松山市の一部などでは 0.5m 以上の沈下が生じると想定される。

### ② 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル A）

松山市、松前町、伊予市、今治市、西条市の平野部及び海岸低地部などで液状化危険度が極めて高い地域があると想定される。沈下量は 0.0～0.3m の地点が多いが、松山市の一部などでは 0.5m 以上の沈下が生じると想定される。

### ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル B）

松山市、松前町、今治市の一部と、震源に近い大洲市などにおいて液状化危険度がかなり高い～極めて高い地域があると想定される。沈下量は、0.3m 未満が主であるが、宇和島市の一部などでは 0.5m 以上と想定される。

### ②" 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル C）

②' と同様の傾向であるが、今治市などでは、0.5m 以上の沈下量が想定される。

### ③ 中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）

東予地域を中心に、今治市、西条市、新居浜市、四国中央市、上島町に液状化危険度が極めて高い地点があると想定される。沈下量は、多くが 0.0～0.3m と想定されている。また、震源断層から離れている松山市、松前町、伊予市でも、一部で液状化危険度が高い～かなり高いと想定される。

### ④ 中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）

今治市、西条市、新居浜市、四国中央市に液状化危険度が極めて高い地点が多くあると想定される。沈下量は、多くが 0.0～0.3m と想定される。

### ⑤ 中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）

松山市、今治市、西条市、新居浜市、四国中央市で液状化危険度が極めて高い地点が多くあると想定される。特に、東予地域への影響が大きく、沈下量は 0.0～0.3m、今治市の一部などでは 0.3m 以上と想定される。

### ⑥ 中央構造線断層帯（伊予灘区間）

松山市、松前町、伊予市を中心に液状化危険度が極めて高い地域がある。沈下量は、0.0～0.3m の地点が多く、一部で 0.5m 以上と想定される。

### ⑦ 中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）

宇和島市で液状化危険度が高い。これらの地域の沈下量は 0.1m 未満と想定される。

### ⑧ 中央構造線断層帯（3 区間連動）

松山市、松前町、伊予市、今治市、西条市、新居浜市、四国中央市などの低地部の広い範囲で液状化危険度が極めて高い地域があると想定される。

表 2.5-4 想定地震における液状化危険度の面積割合

想定地震	液状化危険度の面積割合						
	対象外	かなり低い	低い	高い	かなり高い	極めて高い	
①南海トラフ巨大地震	87.89%	4.17%	0.78%	1.75%	2.13%	3.39%	
②安芸灘～伊予灘 ～豊後水道の プレート内地震	A	87.89%	5.90%	2.16%	1.68%	1.58%	0.89%
	B	87.89%	8.50%	2.26%	1.02%	0.38%	0.05%
	C	87.89%	7.04%	2.25%	1.86%	0.92%	0.14%
③中央構造線断層帯 (讃岐山脈南縁西部区間)	87.89%	8.28%	1.01%	1.15%	0.96%	0.81%	
④中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁区間)	87.89%	8.70%	0.91%	0.93%	0.90%	0.78%	
⑤中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁西部区間)	87.89%	7.59%	1.64%	1.28%	1.05%	0.66%	
⑥中央構造線断層帯 (伊予灘区間)	87.89%	7.52%	2.30%	1.28%	0.71%	0.40%	
⑦中央構造線断層帯 (豊予海峡-由布院区間)	87.89%	12.09%	0.10%	0.01%	0.00%	0.00%	
⑧中央構造線断層帯 (3区間連動)	87.89%	5.61%	1.65%	1.88%	1.60%	1.47%	

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

表 2.5-5 想定地震における市町別最大液状化危険度 (1/2)

市町名	①南海巨大 トラフ地震	②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震			③中央構造 線断層帯 (讃岐山脈 南縁西部区間)
		モデル A	モデル B	モデル C	
松山市	極めて高い	極めて高い	極めて高い	極めて高い	かなり高い
今治市	極めて高い	極めて高い	極めて高い	極めて高い	極めて高い
宇和島市	極めて高い	かなり高い	極めて高い	極めて高い	低い
八幡浜市	極めて高い	かなり高い	極めて高い	極めて高い	かなり低い
新居浜市	極めて高い	極めて高い	高い	かなり高い	極めて高い
西条市	極めて高い	極めて高い	極めて高い	極めて高い	極めて高い
大洲市	極めて高い	極めて高い	極めて高い	極めて高い	高い
伊予市	極めて高い	極めて高い	かなり高い	極めて高い	高い
四国中央市	極めて高い	極めて高い	低い	高い	極めて高い
西予市	極めて高い	かなり高い	極めて高い	極めて高い	低い
東温市	かなり高い	高い	低い	高い	低い
上島町	極めて高い	かなり高い	高い	高い	極めて高い
久万高原町	かなり低い	かなり低い	かなり低い	かなり低い	かなり低い
松前町	極めて高い	極めて高い	極めて高い	極めて高い	高い
砥部町	かなり高い	低い	低い	低い	低い
内子町	かなり高い	高い	高い	高い	かなり低い
伊方町	極めて高い	極めて高い	極めて高い	極めて高い	かなり低い
松野町	かなり低い	かなり低い	かなり低い	かなり低い	かなり低い
鬼北町	かなり高い	かなり低い	低い	低い	かなり低い
愛南町	極めて高い	高い	かなり高い	極めて高い	かなり低い

表 2.5-6 想定地震における市町別最大液化化危険度 (2/2)

市町名	④中央構造線 断層帯 (石鎚山脈 北縁区間)	⑤中央構造線 断層帯 (石鎚山脈北縁 西部区間)	⑥中央構造線 断層帯 (伊予灘区間)	⑦中央構造線 断層帯 (豊予海峡- 由布院区間)	⑧中央構造線 断層帯 (3区間連動)
松山市	高い	極めて高い	極めて高い	低い	極めて高い
今治市	極めて高い	極めて高い	極めて高い	低い	極めて高い
宇和島市	かなり低い	低い	かなり高い	高い	極めて高い
八幡浜市	かなり低い	かなり低い	極めて高い	低い	極めて高い
新居浜市	極めて高い	極めて高い	かなり高い	かなり低い	極めて高い
西条市	極めて高い	極めて高い	極めて高い	かなり低い	極めて高い
大洲市	かなり低い	かなり高い	極めて高い	かなり高い	極めて高い
伊予市	低い	かなり高い	極めて高い	かなり低い	極めて高い
四国中央市	極めて高い	極めて高い	高い	かなり低い	極めて高い
西予市	かなり低い	かなり低い	かなり高い	低い	極めて高い
東温市	低い	高い	高い	かなり低い	高い
上島町	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり低い	極めて高い
久万高原町	かなり低い	かなり低い	かなり低い	かなり低い	かなり低い
松前町	低い	かなり高い	極めて高い	かなり低い	極めて高い
砥部町	かなり低い	高い	高い	かなり低い	高い
内子町	かなり低い	かなり低い	高い	かなり低い	低い
伊方町	かなり低い	かなり低い	極めて高い	極めて高い	極めて高い
松野町	かなり低い	かなり低い	かなり低い	かなり低い	かなり低い
鬼北町	かなり低い	かなり低い	かなり低い	かなり低い	かなり低い
愛南町	かなり低い	かなり低い	低い	かなり低い	低い

表 2.5-7 想定地震における沈下量の面積割合

想定地震		液状化沈下量の面積割合					
		対象外	0.0m	0.0～ 0.1m	0.1～ 0.3m	0.3～ 0.5m	0.5m 以上
①南海トラフ巨大地震		87.79%	4.31%	3.72%	3.16%	0.64%	0.38%
②安芸灘～伊予灘 ～豊後水道の プレート内地震	A	87.79%	5.93%	2.75%	2.70%	0.53%	0.31%
	B	87.79%	8.49%	1.77%	1.40%	0.37%	0.18%
	C	87.79%	7.04%	2.18%	2.25%	0.48%	0.26%
③中央構造線断層帯 (讃岐山脈南縁西部区間)		87.79%	8.28%	1.58%	1.85%	0.32%	0.18%
④中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁区間)		87.79%	8.70%	1.36%	1.74%	0.25%	0.16%
⑤中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁西部区間)		87.79%	7.60%	1.96%	2.10%	0.38%	0.17%
⑥中央構造線断層帯 (伊予灘区間)		87.79%	7.52%	2.22%	1.92%	0.36%	0.20%
⑦中央構造線断層帯 (豊予海峡-由布院区間)		87.79%	12.09%	0.03%	0.04%	0.03%	0.01%
⑧中央構造線断層帯 (3区間連動)		87.79%	5.65%	2.90%	2.79%	0.54%	0.34%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.00%)、合計が100%にならない場合がある。

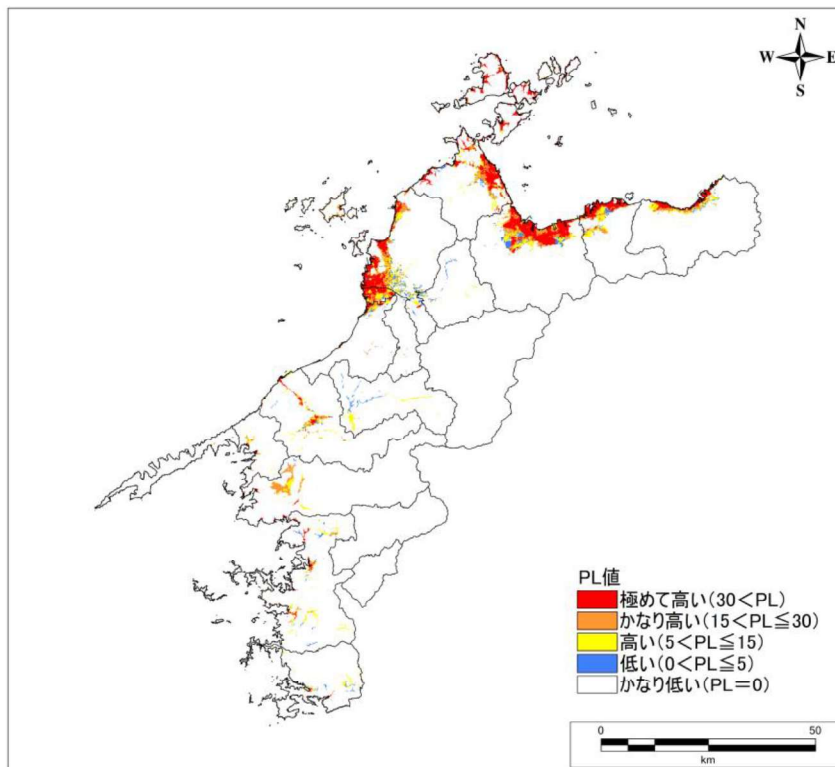
表 2.5-8 想定地震における市町別最大沈下量 (1/2)

市町名	①南海巨大 トラフ地震	②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震			③中央構造 線断層帯 (讃岐山脈 南縁西部区間)
		モデル A	モデル B	モデル C	
松山市	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上
今治市	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上
宇和島市	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.1～0.3m
八幡浜市	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.0m
新居浜市	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上
西条市	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上
大洲市	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.1～0.3m
伊予市	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.3～0.5m
四国中央市	0.5m 以上	0.5m 以上	0.1～0.3m	0.5m 以上	0.5m 以上
西予市	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.0～0.1m
東温市	0.1～0.3m	0.1～0.3m	0.1～0.3m	0.1～0.3m	0.1～0.3m
上島町	0.5m 以上	0.5m 以上	0.1～0.3m	0.1～0.3m	0.5m 以上
久万高原町	0.0m	0.0m	0.0m	0.0m	0.0m
松前町	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.3～0.5m
砥部町	0.0～0.1m	0.0～0.1m	0.0～0.1m	0.0～0.1m	0.0～0.1m
内子町	0.1～0.3m	0.1～0.3m	0.1～0.3m	0.1～0.3m	0.0m
伊方町	0.3～0.5m	0.3～0.5m	0.3～0.5m	0.3～0.5m	0.0m
松野町	0.0m	0.0m	0.0m	0.0m	0.0m
鬼北町	0.0～0.1m	0.0m	0.0～0.1m	0.0～0.1m	0.0m
愛南町	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.5m 以上	0.0m

表 2.5-9 想定地震における市町別最大沈下量 (2/2)

市町名	④中央構造線 断層帯 (石鎚山脈 北縁区間)	⑤中央構造線 断層帯 (石鎚山脈北縁 西部区間)	⑥中央構造線 断層帯 (伊予灘区間)	⑦中央構造線 断層帯 (豊予海峡- 由布院区間)	⑧中央構造線 断層帯 (3区間連動)
松山市	0.3~0.5m	0.5m以上	0.5m以上	0.1~0.3m	0.5m以上
今治市	0.5m以上	0.5m以上	0.5m以上	0.1~0.3m	0.5m以上
宇和島市	0.0m	0.0~0.1m	0.5m以上	0.5m以上	0.5m以上
八幡浜市	0.0m	0.0m	0.5m以上	0.1~0.3m	0.5m以上
新居浜市	0.5m以上	0.5m以上	0.5m以上	0.0m	0.5m以上
西条市	0.5m以上	0.5m以上	0.5m以上	0.0m	0.5m以上
大洲市	0.0m	0.5m以上	0.5m以上	0.5m以上	0.5m以上
伊予市	0.1~0.3m	0.5m以上	0.5m以上	0.0m	0.5m以上
四国中央市	0.5m以上	0.5m以上	0.5m以上	0.0m	0.5m以上
西予市	0.0m	0.0m	0.5m以上	0.3~0.5m	0.5m以上
東温市	0.1~0.3m	0.1~0.3m	0.1~0.3m	0.0m	0.1~0.3m
上島町	0.5m以上	0.5m以上	0.1~0.3m	0.0m	0.5m以上
久万高原町	0.0m	0.0m	0.0m	0.0m	0.0m
松前町	0.3~0.5m	0.5m以上	0.5m以上	0.0m	0.5m以上
砥部町	0.0m	0.0~0.1m	0.0~0.1m	0.0m	0.0~0.1m
内子町	0.0m	0.0m	0.1~0.3m	0.0m	0.1~0.3m
伊方町	0.0m	0.0m	0.3~0.5m	0.3~0.5m	0.3~0.5m
松野町	0.0m	0.0m	0.0m	0.0m	0.0m
鬼北町	0.0m	0.0m	0.0m	0.0m	0.0m
愛南町	0.0m	0.0m	0.1~0.3m	0.0m	0.1~0.3m

(液状化危険度)



(沈下量)

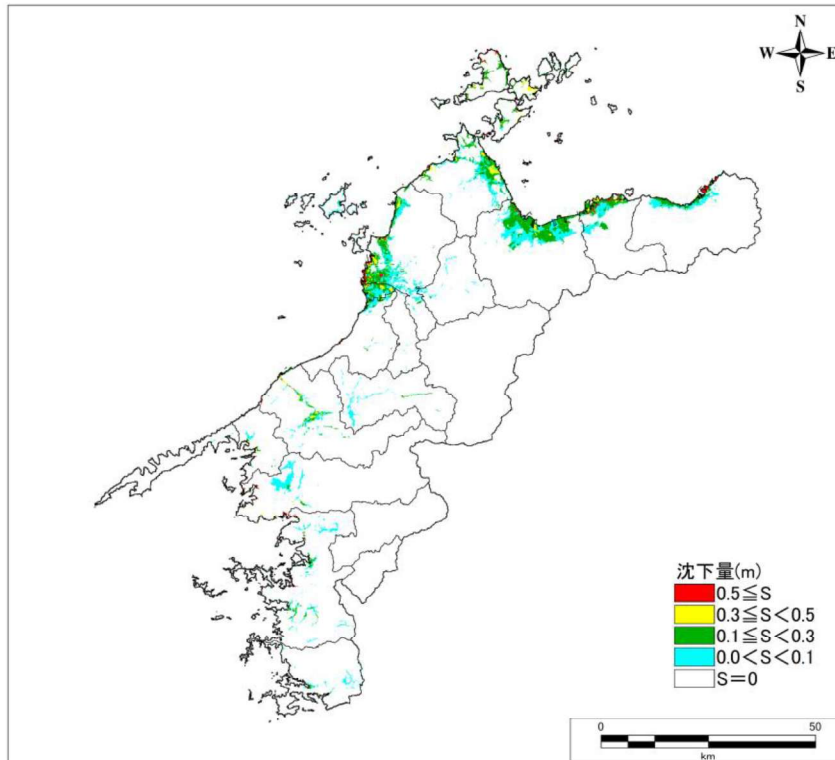
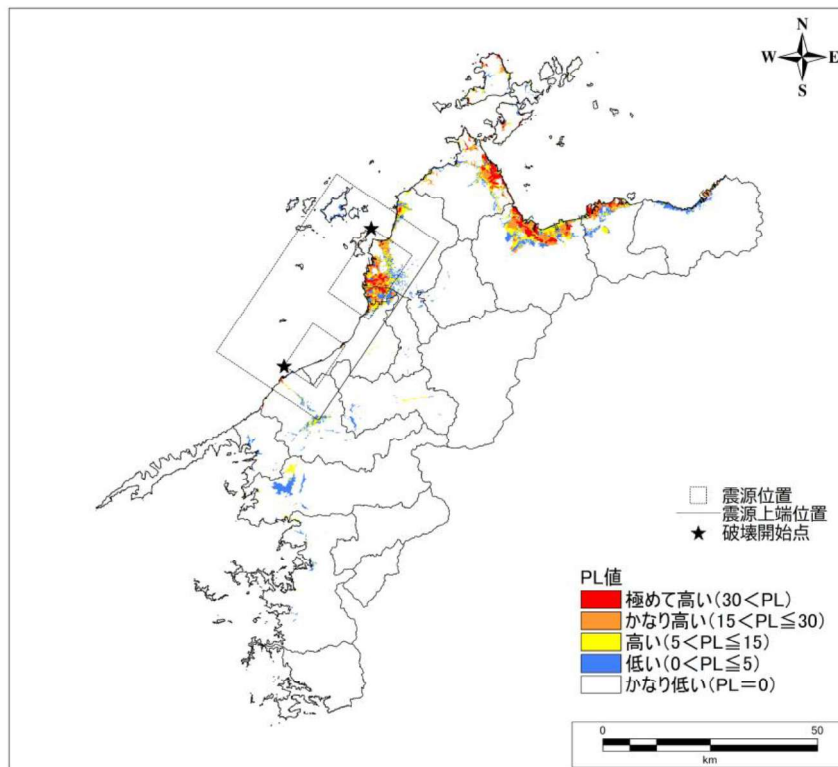


図 2.5-10 ①南海トラフ巨大地震の  
液状化危険度と沈下量分布

(液状化危険度)



(沈下量)

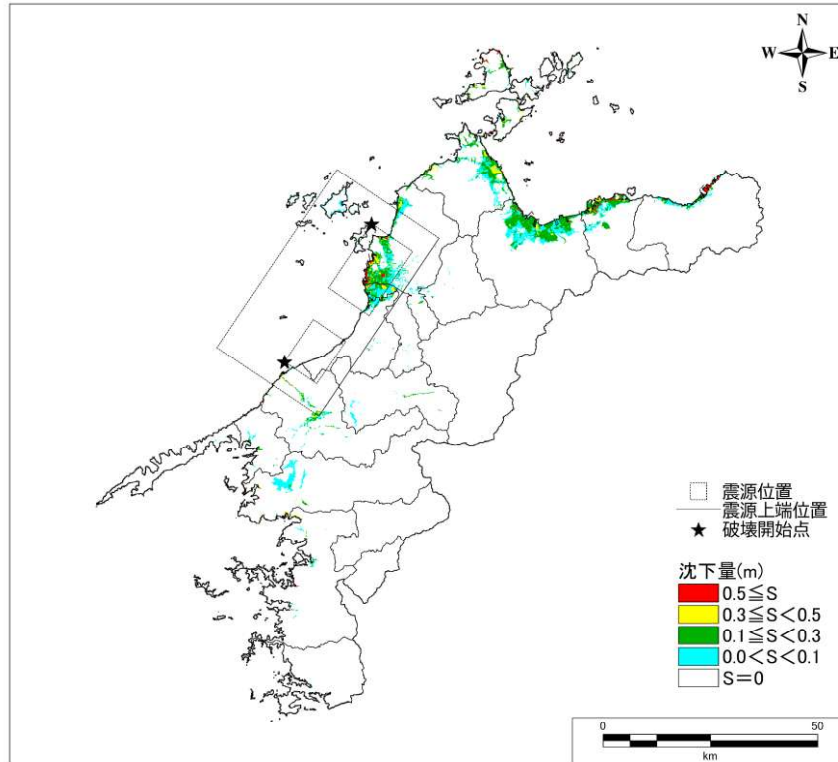
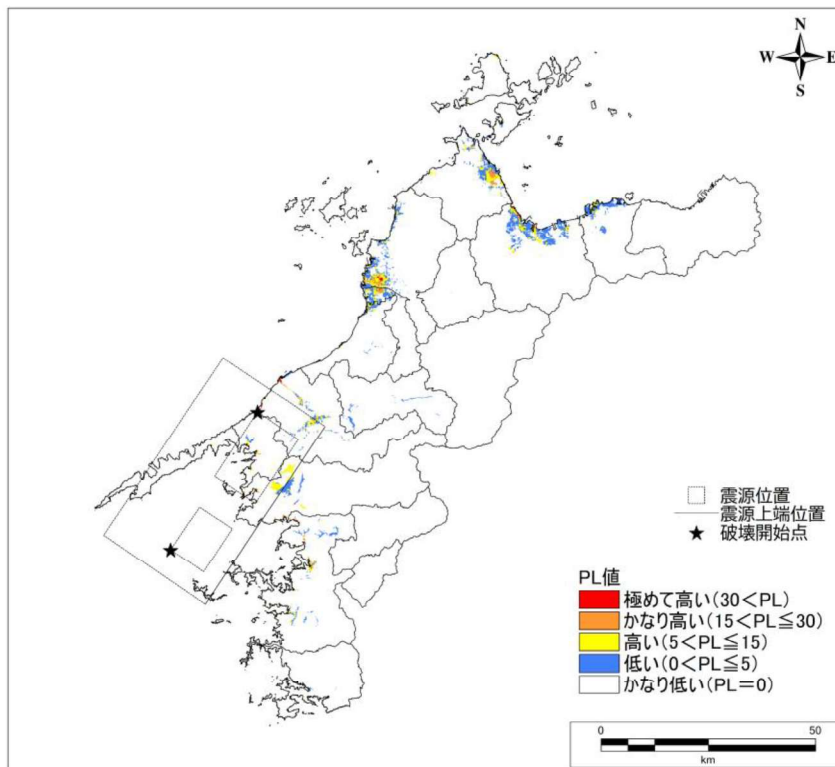


図 2.5-11 ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデル A）の液状化危険度と沈下量分布

(液状化危険度)



(沈下量)

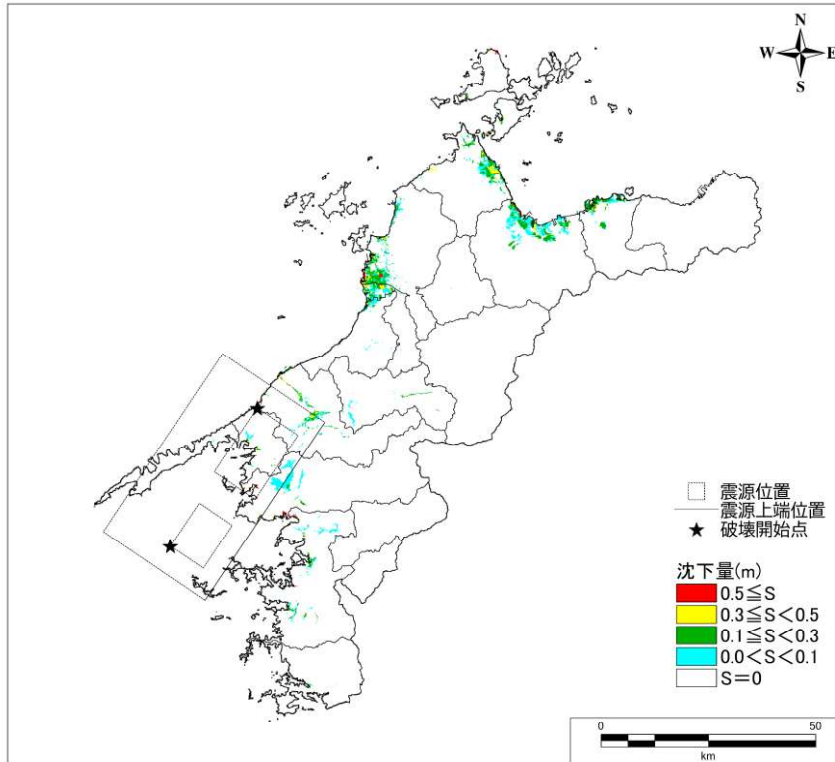
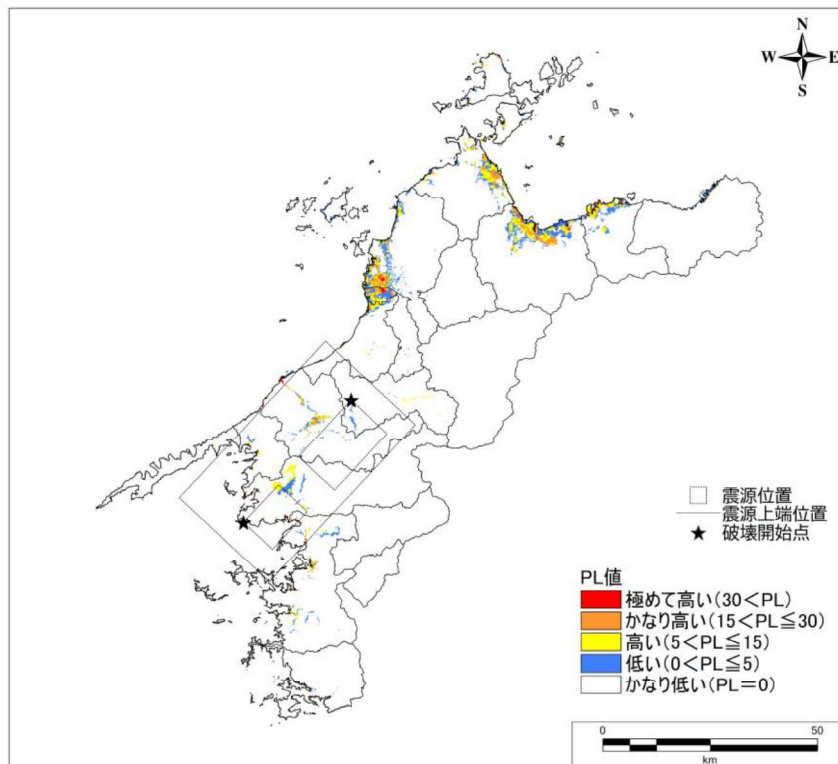


図 2.5-12 ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデル B）の液状化危険度と沈下量分布

(液状化危険度)



(沈下量)

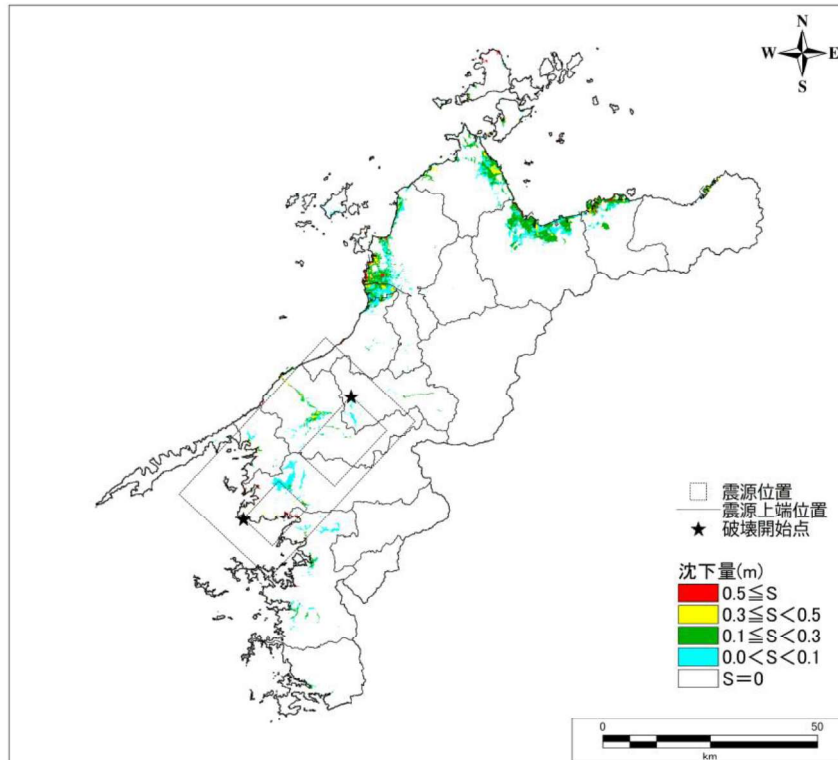
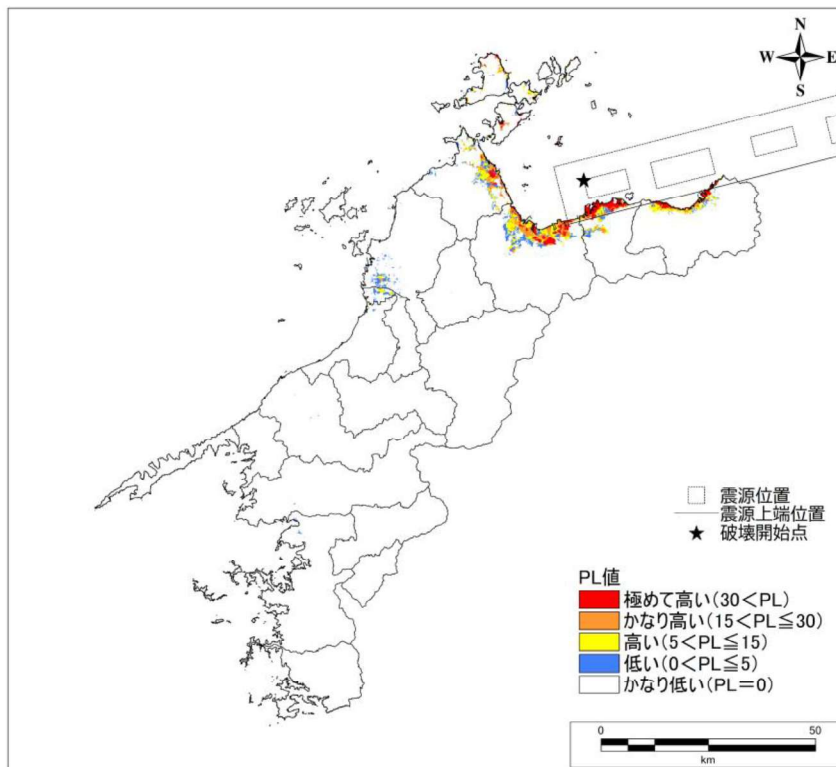


図 2.5-13 ②” 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデル C）の液状化危険度と沈下量分布

(液状化危険度)



(沈下量)

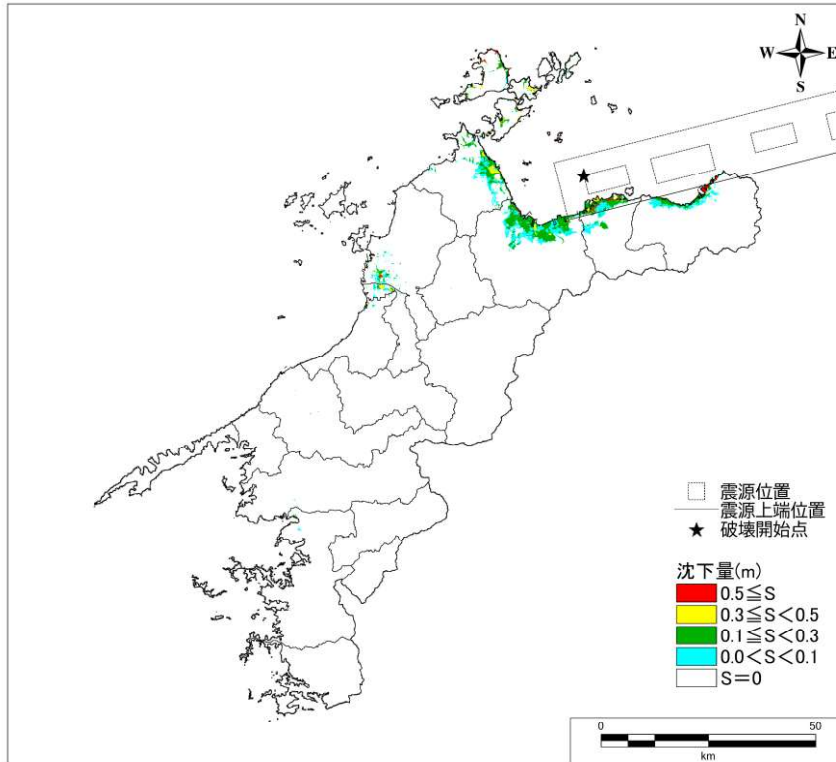
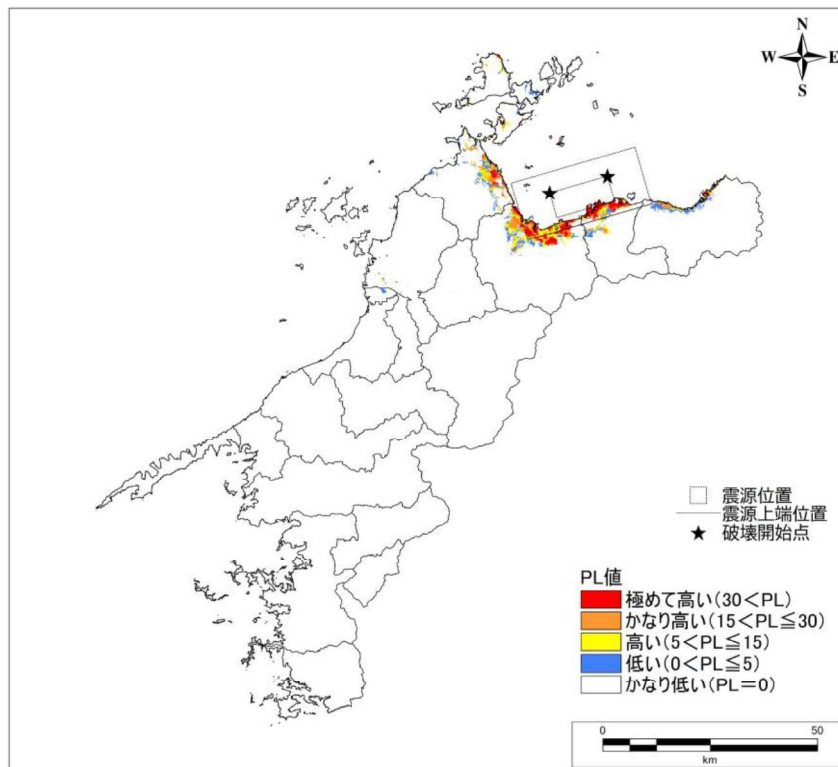


図 2.5-14 ③中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）の液状化危険度と沈下量分布

(液状化危険度)



(沈下量)

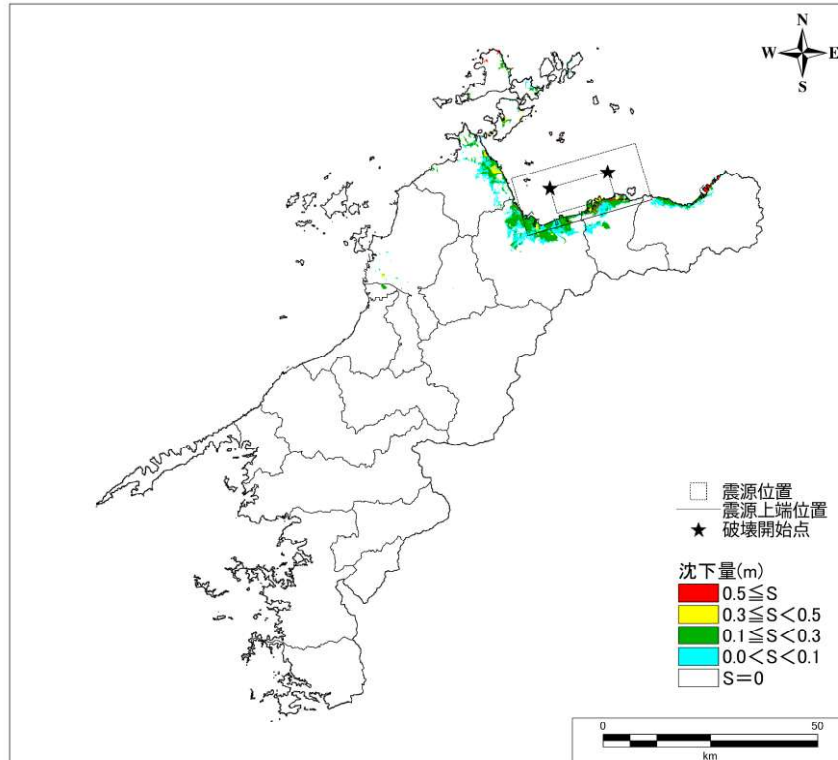
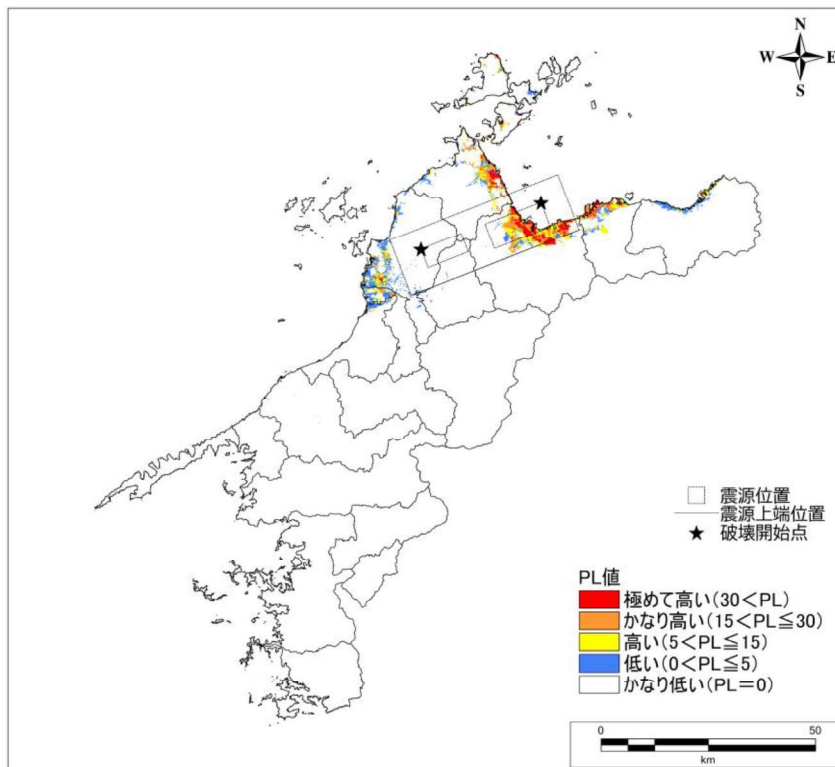


図 2.5-15 ④中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）の液状化危険度と沈下量分布

(液状化危険度)



(沈下量)

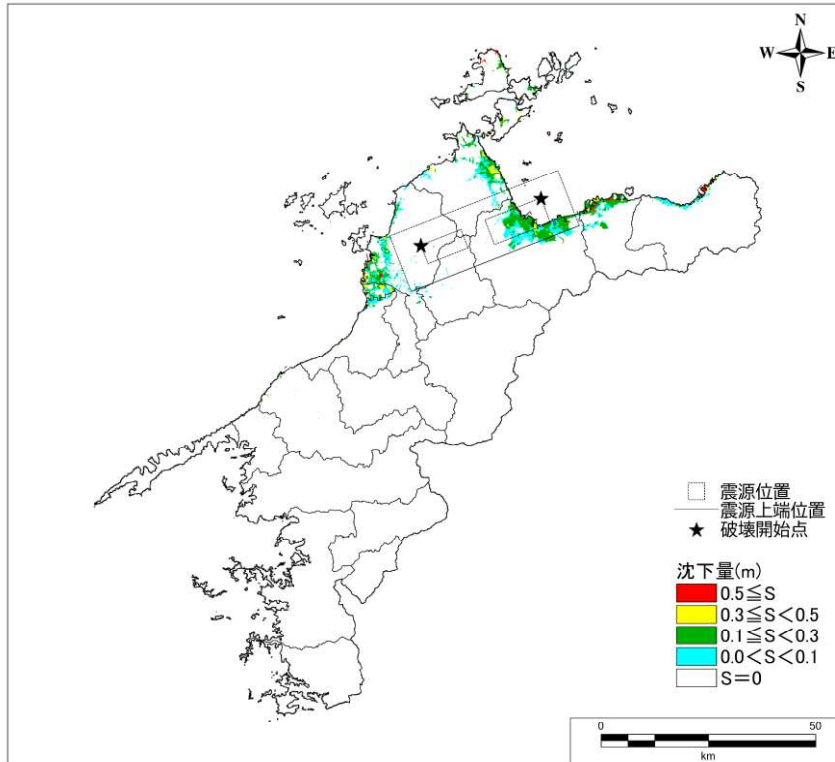
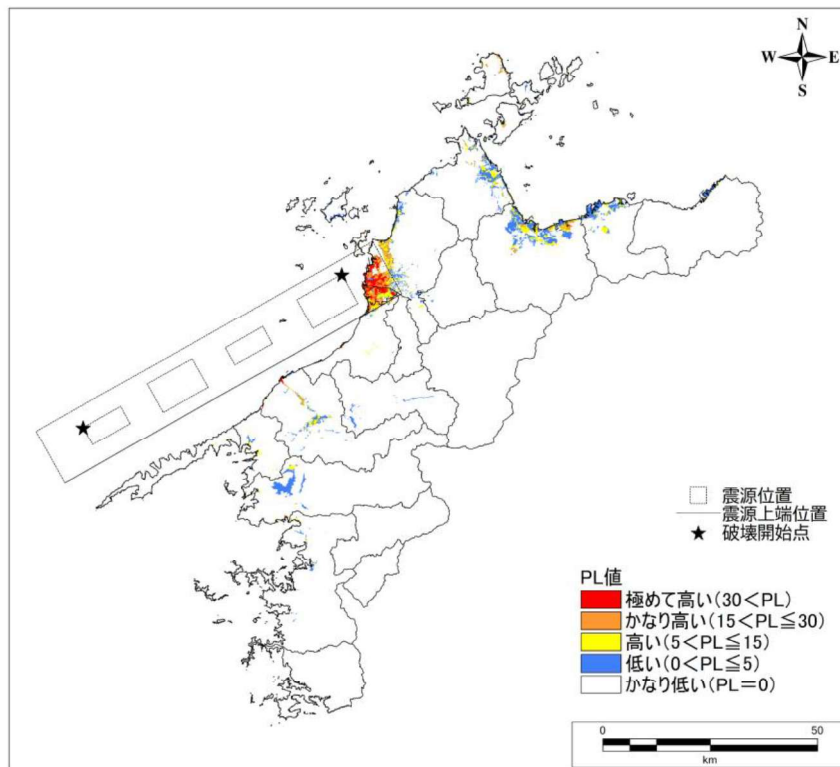


図 2.5-16 ⑤中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）の液状化危険度と沈下量分布

(液状化危険度)



(沈下量)

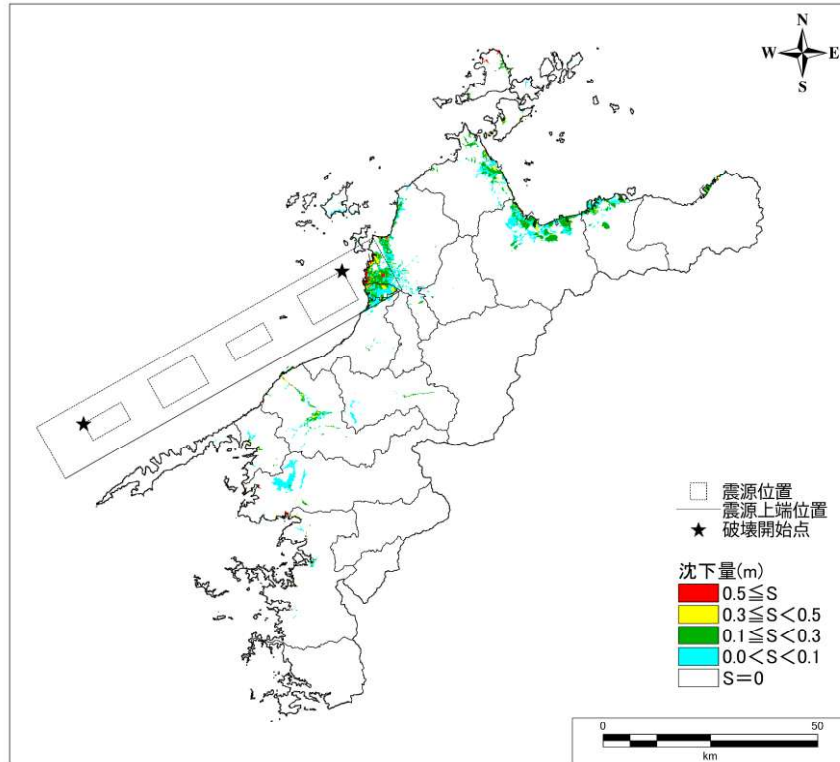
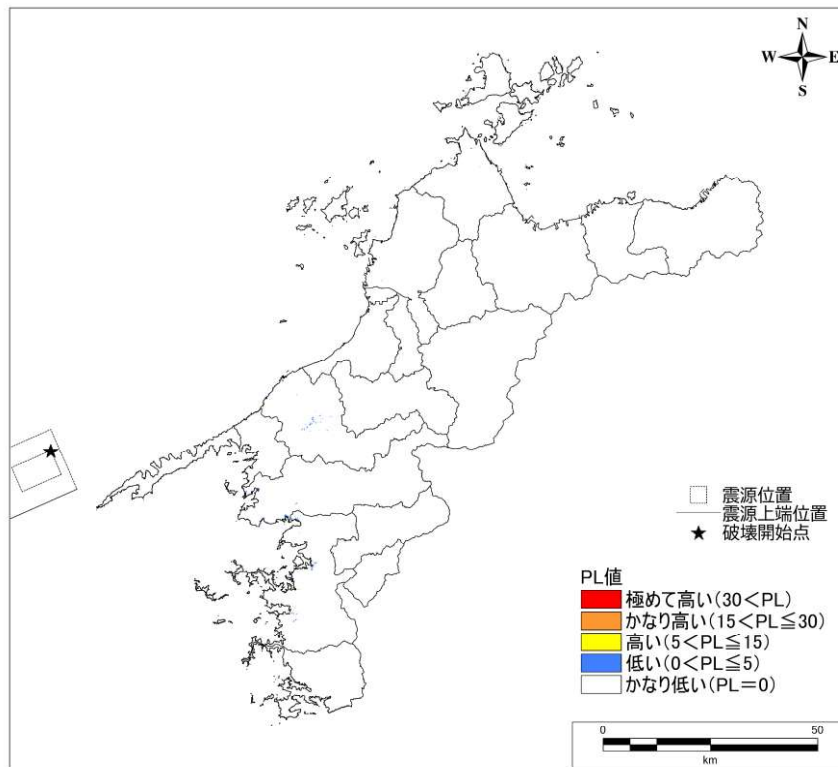


図 2.5-17 ⑥中央構造線断層帯（伊予灘区間）の液状化危険度と沈下量分布

(液状化危険度)



(沈下量)

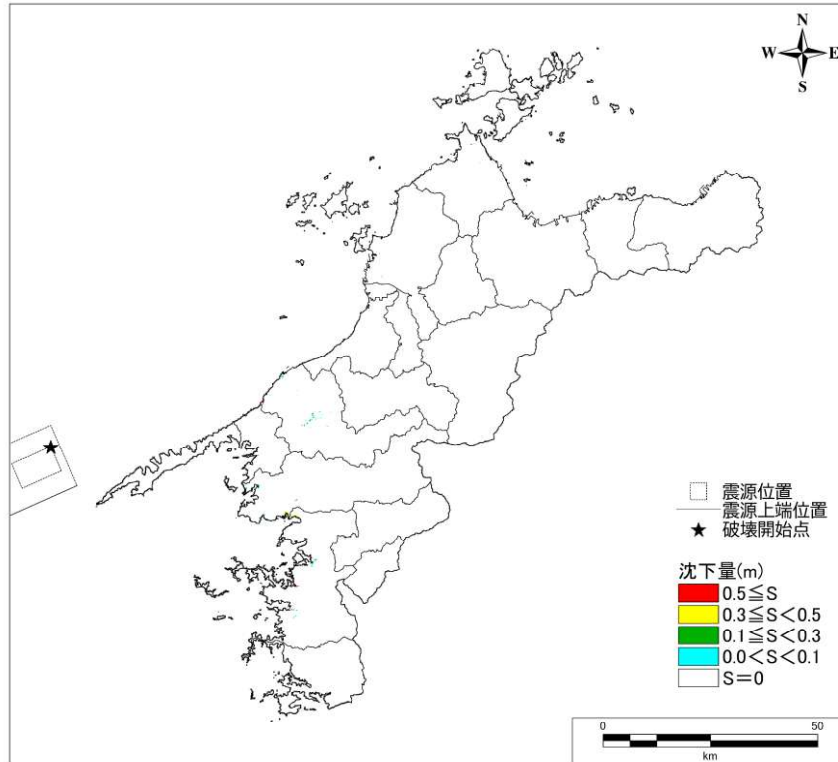
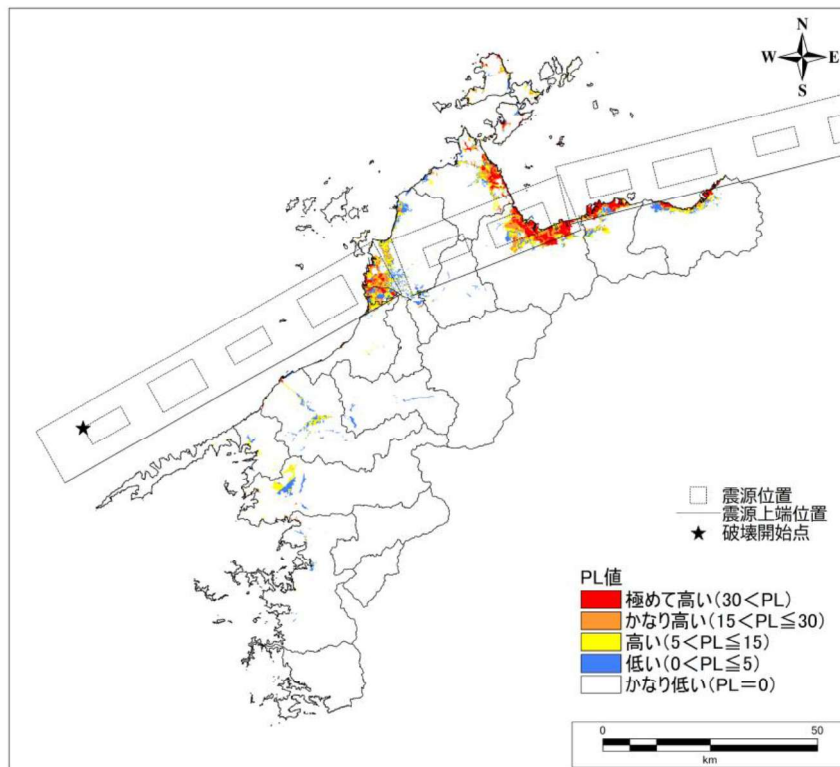


図 2.5-18 ⑦中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）の液状化危険度と沈下量分布

(液状化危険度)



(沈下量)

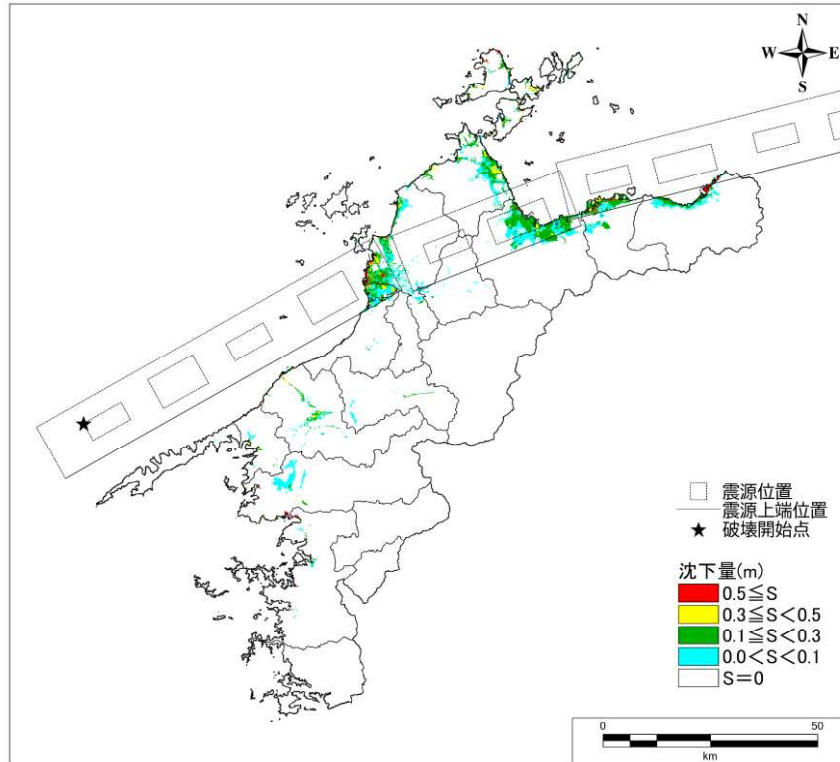


図 2.5-19 ㊸中央構造線断層帯 (3区間運動) の液状化危険度と沈下量分布

表 2.5-10 ①南海トラフ巨大地震の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化危険度(PL値) 面積割合					
				対象外	かなり低い (PL=0)	低い (0<PL≤5)	高い (5<PL≤15)	かなり高い (15<PL≤30)	極めて高い (30<PL)
松山市	72.2	0.0	19.3	73.1%	6.8%	2.5%	4.2%	6.1%	7.3%
今治市	71.7	0.0	29.7	78.8%	2.3%	0.9%	2.3%	4.4%	11.5%
宇和島市	70.6	0.0	12.0	90.4%	4.2%	0.8%	2.0%	1.0%	1.5%
八幡浜市	55.3	0.0	16.0	94.4%	2.4%	0.0%	0.8%	1.3%	1.0%
新居浜市	73.3	0.0	23.6	78.4%	6.4%	1.1%	3.7%	2.7%	7.7%
西条市	73.6	0.0	23.6	76.0%	5.4%	1.6%	2.6%	4.9%	9.5%
大洲市	68.5	0.0	12.0	92.8%	2.7%	0.5%	1.8%	1.2%	1.1%
伊予市	61.5	0.0	10.4	88.8%	5.8%	0.8%	1.3%	2.0%	1.4%
四国中央市	73.5	0.0	15.0	86.6%	6.5%	0.4%	1.9%	1.8%	2.8%
西予市	60.8	0.0	12.3	93.1%	2.9%	0.1%	1.0%	2.4%	0.5%
東温市	25.5	0.0	1.0	88.5%	9.4%	1.4%	0.7%	0.1%	0.0%
上島町	51.4	0.0	21.0	81.4%	5.9%	0.2%	1.3%	3.0%	8.1%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	65.8	0.0	28.8	0.0%	4.2%	2.2%	21.2%	27.6%	44.8%
砥部町	17.0	0.0	1.6	96.3%	3.1%	0.2%	0.0%	0.3%	0.0%
内子町	25.4	0.0	5.8	96.9%	0.1%	1.3%	1.7%	0.0%	0.0%
伊方町	56.2	0.0	4.5	95.5%	3.7%	0.2%	0.1%	0.3%	0.2%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	16.0	0.0	0.1	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	66.4	0.0	7.7	92.5%	3.7%	0.9%	1.8%	0.4%	0.6%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-11 ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル A）の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化危険度(PL値) 面積割合					
				対象外	かなり低い (PL=0)	低い (0<PL≤5)	高い (5<PL≤15)	かなり高い (15<PL≤30)	極めて高い (30<PL)
松山市	61.8	0.0	8.8	73.1%	9.4%	6.0%	5.0%	4.5%	2.1%
今治市	61.1	0.0	13.9	78.8%	4.9%	3.6%	4.0%	4.8%	3.8%
宇和島市	23.1	0.0	0.5	90.4%	8.5%	0.8%	0.3%	0.1%	0.0%
八幡浜市	27.6	0.0	2.1	94.4%	2.9%	2.1%	0.4%	0.2%	0.0%
新居浜市	44.3	0.0	10.0	78.4%	8.4%	3.8%	3.0%	3.8%	2.5%
西条市	52.6	0.0	11.5	76.0%	7.6%	3.4%	4.8%	5.3%	3.0%
大洲市	50.3	0.0	3.2	92.8%	3.5%	2.2%	1.2%	0.2%	0.1%
伊予市	43.4	0.0	5.8	88.8%	6.1%	1.2%	2.2%	1.3%	0.3%
四国中央市	31.0	0.0	1.8	86.6%	9.7%	2.5%	0.5%	0.6%	0.0%
西予市	16.8	0.0	1.8	93.1%	3.1%	2.8%	0.9%	0.0%	0.0%
東温市	8.7	0.0	0.1	88.5%	11.1%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%
上島町	23.9	0.0	1.9	81.4%	11.9%	3.9%	2.3%	0.3%	0.0%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	50.7	0.0	15.6	0.0%	5.8%	26.3%	19.6%	34.1%	14.2%
砥部町	4.6	0.0	0.2	96.3%	3.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	11.0	0.0	1.3	96.9%	1.7%	1.0%	0.4%	0.0%	0.0%
伊方町	31.8	0.0	1.2	95.5%	3.8%	0.3%	0.2%	0.1%	0.0%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	13.6	0.0	0.2	92.5%	7.2%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-12 ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル B）の  
液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化危険度(PL値) 面積割合					
				対象外	かなり低い (PL=0)	低い (0<PL≤5)	高い (5<PL≤15)	かなり高い (15<PL≤30)	極めて高い (30<PL)
松山市	49.1	0.0	2.1	73.1%	18.7%	4.7%	2.4%	0.9%	0.2%
今治市	41.2	0.0	2.2	78.8%	13.9%	3.9%	2.3%	1.0%	0.0%
宇和島市	47.6	0.0	3.5	90.4%	6.0%	1.8%	1.0%	0.7%	0.1%
八幡浜市	38.0	0.0	6.7	94.4%	2.6%	1.0%	0.9%	0.8%	0.3%
新居浜市	12.7	0.0	0.9	78.4%	14.9%	5.6%	1.1%	0.0%	0.0%
西条市	39.4	0.0	1.4	76.0%	15.5%	6.4%	1.7%	0.4%	0.1%
大洲市	56.3	0.0	4.2	92.8%	3.3%	2.1%	1.2%	0.4%	0.2%
伊予市	28.4	0.0	1.8	88.8%	7.5%	2.3%	1.0%	0.4%	0.0%
四国中央市	0.5	0.0	0.0	86.6%	13.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	35.3	0.0	4.4	93.1%	3.0%	1.6%	1.8%	0.4%	0.0%
東温市	4.3	0.0	0.0	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	8.7	0.0	0.1	81.4%	18.4%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	31.5	0.0	3.8	0.0%	33.4%	40.7%	18.3%	7.3%	0.3%
砥部町	0.9	0.0	0.0	96.3%	3.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	5.5	0.0	0.8	96.9%	1.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	46.5	0.0	2.7	95.5%	3.8%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	1.9	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	29.5	0.0	0.8	92.5%	6.7%	0.4%	0.2%	0.2%	0.0%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-13 ②" 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル C）の  
液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化危険度(PL値) 面積割合					
				対象外	かなり低い (PL=0)	低い (0<PL≤5)	高い (5<PL≤15)	かなり高い (15<PL≤30)	極めて高い (30<PL)
松山市	50.5	0.0	3.9	73.1%	14.5%	6.0%	3.9%	2.2%	0.3%
今治市	49.7	0.0	5.2	78.8%	9.6%	4.3%	4.8%	2.3%	0.2%
宇和島市	48.5	0.0	4.5	90.4%	5.5%	1.8%	1.3%	0.7%	0.3%
八幡浜市	35.9	0.0	5.9	94.4%	2.6%	1.0%	1.1%	0.9%	0.1%
新居浜市	21.3	0.0	3.8	78.4%	11.5%	4.1%	4.0%	2.0%	0.0%
西条市	42.9	0.0	4.9	76.0%	10.9%	5.7%	4.5%	2.7%	0.2%
大洲市	60.1	0.0	5.8	92.8%	3.1%	1.8%	1.4%	0.7%	0.2%
伊予市	37.8	0.0	3.7	88.8%	6.4%	1.8%	2.4%	0.5%	0.2%
四国中央市	12.9	0.0	0.2	86.6%	12.5%	0.8%	0.2%	0.0%	0.0%
西予市	36.9	0.0	6.0	93.1%	3.0%	1.6%	1.8%	0.3%	0.2%
東温市	6.4	0.0	0.0	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	9.6	0.0	0.1	81.4%	18.4%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	41.4	0.0	8.7	0.0%	10.1%	40.2%	26.4%	19.2%	4.1%
砥部町	2.7	0.0	0.2	96.3%	3.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	13.8	0.0	2.0	96.9%	1.7%	0.9%	0.5%	0.0%	0.0%
伊方町	47.0	0.0	2.5	95.5%	3.8%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	3.1	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	40.6	0.0	1.2	92.5%	6.4%	0.5%	0.4%	0.1%	0.1%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-14 ③中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化危険度(PL値) 面積割合					
				対象外	かなり低い (PL=0)	低い (0<PL≤5)	高い (5<PL≤15)	かなり高い (15<PL≤30)	極めて高い (30<PL)
松山市	24.3	0.0	0.3	73.1%	24.6%	1.8%	0.4%	0.1%	0.0%
今治市	52.9	0.0	9.8	78.8%	7.0%	3.7%	4.7%	3.9%	1.9%
宇和島市	0.8	0.0	0.0	90.4%	9.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	0.0	0.0	0.0	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	68.1	0.0	19.2	78.4%	6.5%	2.7%	3.0%	2.8%	6.6%
西条市	56.5	0.0	10.7	76.0%	8.5%	3.6%	4.7%	4.5%	2.8%
大洲市	6.7	0.0	0.0	92.8%	7.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	10.7	0.0	0.1	88.8%	10.7%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%
四国中央市	68.8	0.0	11.4	86.6%	6.7%	0.7%	2.4%	1.6%	2.0%
西予市	0.1	0.0	0.0	93.1%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	3.6	0.0	0.0	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	30.9	0.0	4.7	81.4%	10.7%	2.8%	2.3%	2.7%	0.0%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	14.7	0.0	1.0	0.0%	77.1%	14.0%	8.9%	0.0%	0.0%
砥部町	1.4	0.0	0.0	96.3%	3.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	0.0	0.0	0.0	96.9%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	0.0	0.0	0.0	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	0.0	0.0	0.0	92.5%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-15 ④中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化危険度(PL値) 面積割合					
				対象外	かなり低い (PL=0)	低い (0<PL≤5)	高い (5<PL≤15)	かなり高い (15<PL≤30)	極めて高い (30<PL)
松山市	9.6	0.0	0.0	73.1%	26.6%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%
今治市	56.2	0.0	8.5	78.8%	8.0%	4.2%	3.8%	3.8%	1.4%
宇和島市	0.0	0.0	0.0	90.4%	9.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	0.0	0.0	0.0	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	66.4	0.0	19.0	78.4%	6.5%	2.6%	3.1%	2.8%	6.5%
西条市	62.6	0.0	13.2	76.0%	7.9%	2.5%	4.9%	4.3%	4.3%
大洲市	0.0	0.0	0.0	92.8%	7.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	2.0	0.0	0.0	88.8%	11.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	45.6	0.0	4.1	86.6%	8.3%	2.6%	0.8%	1.5%	0.3%
西予市	0.0	0.0	0.0	93.1%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	1.9	0.0	0.0	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	24.7	0.0	1.2	81.4%	14.3%	2.3%	1.7%	0.3%	0.0%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	4.1	0.0	0.1	0.0%	95.4%	4.6%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	0.0	0.0	0.0	96.3%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	0.0	0.0	0.0	96.9%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	0.0	0.0	0.0	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	0.0	0.0	0.0	92.5%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-16 ⑤中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化危険度(PL値) 面積割合					
				対象外	かなり低い (PL=0)	低い (0<PL≤5)	高い (5<PL≤15)	かなり高い (15<PL≤30)	極めて高い (30<PL)
松山市	41.3	0.0	2.2	73.1%	15.7%	7.4%	2.9%	0.7%	0.2%
今治市	62.1	0.0	9.9	78.8%	7.0%	4.2%	3.8%	4.3%	1.9%
宇和島市	0.2	0.0	0.0	90.4%	9.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	0.0	0.0	0.0	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	44.5	0.0	9.9	78.4%	8.9%	2.9%	3.8%	3.9%	2.1%
西条市	61.4	0.0	14.6	76.0%	7.4%	1.9%	5.1%	5.1%	4.6%
大洲市	21.9	0.0	0.1	92.8%	7.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	22.2	0.0	1.2	88.8%	7.8%	2.5%	0.6%	0.2%	0.0%
四国中央市	31.9	0.0	1.2	86.6%	9.9%	2.5%	0.8%	0.2%	0.0%
西予市	0.0	0.0	0.0	93.1%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	9.6	0.0	0.1	88.5%	11.0%	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%
上島町	24.2	0.0	0.9	81.4%	13.9%	3.4%	1.2%	0.1%	0.0%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	28.2	0.0	3.9	0.0%	37.5%	38.5%	15.5%	8.5%	0.0%
砥部町	5.7	0.0	0.1	96.3%	3.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	0.0	0.0	0.0	96.9%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	0.0	0.0	0.0	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	0.0	0.0	0.0	92.5%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-17 ⑥中央構造線断層帯（伊予灘区間）の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化危険度(PL値) 面積割合					
				対象外	かなり低い (PL=0)	低い (0<PL≤5)	高い (5<PL≤15)	かなり高い (15<PL≤30)	極めて高い (30<PL)
松山市	63.3	0.0	10.0	73.1%	11.3%	4.6%	3.9%	3.9%	3.2%
今治市	46.3	0.0	2.7	78.8%	12.3%	5.1%	2.7%	1.1%	0.0%
宇和島市	21.4	0.0	0.6	90.4%	8.5%	0.7%	0.4%	0.1%	0.0%
八幡浜市	36.2	0.0	4.6	94.4%	2.7%	1.2%	1.2%	0.4%	0.1%
新居浜市	22.0	0.0	1.5	78.4%	13.0%	6.2%	2.3%	0.0%	0.0%
西条市	39.0	0.0	2.6	76.0%	13.2%	6.5%	3.2%	1.0%	0.0%
大洲市	60.1	0.0	5.0	92.8%	3.3%	2.0%	1.3%	0.4%	0.2%
伊予市	56.1	0.0	7.9	88.8%	5.9%	0.9%	1.9%	1.8%	0.7%
四国中央市	8.8	0.0	0.3	86.6%	12.4%	0.8%	0.2%	0.0%	0.0%
西予市	23.8	0.0	2.0	93.1%	3.1%	3.2%	0.4%	0.2%	0.0%
東温市	8.9	0.0	0.1	88.5%	11.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	18.8	0.0	0.9	81.4%	15.2%	1.7%	1.6%	0.1%	0.0%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	60.2	0.0	21.6	0.0%	5.5%	5.8%	27.7%	31.8%	29.2%
砥部町	6.8	0.0	0.1	96.3%	3.5%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	6.6	0.0	0.7	96.9%	1.8%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	53.4	0.0	3.2	95.5%	3.8%	0.0%	0.3%	0.1%	0.2%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	1.5	0.0	0.0	92.5%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-18 ⑦中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化危険度(PL値) 面積割合					
				対象外	かなり低い (PL=0)	低い (0<PL≤5)	高い (5<PL≤15)	かなり高い (15<PL≤30)	極めて高い (30<PL)
松山市	0.9	0.0	0.0	73.1%	26.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	2.4	0.0	0.0	78.8%	21.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
宇和島市	14.1	0.0	0.1	90.4%	9.1%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%
八幡浜市	2.3	0.0	0.0	94.4%	5.2%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	0.0	0.0	0.0	78.4%	21.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西条市	0.0	0.0	0.0	76.0%	24.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大洲市	27.4	0.0	0.2	92.8%	6.8%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%
伊予市	0.0	0.0	0.0	88.8%	11.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	0.0	0.0	0.0	86.6%	13.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	4.9	0.0	0.1	93.1%	6.6%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	0.0	0.0	0.0	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	0.0	0.0	0.0	81.4%	18.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	0.0	0.0	0.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	0.0	0.0	0.0	96.3%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	0.0	0.0	0.0	96.9%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	46.9	0.0	1.0	95.5%	4.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	0.0	0.0	0.0	92.5%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-19 ⑧中央構造線断層帯（3区間連動）の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化危険度(PL値) 面積割合					
				対象外	かなり低い (PL=0)	低い (0<PL≤5)	高い (5<PL≤15)	かなり高い (15<PL≤30)	極めて高い (30<PL)
松山市	58.0	0.0	7.6	73.1%	10.9%	5.2%	5.5%	3.8%	1.5%
今治市	64.0	0.0	14.9	78.8%	4.3%	3.5%	4.8%	4.5%	4.1%
宇和島市	38.8	0.0	0.9	90.4%	8.6%	0.6%	0.2%	0.3%	0.0%
八幡浜市	37.2	0.0	5.5	94.4%	2.6%	1.1%	1.3%	0.4%	0.2%
新居浜市	61.4	0.0	16.9	78.4%	7.2%	2.6%	3.1%	2.7%	6.0%
西条市	69.7	0.0	18.6	76.0%	6.7%	1.5%	3.5%	5.8%	6.5%
大洲市	53.4	0.0	3.9	92.8%	3.4%	2.0%	1.4%	0.3%	0.1%
伊予市	50.5	0.0	6.0	88.8%	6.3%	0.9%	2.4%	1.2%	0.5%
四国中央市	65.6	0.0	9.4	86.6%	6.9%	1.8%	1.8%	1.4%	1.6%
西予市	32.0	0.0	4.4	93.1%	3.1%	1.7%	1.8%	0.3%	0.0%
東温市	13.9	0.0	0.4	88.5%	10.2%	1.1%	0.2%	0.0%	0.0%
上島町	31.9	0.0	4.8	81.4%	10.2%	3.0%	2.2%	3.2%	0.0%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	46.3	0.0	13.8	0.0%	6.5%	24.4%	28.7%	26.5%	13.9%
砥部町	6.5	0.0	0.2	96.3%	3.5%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	4.9	0.0	0.5	96.9%	1.9%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	53.3	0.0	2.6	95.5%	3.8%	0.0%	0.4%	0.1%	0.2%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	0.9	0.0	0.0	92.5%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-20 ①南海トラフ巨大地震の沈下量想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	沈下量(S) 面積割合					
				対象外	S=0	0<S<0.1	0.1≦S<0.3	0.3≦S<0.5	0.5≦S
松山市	1.0	0.0	0.1	73.1%	7.0%	10.1%	7.1%	1.6%	1.1%
今治市	0.8	0.0	0.2	78.8%	2.3%	5.4%	9.5%	2.9%	1.1%
宇和島市	1.4	0.0	0.1	90.4%	4.3%	3.1%	1.3%	0.4%	0.4%
八幡浜市	0.7	0.0	0.1	94.4%	2.4%	1.5%	0.8%	0.5%	0.5%
新居浜市	0.7	0.0	0.1	78.4%	6.5%	5.6%	6.8%	1.7%	0.9%
西条市	0.6	0.0	0.1	76.0%	6.2%	8.0%	9.3%	0.4%	0.2%
大洲市	1.1	0.0	0.1	92.8%	2.7%	2.0%	1.7%	0.6%	0.2%
伊予市	0.6	0.0	0.1	88.8%	6.0%	3.0%	1.8%	0.3%	0.2%
四国中央市	1.2	0.0	0.1	86.6%	6.6%	3.6%	2.4%	0.2%	0.7%
西予市	0.8	0.0	0.1	93.1%	2.9%	3.2%	0.3%	0.2%	0.3%
東温市	0.2	0.0	0.0	88.5%	9.5%	1.9%	0.1%	0.0%	0.0%
上島町	0.6	0.0	0.1	81.4%	5.9%	2.1%	10.5%	0.0%	0.1%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	0.6	0.0	0.1	0.0%	5.2%	40.3%	41.0%	11.5%	2.0%
砥部町	0.1	0.0	0.0	96.3%	3.1%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	0.2	0.0	0.0	96.9%	0.1%	2.5%	0.5%	0.0%	0.0%
伊方町	0.5	0.0	0.0	95.5%	3.7%	0.5%	0.1%	0.2%	0.0%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.1	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	0.9	0.0	0.0	92.5%	3.9%	2.7%	0.5%	0.1%	0.2%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-21 ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデルA）の沈下量想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	沈下量(S) 面積割合					
				対象外	S=0	0<S<0.1	0.1≦S<0.3	0.3≦S<0.5	0.5≦S
松山市	1.0	0.0	0.1	73.1%	9.5%	8.2%	6.6%	1.5%	1.1%
今治市	0.8	0.0	0.1	78.8%	4.9%	5.3%	7.9%	2.2%	0.8%
宇和島市	1.4	0.0	0.0	90.4%	8.5%	0.5%	0.3%	0.2%	0.1%
八幡浜市	0.7	0.0	0.1	94.4%	2.9%	1.1%	1.2%	0.0%	0.5%
新居浜市	0.7	0.0	0.1	78.4%	8.5%	3.8%	6.7%	1.6%	0.9%
西条市	0.6	0.0	0.1	76.0%	7.7%	7.0%	8.8%	0.4%	0.2%
大洲市	1.1	0.0	0.1	92.8%	3.5%	1.6%	1.6%	0.4%	0.2%
伊予市	0.6	0.0	0.1	88.8%	6.2%	2.8%	1.7%	0.3%	0.2%
四国中央市	1.1	0.0	0.1	86.6%	9.7%	1.7%	1.2%	0.3%	0.6%
西予市	0.7	0.0	0.1	93.1%	3.1%	3.1%	0.3%	0.2%	0.1%
東温市	0.2	0.0	0.0	88.5%	11.1%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%
上島町	0.6	0.0	0.1	81.4%	11.9%	1.9%	4.7%	0.0%	0.1%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	0.6	0.0	0.1	0.0%	6.5%	46.0%	34.7%	10.8%	2.0%
砥部町	0.1	0.0	0.0	96.3%	3.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	0.2	0.0	0.0	96.9%	1.7%	0.9%	0.5%	0.0%	0.0%
伊方町	0.5	0.0	0.0	95.5%	3.8%	0.3%	0.1%	0.2%	0.0%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	0.7	0.0	0.0	92.5%	7.2%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-22 ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデルB）の  
沈下量想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	沈下量(S) 面積割合					
				対象外	S=0	0<S<0.1	0.1≦S<0.3	0.3≦S<0.5	0.5≦S
松山市	0.9	0.0	0.1	73.1%	18.7%	3.0%	3.6%	1.0%	0.7%
今治市	0.7	0.0	0.1	78.8%	13.9%	2.4%	3.2%	1.4%	0.2%
宇和島市	1.4	0.0	0.1	90.4%	6.0%	1.7%	1.2%	0.4%	0.4%
八幡浜市	0.7	0.0	0.1	94.4%	2.6%	1.3%	0.8%	0.5%	0.5%
新居浜市	0.5	0.0	0.0	78.4%	14.8%	2.1%	4.2%	0.4%	0.1%
西条市	0.6	0.0	0.0	76.0%	15.5%	5.0%	3.2%	0.3%	0.1%
大洲市	1.1	0.0	0.1	92.8%	3.3%	1.6%	1.7%	0.5%	0.2%
伊予市	0.6	0.0	0.0	88.8%	7.5%	2.3%	1.0%	0.2%	0.1%
四国中央市	0.1	0.0	0.0	86.6%	13.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	0.8	0.0	0.1	93.1%	3.0%	3.1%	0.2%	0.2%	0.3%
東温市	0.1	0.0	0.0	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	0.2	0.0	0.0	81.4%	18.4%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	0.5	0.0	0.1	0.0%	33.4%	30.7%	26.2%	9.3%	0.5%
砥部町	0.1	0.0	0.0	96.3%	3.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	0.2	0.0	0.0	96.9%	1.7%	0.9%	0.5%	0.0%	0.0%
伊方町	0.5	0.0	0.0	95.5%	3.8%	0.4%	0.1%	0.2%	0.0%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	0.7	0.0	0.0	92.5%	6.7%	0.3%	0.2%	0.1%	0.2%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-23 ②” 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデルC）の  
沈下量想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	沈下量(S) 面積割合					
				対象外	S=0	0<S<0.1	0.1≦S<0.3	0.3≦S<0.5	0.5≦S
松山市	0.9	0.0	0.1	73.1%	14.5%	4.9%	5.3%	1.3%	0.9%
今治市	0.7	0.0	0.1	78.8%	9.6%	3.6%	5.8%	1.6%	0.6%
宇和島市	1.4	0.0	0.1	90.4%	5.6%	2.1%	1.2%	0.4%	0.4%
八幡浜市	0.7	0.0	0.1	94.4%	2.6%	1.3%	0.8%	0.4%	0.5%
新居浜市	0.7	0.0	0.1	78.4%	11.5%	2.4%	6.0%	1.2%	0.6%
西条市	0.6	0.0	0.1	76.0%	11.0%	5.2%	7.3%	0.3%	0.2%
大洲市	1.1	0.0	0.1	92.8%	3.1%	1.7%	1.7%	0.5%	0.2%
伊予市	0.6	0.0	0.1	88.8%	6.4%	2.7%	1.6%	0.3%	0.2%
四国中央市	0.6	0.0	0.0	86.6%	12.5%	0.2%	0.4%	0.3%	0.0%
西予市	0.8	0.0	0.1	93.1%	3.0%	3.2%	0.2%	0.2%	0.3%
東温市	0.1	0.0	0.0	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	0.2	0.0	0.0	81.4%	18.4%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	0.6	0.0	0.1	0.0%	10.9%	43.5%	34.0%	10.2%	1.4%
砥部町	0.1	0.0	0.0	96.3%	3.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	0.2	0.0	0.0	96.9%	1.7%	0.9%	0.5%	0.0%	0.0%
伊方町	0.5	0.0	0.0	95.5%	3.8%	0.4%	0.1%	0.2%	0.0%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	0.7	0.0	0.0	92.5%	6.4%	0.4%	0.3%	0.2%	0.2%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-24 ③中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）の沈下量想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	沈下量(S) 面積割合					
				対象外	S=0	0<S<0.1	0.1≦S<0.3	0.3≦S<0.5	0.5≦S
松山市	0.7	0.0	0.0	73.1%	24.6%	1.3%	0.8%	0.1%	0.1%
今治市	0.8	0.0	0.1	78.8%	6.9%	4.6%	6.6%	2.1%	0.9%
宇和島市	0.3	0.0	0.0	90.4%	9.5%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%
八幡浜市	0.0	0.0	0.0	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	0.7	0.0	0.1	78.4%	6.6%	5.5%	6.9%	1.6%	0.9%
西条市	0.6	0.0	0.1	76.0%	8.5%	6.5%	8.5%	0.4%	0.2%
大洲市	0.3	0.0	0.0	92.8%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	0.3	0.0	0.0	88.8%	10.7%	0.3%	0.2%	0.1%	0.0%
四国中央市	1.2	0.0	0.1	86.6%	6.8%	3.4%	2.4%	0.2%	0.7%
西予市	0.1	0.0	0.0	93.1%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	0.1	0.0	0.0	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	0.6	0.0	0.1	81.4%	10.6%	1.6%	6.2%	0.0%	0.1%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	0.4	0.0	0.0	0.0%	77.0%	11.7%	5.0%	6.3%	0.0%
砥部町	0.1	0.0	0.0	96.3%	3.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	0.0	0.0	0.0	96.9%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	0.0	0.0	0.0	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	0.0	0.0	0.0	92.5%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-25 ④中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）の沈下量想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	沈下量(S) 面積割合					
				対象外	S=0	0<S<0.1	0.1≦S<0.3	0.3≦S<0.5	0.5≦S
松山市	0.5	0.0	0.0	73.1%	26.6%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%
今治市	0.8	0.0	0.1	78.8%	8.0%	4.5%	6.3%	1.6%	0.8%
宇和島市	0.0	0.0	0.0	90.4%	9.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	0.0	0.0	0.0	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	0.7	0.0	0.1	78.4%	6.6%	5.5%	7.0%	1.5%	0.9%
西条市	0.6	0.0	0.1	76.0%	8.0%	6.8%	8.7%	0.4%	0.2%
大洲市	0.0	0.0	0.0	92.8%	7.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊予市	0.2	0.0	0.0	88.8%	11.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	1.2	0.0	0.1	86.6%	8.3%	2.1%	2.1%	0.3%	0.7%
西予市	0.0	0.0	0.0	93.1%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	0.1	0.0	0.0	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	0.6	0.0	0.0	81.4%	14.3%	1.4%	2.8%	0.0%	0.1%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	0.3	0.0	0.0	0.0%	95.4%	0.0%	4.5%	0.1%	0.0%
砥部町	0.0	0.0	0.0	96.3%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	0.0	0.0	0.0	96.9%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	0.0	0.0	0.0	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	0.0	0.0	0.0	92.5%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-26 ⑤中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）の沈下量想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	沈下量(S) 面積割合					
				対象外	S=0	0<S<0.1	0.1≦S<0.3	0.3≦S<0.5	0.5≦S
松山市	0.9	0.0	0.1	73.1%	15.7%	5.4%	4.5%	0.9%	0.4%
今治市	0.7	0.0	0.1	78.8%	7.0%	5.1%	6.6%	1.8%	0.7%
宇和島市	0.1	0.0	0.0	90.4%	9.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡浜市	0.0	0.0	0.0	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新居浜市	0.7	0.0	0.1	78.4%	8.9%	3.4%	7.1%	1.3%	0.9%
西条市	0.6	0.0	0.1	76.0%	7.5%	7.1%	8.9%	0.4%	0.2%
大洲市	0.7	0.0	0.0	92.8%	7.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
伊予市	0.5	0.0	0.0	88.8%	7.8%	2.3%	0.7%	0.3%	0.0%
四国中央市	1.3	0.0	0.0	86.6%	9.9%	2.3%	0.5%	0.4%	0.4%
西予市	0.0	0.0	0.0	93.1%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東温市	0.2	0.0	0.0	88.5%	11.0%	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%
上島町	0.6	0.0	0.0	81.4%	13.9%	1.3%	3.3%	0.0%	0.1%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	0.5	0.0	0.1	0.0%	37.2%	28.8%	23.2%	10.4%	0.3%
砥部町	0.1	0.0	0.0	96.3%	3.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	0.0	0.0	0.0	96.9%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	0.0	0.0	0.0	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	0.0	0.0	0.0	92.5%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-27 ⑥中央構造線断層帯（伊予灘区間）の沈下量想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	沈下量(S) 面積割合					
				対象外	S=0	0<S<0.1	0.1≦S<0.3	0.3≦S<0.5	0.5≦S
松山市	1.0	0.0	0.1	73.1%	11.3%	7.0%	6.1%	1.3%	1.1%
今治市	0.7	0.0	0.1	78.8%	12.2%	3.3%	4.3%	0.8%	0.5%
宇和島市	1.4	0.0	0.0	90.4%	8.5%	0.4%	0.3%	0.2%	0.1%
八幡浜市	0.7	0.0	0.1	94.4%	2.7%	1.2%	0.8%	0.5%	0.5%
新居浜市	0.5	0.0	0.1	78.4%	12.9%	3.6%	4.8%	0.3%	0.0%
西条市	0.5	0.0	0.1	76.0%	13.2%	5.3%	5.0%	0.4%	0.1%
大洲市	1.1	0.0	0.1	92.8%	3.3%	1.6%	1.7%	0.5%	0.2%
伊予市	0.6	0.0	0.1	88.8%	6.1%	3.0%	1.7%	0.3%	0.1%
四国中央市	0.5	0.0	0.0	86.6%	12.4%	0.2%	0.6%	0.2%	0.0%
西予市	0.7	0.0	0.1	93.1%	3.1%	3.1%	0.3%	0.2%	0.2%
東温市	0.2	0.0	0.0	88.5%	11.2%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%
上島町	0.3	0.0	0.0	81.4%	15.2%	0.9%	2.4%	0.0%	0.0%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	0.6	0.0	0.1	0.0%	6.2%	45.4%	35.5%	11.0%	2.0%
砥部町	0.1	0.0	0.0	96.3%	3.5%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	0.2	0.0	0.0	96.9%	1.8%	0.9%	0.4%	0.0%	0.0%
伊方町	0.5	0.0	0.0	95.5%	3.8%	0.4%	0.1%	0.2%	0.0%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	0.1	0.0	0.0	92.5%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-28 ⑦中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）の沈下量想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	沈下量(S) 面積割合					
				対象外	S=0	0<S<0.1	0.1≦S<0.3	0.3≦S<0.5	0.5≦S
松山市	0.2	0.0	0.0	73.1%	26.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今治市	0.2	0.0	0.0	78.8%	21.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
宇和島市	1.0	0.0	0.0	90.4%	9.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%
八幡浜市	0.2	0.0	0.0	94.4%	5.2%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%
新居浜市	0.0	0.0	0.0	78.4%	21.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西条市	0.0	0.0	0.0	76.0%	24.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大洲市	1.1	0.0	0.0	92.8%	6.8%	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%
伊予市	0.0	0.0	0.0	88.8%	11.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
四国中央市	0.0	0.0	0.0	86.6%	13.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西予市	0.3	0.0	0.0	93.1%	6.6%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%
東温市	0.0	0.0	0.0	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上島町	0.0	0.0	0.0	81.4%	18.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	0.0	0.0	0.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
砥部町	0.0	0.0	0.0	96.3%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	0.0	0.0	0.0	96.9%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊方町	0.4	0.0	0.0	95.5%	4.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	0.0	0.0	0.0	92.5%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

表 2.5-29 ⑧中央構造線断層帯（3区間連動）の沈下量想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	沈下量(S) 面積割合					
				対象外	S=0	0<S<0.1	0.1≦S<0.3	0.3≦S<0.5	0.5≦S
松山市	1.0	0.0	0.1	73.1%	10.9%	7.2%	6.3%	1.4%	1.1%
今治市	0.8	0.0	0.2	78.8%	4.4%	5.5%	7.9%	2.5%	0.9%
宇和島市	1.4	0.0	0.0	90.4%	8.6%	0.4%	0.2%	0.1%	0.3%
八幡浜市	0.7	0.0	0.1	94.4%	2.6%	1.3%	0.7%	0.5%	0.5%
新居浜市	0.7	0.0	0.1	78.4%	7.2%	5.0%	7.2%	1.3%	0.9%
西条市	0.6	0.0	0.1	76.0%	7.0%	7.5%	9.0%	0.4%	0.2%
大洲市	1.1	0.0	0.1	92.8%	3.4%	1.5%	1.7%	0.5%	0.2%
伊予市	0.6	0.0	0.1	88.8%	6.3%	2.8%	1.6%	0.3%	0.1%
四国中央市	1.2	0.0	0.1	86.6%	6.9%	3.3%	2.3%	0.2%	0.7%
西予市	0.8	0.0	0.1	93.1%	3.1%	3.1%	0.2%	0.2%	0.3%
東温市	0.2	0.0	0.0	88.5%	10.2%	1.2%	0.1%	0.0%	0.0%
上島町	0.6	0.0	0.1	81.4%	10.1%	1.9%	6.5%	0.0%	0.1%
久万高原町	0.0	0.0	0.0	98.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
松前町	0.6	0.0	0.1	0.0%	7.3%	45.3%	34.6%	11.2%	1.6%
砥部町	0.1	0.0	0.0	96.3%	3.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
内子町	0.2	0.0	0.0	96.9%	1.9%	0.8%	0.4%	0.0%	0.0%
伊方町	0.5	0.0	0.0	95.5%	3.8%	0.3%	0.1%	0.2%	0.0%
松野町	0.0	0.0	0.0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
愛南町	0.2	0.0	0.0	92.5%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※最大値、最小値、平均値は（液状化評価）対象外の地点を除いて算定

## 2.6. 土砂災害危険度の想定

大規模な地震では、地震動の影響により斜面崩壊や地すべりといった土砂災害が引き起こされ、人命や建物等に被害が生じることが考えられる。今回調査では、愛媛県内の土砂災害の恐れがある危険箇所等について、想定地震における危険性を把握する。

### (1) 対象とする現象・箇所

別途実施された調査で把握されている危険箇所を対象に、土砂災害危険度を推計する。対象とする現象は、前回調査と同様に地震による発生危険性が高い斜面崩壊及び地すべりとし、それぞれ愛媛県の関連部署が所管する危険箇所等を対象とする。なお、土石流については、地震後の降雨に伴い危険性が増す可能性があるが、直接的に被害に至る可能性は斜面崩壊等に比べて低いため対象外とする。また、斜面の表層よりも深い場所から発生する深層崩壊についても、発生メカニズムが明確に解明されておらず、地震に伴う発生の評価手法も確立されていないことから対象外としている。

今回調査で対象とする危険箇所と所管、その箇所数と想定項目を表 2.6-1、に整理し、その位置を図 2.6-1 に示す。これらの危険箇所については、それぞれの危険箇所調査要領等に基づく判定基準を用いて、危険度をそれぞれ想定する。

なお、前回調査で対象としていた「急傾斜地崩壊危険箇所」及び「地すべり危険箇所」（建設省砂防課長通達による土砂災害危険箇所）については、国土交通省の通知（国水砂第 208 号、令和 5 年 11 月）によって令和 6 年 4 月以降使用しないこととされているため対象外とするが、これに代わって指定が進められている「土砂災害警戒区域」を対象として、危険度の予測を行うものとした。土砂災害警戒区域の箇所数は表 2.6-2、位置は図 2.6-1 のとおりである。さらに、危険箇所や土砂災害警戒区域に指定されていない場所も含めて危険度を把握するために、県全域を対象として、その他の斜面の崩壊危険度を評価した。土砂災害警戒区域やその他の斜面については、調査要領に基づく判定基準などがいないため、数値標高モデルによる判定方法を採用する。

表 2.6-1 危険箇所数

現象	危険箇所	箇所数	所管	想定項目
斜面崩壊	急傾斜地崩壊危険箇所	※	砂防課	急傾斜地崩壊危険箇所危険度
	山腹崩壊危険地区	2,320	森林整備課	山腹崩壊危険度
地すべり	地すべり危険箇所	※	砂防課	地すべり危険度
	地すべり危険地区	43	森林整備課	
	地すべり危険地	571	農地整備課	

※急傾斜地崩壊危険箇所、地すべり危険箇所については、今回調査では対象としない。

表 2.6-2 土砂災害警戒区域の箇所数

現象	危険箇所	箇所数	想定項目
斜面崩壊	土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊)	8,307	急傾斜地の崩壊危険度
地すべり	土砂災害警戒区域 (地すべり)	862	地すべり危険度

※土砂災害警戒区域については、区域ポリゴン内の危険度の最大値をもって当該区域の危険度として読み替える。

表 2.6-3 今回調査で対象とする現象・危険箇所の概要

### ■斜面崩壊

斜面崩壊は、がけ崩れや山崩れと称される現象であり、斜面表層の土砂や岩石が地中のある面を境にして滑り落ちる現象である。大雨や地震動による衝撃で崩れ落ちることで、人家などへ影響を及ぼす可能性があると考えられる。

#### ✓山腹崩壊危険地区：

林野庁が発行する「山地災害危険地区要領」により、愛媛県森林整備課が調査を行った危険箇所である。山腹崩壊（落石を含む）による災害が発生する恐れがある地区と定義されている。

### ■地すべり

地すべりは、比較的緩やかな山地等において、斜面の土塊が比較的ゆっくりした速度で動く現象である。動きは遅いものの、継続するため、ひとたび発生すると住宅、道路、鉄道、耕地などに大きな被害を及ぼすといった特徴がある。

#### ✓地すべり危険地区：

林野庁が発行する「山地災害危険地区要領」により、愛媛県森林整備課が調査を行った危険地区である。地すべりによる災害が発生する恐れがある地区と定義されている。山地保全に影響を及ぼす恐れがある箇所を抽出している。

#### ✓地すべり危険地：

中国四国農政局が発行する「地すべり等崩壊災害危険地調査」により、愛媛県農地整備課が調査を行った危険箇所である。この基準において地すべりとは、土地の一部が地下水等に起因してすべる現象又はこれに伴って移動する現象と定義されている。農地保全に影響を及ぼすおそがある箇所を抽出している。

#### ✓地すべり防止区域：

地すべり等防止法に基づき、国土交通大臣又は農林水産大臣が指定した区域であり、地すべりが発生している区域、その恐れを極めて大きい区域及びこれらに隣接する区域である。

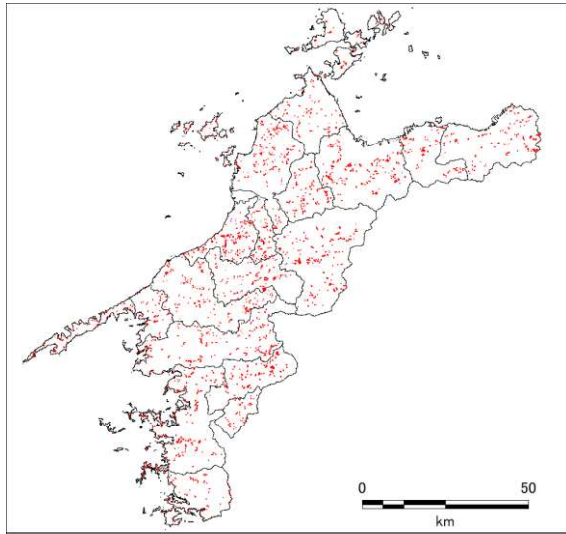
### ■土砂災害警戒区域

土砂災害防止法(土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律)において、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じる恐れがあるとされる区域である。急傾斜地の崩壊、地すべり、土石流で分類されている。

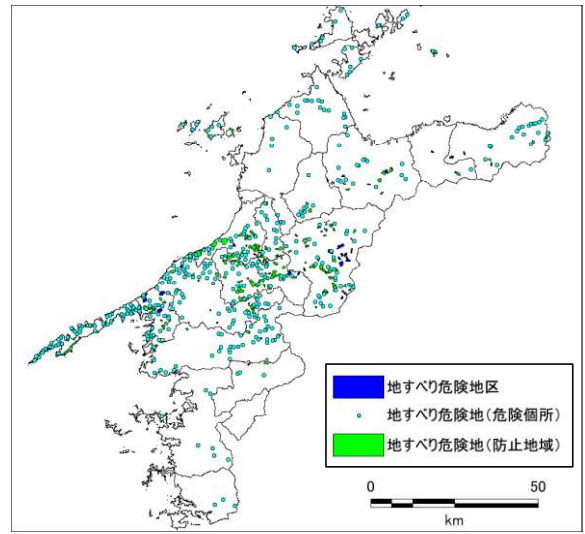
### ■その他の斜面

上記の危険箇所や土砂災害警戒区域に指定されていない場所も含めて危険度を把握するため、県全域を対象として数値標高モデルを用いて斜面を特定し、調査対象とする。

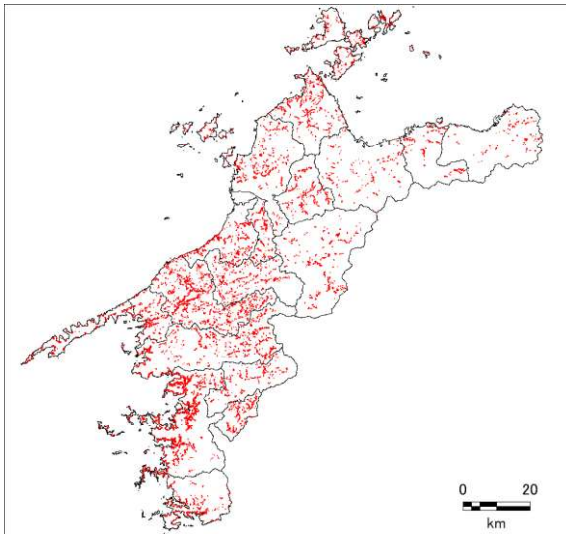
山腹崩壊危険地区



地すべり危険地区，地すべり危険地



土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）



土砂災害警戒区域（地すべり）

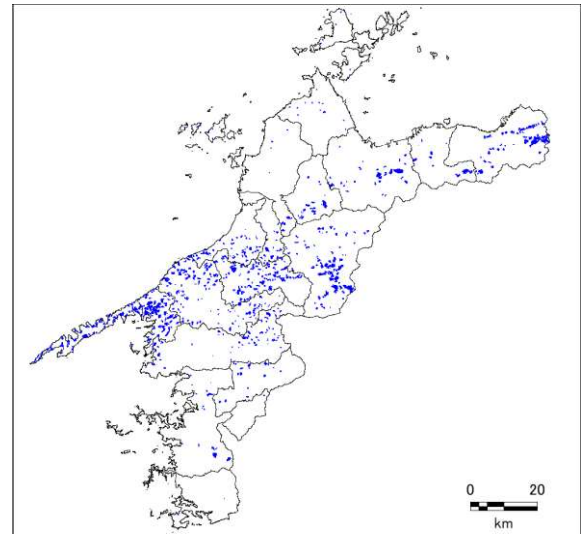


図 2.6-1 土砂災害警戒区域の分布

(2) 土砂災害危険度の想定手法

a) 山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地

山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地は、各危険箇所固有の耐震ランクとメッシュ震度から、地震時の相対的な危険度を判定する。

今回調査では、既往調査結果の危険度ランク (a、b、c) を一次判定結果と読み替えて、その結果に対し、対策工の有無による二次判定を行い耐震ランク (a'、b'、c') とした。ここで、一次判定結果として用いる危険度ランクは、山腹崩壊危険地区は「山地災害危険地区調査 (森林整備課)」、地すべり危険地区は「山地災害危険地区調査」、地すべり危険地は「地すべり等崩壊災害危険地調査」に、それぞれ示される判定表を用いて設定されたものである。この判定表では、各危険地区における地形や地質等の条件を踏まえた危険度ランクを判定することができる。

耐震ランクと地震時の相対的な危険度の対応を表 2.6-6 示す。

表 2.6-4 危険箇所ごとの一次判定基準

現象	危険箇所	一次判定の基準
斜面崩壊	山腹崩壊危険地区	「山地災害危険地区調査」 山腹崩壊危険地区調査実施要領
	地すべり危険地区	「山地災害危険地区調査」 地すべり危険地区調査実施要領
地すべり	地すべり危険地	「地すべり等崩壊災害危険地調査」 地すべり等崩壊災害危険地調査

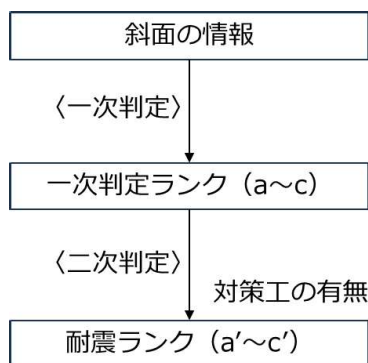


図 2.6-2 危険箇所の耐震ランクの推定方法

表 2.6-5 耐震ランクの二次判定基準

二次判定	一次判定ランク		
	a	b	c
対策工なし、 未完成	a'	b'	c'
対策工完成	c'	c'	c'

表 2.6-6 地震時の相対的な危険度

耐震ランク (二次判定)	震度階級				
	～4	5弱	5強	6弱	6強～
a'	C	B	A		
b'	C		B	A	
c'	C			B	

b) 土砂災害警戒区域

土砂災害警戒区域及びその他の斜面を対象とした危険度は、国土地理院地震時地盤災害推計システム (SGDAS) の手法 (中埜・大野 (2021)) を活用して評価する。この方法は、数値標高モデル (DEM) データを用いて 10m メッシュ単位で斜面の崩壊/非崩壊を判定するもので、土砂災害警戒区域においては、ポリゴン内で最大となる危険度を当該区域の危険度として付与するものとする。危険度想定の方法について、以下に示す。

【概要】

- ✓ 各危険箇所以外の区域を含めた領域を対象として数値標高モデル (DEM) データを用いて 10m メッシュ単位で斜面の崩壊/非崩壊を判定する。
- ✓ 判定方法は「修正六甲式」を用い、これを積算して 250m メッシュごとの危険度を 0～4 の 5 段階 (発生可能性なし～大) で判定する。
- ✓ 脆弱な地質については、神谷 (2013) に基づき、斜面崩壊の危険度を 1 ランク高くする。
- ✓ 防災科研地すべりデータベースを基に、地すべり危険度を判定する。
- ✓ 斜面崩壊と地すべりの危険度の最大値をもって、斜面災害危険度とする。

【斜面崩壊の推計】

斜面崩壊の推計は、以下のフローで算出する。

(1) 次式により、10m メッシュ単位で崩壊/非崩壊を判定した。

$$G = 4.38 \cdot \log_{10}(s-119c) + 3.93 \log_{10}a - 15.27$$

ここで、

G：修正六甲式 (神谷 (2013)) による斜面崩壊危険度の判別得点

(G > 0：崩壊、G < 0：非崩壊)

s：地表面の傾斜 (°) (計算方法については西田他 (1997) による)

c：曲率 (m<sup>-1</sup>) (計算方法については西田他 (1997) による)

a：地表面最大加速度 (gal)

(2) 斜面内の各メッシュの修正六甲式の値を G<sub>i</sub> としたとき、G<sub>i</sub> > 0 となるメッシュについて、G<sub>i</sub> の平均値 (表 2.6-7) から危険度を求める。2004 年中越地震における検証結果 (神谷 2013) を図 2.6-3 に示す。

表 2.6-7 修正六甲式による手法における危険度（中埜他（2013））

危険度	0（小）	1	2	3	4（大）
$G_i$ の平均値	0.0～0.2	0.2～0.4	0.4～0.8	0.8～1.6	1.6～

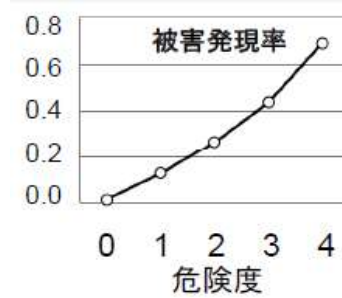


図 2.6-3 2004 年中越地震における検証結果（神谷（2013））

【地すべりの推計】

地すべりの危険度については、防災科学技術研究所による地すべり地形 GIS データを用いて以下の流れで算出する。

- ✓ 250m メッシュ内で地すべり地形ポリゴンの占める面積を求めた。
- ✓ 上記（250m メッシュ内で求めた地すべり地形ポリゴンの占める面積）を近隣のメッシュと重みづけ平均して、各メッシュの地すべり面積率求めた。
- ✓ 次式により、250m メッシュ毎の地すべり発生可能性を判定した。

$$R = (\log_{10} S) / (\log_{10} A) + ((I - C)) / B + 1$$

ここで、

R：地すべり発生可能性（整数部分を取り、0～4 の 5 段階とし、4 より大きい場合は 4、0 より小さい場合は 0 とする。すなわち、0～4 の 5 段階で評価）

S：地すべり面積率（実数）

I：計測震度

A, B, C：係数（=2.5、0.33、5.0）

【脆弱な地質情報による補正】

神谷（2013）で挙げられている脆弱な地質のうち、以下の項目について該当するメッシュを抽出し、斜面崩壊の危険度を1ランク高くする。

- ①超苦鉄質岩
- ②高圧型変成岩
- ③火砕流堆積物
- ④新第三紀以降の堆積岩類
- ⑤グリーンタフ
- ⑥メランジュ
- ⑦断層破碎帯

以上については、産総研による20万分の1シームレス地質図を用いて抽出する。

- ⑦断層破碎帯

上記については、シームレス地質図の断層線の両側50mずつを抽出する。

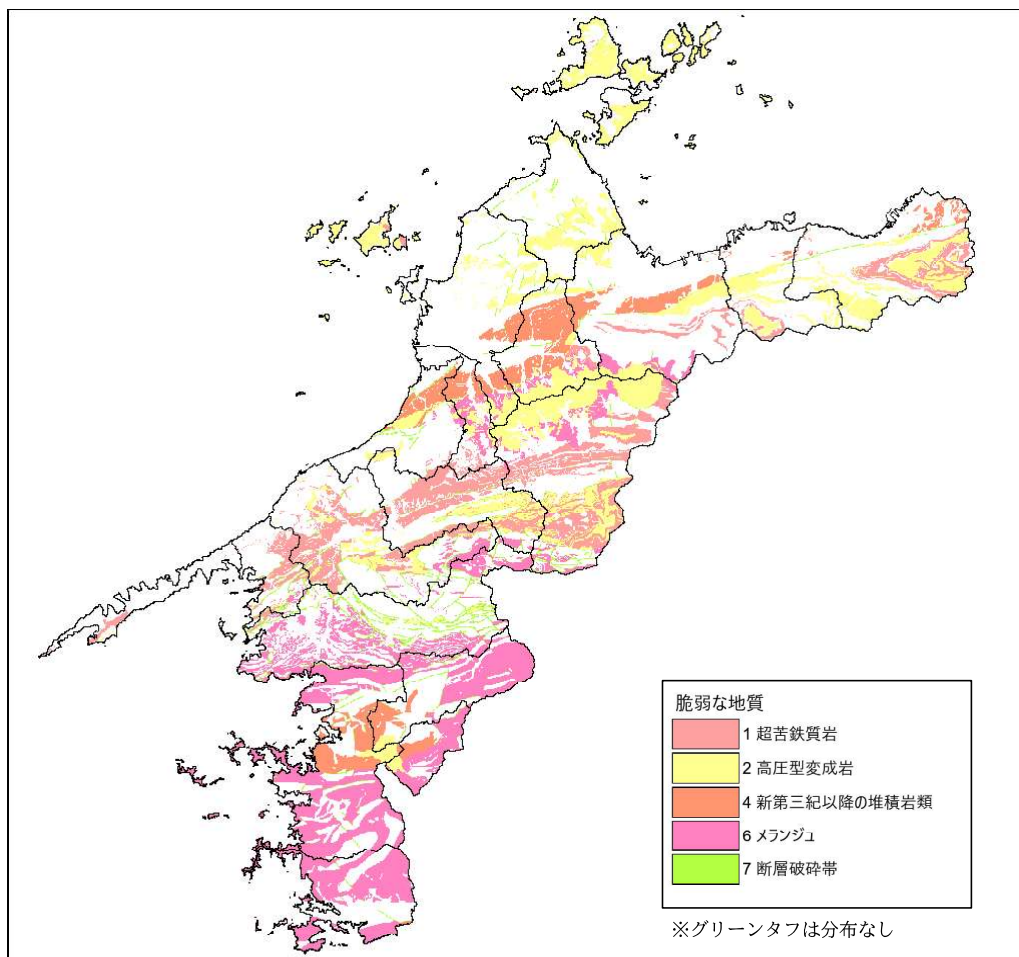


図 2.6-4 愛媛県の脆弱な地質の分布

### (3) 土砂災害危険度の想定結果

以上の手法により、想定地震時における土砂災害危険度を評価した。斜面崩壊や地すべりの現象は、個々の箇所における詳細な土質条件や斜面への入力地震動などによって発生の可能性は大きく左右されるものであり、また、斜面における水文条件等によって安定性も変化する。すなわち、ここで示す危険度ランクは、相対的な土砂災害危険性をあらわしたもので、崩壊・地すべりの発生の有無を直接的に評価したものではない。ただし、全国で発生した既往地震において、震度5以上になるといづれかの斜面で崩壊が発生することもわかっており、特に危険度がAランクとなる箇所については崩壊に至る可能性が高く、また、危険度Bランクの箇所についても崩壊に至る可能性があると考えておくべきである。

#### a) 山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度

各想定地震による評価結果を表 2.6-8、図 2.6-5～図 2.6-14 に示す。

##### ① 南海トラフ巨大地震

斜面崩壊は、県の広い範囲でAランクとなる。宇和島市、西条市、久万高原町でランクAが多くなっている。

##### ② 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデルA）

斜面崩壊、地すべりともに、県のほぼ全域でCランクと想定される。

##### ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデルB）

斜面崩壊、地すべりともに、県のほぼ全域でCランクと想定される。

##### ②" 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデルC）

斜面崩壊、地すべりともに、県のほぼ全域でCランクと想定される。

##### ③ 中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）

斜面崩壊は、四国中央市～西条市にかけてAランクとなる地区が多く、その他の地域ではおおむねCランクと想定される。地すべりは、ほぼ全域でCランクであった。

##### ④ 中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）

斜面崩壊は、新居浜市、西条市でA～Bランクとなる地区が多い。地すべりは全域でCランクと想定される。

##### ⑤ 中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）

斜面崩壊は、西条市でA～Bランクとなる地区が多い。地すべりは、全域でCランクと想定される。

##### ⑥ 中央構造線断層帯（伊予灘区間）

斜面崩壊は、松山市～伊方町にかけてA～Bランクと想定される地区が多い。その他の場所では、おおむねCランクと想定される。地すべりは、伊予市や八幡浜市でAランクと想定される地区がある。

##### ⑦ 中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）

斜面崩壊は、伊方町の西部においてAランクとなる地区がある。地すべりは、同じく伊方町の西部においてBランクとなる地区がある。

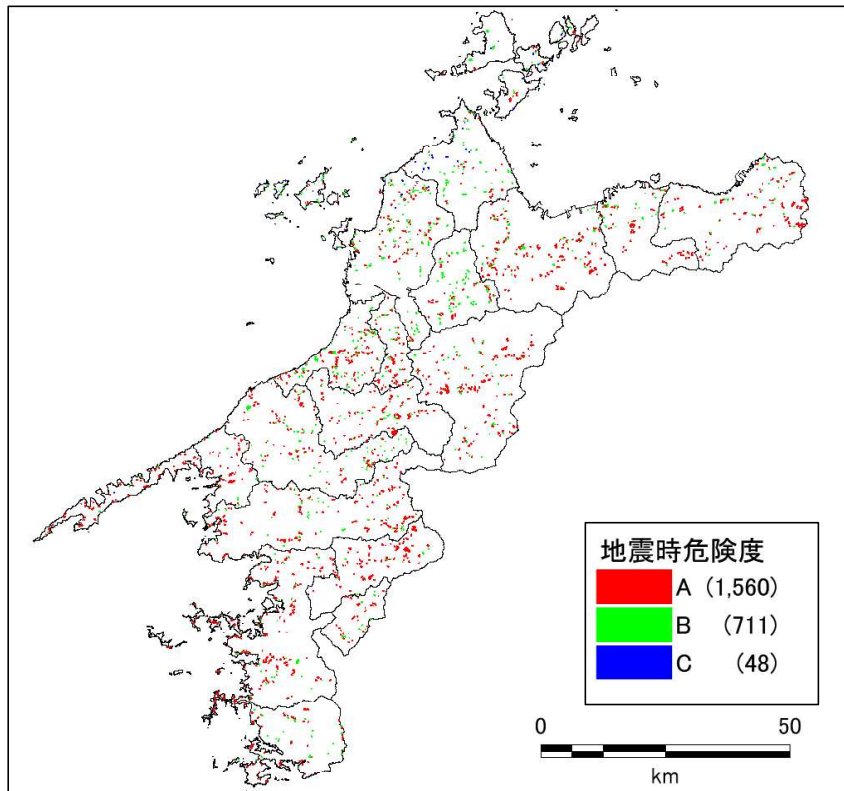
⑧ 中央構造線断層帯（3区間連動）

斜面崩壊は、四国中央市～松山市～伊方町の広い範囲でAランクと想定される地区がある。  
中予、南予の県境側ではCランクと想定される。

表 2.6-8 山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度別箇所数

想定地震		斜面崩壊			地すべり		
		A	B	C	A	B	C
①南海トラフ巨大地震		1,560	711	48	333	257	24
②安芸灘～伊予灘 ～豊後水道の プレート内地震	A	52	82	2,185	0	6	608
	B	89	77	2,153	3	9	602
	C	128	103	2,088	4	10	600
③中央構造線断層帯 (讃岐山脈南縁西部区間)		137	127	2,055	7	22	585
④中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁区間)		83	88	2,148	0	9	605
⑤中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁西部区間)		87	123	2,109	6	12	596
⑥中央構造線断層帯 (伊予灘区間)		226	204	1,889	38	112	464
⑦中央構造線断層帯 (豊予海峡-由布院区間)		14	15	2,290	5	14	595
⑧中央構造線断層帯 (3区間連動)		446	385	1,488	48	135	431

(斜面崩壊：山腹崩壊危険地区)



(地すべり：地すべり危険地区，地すべり危険地)

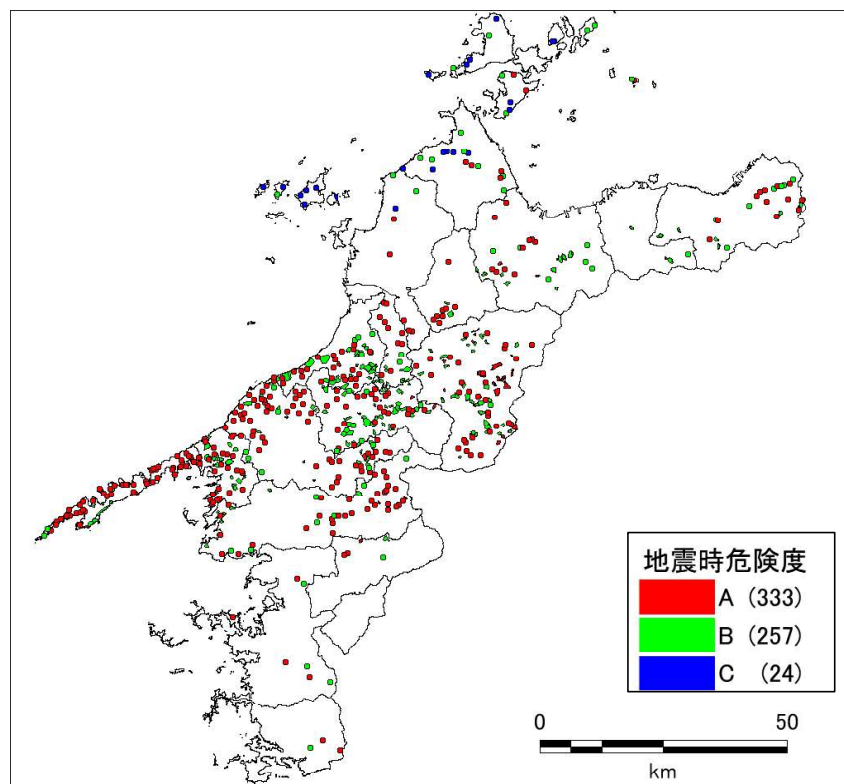
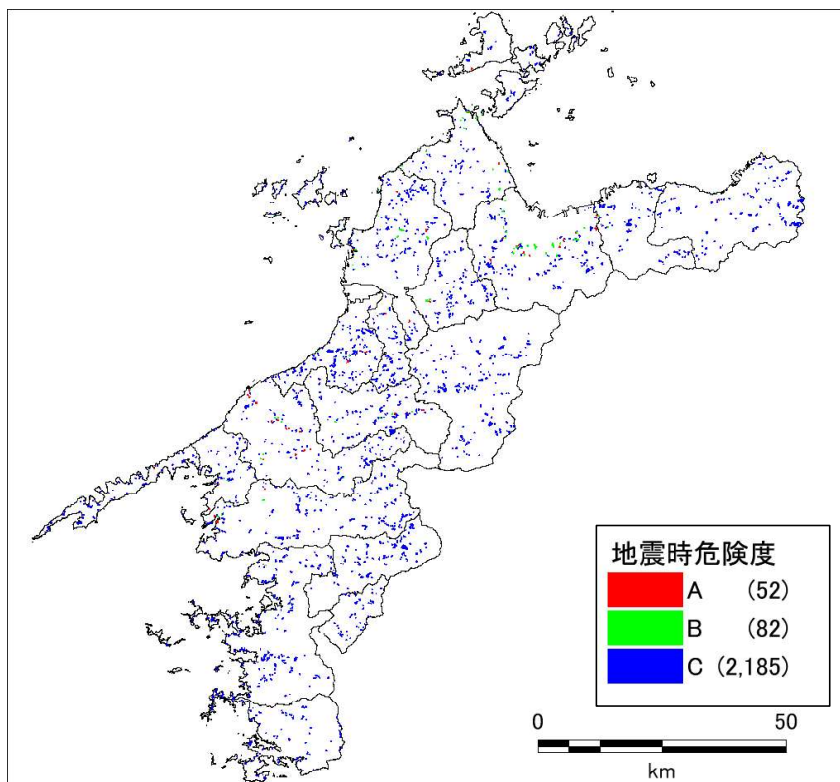


図 2.6-5 ①南海トラフ巨大地震の  
山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度分布

(斜面崩壊：山腹崩壊危険地区)



(地すべり：地すべり危険地区，地すべり危険地)

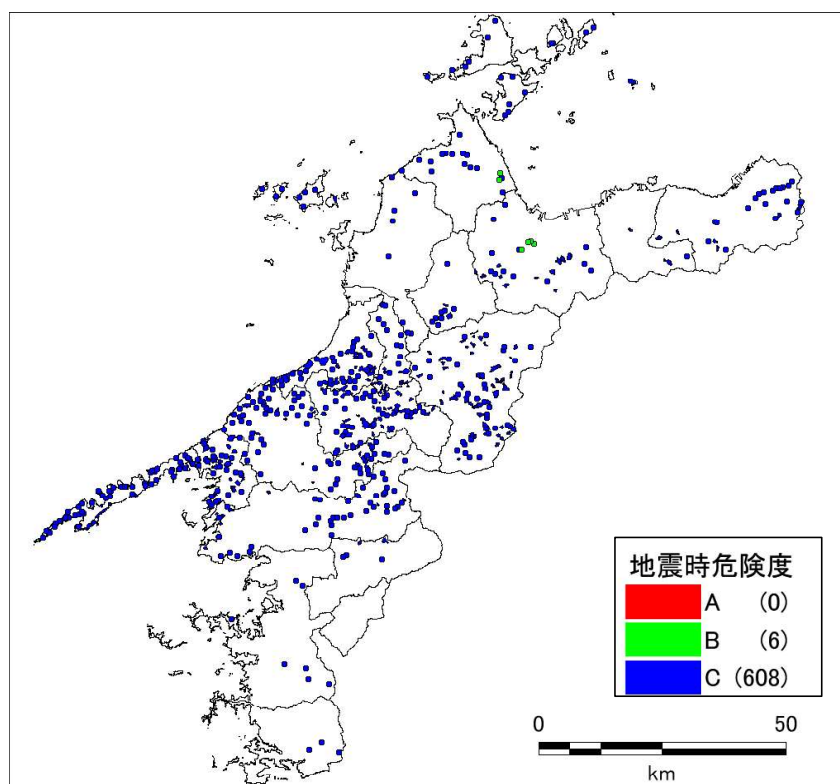
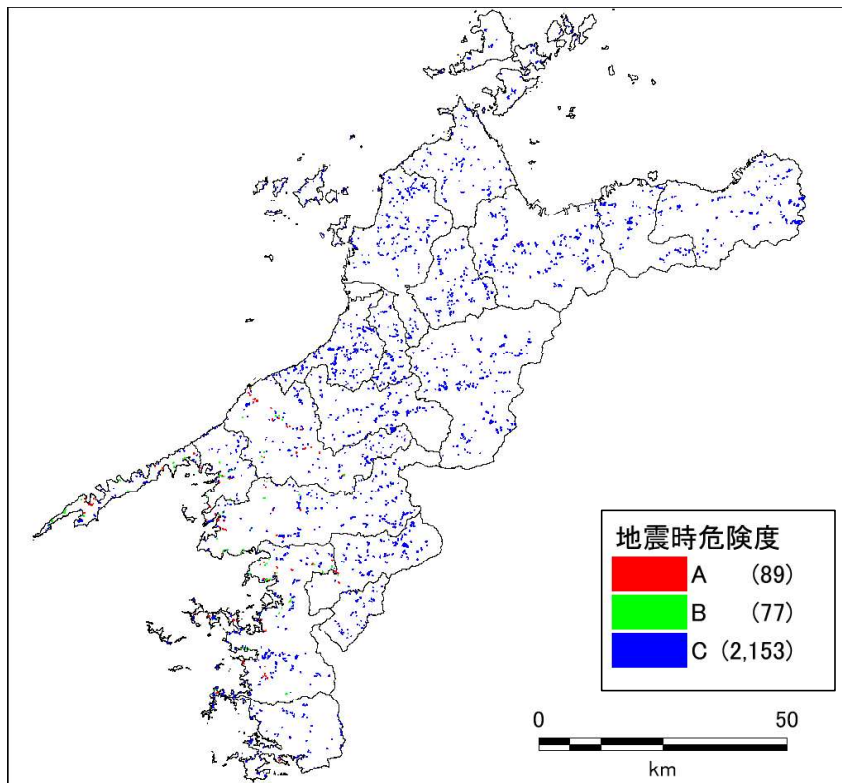


図 2.6-6 ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデル A）の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度分布

(斜面崩壊：山腹崩壊危険地区)



(地すべり：地すべり危険地区，地すべり危険地)

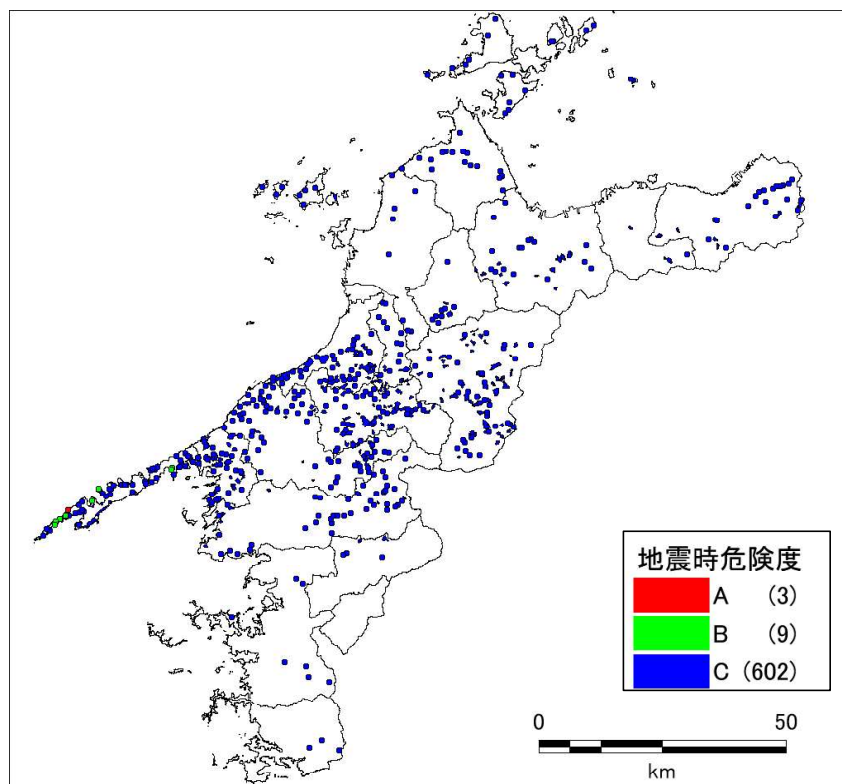
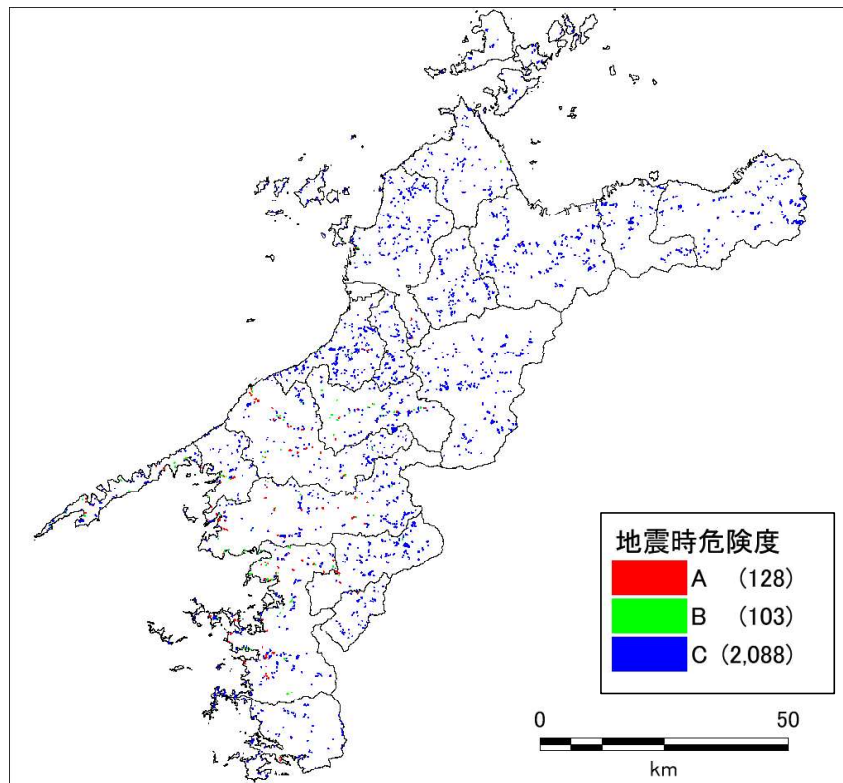


図 2.6-7 ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデル B）の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度分布

(斜面崩壊：山腹崩壊危険地区)



(地すべり：地すべり危険地区，地すべり危険地)

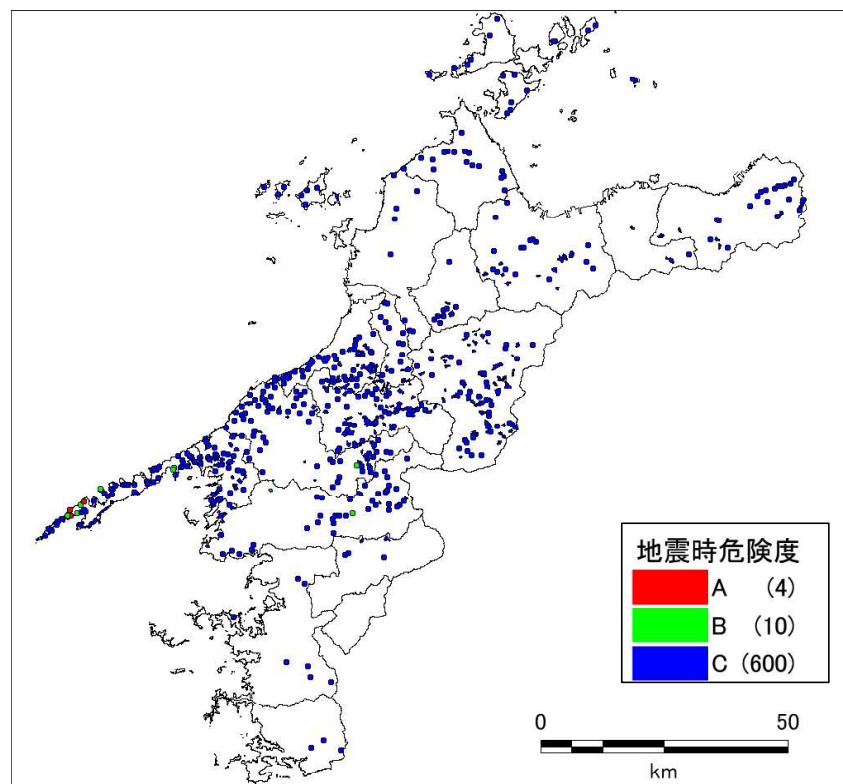
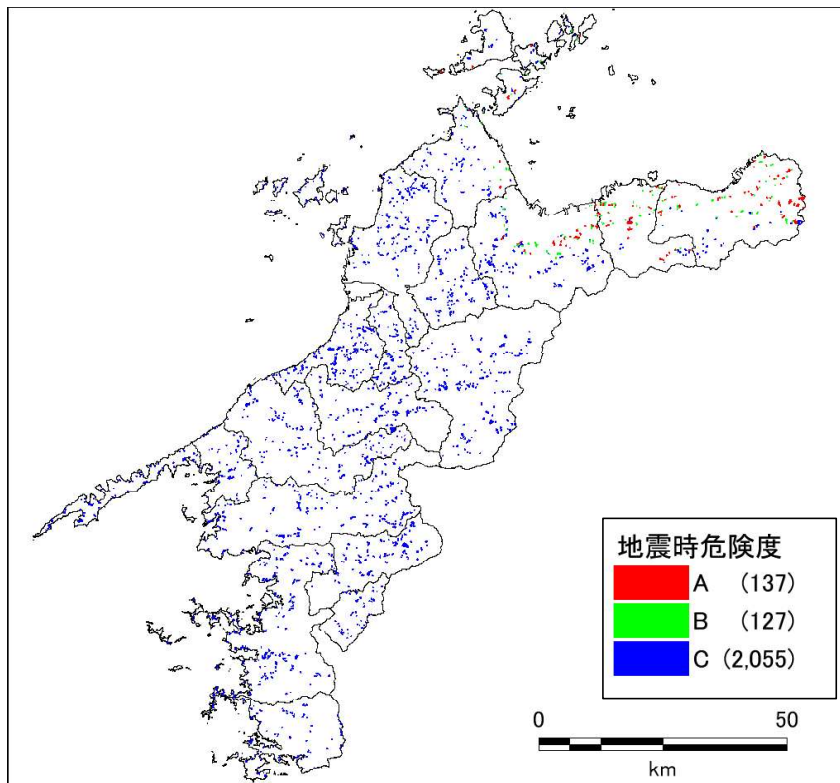


図 2.6-8 ②” 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内の地震（モデル C）の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度分布

(斜面崩壊：山腹崩壊危険地区)



(地すべり：地すべり危険地区，地すべり危険地)

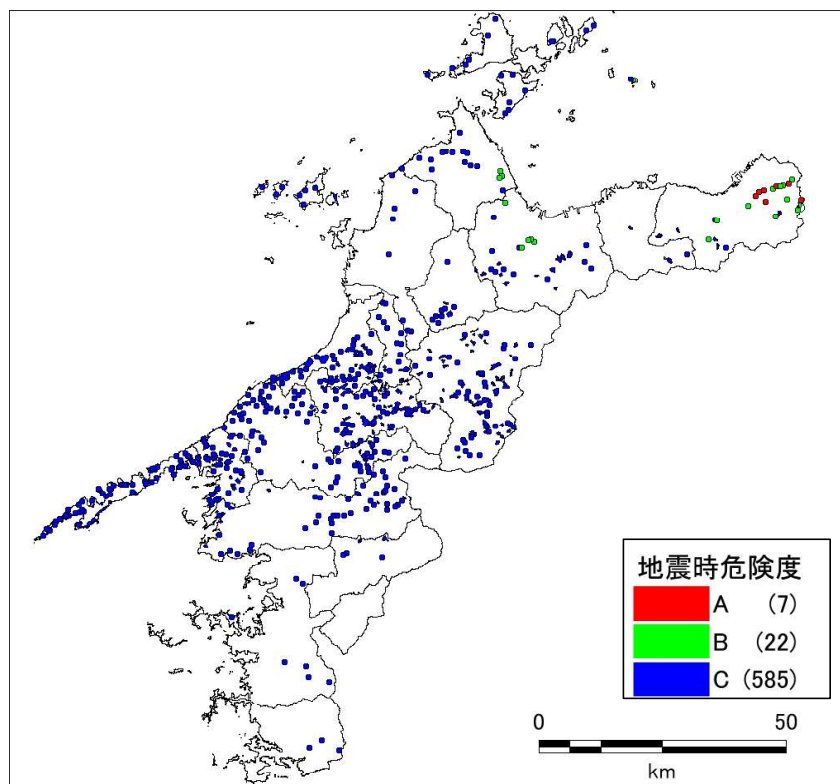
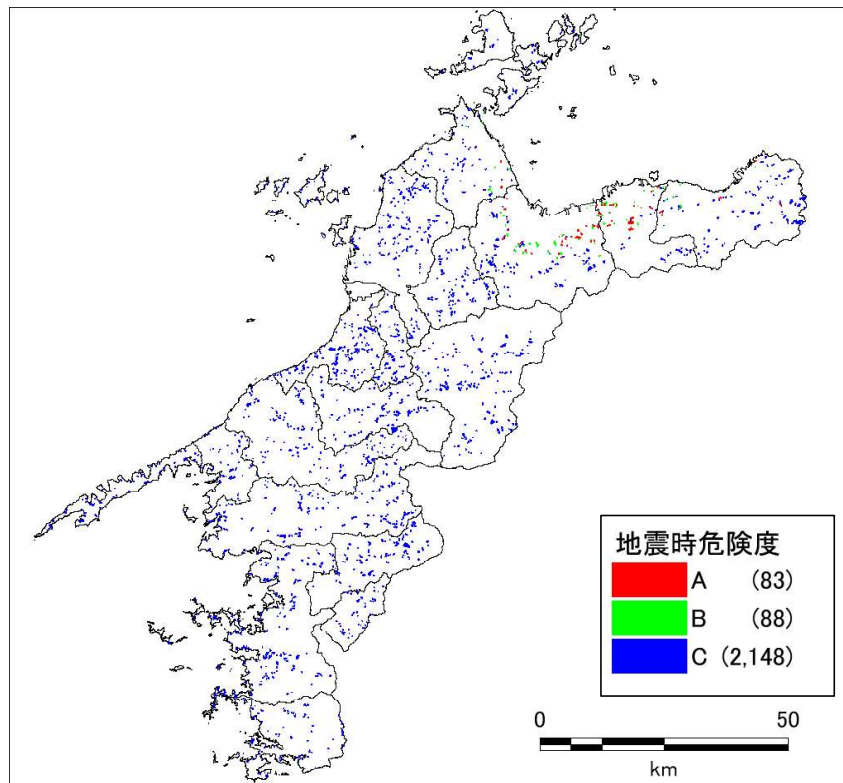


図 2.6-9 ③中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度分布

(斜面崩壊：山腹崩壊危険地区)



(地すべり：地すべり危険地区，地すべり危険地)

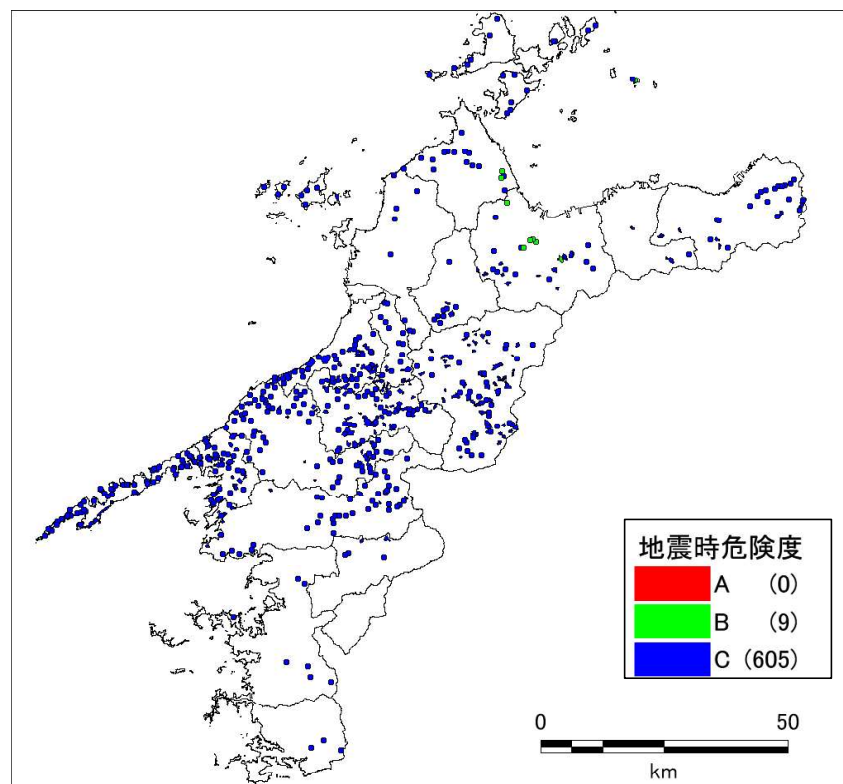
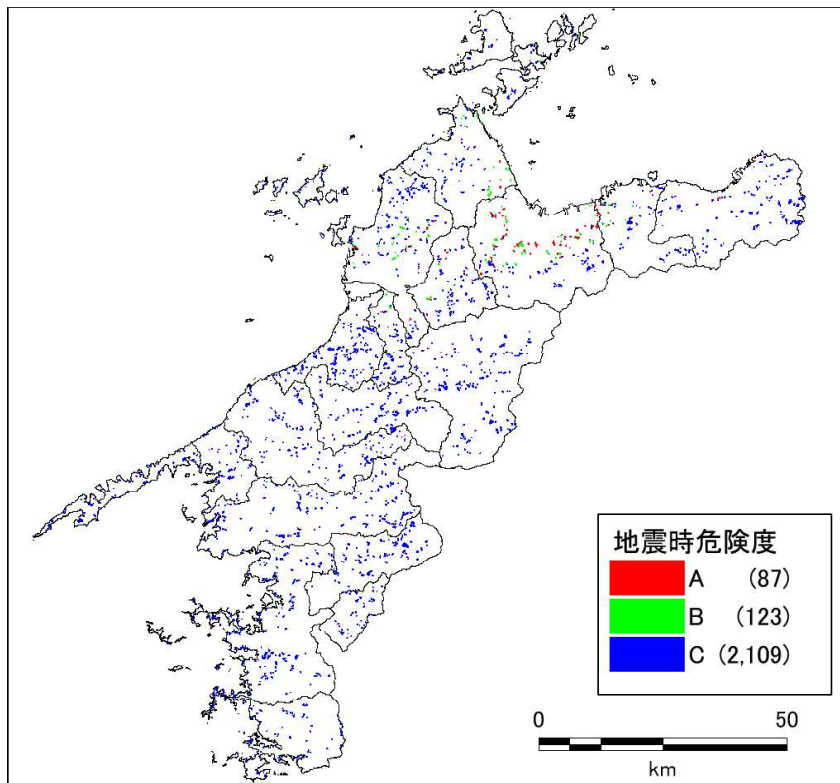


図 2.6-10 ④中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度分布

(斜面崩壊：山腹崩壊危険地区)



(地すべり：地すべり危険地区，地すべり危険地)

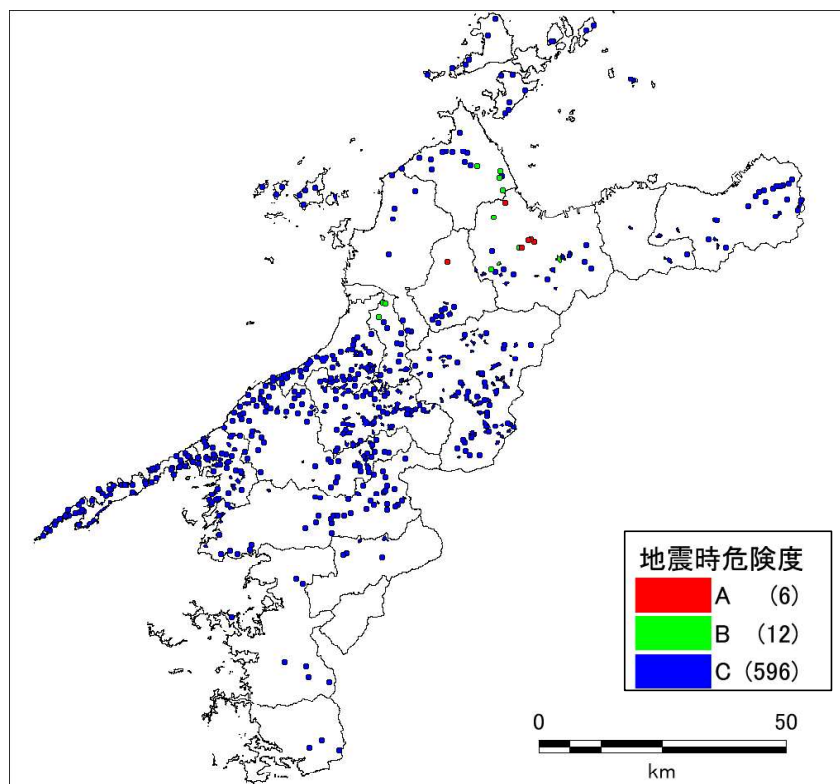
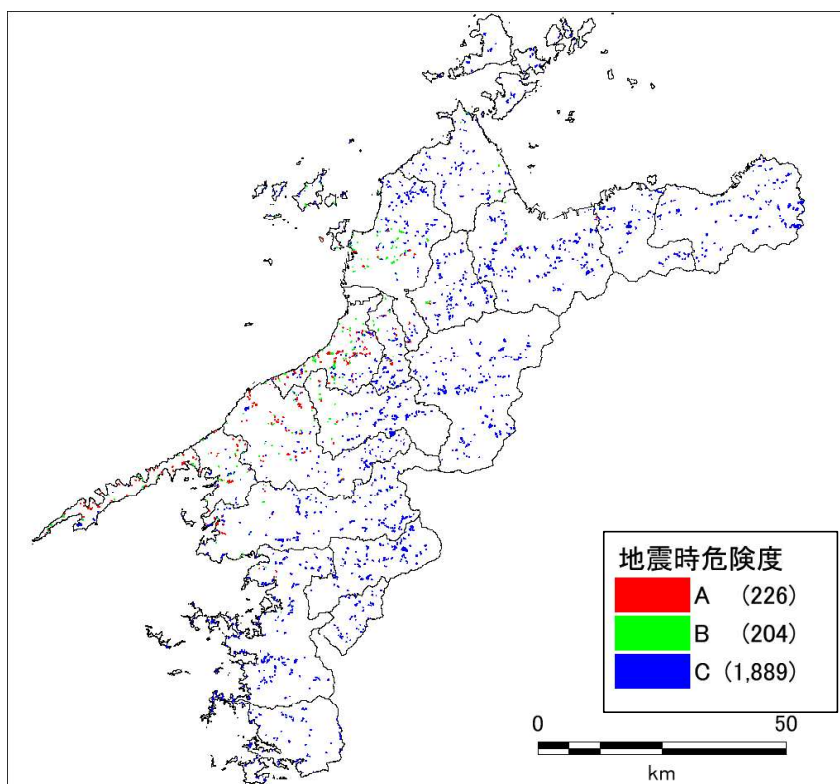


図 2.6-11 ⑤中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度分布

(斜面崩壊：山腹崩壊危険地区)



(地すべり：地すべり危険地区，地すべり危険地)

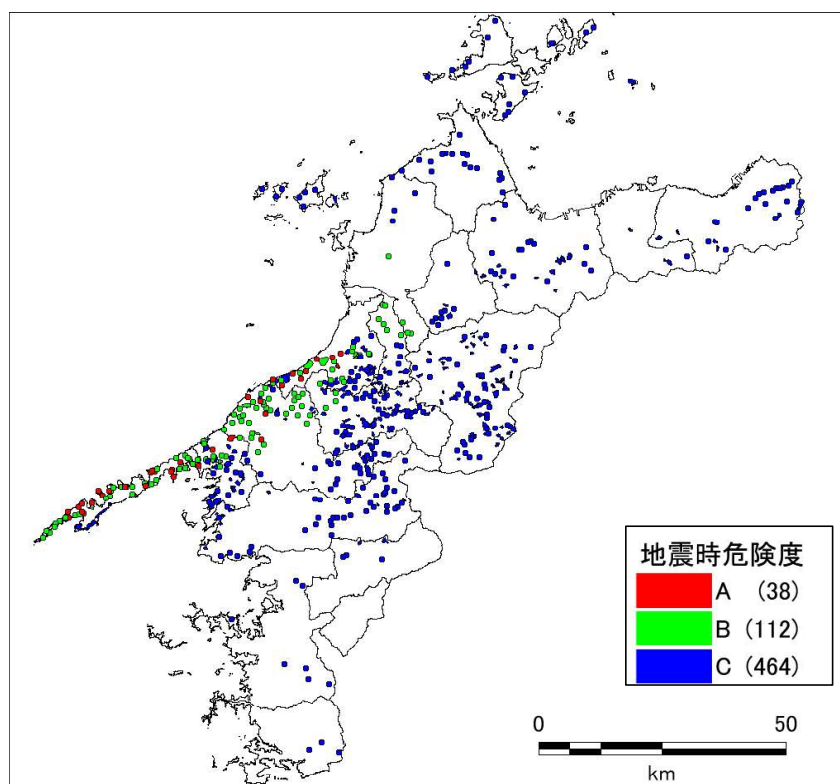
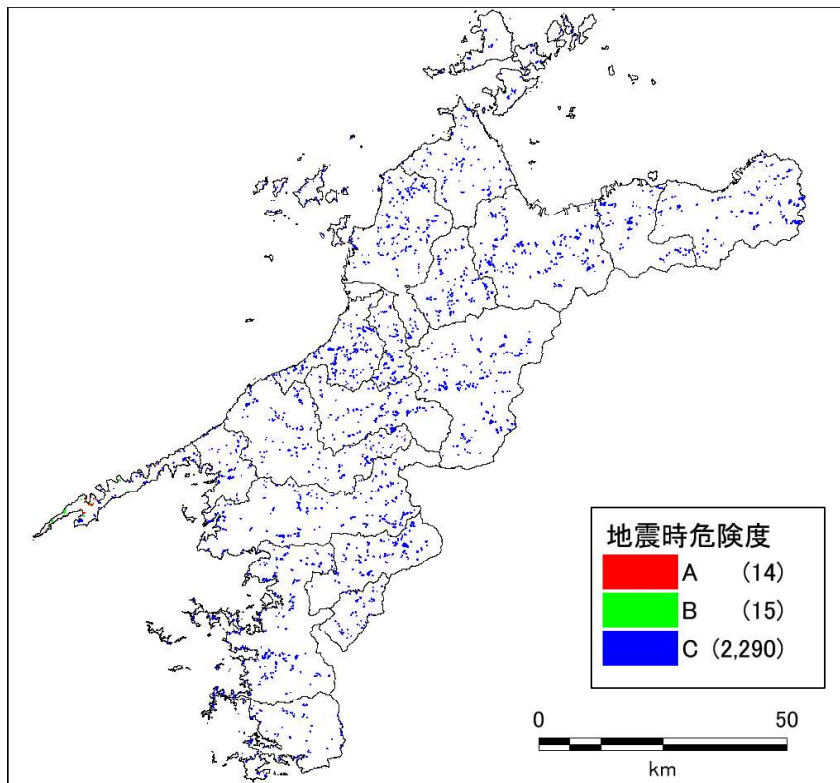


図 2.6-12 ⑥中央構造線断層帯（伊予灘区間）の  
山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度分布

(斜面崩壊：山腹崩壊危険地区)



(地すべり：地すべり危険地区，地すべり危険地)

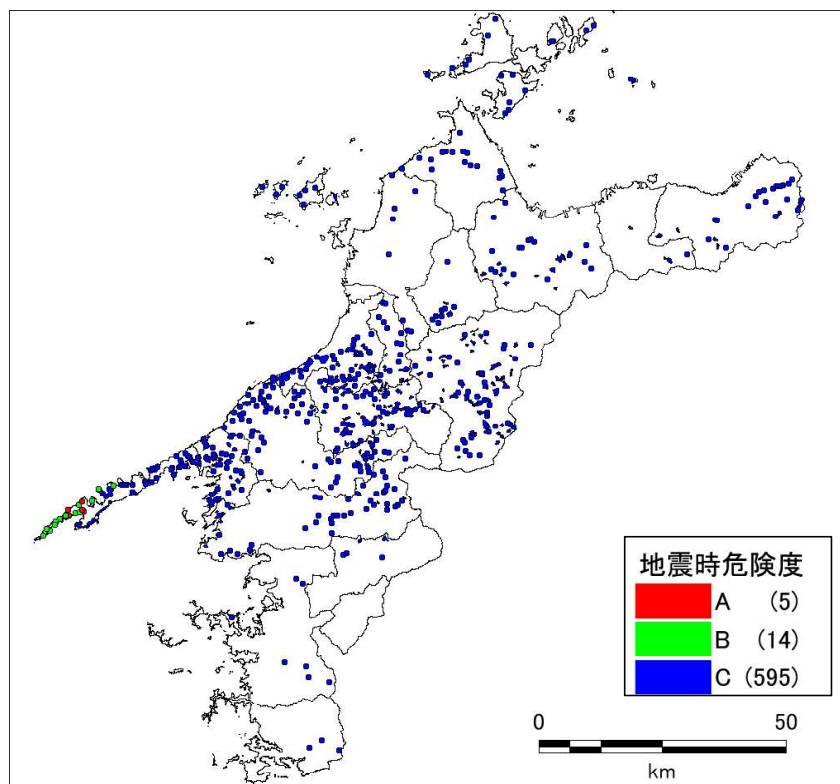
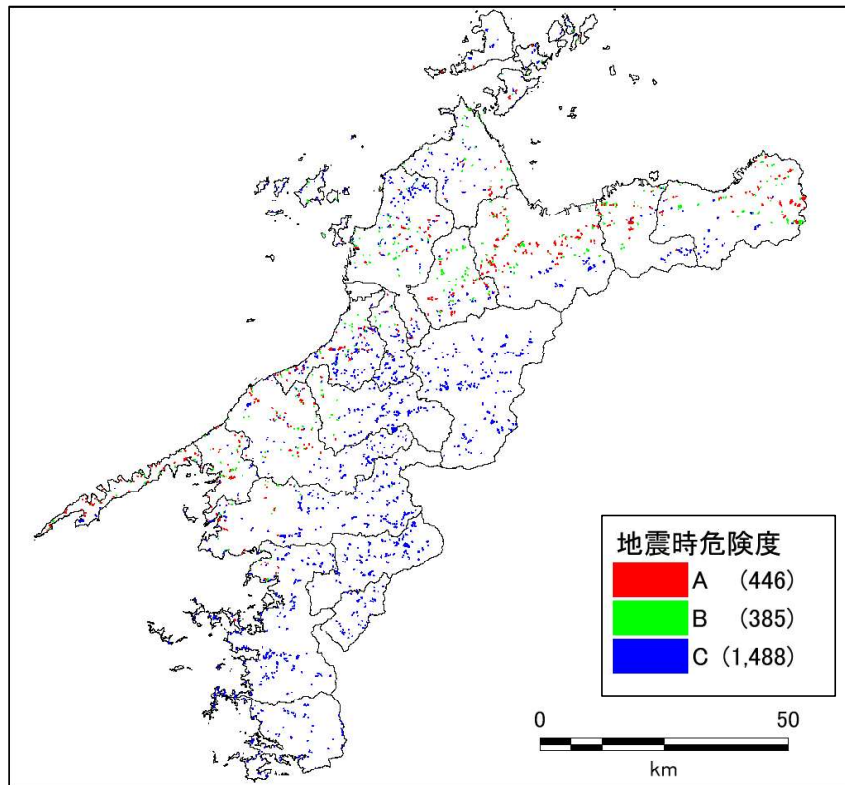


図 2.6-13 ⑦中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度分布

(斜面崩壊：山腹崩壊危険地区)



(地すべり：地すべり危険地区，地すべり危険地)

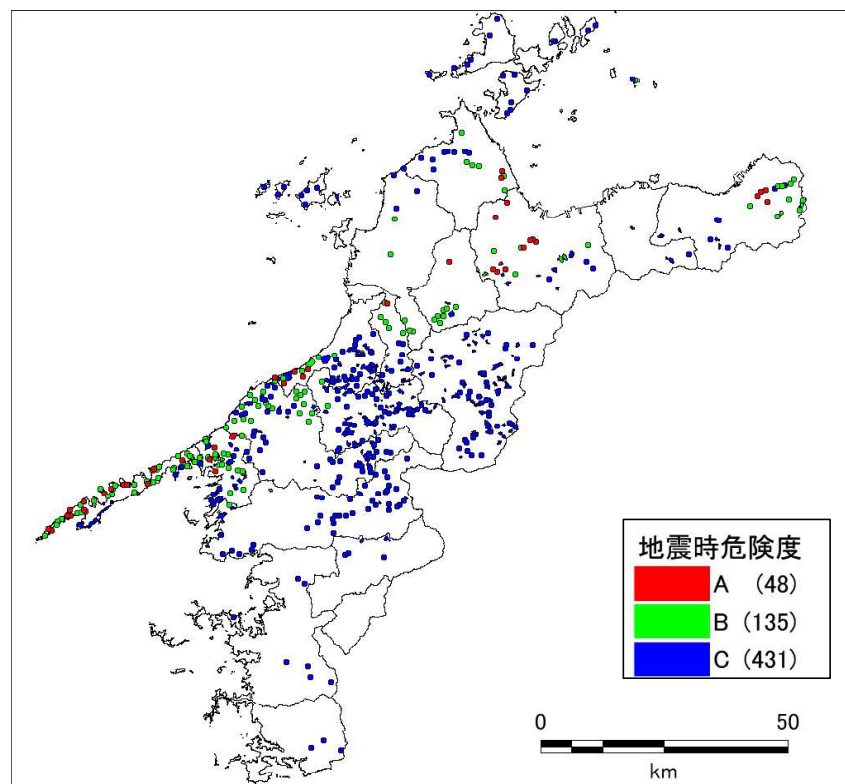


図 2.6-14 ㊸中央構造線断層帯（3区間連動）の  
山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度分布

表 2.6-9 市町別の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度別箇所数  
 (①南海トラフ巨大地震)

市町	斜面崩壊			地すべり		
	A	B	C	A	B	C
松山市	105	139	23	5	3	9
今治市	42	58	23	6	11	12
宇和島市	184	36	0	4	3	0
八幡浜市	61	9	0	26	22	0
新居浜市	62	36	0	1	3	0
西条市	136	47	0	12	16	0
大洲市	97	60	0	53	23	0
伊予市	97	62	0	25	28	0
四国中央市	83	31	0	12	14	0
西予市	151	42	0	34	16	0
東温市	34	53	0	8	2	0
上島町	5	5	1	1	3	2
久万高原町	134	33	0	52	36	0
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	56	18	0	11	16	0
内子町	86	25	0	27	41	0
伊方町	63	6	1	51	16	1
松野町	32	13	0	0	0	0
鬼北町	68	10	0	3	2	0
愛南町	64	28	0	2	2	0
合計	1,560	711	48	333	257	24

表 2.6-10 市町別の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度別箇所数  
 (②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震モデルA)

市町	斜面崩壊			地すべり		
	A	B	C	A	B	C
松山市	4	17	246	0	0	17
今治市	3	12	108	0	2	27
宇和島市	1	1	218	0	0	7
八幡浜市	2	3	65	0	0	48
新居浜市	0	3	95	0	0	4
西条市	13	25	145	0	4	24
大洲市	14	7	136	0	0	76
伊予市	4	2	153	0	0	53
四国中央市	1	0	113	0	0	26
西予市	3	4	186	0	0	50
東温市	1	2	84	0	0	10
上島町	0	0	11	0	0	6
久万高原町	0	0	167	0	0	88
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	1	1	72	0	0	27
内子町	3	4	104	0	0	68
伊方町	2	1	67	0	0	68
松野町	0	0	45	0	0	0
鬼北町	0	0	78	0	0	5
愛南町	0	0	92	0	0	4
合計	52	82	2,185	0	6	608

表 2.6-11 市町別の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度別箇所数  
 (②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震モデルB)

市町	斜面崩壊			地すべり		
	A	B	C	A	B	C
松山市	0	0	267	0	0	17
今治市	0	0	123	0	0	29
宇和島市	30	28	162	0	0	7
八幡浜市	5	11	54	0	0	48
新居浜市	0	0	98	0	0	4
西条市	1	0	182	0	0	28
大洲市	20	9	128	0	0	76
伊予市	0	0	159	0	0	53
四国中央市	0	0	114	0	0	26
西予市	15	13	165	0	0	50
東温市	0	0	87	0	0	10
上島町	0	0	11	0	0	6
久万高原町	0	0	167	0	0	88
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	0	0	74	0	0	27
内子町	0	0	111	0	0	68
伊方町	14	15	41	3	9	56
松野町	0	0	45	0	0	0
鬼北町	3	1	74	0	0	5
愛南町	1	0	91	0	0	4
合計	89	77	2,153	3	9	602

表 2.6-12 市町別の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度別箇所数  
 (②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震モデルC)

市町	斜面崩壊			地すべり		
	A	B	C	A	B	C
松山市	3	2	262	0	0	17
今治市	0	1	122	0	0	29
宇和島市	43	30	147	0	0	7
八幡浜市	7	8	55	0	0	48
新居浜市	0	0	98	0	0	4
西条市	1	1	181	0	0	28
大洲市	23	12	122	0	1	75
伊予市	3	2	154	0	0	53
四国中央市	0	0	114	0	0	26
西予市	27	16	150	0	3	47
東温市	0	0	87	0	0	10
上島町	0	0	11	0	0	6
久万高原町	0	0	167	0	0	88
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	0	2	72	0	0	27
内子町	7	14	90	0	0	68
伊方町	8	12	50	4	6	58
松野町	1	0	44	0	0	0
鬼北町	3	2	73	0	0	5
愛南町	2	1	89	0	0	4
合計	128	103	2,088	4	10	600

表 2.6-13 市町別の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度別箇所数  
 (③中央構造線断層帯(讃岐山脈南縁西部区間))

市町	斜面崩壊			地すべり		
	A	B	C	A	B	C
松山市	0	0	267	0	0	17
今治市	9	16	98	0	3	26
宇和島市	0	0	220	0	0	7
八幡浜市	0	0	70	0	0	48
新居浜市	45	37	16	0	1	3
西条市	31	37	115	0	5	23
大洲市	0	0	157	0	0	76
伊予市	0	0	159	0	0	53
四国中央市	51	35	28	7	12	7
西予市	0	0	193	0	0	50
東温市	0	0	87	0	0	10
上島町	1	2	8	0	1	5
久万高原町	0	0	167	0	0	88
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	0	0	74	0	0	27
内子町	0	0	111	0	0	68
伊方町	0	0	70	0	0	68
松野町	0	0	45	0	0	0
鬼北町	0	0	78	0	0	5
愛南町	0	0	92	0	0	4
合計	137	127	2,055	7	22	585

表 2.6-14 市町別の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度別箇所数  
 (④中央構造線断層帯(石鎚山脈北縁区間))

市町	斜面崩壊			地すべり		
	A	B	C	A	B	C
松山市	0	0	267	0	0	17
今治市	2	11	110	0	2	27
宇和島市	0	0	220	0	0	7
八幡浜市	0	0	70	0	0	48
新居浜市	34	29	35	0	0	4
西条市	40	42	101	0	6	22
大洲市	0	0	157	0	0	76
伊予市	0	0	159	0	0	53
四国中央市	7	5	102	0	0	26
西予市	0	0	193	0	0	50
東温市	0	0	87	0	0	10
上島町	0	1	10	0	1	5
久万高原町	0	0	167	0	0	88
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	0	0	74	0	0	27
内子町	0	0	111	0	0	68
伊方町	0	0	70	0	0	68
松野町	0	0	45	0	0	0
鬼北町	0	0	78	0	0	5
愛南町	0	0	92	0	0	4
合計	83	88	2,148	0	9	605

表 2.6-15 市町別の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度別箇所数  
 (⑤中央構造線断層帯(石鎚山脈北縁西部区間))

市町	斜面崩壊			地すべり		
	A	B	C	A	B	C
松山市	8	31	228	0	0	17
今治市	2	20	101	0	4	25
宇和島市	0	0	220	0	0	7
八幡浜市	0	0	70	0	0	48
新居浜市	11	15	72	0	0	4
西条市	55	50	78	5	5	18
大洲市	0	0	157	0	0	76
伊予市	0	0	159	0	0	53
四国中央市	3	0	111	0	0	26
西予市	0	0	193	0	0	50
東温市	6	3	78	1	0	9
上島町	0	1	10	0	0	6
久万高原町	0	0	167	0	0	88
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	2	3	69	0	3	24
内子町	0	0	111	0	0	68
伊方町	0	0	70	0	0	68
松野町	0	0	45	0	0	0
鬼北町	0	0	78	0	0	5
愛南町	0	0	92	0	0	4
合計	87	123	2,109	6	12	596

表 2.6-16 市町別の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度別箇所数  
 (◎中央構造線断層帯 (伊予灘区間))

市町	斜面崩壊			地すべり		
	A	B	C	A	B	C
松山市	18	56	193	0	4	13
今治市	0	5	118	0	0	29
宇和島市	5	6	209	0	0	7
八幡浜市	25	18	27	2	13	33
新居浜市	0	2	96	0	0	4
西条市	5	3	175	0	0	28
大洲市	44	24	89	4	33	39
伊予市	61	41	57	9	15	29
四国中央市	0	0	114	0	0	26
西予市	12	8	173	0	1	49
東温市	1	2	84	0	0	10
上島町	0	1	10	0	0	6
久万高原町	0	0	167	0	0	88
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	9	10	55	0	7	20
内子町	5	11	95	0	4	64
伊方町	41	17	12	23	35	10
松野町	0	0	45	0	0	0
鬼北町	0	0	78	0	0	5
愛南町	0	0	92	0	0	4
合計	226	204	1,889	38	112	464

表 2.6-17 市町別の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度別箇所数  
 (⑦中央構造線断層帯(豊予海峡-由布院区間))

市町	斜面崩壊			地すべり		
	A	B	C	A	B	C
松山市	0	0	267	0	0	17
今治市	0	0	123	0	0	29
宇和島市	0	0	220	0	0	7
八幡浜市	0	0	70	0	0	48
新居浜市	0	0	98	0	0	4
西条市	0	0	183	0	0	28
大洲市	1	0	156	0	0	76
伊予市	0	0	159	0	0	53
四国中央市	0	0	114	0	0	26
西予市	0	1	192	0	0	50
東温市	0	0	87	0	0	10
上島町	0	0	11	0	0	6
久万高原町	0	0	167	0	0	88
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	0	0	74	0	0	27
内子町	0	0	111	0	0	68
伊方町	13	14	43	5	14	49
松野町	0	0	45	0	0	0
鬼北町	0	0	78	0	0	5
愛南町	0	0	92	0	0	4
合計	14	15	2,290	5	14	595

表 2.6-18 市町別の山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、地すべり危険地の危険度別箇所数  
 (⑧中央構造線断層帯(3区間連動))

市町	斜面崩壊			地すべり		
	A	B	C	A	B	C
松山市	35	65	167	0	5	12
今治市	20	32	71	2	6	21
宇和島市	9	8	203	0	0	7
八幡浜市	30	21	19	5	21	22
新居浜市	37	32	29	0	0	4
西条市	97	52	34	11	8	9
大洲市	37	28	92	0	20	56
伊予市	36	23	100	5	6	42
四国中央市	45	39	30	4	12	10
西予市	19	17	157	0	4	46
東温市	26	34	27	1	7	2
上島町	1	2	8	0	1	5
久万高原町	0	0	167	0	0	88
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	8	6	60	1	6	20
内子町	3	10	98	0	2	66
伊方町	43	16	11	19	37	12
松野町	0	0	45	0	0	0
鬼北町	0	0	78	0	0	5
愛南町	0	0	92	0	0	4
合計	446	385	1,488	48	135	431

## b) 土砂災害警戒区域の危険度

各想定地震による土砂災害警戒区域(斜面崩壊、地すべり)の評価結果を表 2.6-19、図 2.6-15～図 2.6-24 に示す。

### ① 南海トラフ巨大地震

急傾斜地の崩壊は、松山市や今治市を除いた広い範囲で大～中と想定される。特に、大洲市東部において危険度が大きくなる区域が多い。地すべりは、広い範囲で危険度が大きと想定される。

### ② 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震(モデルA)

急傾斜地の崩壊は、ほぼ全域で危険度が小と想定される。地すべりは、久万高原町で中となる区域が多く見られる。

### ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震(モデルB)

急傾斜地の崩壊は、ほぼ全域で危険度が小と想定される。地すべりは、久万高原町などで中となる地区が多く、伊方町で大となる地区がある。

### ②" 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震(モデルC)

急傾斜地の崩壊は、ほぼ全域で危険度が小と想定される。地すべりは、久万高原町、伊方町などの一部で大と想定される。

### ③ 中央構造線断層帯(讃岐山脈南縁西部区間)

急傾斜地の崩壊は、四国中央市や新居浜市、西条市の東部などで大と想定される。そのほかでは、概ね小と想定されている。地すべりは、急傾斜地の崩壊と同様に四国中央市や新居浜市、西条市などで大～中と想定される。

### ④ 中央構造線断層帯(石鎚山脈北縁区間)

急傾斜地の崩壊は、新居浜市と西条市の市境付近で大～中と想定される。地すべりは、四国中央市～西条市にかけて大～中と想定される。

### ⑤ 中央構造線断層帯(石鎚山脈北縁西部区間)

急傾斜地の崩壊は、新居浜市西部～東温市や松山市の一部において大～中と想定される。

### ⑥ 中央構造線断層帯(伊予灘区間)

急傾斜地の崩壊は、伊予市で大～中となる地区が多い。地すべりは、伊予市西部～伊方町にかけて危険度が高く、特に、八幡浜市、伊方町で大となる地区が多いと想定される。

### ⑦ 中央構造線断層帯(豊予海峡-由布院区間)

急傾斜地の崩壊、地すべりともに、ほぼ全域で危険度が小となる。ただし、伊方町西部においては大～中となる地区がある。

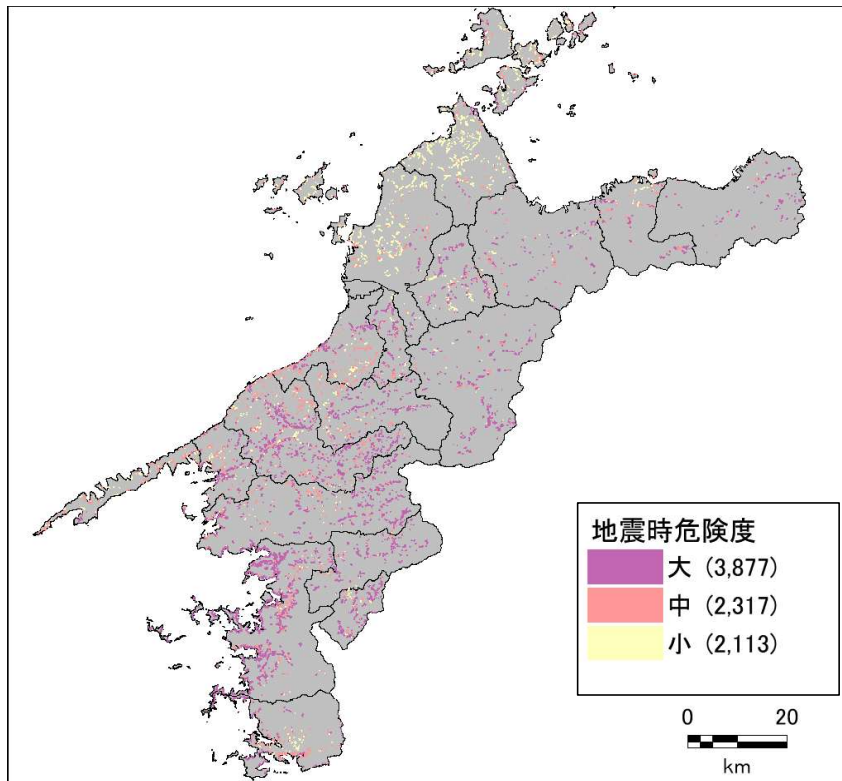
### ⑧ 中央構造線断層帯(3区間連動)

急傾斜地の崩壊は、四国中央市～東温市～伊予市にかけて大～中となる地区が多い。地すべりも同様であるが、加えて、大洲市や八幡浜市、伊方町でも危険度が大～中となる地区があると想定される。

表 2.6-19 土砂災害警戒区域の危険度別箇所数

想定地震		急傾斜地の崩壊			地すべり		
		大	中	小	大	中	小
①南海トラフ巨大地震		3,877	2,317	2,113	671	63	128
②安芸灘～伊予灘 ～豊後水道の プレート内地震	A	17	195	8,095	58	153	651
	B	32	285	7,990	67	123	672
	C	61	410	7,836	108	164	590
③中央構造線断層帯 (讃岐山脈南縁西部区間)		154	254	7,899	95	18	749
④中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁区間)		86	174	8,047	51	47	764
⑤中央構造線断層帯 (石鎚山脈北縁西部区間)		143	275	7,889	52	85	725
⑥中央構造線断層帯 (伊予灘区間)		191	840	7,276	203	148	511
⑦中央構造線断層帯 (豊予海峡-由布院区間)		7	83	8,217	27	32	803
⑧中央構造線断層帯 (3区間連動)		529	1,008	6,770	298	145	419

(急傾斜地の崩壊)



(地すべり)

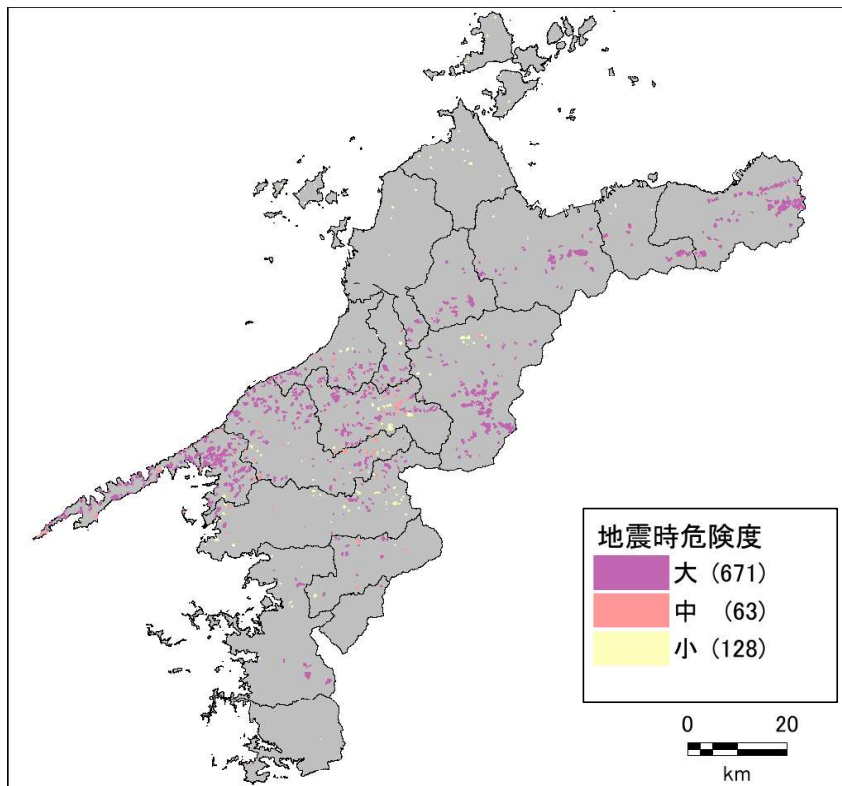
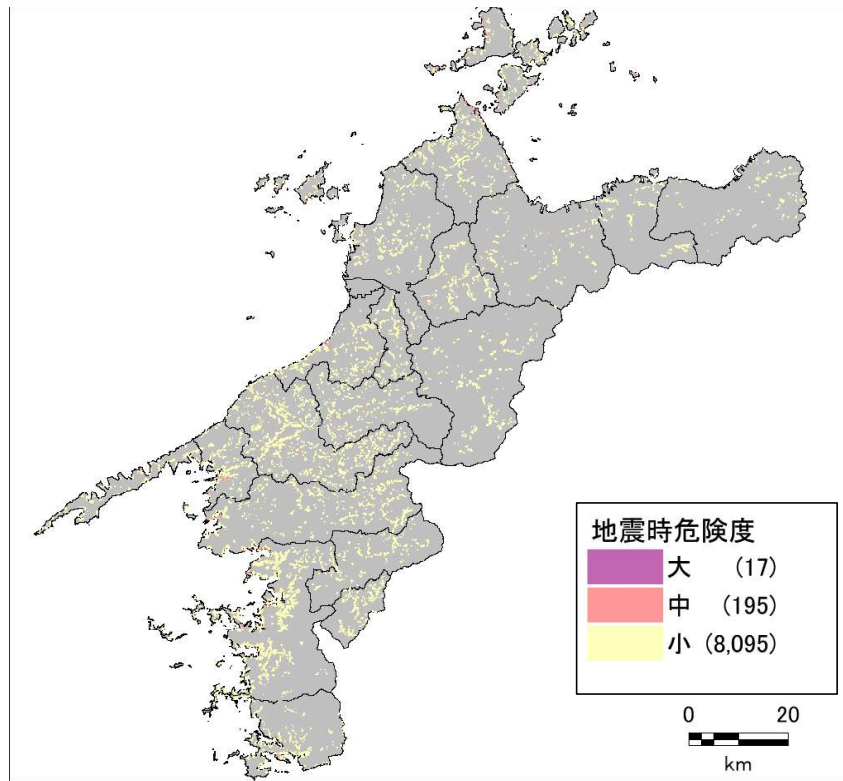


図 2.6-15 ①南海トラフ巨大地震の  
土砂災害警戒区域の危険度分布

(急傾斜地の崩壊)



(地すべり)

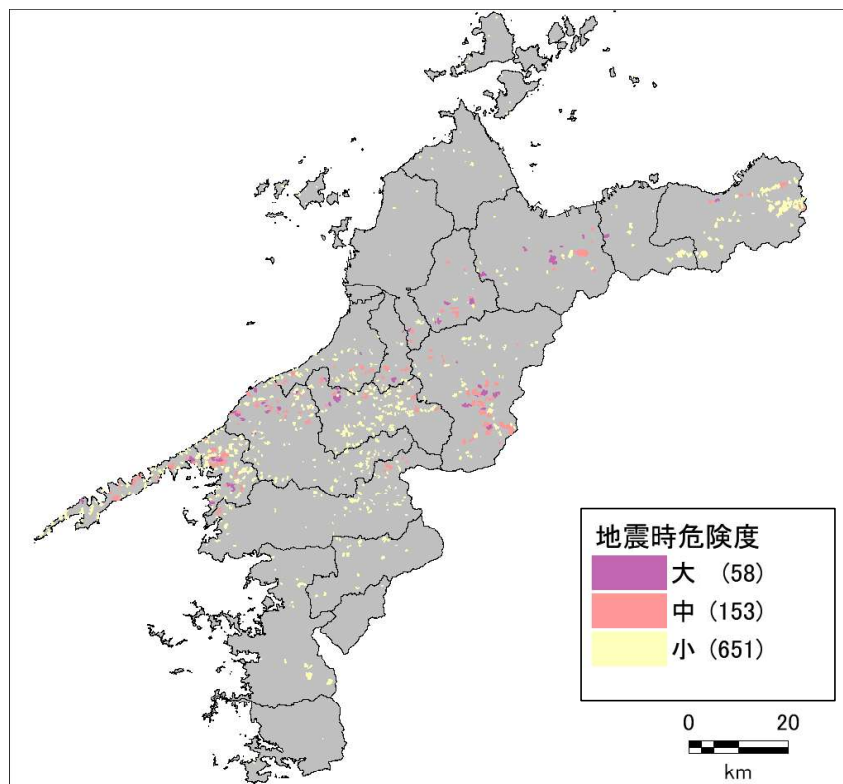
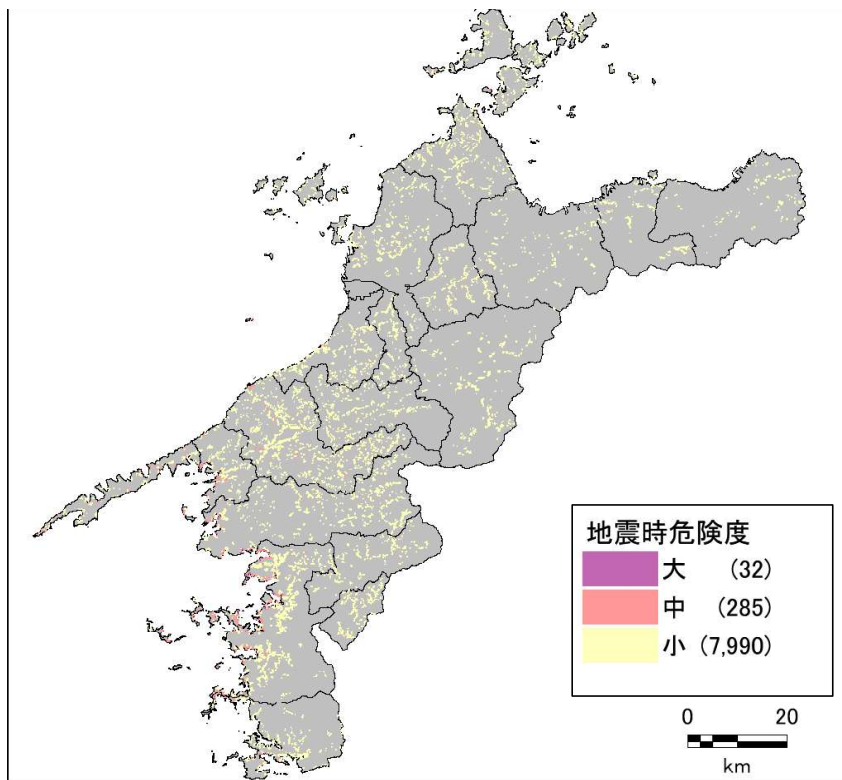


図 2.6-16 ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデル A）の  
土砂災害警戒区域の危険度分布

(急傾斜地の崩壊)



(地すべり)

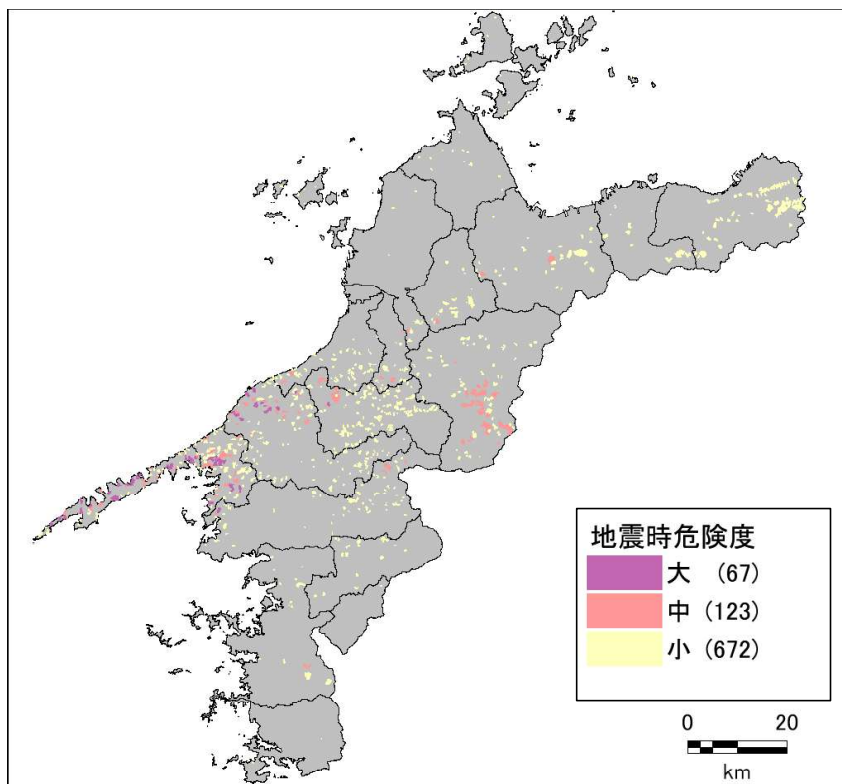
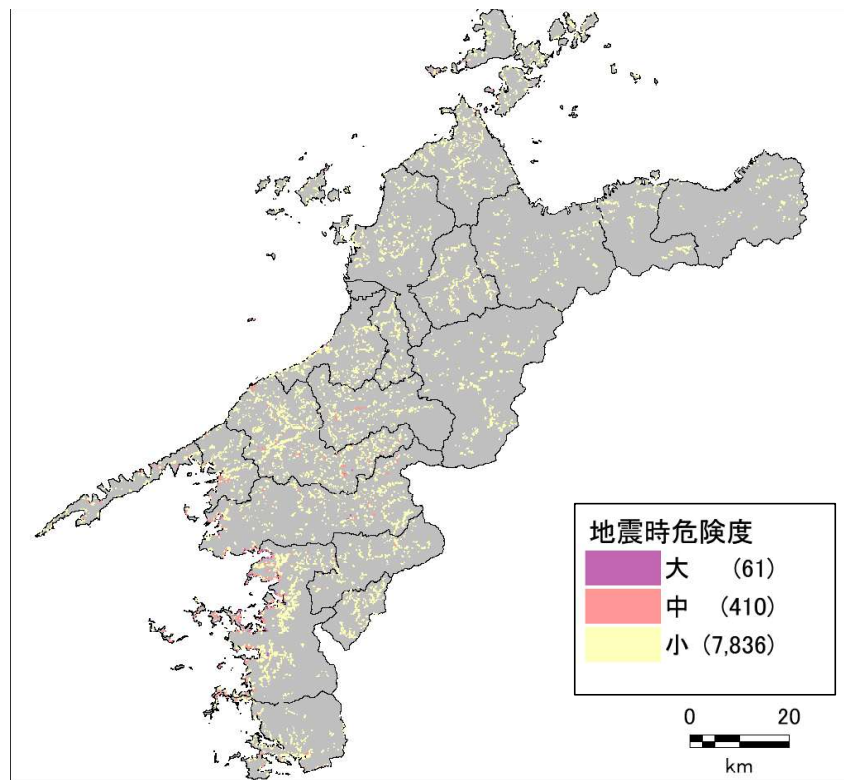


図 2.6-17 ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデルB）の  
土砂災害警戒区域の危険度分布

(急傾斜地の崩壊)



(地すべり)

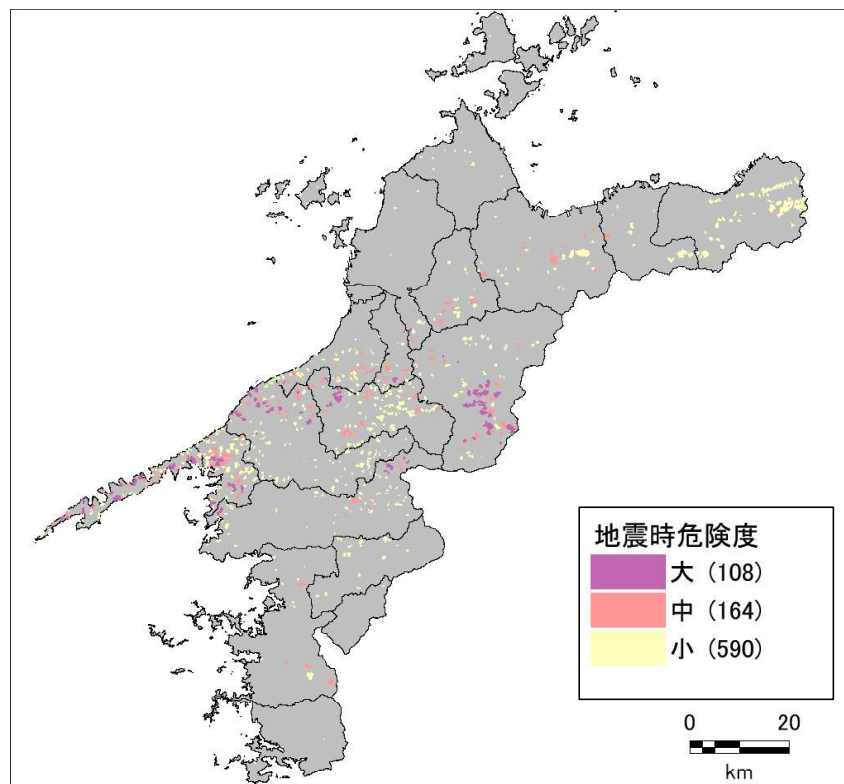
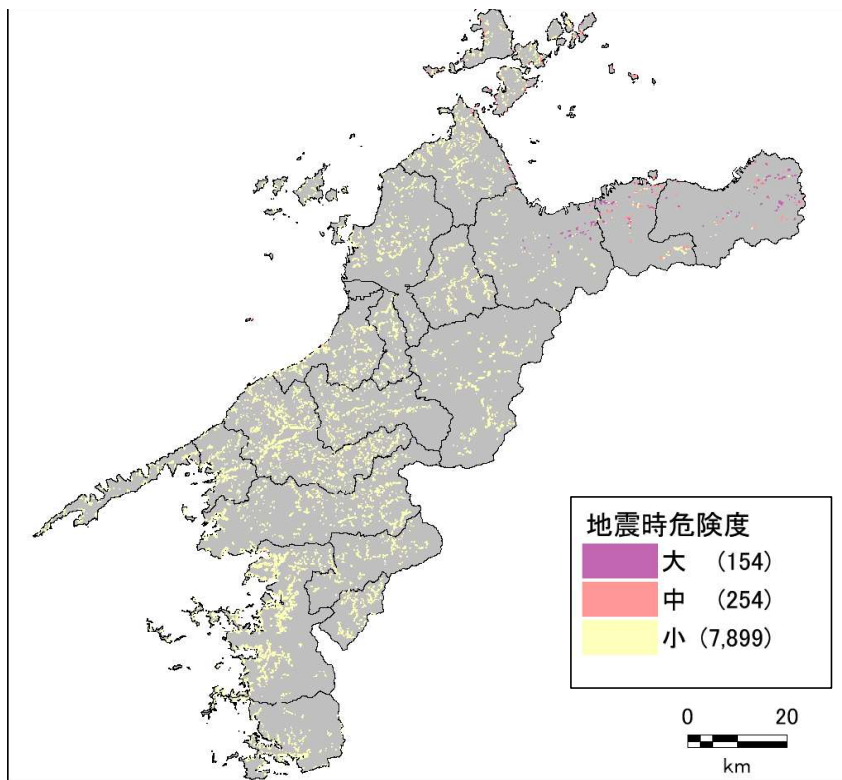


図 2.6-18 ②” 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（モデルC）の  
土砂災害警戒区域の危険度分布

(急傾斜地の崩壊)



(地すべり)

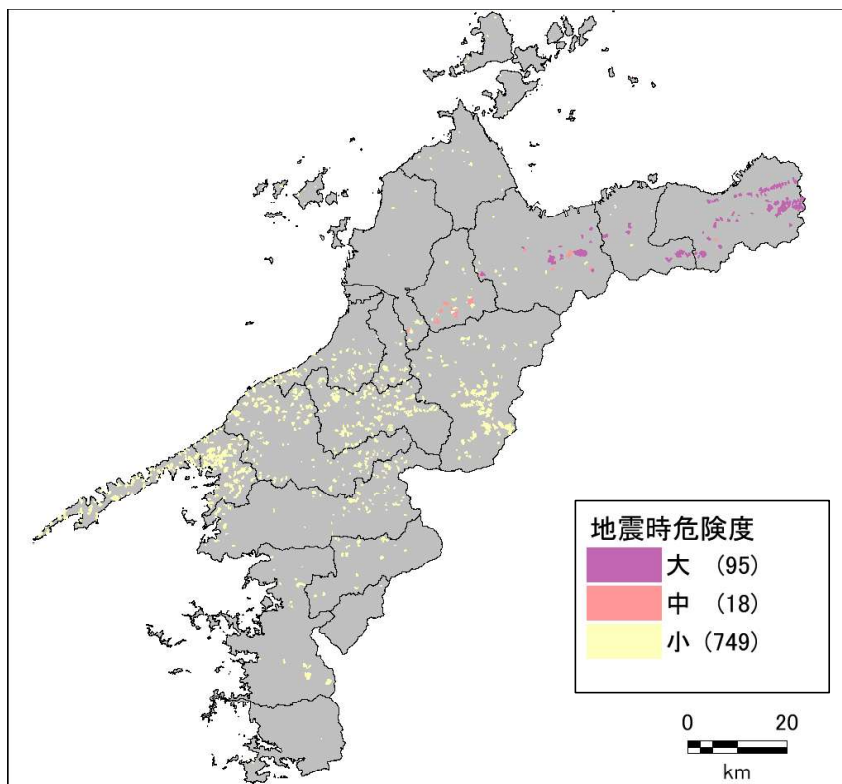
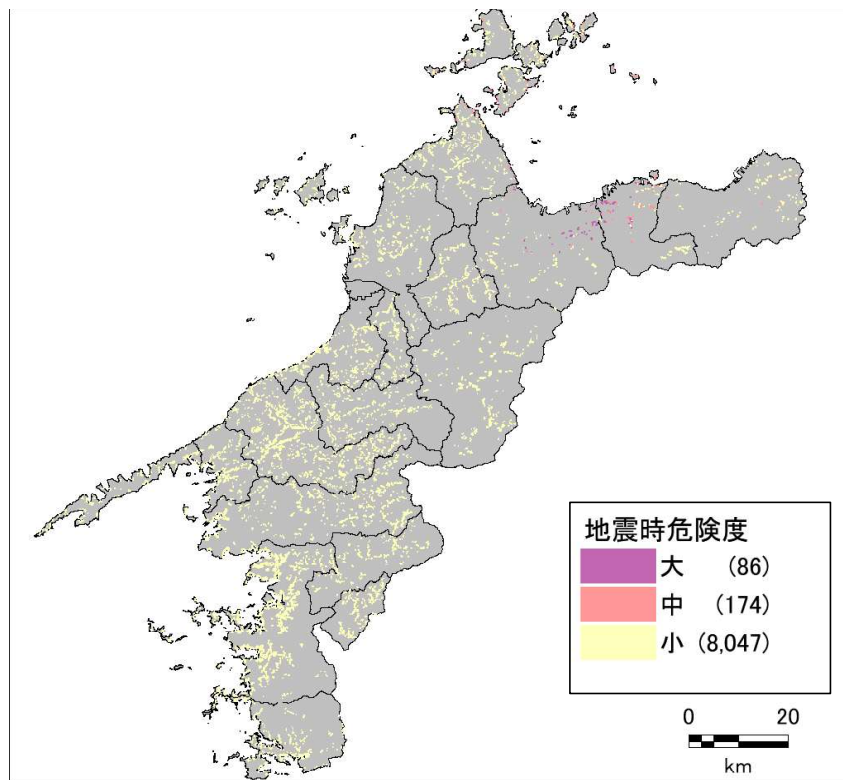


図 2.6-19 ③中央構造線断層帯（讃岐山脈南縁西部区間）の地震の土砂災害警戒区域の危険度分布

(急傾斜地の崩壊)



(地すべり)

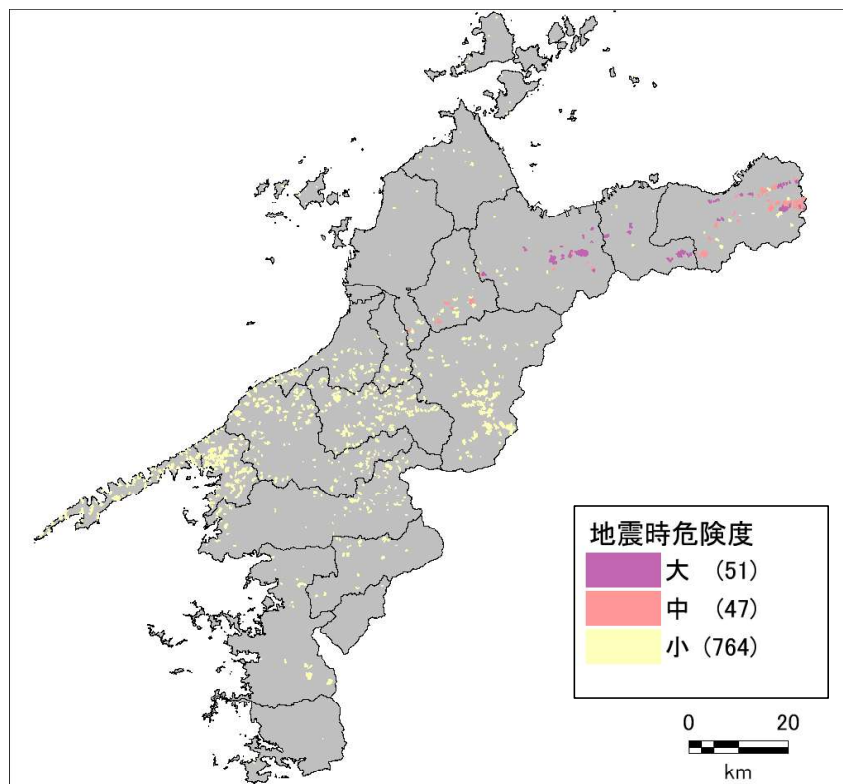
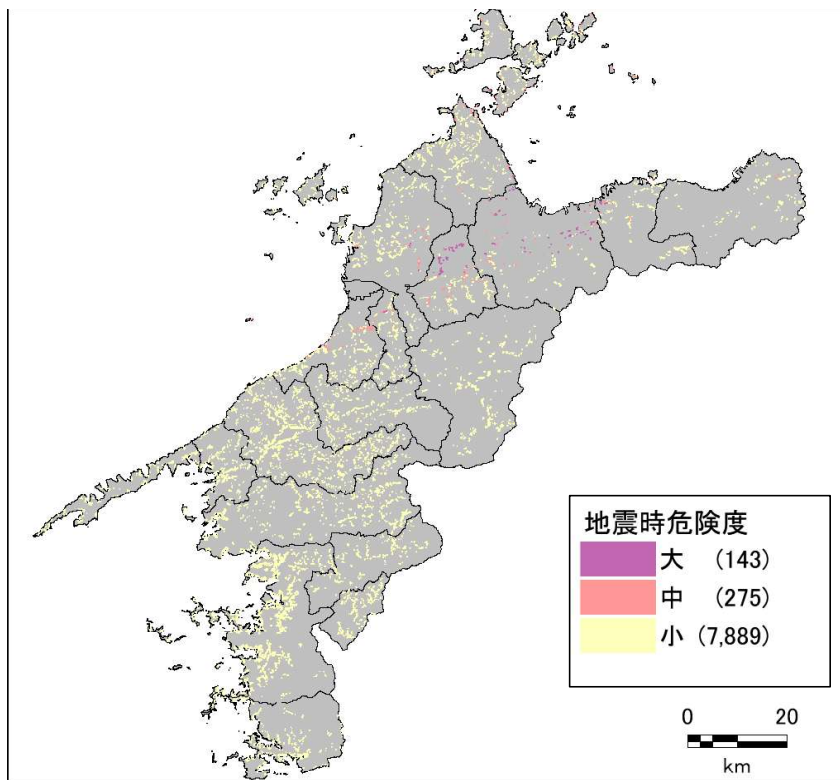


図 2.6-20 ④中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁区間）の地震の土砂災害警戒区域の危険度分布

(急傾斜地の崩壊)



(地すべり)

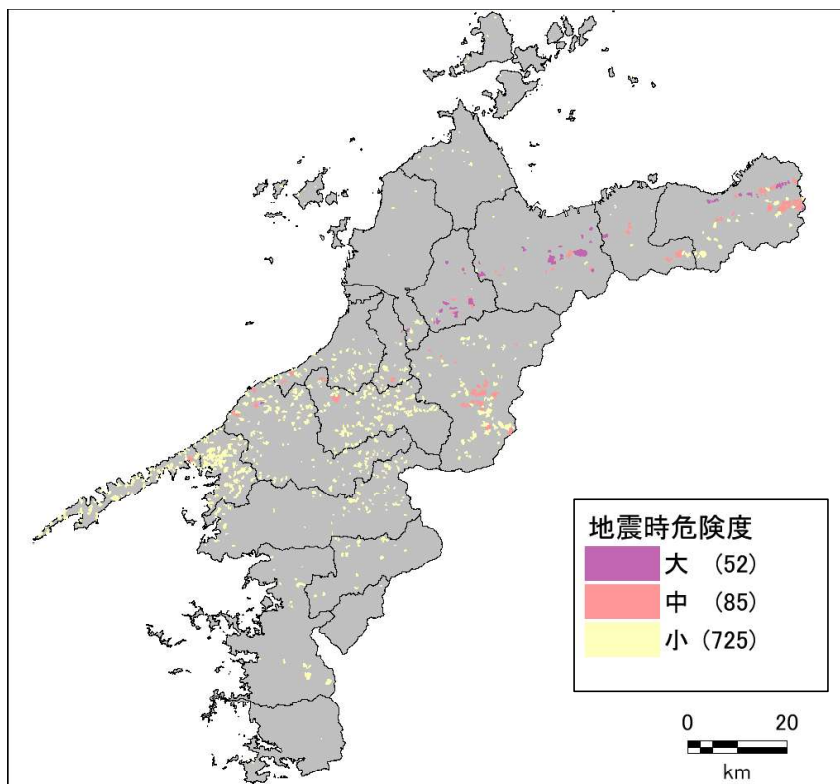
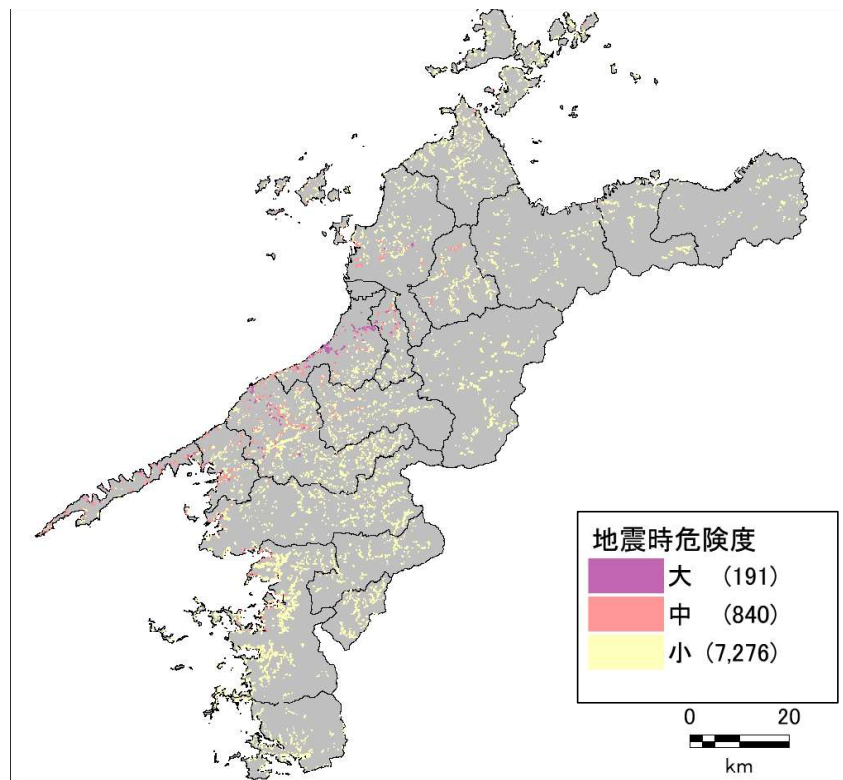


図 2.6-21 ⑤中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部区間）の地震の土砂災害警戒区域の危険度分布

(急傾斜地の崩壊)



(地すべり)

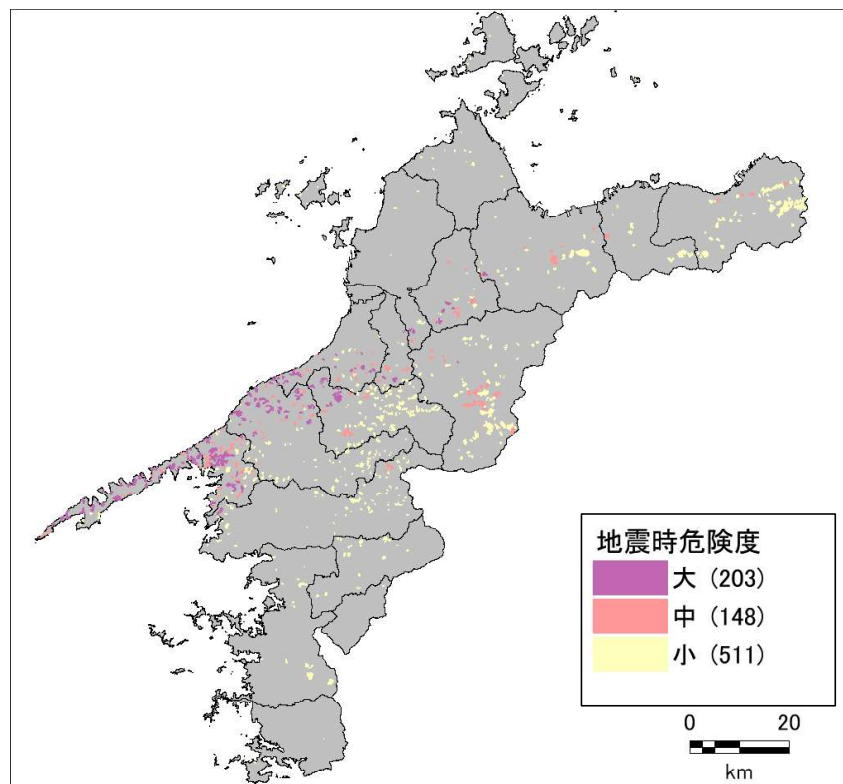
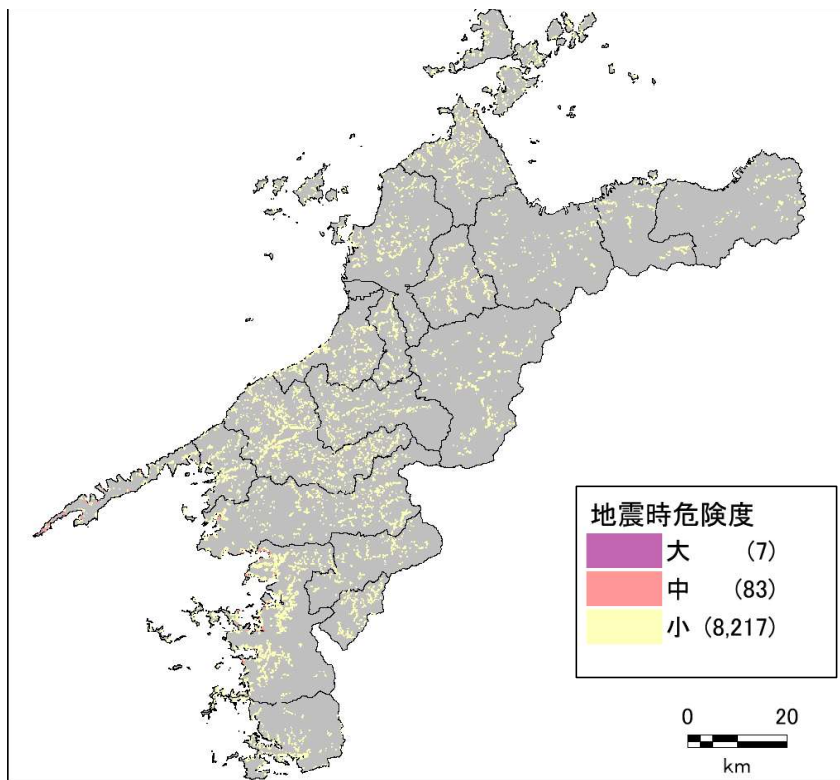


図 2.6-22 ⑥中央構造線断層帯（伊予灘区間）の地震の土砂災害警戒区域の危険度分布

(急傾斜地の崩壊)



(地すべり)

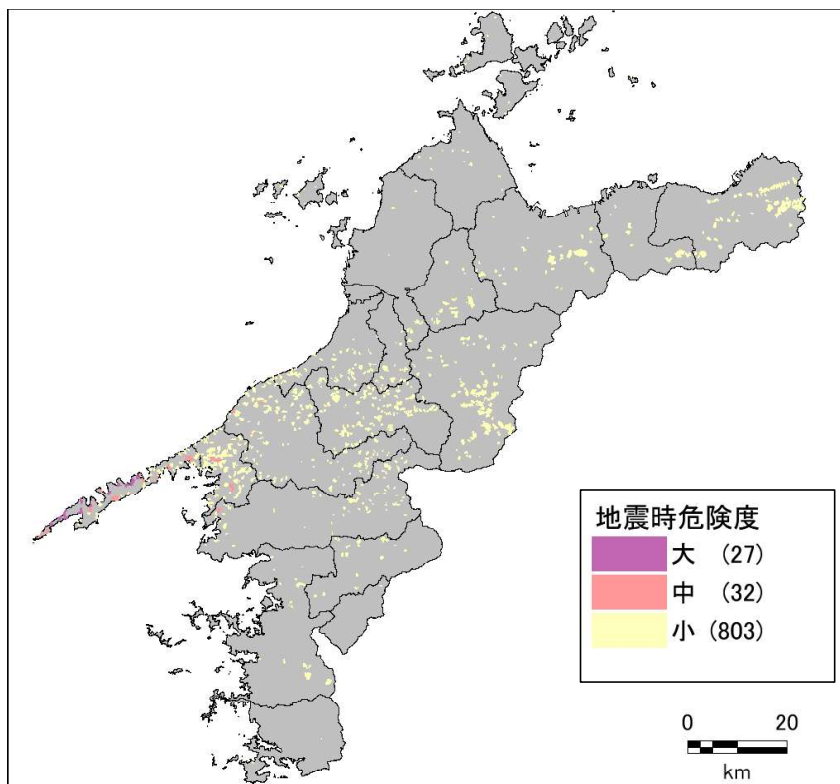
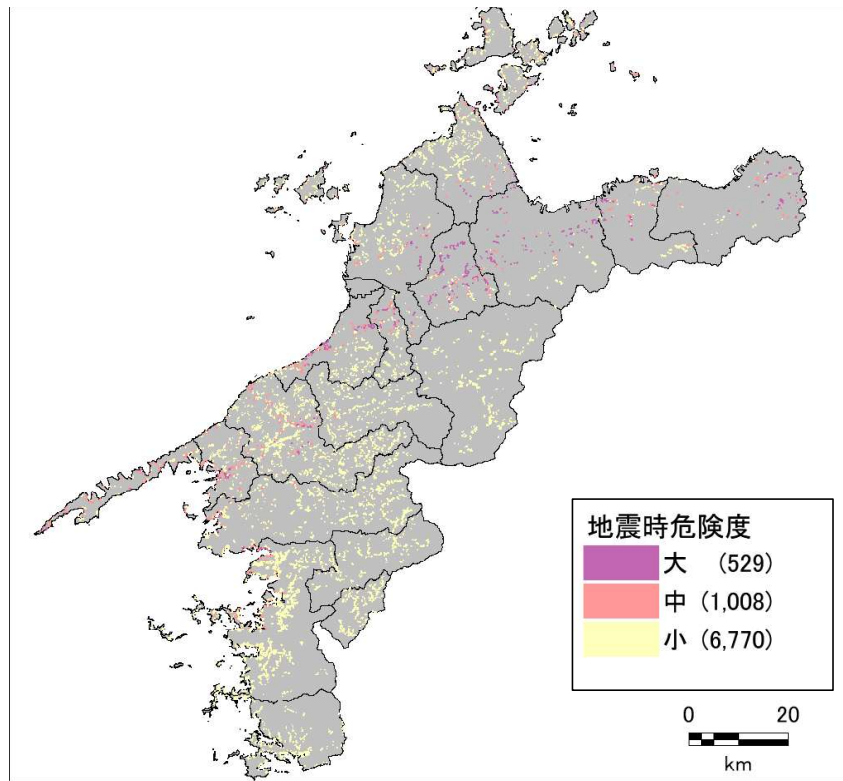


図 2.6-23 ⑦中央構造線断層帯（豊予海峡-由布院区間）の地震の土砂災害警戒区域の危険度分布

(急傾斜地の崩壊)



(地すべり)

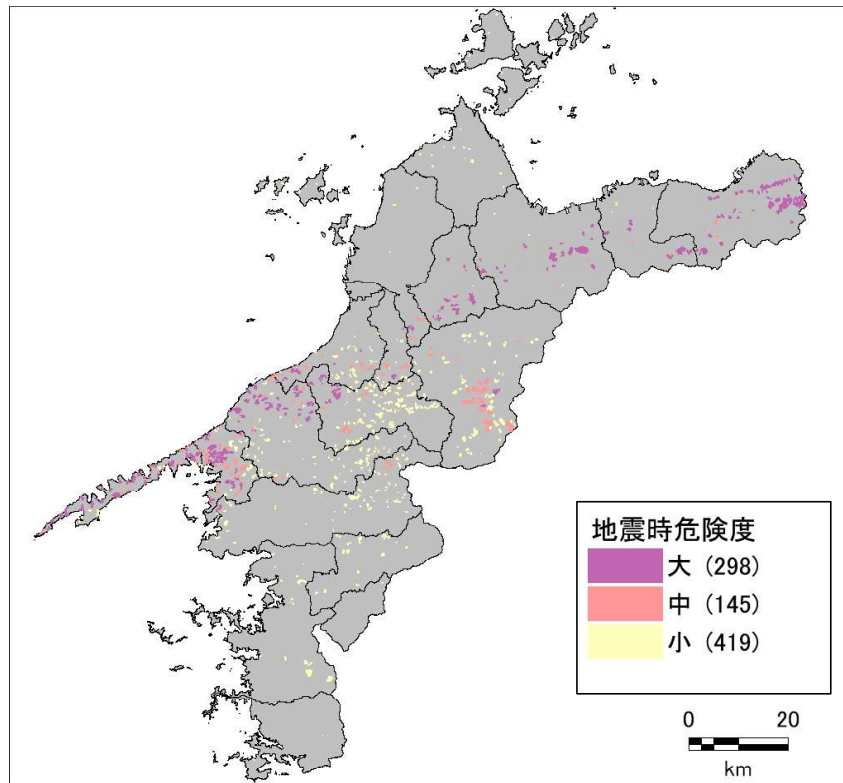


図 2.6-24 ⑧中央構造線断層帯3区間連動の地震の  
土砂災害警戒区域の危険度分布

表 2.6-20 市町別の土砂災害警戒区域の危険度別箇所数  
 (①南海トラフ巨大地震)

市町	急傾斜地の崩壊			地すべり		
	大	中	小	大	中	小
松山市	54	147	463	4	0	10
今治市	88	176	718	0	0	23
宇和島市	820	235	51	9	0	8
八幡浜市	142	89	31	110	8	1
新居浜市	59	64	35	12	0	3
西条市	112	64	16	33	0	2
大洲市	728	454	185	91	15	12
伊予市	85	170	57	40	3	4
四国中央市	91	29	4	68	0	0
西予市	492	215	54	30	5	31
東温市	190	84	153	21	1	0
上島町	35	35	56	2	0	3
久万高原町	196	42	14	80	2	9
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	84	51	23	18	2	1
内子町	211	129	55	63	17	15
伊方町	18	107	79	79	6	3
松野町	177	47	36	1	0	0
鬼北町	154	37	10	9	4	2
愛南町	141	142	73	1	0	1
合計	3,877	2,317	2,113	671	63	128

表 2.6-21 市町別の土砂災害警戒区域の危険度別箇所数  
 (②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震モデルA)

市町	急傾斜地の崩壊			地すべり		
	大	中	小	大	中	小
松山市	1	27	636	1	2	11
今治市	12	50	920	0	0	23
宇和島市	0	38	1,068	0	0	17
八幡浜市	0	9	253	9	24	86
新居浜市	0	3	155	1	0	14
西条市	1	7	184	10	8	17
大洲市	1	6	1,360	11	16	91
伊予市	2	6	304	1	8	38
四国中央市	0	1	123	1	10	57
西予市	0	14	747	0	6	60
東温市	0	5	422	5	10	7
上島町	0	20	106	0	0	5
久万高原町	0	0	252	8	36	47
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	0	2	156	2	6	13
内子町	0	2	393	4	8	83
伊方町	0	1	203	5	19	64
松野町	0	0	260	0	0	1
鬼北町	0	0	201	0	0	15
愛南町	0	4	352	0	0	2
合計	17	195	8,095	58	153	651

表 2.6-22 市町別の土砂災害警戒区域の危険度別箇所数  
 (②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震モデルB)

市町	急傾斜地の崩壊			地すべり		
	大	中	小	大	中	小
松山市	0	3	661	0	1	13
今治市	2	5	975	0	0	23
宇和島市	24	151	931	0	1	16
八幡浜市	0	32	230	18	28	73
新居浜市	0	0	158	0	0	15
西条市	0	0	192	0	3	32
大洲市	0	22	1,345	13	16	89
伊予市	0	2	310	0	3	44
四国中央市	0	0	124	0	0	68
西予市	6	27	728	1	5	60
東温市	0	0	427	0	1	21
上島町	0	0	126	0	0	5
久万高原町	0	0	252	0	31	60
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	0	0	158	0	3	18
内子町	0	0	395	1	7	87
伊方町	0	29	175	34	24	30
松野町	0	0	260	0	0	1
鬼北町	0	0	201	0	0	15
愛南町	0	14	342	0	0	2
合計	32	285	7,990	67	123	672

表 2.6-23 市町別の土砂災害警戒区域の危険度別箇所数  
 (②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震モデルC)

市町	急傾斜地の崩壊			地すべり		
	大	中	小	大	中	小
松山市	0	10	654	1	1	12
今治市	3	15	964	0	0	23
宇和島市	44	183	879	0	6	11
八幡浜市	0	26	236	14	35	70
新居浜市	0	0	158	0	1	14
西条市	0	0	192	0	12	23
大洲市	3	52	1,312	18	18	82
伊予市	1	4	307	1	8	38
四国中央市	0	0	124	0	0	68
西予市	8	57	696	7	6	53
東温市	0	0	427	0	7	15
上島町	0	0	126	0	0	5
久万高原町	0	0	252	29	22	40
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	0	1	157	2	8	11
内子町	0	13	382	6	17	72
伊方町	0	25	179	30	23	35
松野町	0	0	260	0	0	1
鬼北町	0	3	198	0	0	15
愛南町	2	21	333	0	0	2
合計	61	410	7,836	108	164	590

表 2.6-24 市町別の土砂災害警戒区域の危険度別箇所数  
 (③中央構造線断層帯 (讃岐山脈南縁西部区間))

市町	急傾斜地の崩壊			地すべり		
	大	中	小	大	中	小
松山市	0	0	664	0	1	13
今治市	15	76	891	0	0	23
宇和島市	0	2	1,104	0	0	17
八幡浜市	0	0	262	0	0	119
新居浜市	33	79	46	11	0	4
西条市	33	12	147	16	6	13
大洲市	1	1	1,365	0	0	118
伊予市	0	2	310	0	0	47
四国中央市	61	48	15	67	1	0
西予市	0	0	761	0	0	66
東温市	0	0	427	0	9	13
上島町	11	34	81	1	1	3
久万高原町	0	0	252	0	0	91
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	0	0	158	0	0	21
内子町	0	0	395	0	0	95
伊方町	0	0	204	0	0	88
松野町	0	0	260	0	0	1
鬼北町	0	0	201	0	0	15
愛南町	0	0	356	0	0	2
合計	154	254	7,899	95	18	749

表 2.6-25 市町別の土砂災害警戒区域の危険度別箇所数  
 (④中央構造線断層帯(石鎚山脈北縁区間))

市町	急傾斜地の崩壊			地すべり		
	大	中	小	大	中	小
松山市	0	0	664	0	1	13
今治市	14	60	908	0	0	23
宇和島市	0	0	1,106	0	0	17
八幡浜市	0	0	262	0	0	119
新居浜市	28	60	70	11	0	4
西条市	42	16	134	18	5	12
大洲市	0	0	1,367	0	0	118
伊予市	0	0	312	0	0	47
四国中央市	1	6	117	22	35	11
西予市	0	0	761	0	0	66
東温市	0	0	427	0	6	16
上島町	1	32	93	0	0	5
久万高原町	0	0	252	0	0	91
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	0	0	158	0	0	21
内子町	0	0	395	0	0	95
伊方町	0	0	204	0	0	88
松野町	0	0	260	0	0	1
鬼北町	0	0	201	0	0	15
愛南町	0	0	356	0	0	2
合計	86	174	8,047	51	47	764

表 2.6-26 市町別の土砂災害警戒区域の危険度別箇所数  
 (⑤中央構造線断層帯(石鎚山脈北縁西部区間))

市町	急傾斜地の崩壊			地すべり		
	大	中	小	大	中	小
松山市	4	30	630	1	0	13
今治市	17	63	902	0	0	23
宇和島市	0	0	1,106	0	0	17
八幡浜市	0	0	262	0	0	119
新居浜市	6	11	141	1	7	7
西条市	55	40	97	19	8	8
大洲市	1	1	1,365	1	4	113
伊予市	1	23	288	0	3	44
四国中央市	0	4	120	15	31	22
西予市	0	0	761	0	0	66
東温市	54	64	309	14	5	3
上島町	3	28	95	0	0	5
久万高原町	0	0	252	0	20	71
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	2	11	145	1	1	19
内子町	0	0	395	0	3	92
伊方町	0	0	204	0	3	85
松野町	0	0	260	0	0	1
鬼北町	0	0	201	0	0	15
愛南町	0	0	356	0	0	2
合計	143	275	7,889	52	85	725

表 2.6-27 市町別の土砂災害警戒区域の危険度別箇所数  
 (◎中央構造線断層帯 (伊予灘区間))

市町	急傾斜地の崩壊			地すべり		
	大	中	小	大	中	小
松山市	7	103	554	2	1	11
今治市	5	20	957	0	0	23
宇和島市	3	66	1,037	0	0	17
八幡浜市	7	100	155	48	43	28
新居浜市	0	2	156	0	1	14
西条市	0	1	191	1	9	25
大洲市	45	214	1,108	42	18	58
伊予市	82	91	139	17	18	12
四国中央市	0	1	123	0	6	62
西予市	6	30	725	2	2	62
東温市	0	32	395	5	9	8
上島町	1	13	112	0	0	5
久万高原町	0	0	252	1	17	73
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	16	27	115	3	6	12
内子町	0	24	371	11	6	78
伊方町	19	116	69	71	12	5
松野町	0	0	260	0	0	1
鬼北町	0	0	201	0	0	15
愛南町	0	0	356	0	0	2
合計	191	840	7,276	203	148	511

表 2.6-28 市町別の土砂災害警戒区域の危険度別箇所数  
 (⑦中央構造線断層帯(豊予海峡-由布院区間))

市町	急傾斜地の崩壊			地すべり		
	大	中	小	大	中	小
松山市	0	0	664	0	0	14
今治市	0	3	979	0	0	23
宇和島市	0	37	1,069	0	0	17
八幡浜市	0	0	262	0	7	112
新居浜市	0	0	158	0	0	15
西条市	0	0	192	0	0	35
大洲市	0	1	1,366	0	3	115
伊予市	0	0	312	0	0	47
四国中央市	0	0	124	0	0	68
西予市	0	9	752	0	1	65
東温市	0	0	427	0	0	22
上島町	0	0	126	0	0	5
久万高原町	0	0	252	0	0	91
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	0	0	158	0	0	21
内子町	0	0	395	0	0	95
伊方町	7	33	164	27	21	40
松野町	0	0	260	0	0	1
鬼北町	0	0	201	0	0	15
愛南町	0	0	356	0	0	2
合計	7	83	8,217	27	32	803

表 2.6-29 市町別の土砂災害警戒区域の危険度別箇所数  
 (⑧中央構造線断層帯(3区間連動))

市町	急傾斜地の崩壊			地すべり		
	大	中	小	大	中	小
松山市	27	93	544	2	2	10
今治市	35	118	829	0	0	23
宇和島市	7	79	1,020	0	0	17
八幡浜市	20	90	152	48	44	27
新居浜市	26	47	85	11	1	3
西条市	98	34	60	29	3	3
大洲市	20	125	1,222	36	16	66
伊予市	35	80	197	6	17	24
四国中央市	39	48	37	65	3	0
西予市	9	41	711	2	3	61
東温市	175	91	161	21	0	1
上島町	10	30	86	0	2	3
久万高原町	0	0	252	2	27	62
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	16	28	114	2	5	14
内子町	0	3	392	10	6	79
伊方町	12	101	91	64	16	8
松野町	0	0	260	0	0	1
鬼北町	0	0	201	0	0	15
愛南町	0	0	356	0	0	2
合計	529	1,008	6,770	298	145	419